

北名古屋市
男女共同参画意識調査報告書

令和5年3月

北名古屋市

目 次

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	2
(2)	調査の実施概要	2
(3)	報告書の見方	3
2	市民意識調査結果	4
	回答者の属性	5
(1)	家庭生活等について	9
(2)	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	15
(3)	学生生活と職業の希望について	22
(4)	女性の社会参画について	29
(5)	少子化について	32
(6)	配偶者などからの暴力（DV）やセクハラについて	34
(7)	男女共同参画社会について	48
(8)	北名古屋市の男女共同参画の取り組みについて	58
3	中学生調査結果	62
	回答者の属性	63
(1)	家庭や学校でのあなたの生活について	65
(2)	将来の進路について	80
(3)	男女交際について	90
(4)	男女共同参画について	93
4	事業所調査結果	98
(1)	事業所の概要について	99
(2)	従業員の就労状態について	101
(3)	女性の雇用管理の状況等について	102
(4)	「仕事」と「育児や介護」の両立支援について	105
(5)	ワーク・ライフ・バランスについて	108
(6)	ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）を防止する取り組みについて	112
(7)	男女共同参画を推進する上で市に期待することについて	113
5	国・愛知県との比較	114
(1)	国・愛知県との比較	115
(2)	経年比較	124
6	自由回答	132
(1)	市民調査	133
(2)	中学生調査	139
(3)	事業所調査	148
7	考察	149

1 調査の概要

(1) 調査の目的

北名古屋市では、男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮し、一人ひとりが自己実現できる“認めあい助けあうまち北名古屋～男女いきいき輝く健康快適都市～”を目指して、「北名古屋市男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取り組みを実施しています。

このたび、この「第2次北名古屋市男女共同参画プラン」の中間見直しの基礎資料とするため、現況把握とこれまでの取り組みの成果を検証し、アンケート方式による男女共同参画意識調査を実施しました。

(2) 調査の実施概要

1 調査期間

令和4年6月1日から6月30日まで

2 調査対象

市民調査 : 18歳以上の市民1,000名（無作為抽出・大学生含む）
: 名古屋芸術大学学生2,394名
中学生調査 : 市内中学2年生772名
事業所調査 : 市内事業所200社

3 調査手続き

市民調査・事業所調査 : 郵送により調査票を配布し、本人に記入及びWEB回答を求めた。
※名古屋芸術大学学生はメールで依頼し、WEB回答を求めた。
中学生調査 : 学校を通じてタブレットでのWEB回答を求めた。

4 回収結果

対象	市民調査（学生含む）		中学生調査	事業所調査
	18歳以上の市民	名古屋芸術大学 学生		
配布数	1,000	—	772	200
回収数 (うちWEB)	344 (105)	66 (66)	704 (704)	83 (25)
	410 (171)			
回収率 (うちWEB)	34.4% (10.5%)	—	91.19% (91.19%)	41.5% (12.5%)
	38.5% (16.0%)			

(3) 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果とクロス集計結果を記載しています。なお、クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数と全体の回答者総数は合致しません。

●「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

●「%」について

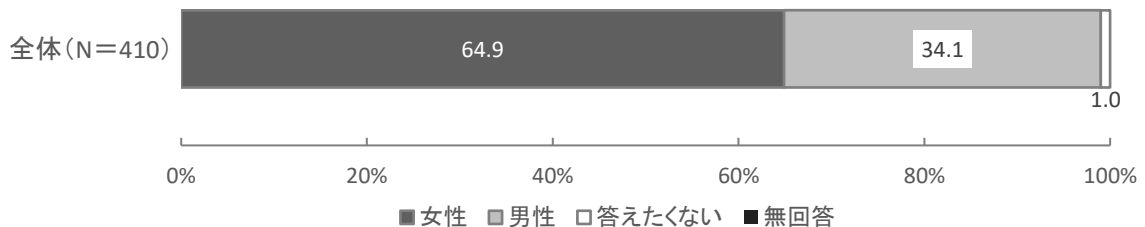
グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

2 市民意識調査結果

回答者の属性

問A 性別（単数回答）

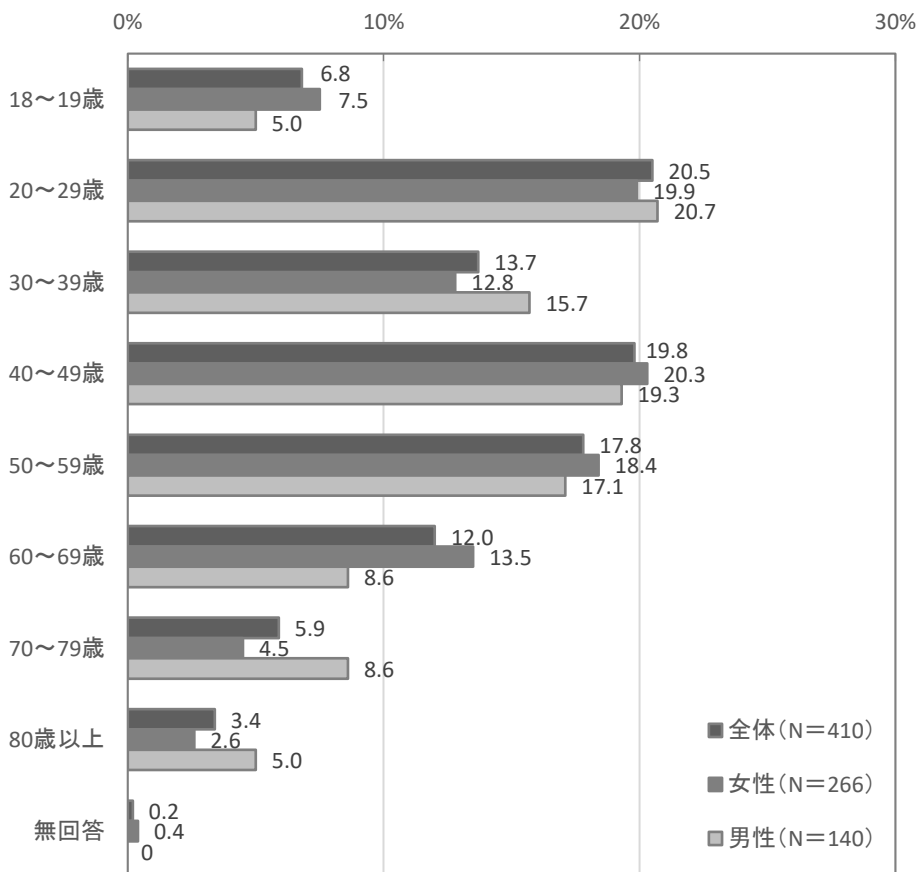
回答者の性別は、「女性」が64.9%、「男性」が34.1%、「答えたくない」が1%となっています。



問B 年齢（単数回答）

回答者の年齢は、「20～29歳」が20.5%と最も高く、次いで「40～49歳」が19.8%、「50～59歳」が17.8%となっています。

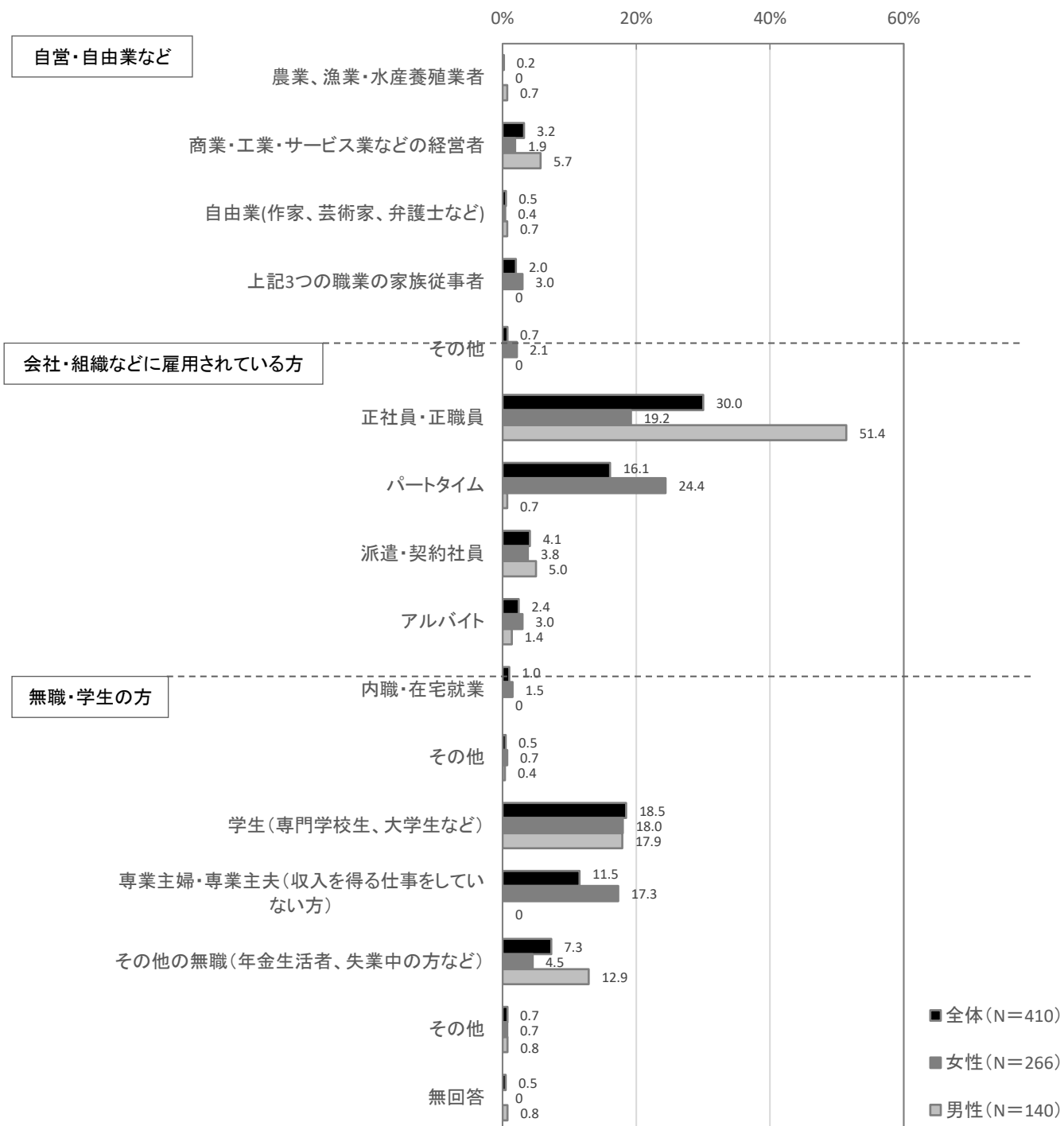
性別で見ると、女性では、「40～49歳」が20.3%と最も高く、次いで「20～29歳」が19.9%、「50～59歳」が18.4%となっています。男性では、「20～29歳」が20.7%と最も高く、次いで「40～49歳」が19.3%、「50～59歳」が17.1%となっています。



問C 職業（単数回答）

回答者の職業は、「正社員・正職員」が30%と最も高く、次いで「学生（専門学校生、大学生など）」が18.5%、「パートタイム」が16.1%となっています。

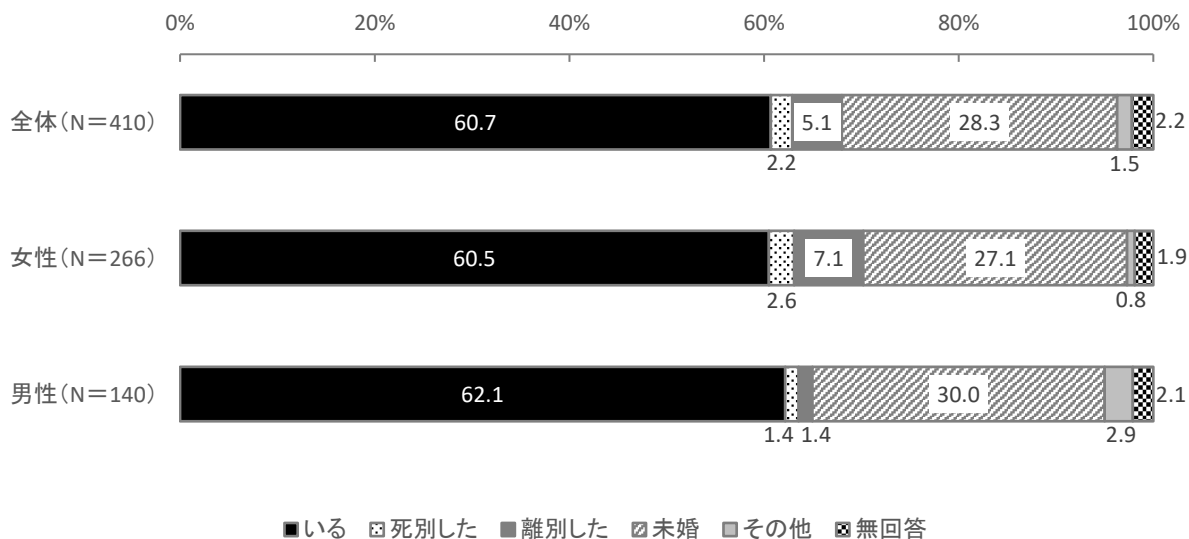
性別で見ると、女性では「パートタイム」が24.4%と最も高く、次いで「正社員・正職員」が19.2%となっています。男性では「正社員・正職員」が51.4%と最も高く、次いで「学生（専門学校生、大学生など）」が17.9%となっています。



問D 配偶者（夫または妻、事実婚も含む）（単数回答）

回答者の配偶者の有無は、「いる」が60.7%と最も高く、次いで「未婚」が28.3%、「離別した」が5.1%となっています。

性別で見ると、女性では「いる」が60.5%と最も高く、次いで「未婚」が27.1%となっています。男性では「いる」が62.1%と最も高く、次いで「未婚」が30.0%となっています。

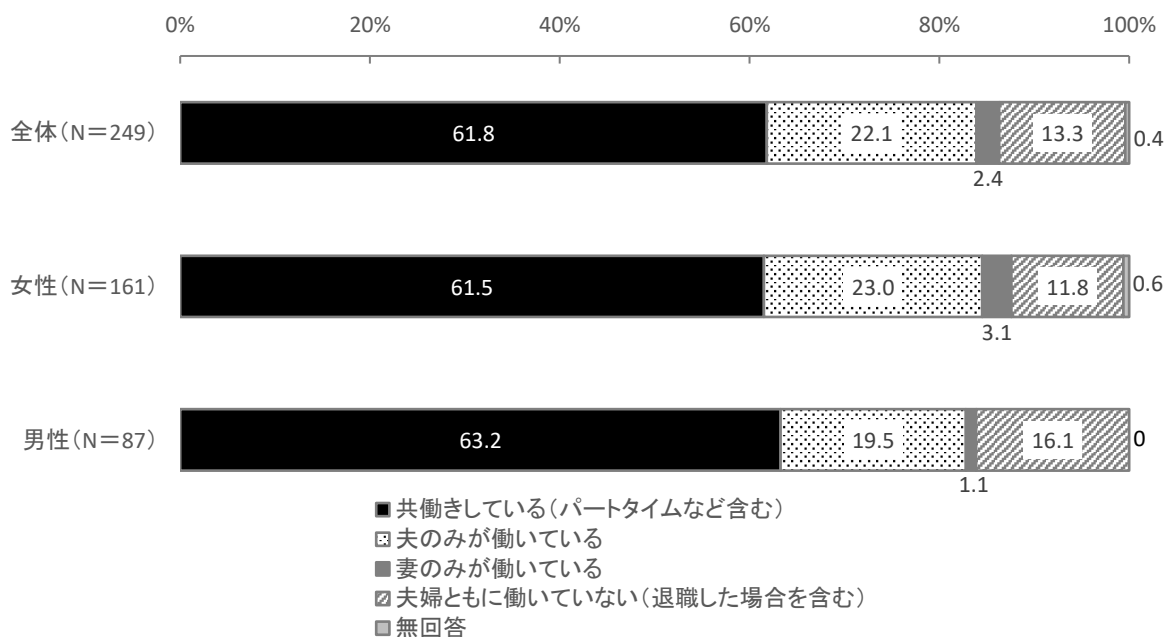


【問Dで「配偶者（夫または妻、事実婚も含む）がいる」と回答した方のみ】

問D-1 ご家庭の就業状況（単数回答）

回答者の家族の就業状況は、「共働きしている（パートタイムなど含む）」が61.8%と最も高く、次いで「夫のみが働いている」が22.1%、「夫婦ともに働いていない（退職した場合も含む）」が13.3%となっています。

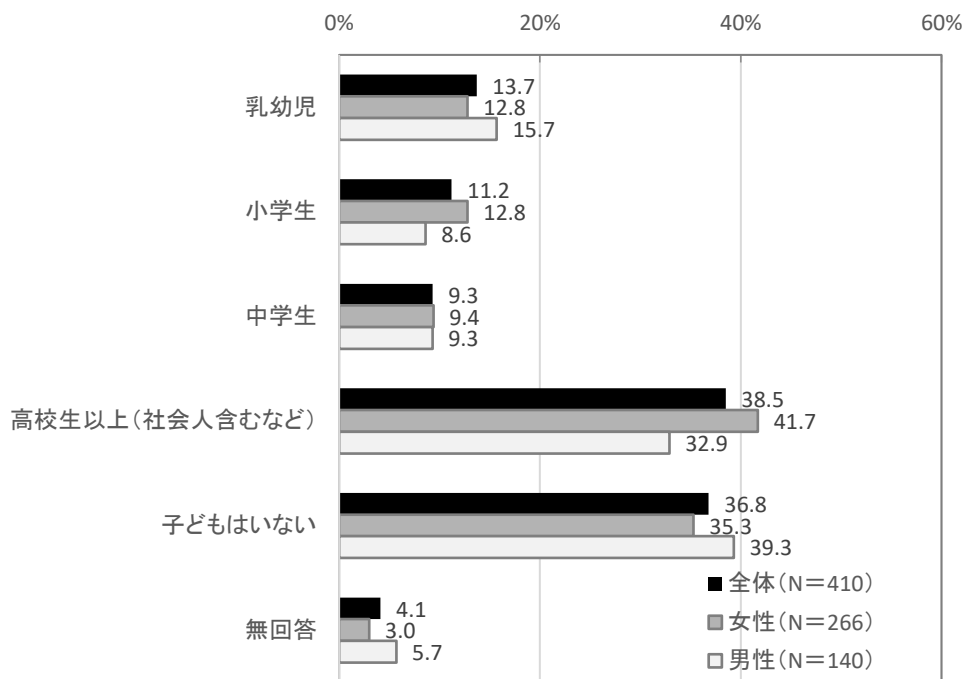
性別で見ると、男女ともに「共働きしている（パートタイムなど含む）」が6割を超え最も高く、次いで「夫のみが働いている」が約2割となっています。



問E あなたには、お子さん（同居していないお子さんを含む）はいますか。（複数回答）

回答者の子どもの有無は、「高校生以上（社会人含むなど）」が38.5%と最も高く、次いで「子どもはいない」が36.8%、「乳幼児」が13.7%となっています。

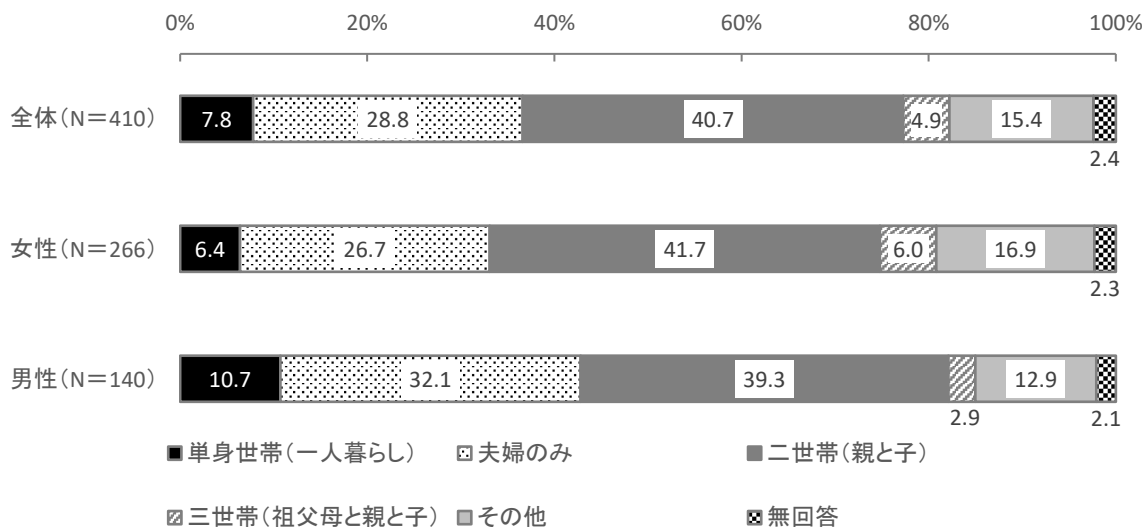
性別でみると、女性では「高校生以上（社会人含むなど）」が41.7%と最も高く、次いで「子どもはいない」が35.3%となっています。男性では「子どもはいない」が39.3%と最も高く、次いで「高校生以上（社会人含むなど）」が32.9%となっています。



問F 家族構成（単数回答）

回答者の家族構成は、「二世帯（親と子）」が40.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が28.8%、「三世帯（祖父母と親と子）」が15.4%となっています。

性別でみると、男女ともに「二世帯（親と子）」が約4割と最も高く、次いで「夫婦のみ」が2.5割を超えています。



(1) 家庭生活等について

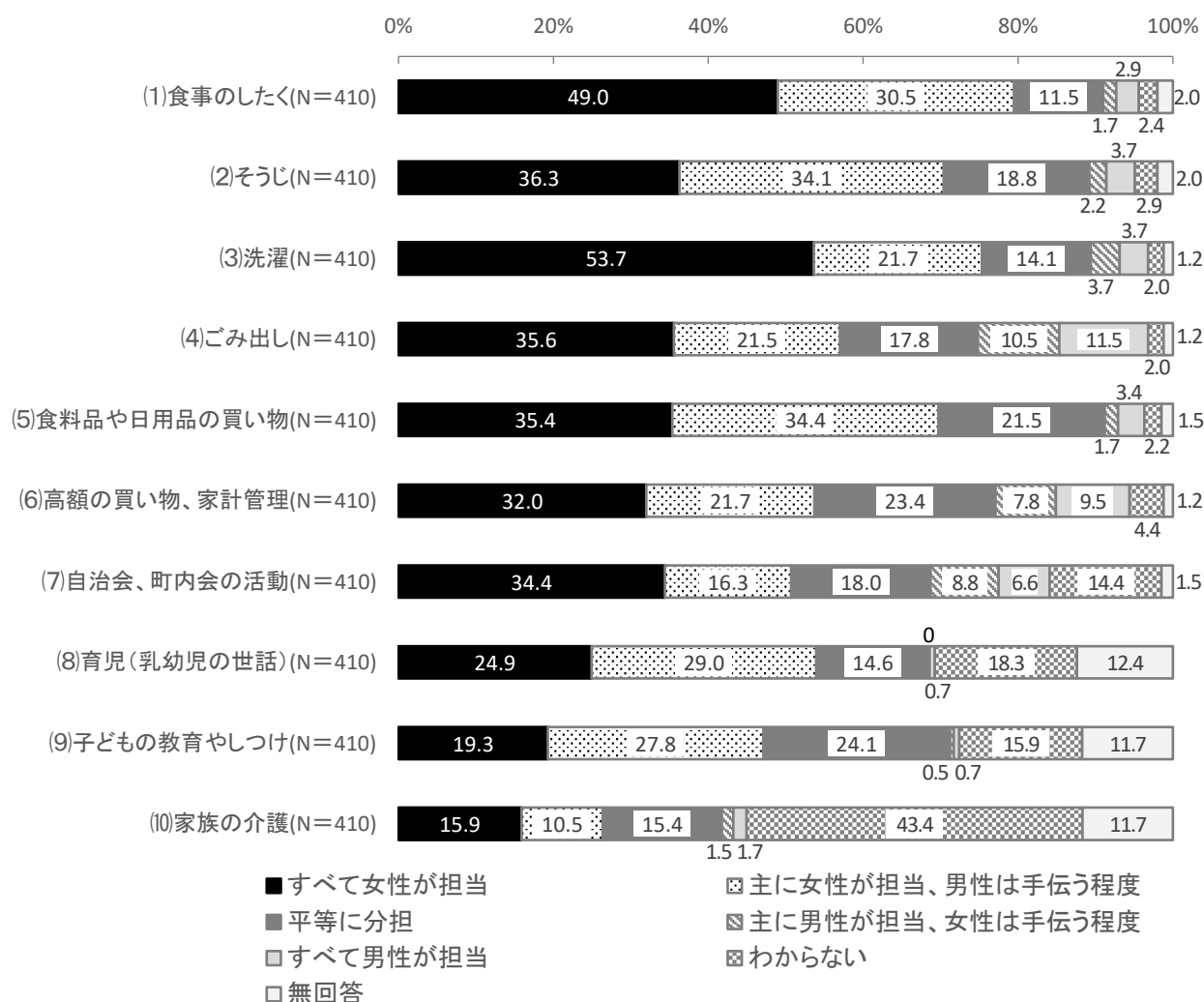
問1 家庭内の役割分担について、あなたの家庭では、次の項目でどのように分担していますか。
(単数回答)

問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『女性が担当』…「すべて女性が担当」と「主に女性が担当、男性は手伝う程度」を合算

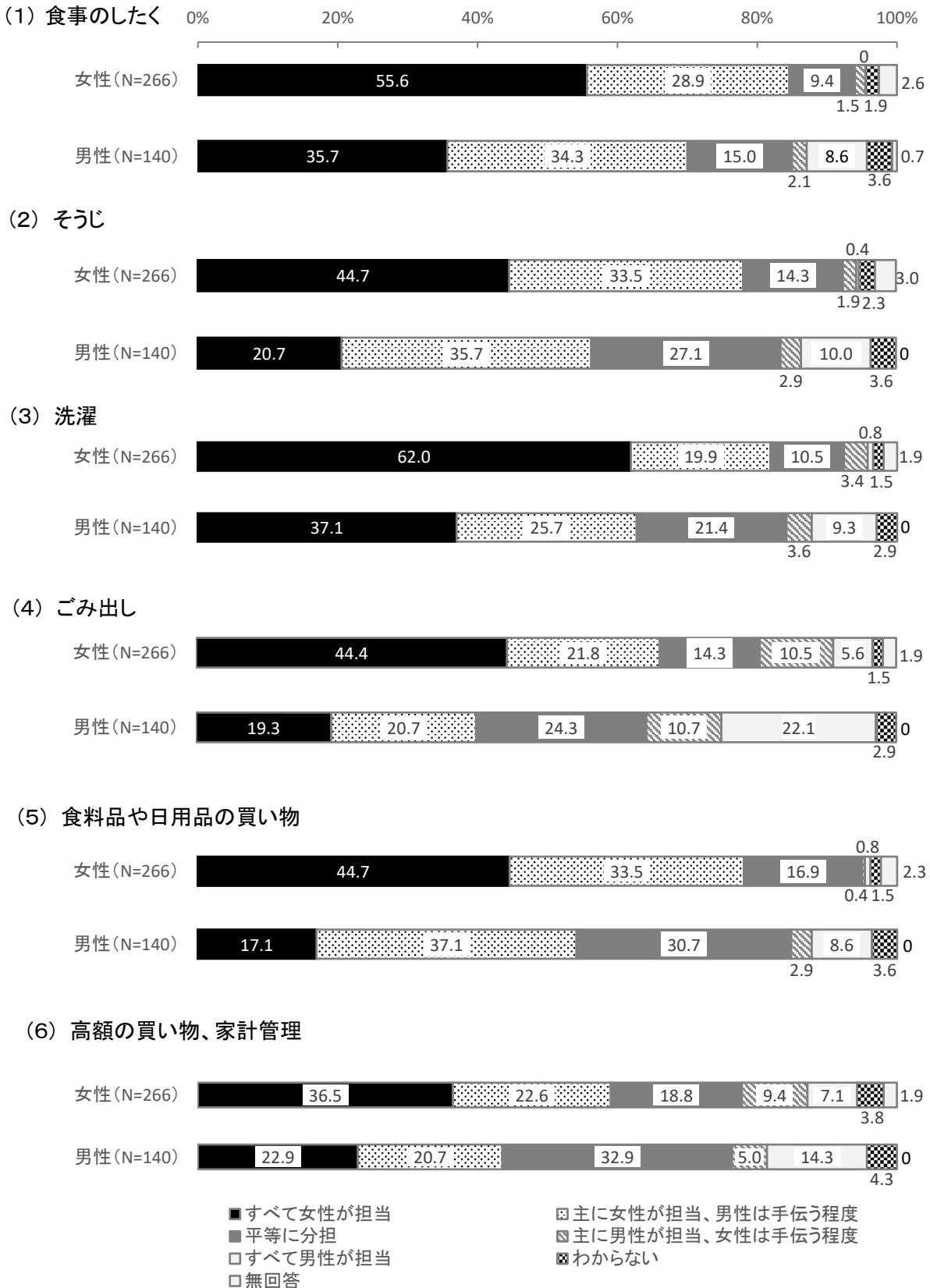
『男性が担当』…「すべて男性が担当」と「主に男性が担当、女性は手伝う程度」を合算

すべての項目で『女性が担当』の割合が『男性が担当』より高く、「(1) 食事のしたく」「(2) そうじ」「(3) 洗濯」では7割を超えています。『男性が担当』の割合が比較的高い項目は、「(4) ごみ出し」「(6) 高額の買い物、家計管理」となっています。

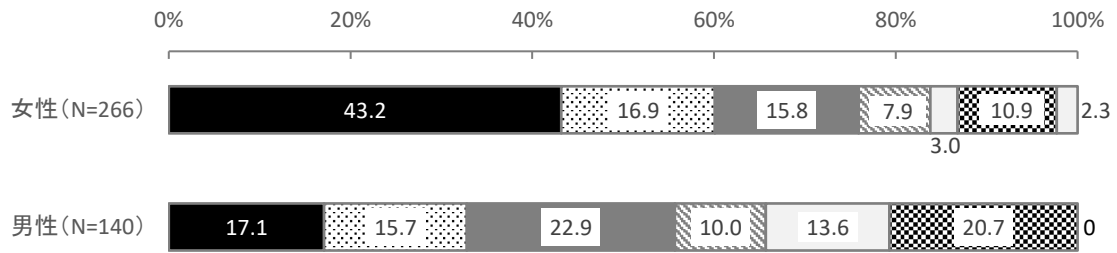


男女別比較

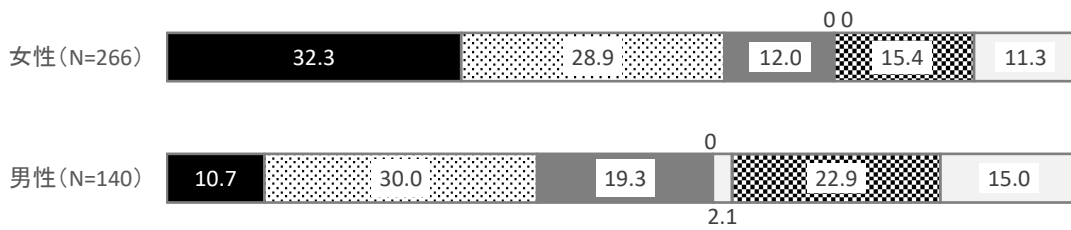
性別で見ると、すべての項目において、女性は男性に比べて『女性が担当』の割合が高くなっています。一方で、すべての項目において、男性は女性に比べて「平等に分担」『男性が担当』の割合が高くなっています。



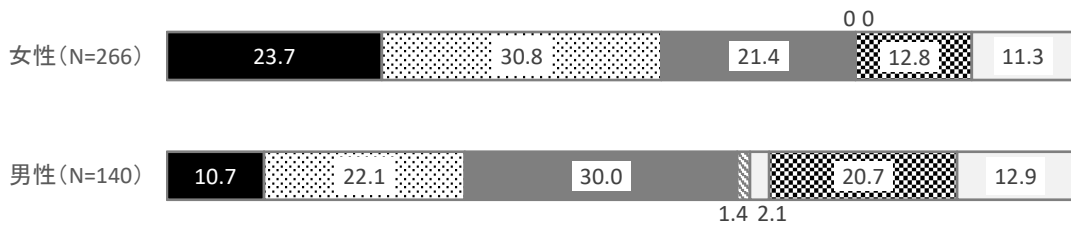
(7) 自治会、町内会の活動



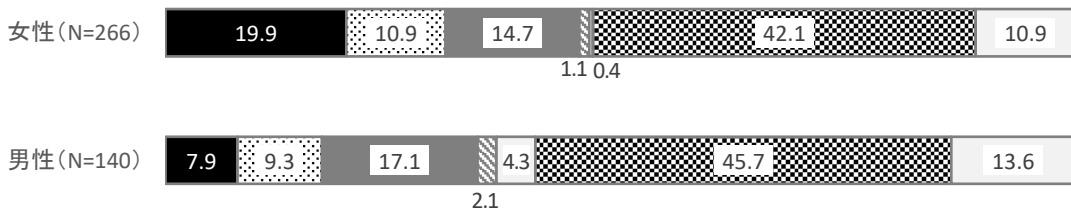
(8) 育児(乳幼児の世話)



(9) 子どもの教育やしつけ



(10) 家族の介護

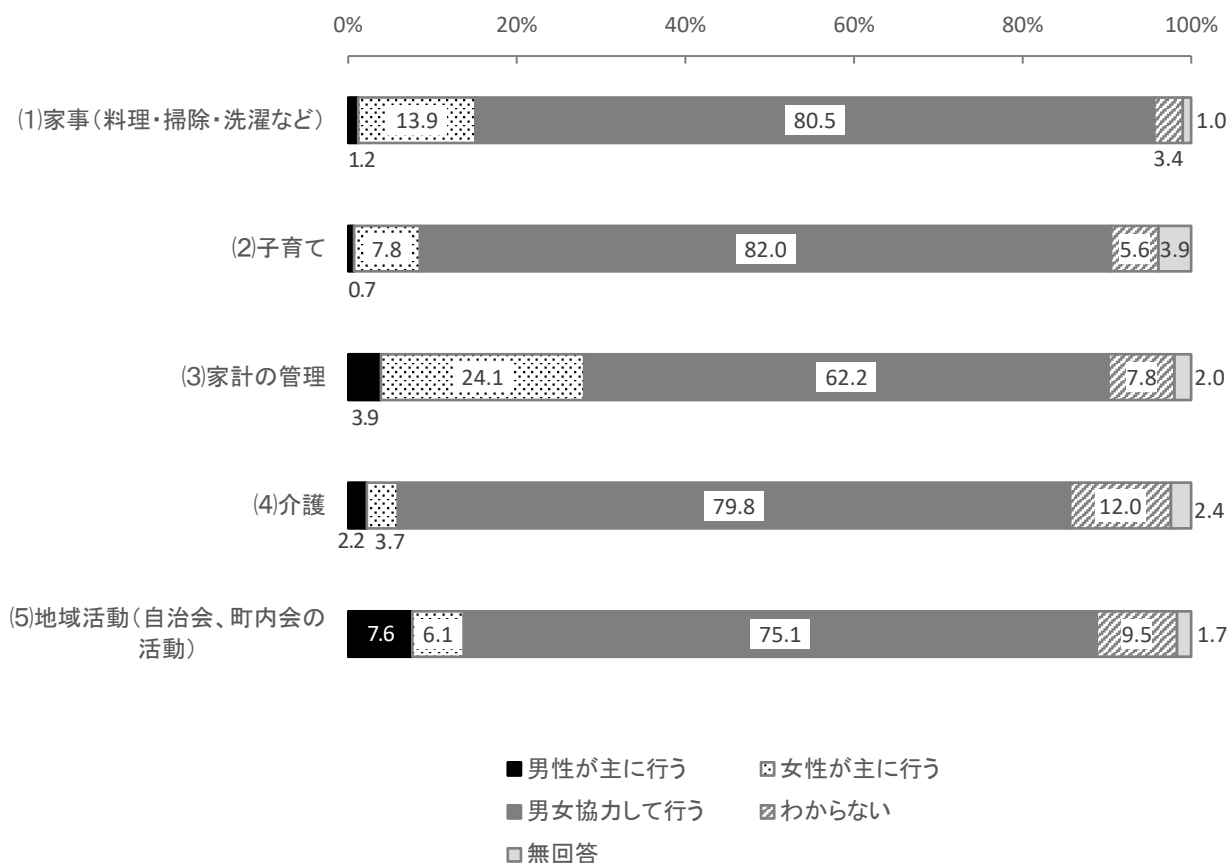


- すべて女性が担当
- ▨ 主に女性が担当、男性は手伝う程度
- 平等に分担
- ▨ 主に男性が担当、女性は手伝う程度
- すべて男性が担当
- ▨ わからない
- 無回答

**問2 あなたは、家庭生活上の項目についてどのようにするのが一番よいと思いますか。
(単数回答)**

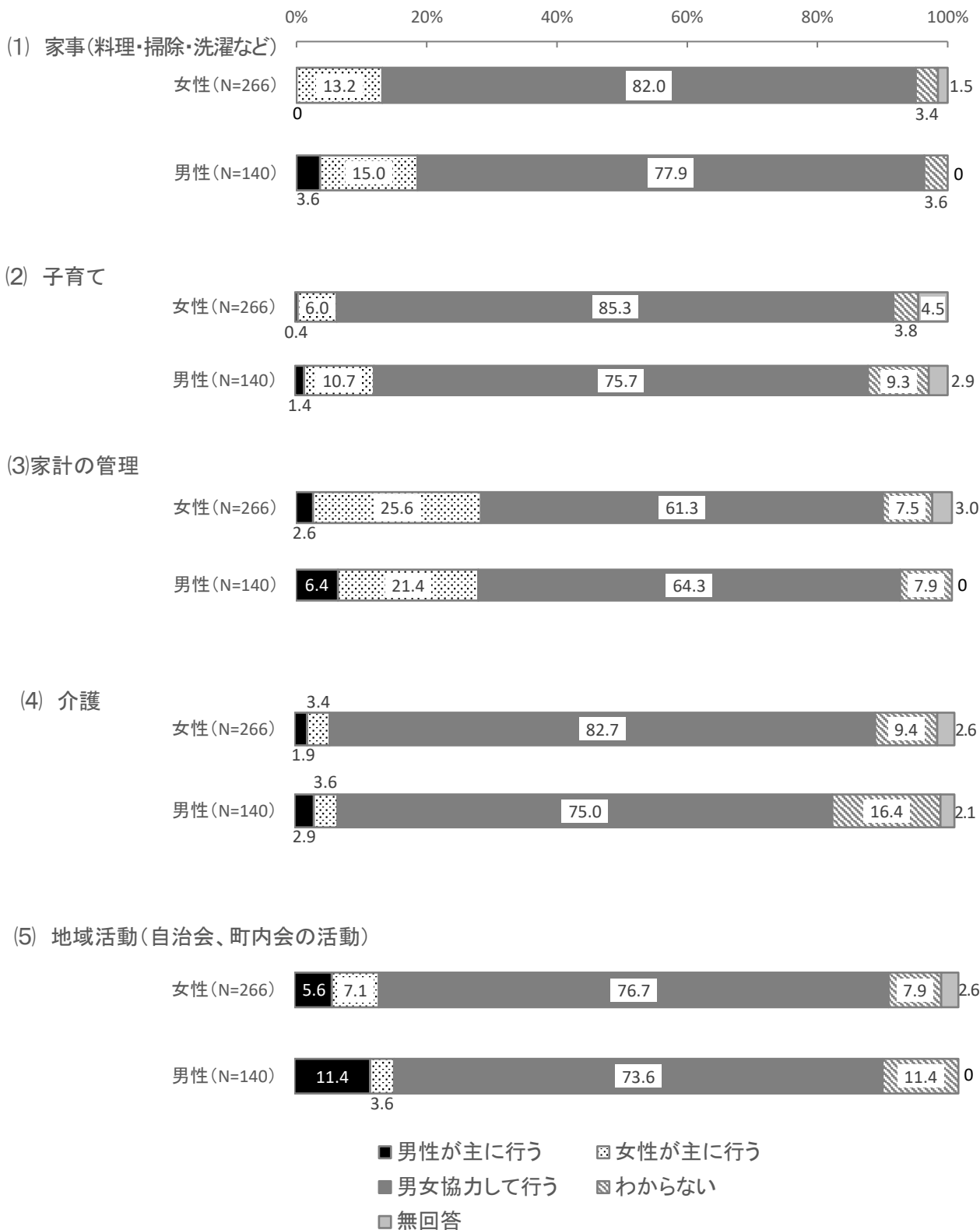
すべての項目で「男女協力して行う」の割合が6割を超え、最も高くなっています。

「女性が主に行う」の割合が「男性が主に行う」より高い項目は「(1) 家事（料理・掃除・洗濯など）」
「(2)子育て」「(3)家計の管理」「(4)介護」、また「男性が主に行う」の割合が「女性が主に行う」より高い項目は「(5)地域活動（自治会、町内会の活動）」となっています。



男女別比較

性別で見ると、すべての項目で女性は男性に比べて「男女協力して行う」の割合が高くなっています。また、地域活動に関してのみ、女性は「女性が主に行う」、男性は「男性が主に行う」の割合が「男女協力して行う」の次に高くなっており、性別により差異が生じています。



問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

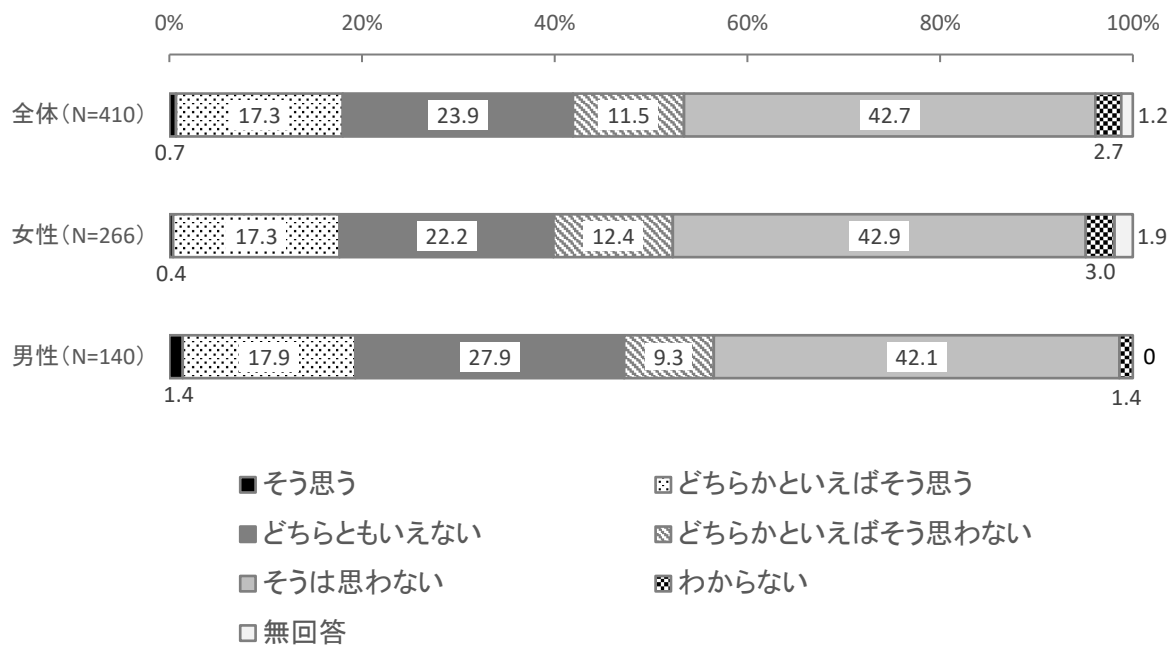
問3の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

男女の役割分担の考えについて、『賛成』が18%、『反対』が54.2%となっています。

性別でみると、女性では『賛成』が17.7%、『反対』が55.3%、男性では『賛成』が19.3%、『反対』が51.4%で女性の方が『賛成』は2%ほど低く、『反対』は4%ほど高くなっていますが、どちらも『賛成』より『反対』が多く、性別による差異はありません。



(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問4(1) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、現実の生き方はどれでしょうか。
(単数回答)

問4(1)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

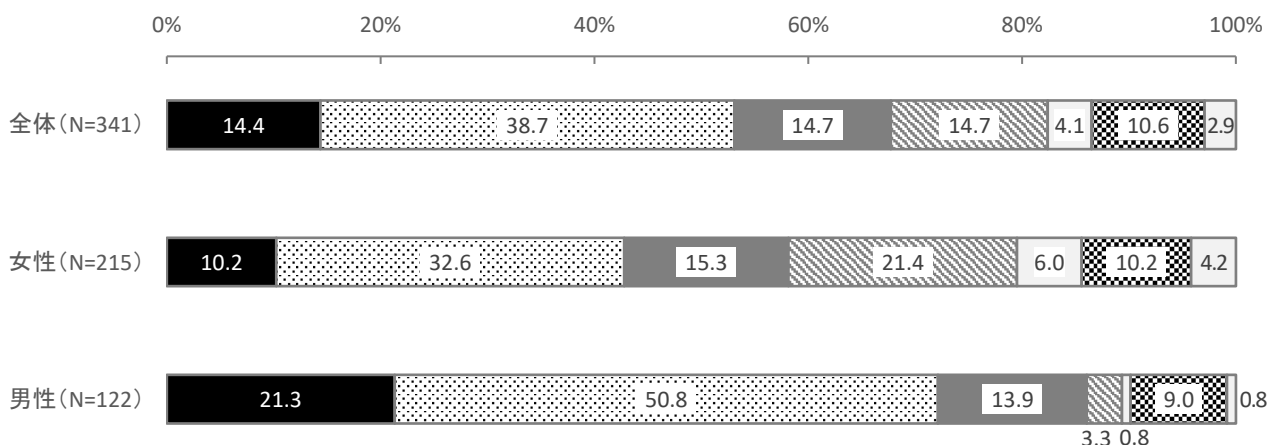
『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

現実の生き方は、『仕事優先』が53.1%と最も高く、次いで『家庭・地域優先』が18.8%、『両立』が14.7%となっています。

性別で見ると、女性では男性より『家庭・地域優先』『両立』が高く、男性では女性より『仕事優先』が高くなっています。『家庭・地域優先』と『仕事優先』について性別により大きな差異がみられます。



- 1. 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▣ 2. 家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 3. 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- 5. 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- ▣ 6. わからない
- 無回答

問4(2) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、望ましい生き方はどれでしょうか。(単数回答)

問4(2)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

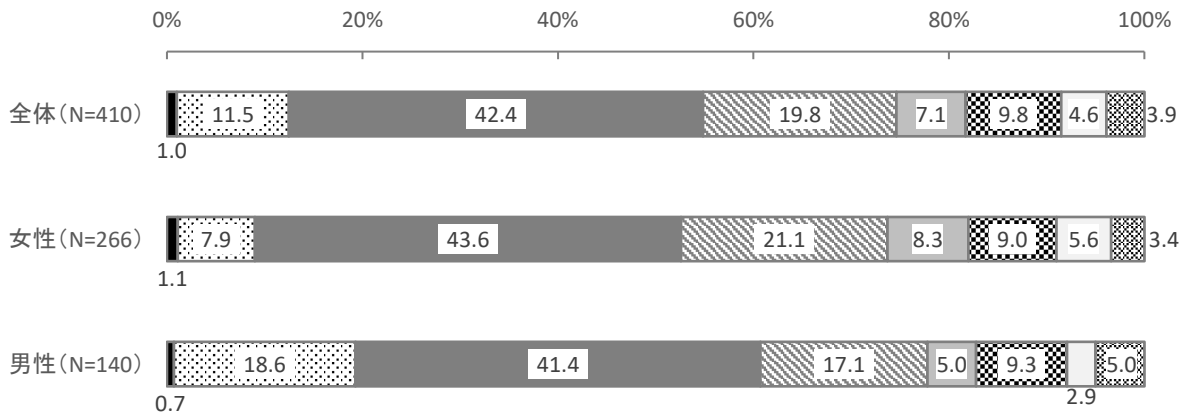
『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」と「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」を合算

望ましい生き方は、『両立』が42.4%と最も高く、次いで『家庭・地域優先』が26.9%、『仕事優先』が12.5%となっています。

性別でみると、女性では男性より『家庭・地域優先』が高く、男性では女性より『仕事優先』が高くなっています。

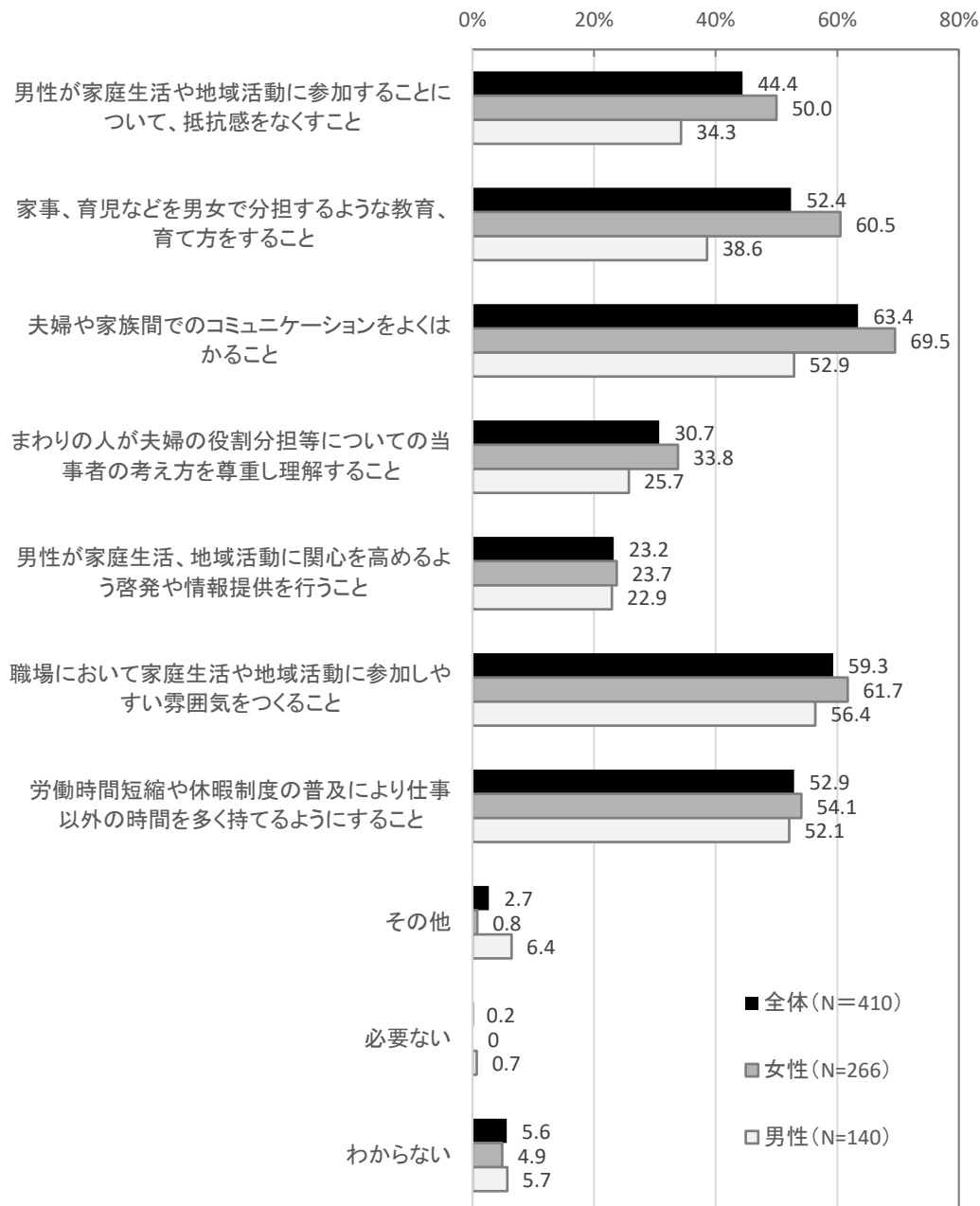


- 1.家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▣ 2.家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 3.家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 4.仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- 5.仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- ⊗ 6.わからない
- 7.無職、学生等仕事はしていない
- ⊗ 8.無回答

問5 あなたは、男性が女性とともに家庭生活（家事、育児、介護）、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

家庭生活や地域活動への男性の積極的参加に必要なことについては、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が63.4%と最も高く、次いで「職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること」が59.3%となっています。

性別でみると、男性は「職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること」が最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」となっています。



問6(1) 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。(単数回答)

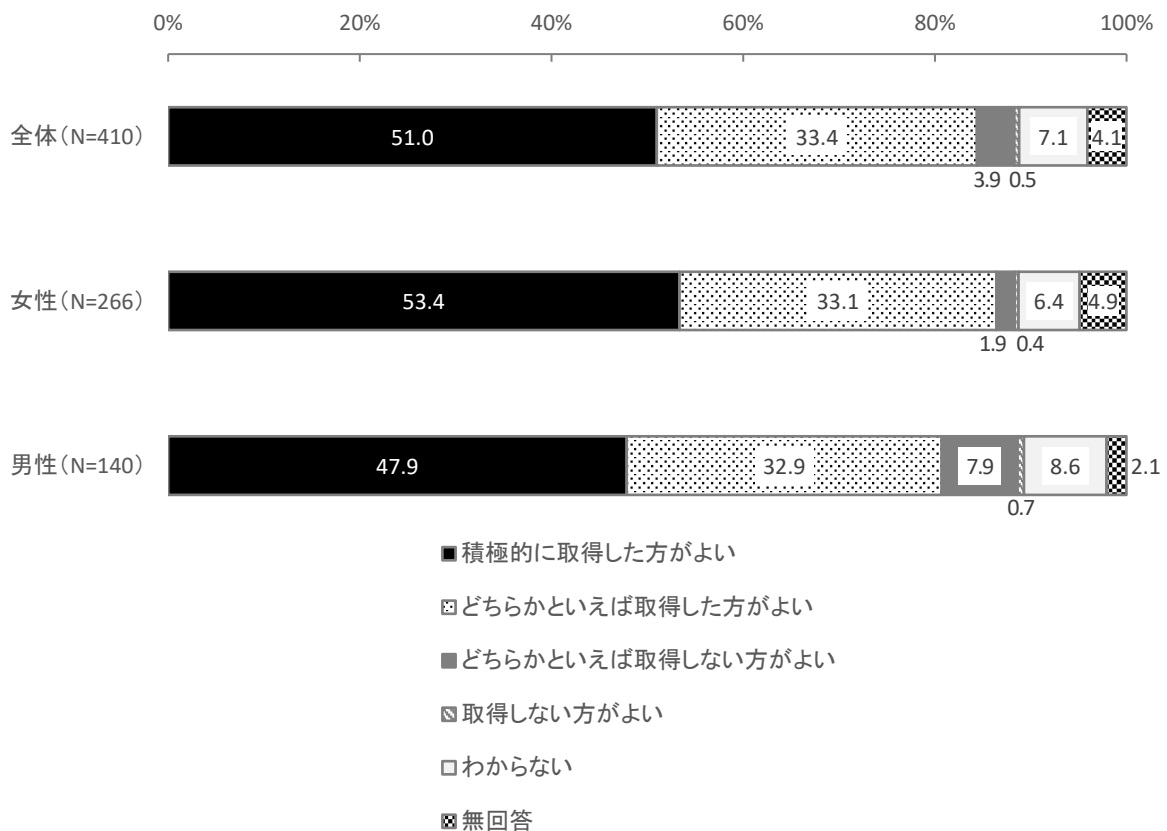
問6(1)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『取得した方がよい』…「積極的に取得した方がよい」と「どちらかといえば取得した方がよい」を合算

『取得しない方がよい』…「取得しない方がよい」と「どちらかといえば取得しない方がよい」を合算

男性の育児休業取得については、『取得した方がよい』が84.4%、『取得しない方がよい』が4.4%となっています。

性別でみると、男女ともに、『取得した方がよい』が80%を超えています。



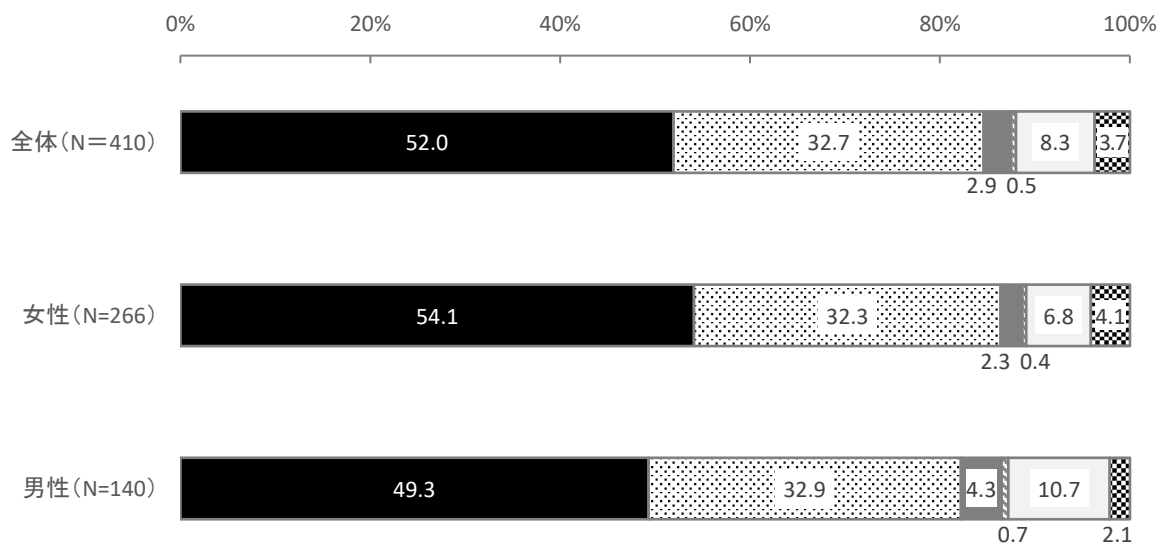
問6(2) 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が介護休業を取得することについてどう思いますか。(単数回答)

問6(2)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『取得した方がよい』…「積極的に取得した方がよい」と「どちらかといえば取得した方がよい」を合算
 『取得しない方がよい』…「取得しない方がよい」と「どちらかといえば取得しない方がよい」を合算

男性の介護休業取得については、『取得した方がよい』が84.7%、『取得しない方がよい』が3.4%となっています。

性別でみると、男女ともに『取得した方がよい』が80%を超えています。

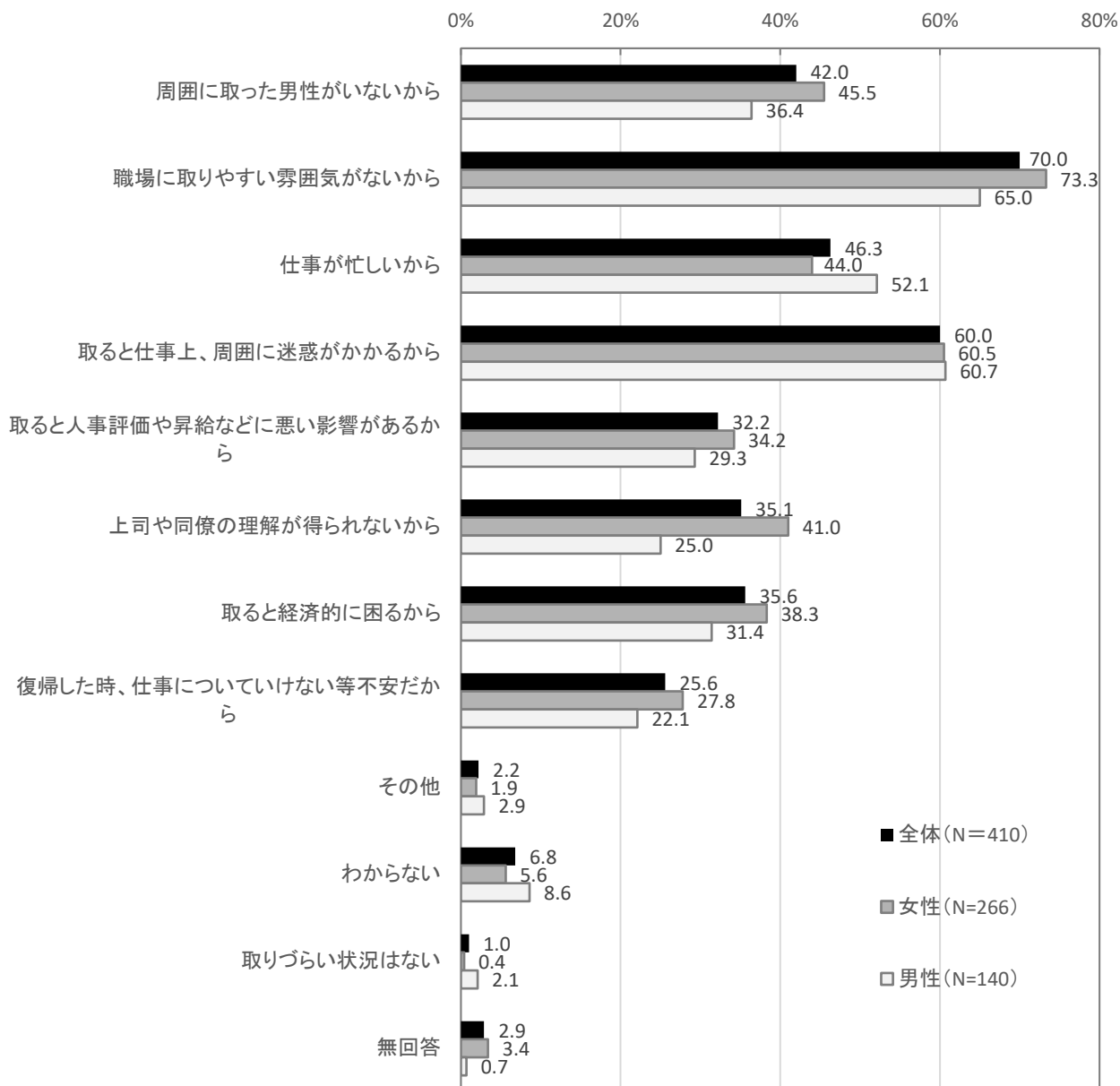


- 介護休業 積極的に取得した方がよい
- ▣ 介護休業 どちらかといえば取得した方がよい
- 介護休業 どちらかといえば取得しない方がよい
- ▣ 介護休業 取得しない方がよい
- 介護休業 わからない
- ⊠ 介護休業 無回答

問7 あなたは、男性が育児休業・介護休業を取りづらい理由は何だと思えますか。(複数回答)

男性が各制度を利用しにくい理由は、「職場に取りやすい雰囲気がないから」が70.0%と最も高く、次いで「取ると仕事上、周囲に迷惑がかかるから」が60.0%となっています。

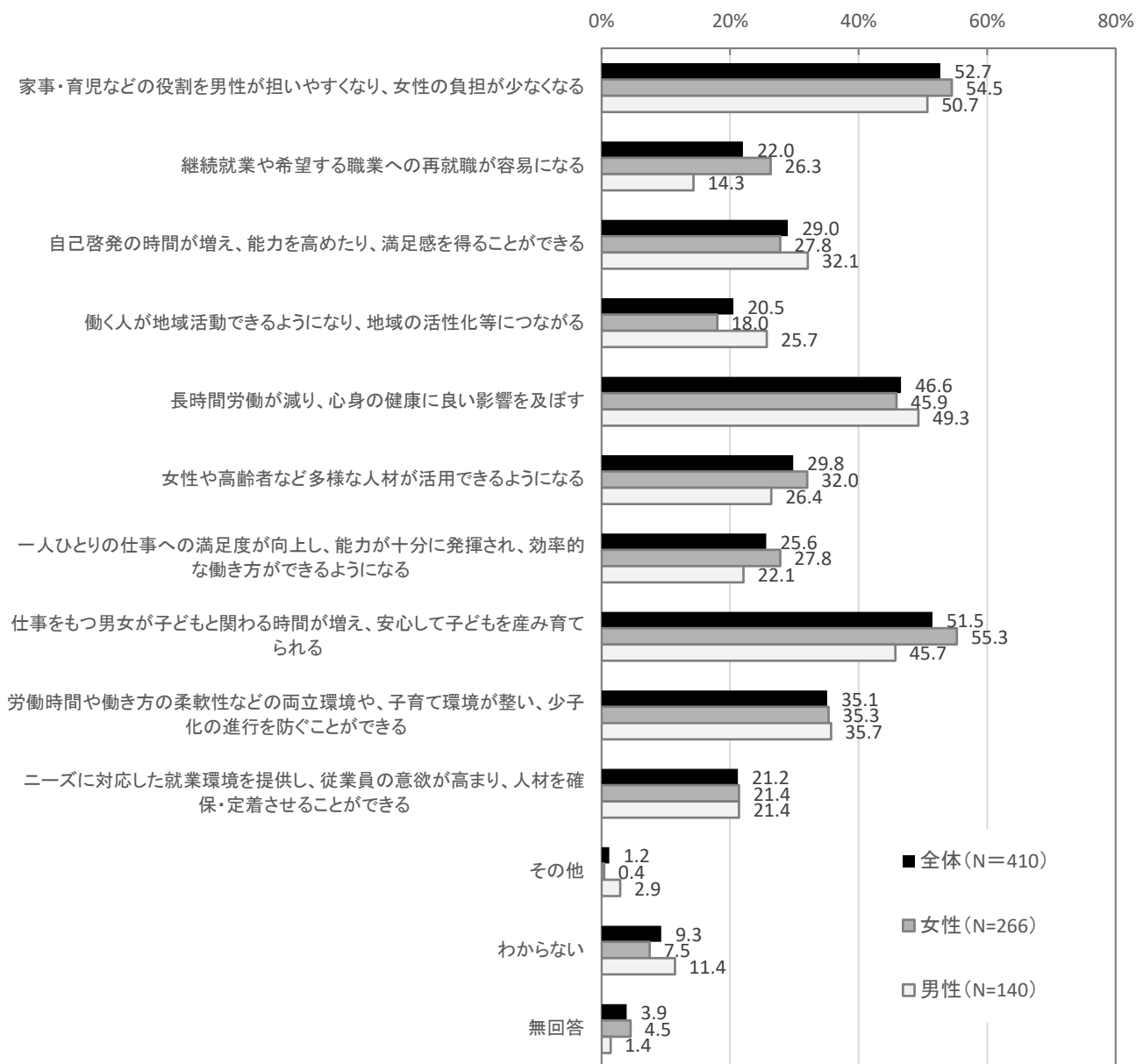
性別で見ると、女性では、「周囲に取った男性がいないから」が3番目に高いが、男性は「仕事が忙しいから」が3番目に高くなっています。



問8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進することの効果は何だと思えますか。(複数回答)

ワーク・ライフ・バランスの推進がもたらす効果については、「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が52.7%と最も高く、次いで「仕事をもつ男女が子どもと関わる時間が増え、安心して子どもを産み育てられる」が51.5%となっています。

性別で見ると、女性では「仕事をもつ男女が子どもと関わる時間が増え、安心して子どもを産み育てられる」が55.3%と最も高く、次いで「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が54.5%となっています。男性では「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が50.7%と最も高く、次いで「長時間労働が減り、心身の健康に良い影響を及ぼす」が49.3%となっています。「継続就業や希望する職業への再就職が容易になる」は、性別により12%の差異があります。

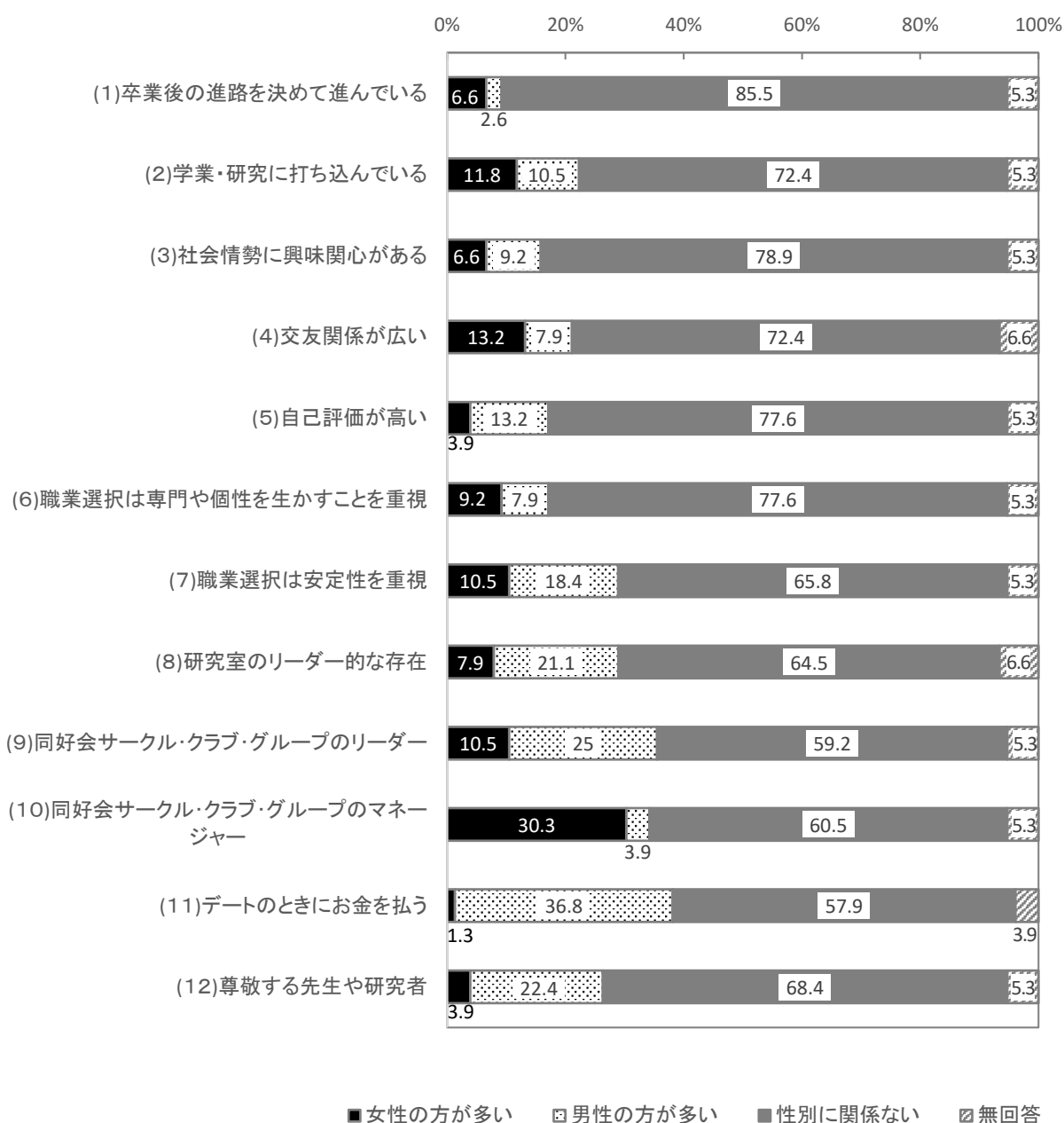


(3) 学生生活と職業の希望について

学生の方がお答えください

問9 あなたのまわりで、次のようなことは女性と男性のどちらに多いと思いますか。(単数回答)

「女性の方が多い」こととして「(10) 同好会サークル・グループのマネージャー」で30.3%、「男性の方が多い」こととして「(11) デートのときにお金を払う」で36.8%となっています。「性別に関係ない」は「(1) 卒業後の進路を決めて進んでいる」、「(2) 学業・研究に打ち込んでいる」、「(3) 社会情勢に興味関心がある」、「(4) 交友関係が広い」、「(5) 自己評価が高い」、「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」で70%を超えています。

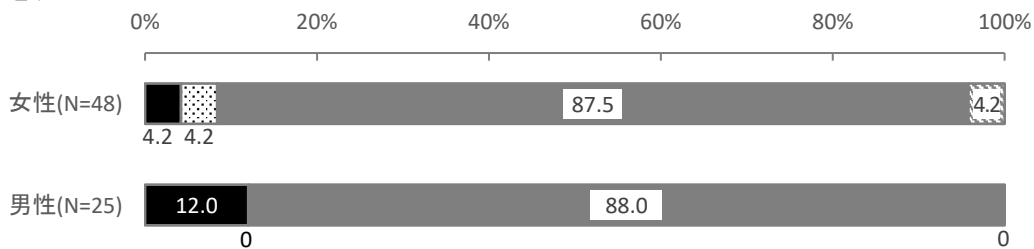


男女別比較

性別でみると、男性が女性より12%以上高くなっている項目は「女性の方が多い」において「(2) 学業・研究に打ち込んでいる」「(3) 社会情勢に興味関心がある」「(8) 研究室のリーダー的な存在」となっています。「性別に関係ない」において「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」「(7) 職業選択は安定性を重視」「(11) デートのときのお金を払う」となっています。

女性が男性より12%以上高くなっている項目は「男性の方が多い」において「(8) 研究室のリーダー的な存在」「(9) 同好会サークル・クラブ・グループのリーダー」「(11) デートのときにお金を払う」となっています。

(1)卒業後の進路を決めて進んでいる



(2)学業・研究に打ち込んでいる



(3)社会情勢に興味関心がある



(4)交友関係が広い

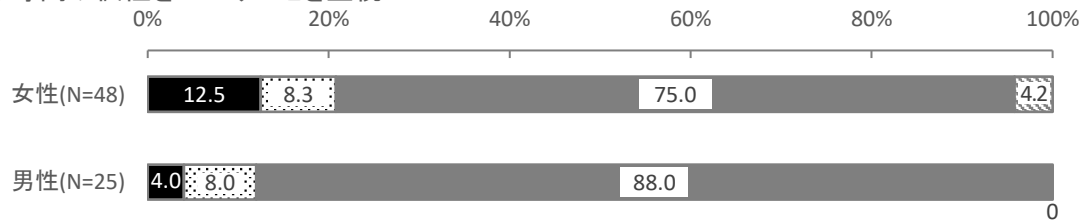


(5)自己評価が高い



■ 女性の方が多い □ 男性の方が多い ■ 性別に関係ない ▨ 無回答

(6)職業選択は専門や個性を生かすことを重視



(7)職業選択は安定性を重視



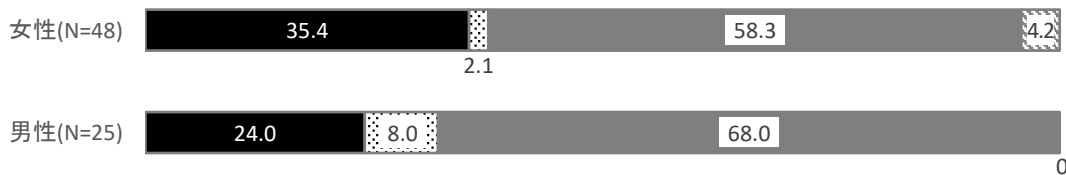
(8)研究室のリーダー的な存在



(9)同好会サークル・クラブ・グループのリーダー



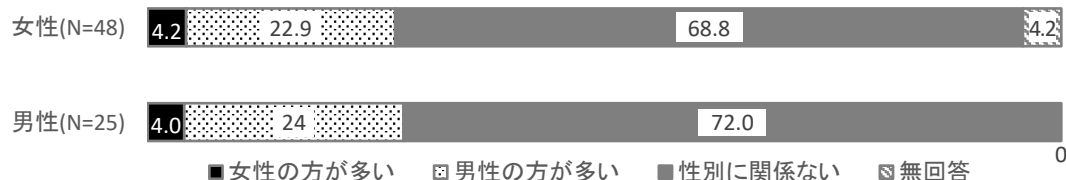
(10)同好会サークル・クラブ・グループのマネージャー



(11)デートのときにお金を払う



(12)尊敬する先生や研究者

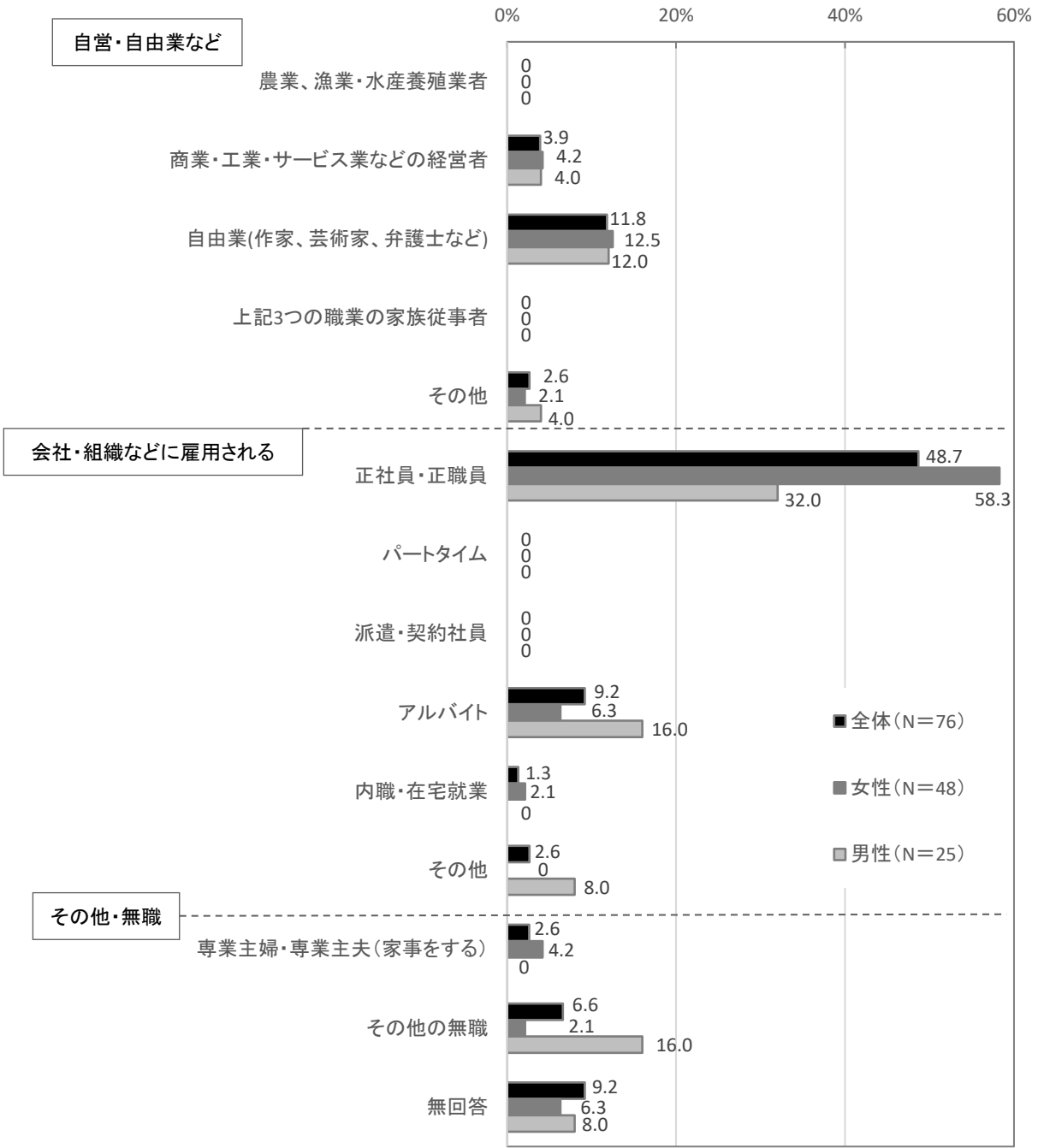


■ 女性の方が多い □ 男性の方が多い ■ 性別に関係ない ▨ 無回答

問10 あなたが希望する職業や働き方はどれにあたりますか。(単数回答)

希望の職業や働き方については、「正社員・正職員」が48.7%と最も高く、次いで「自由業（作家、芸術家、弁護士など）」が11.8%となっています。

性別でみると、男女ともに「正社員・正職員」が最も高く、次いで女性は「自由業（作家、芸術家、弁護士など）」、男性は「アルバイト」となっております。



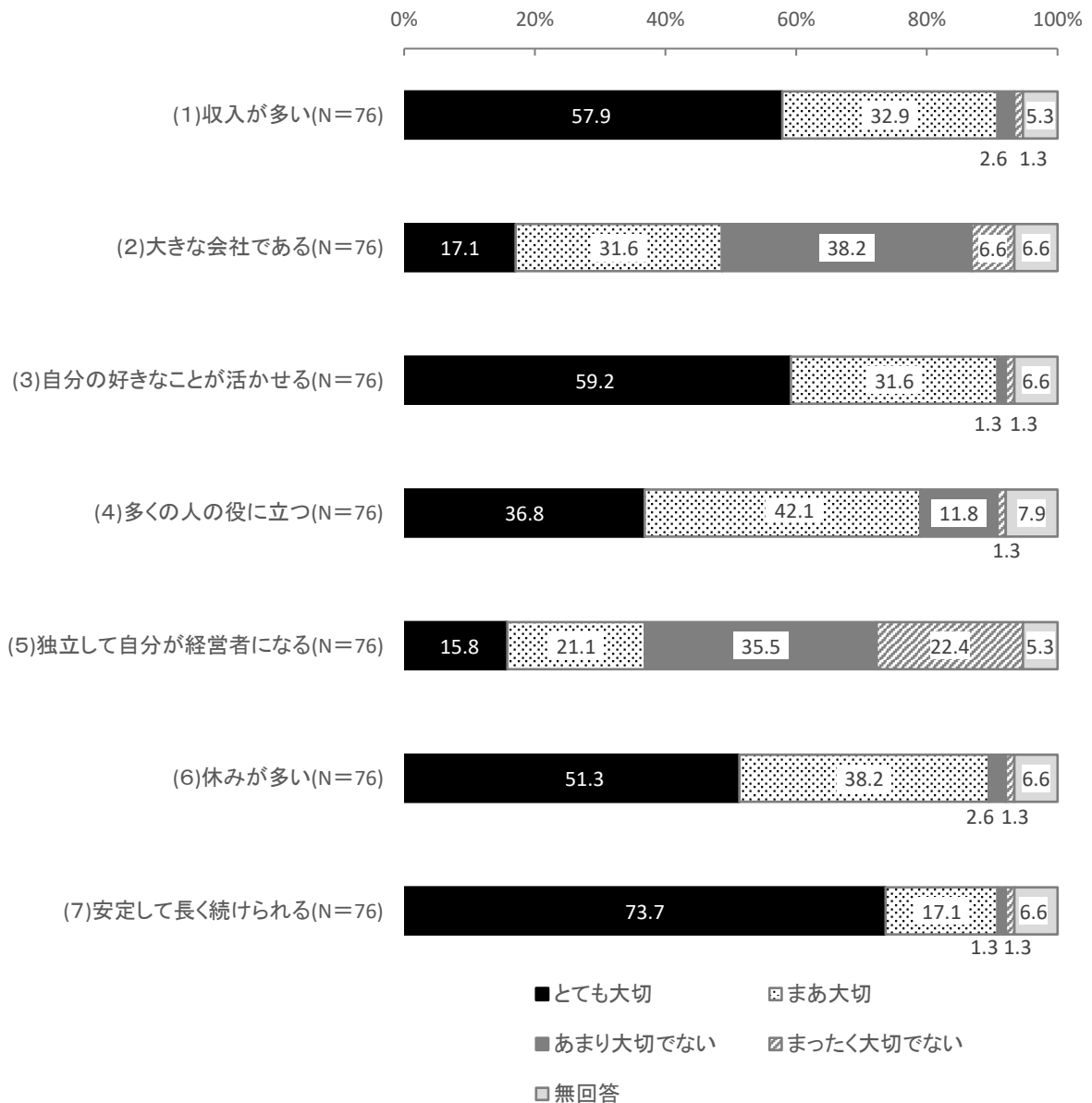
問 1 1 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(単数回答)

問 10 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

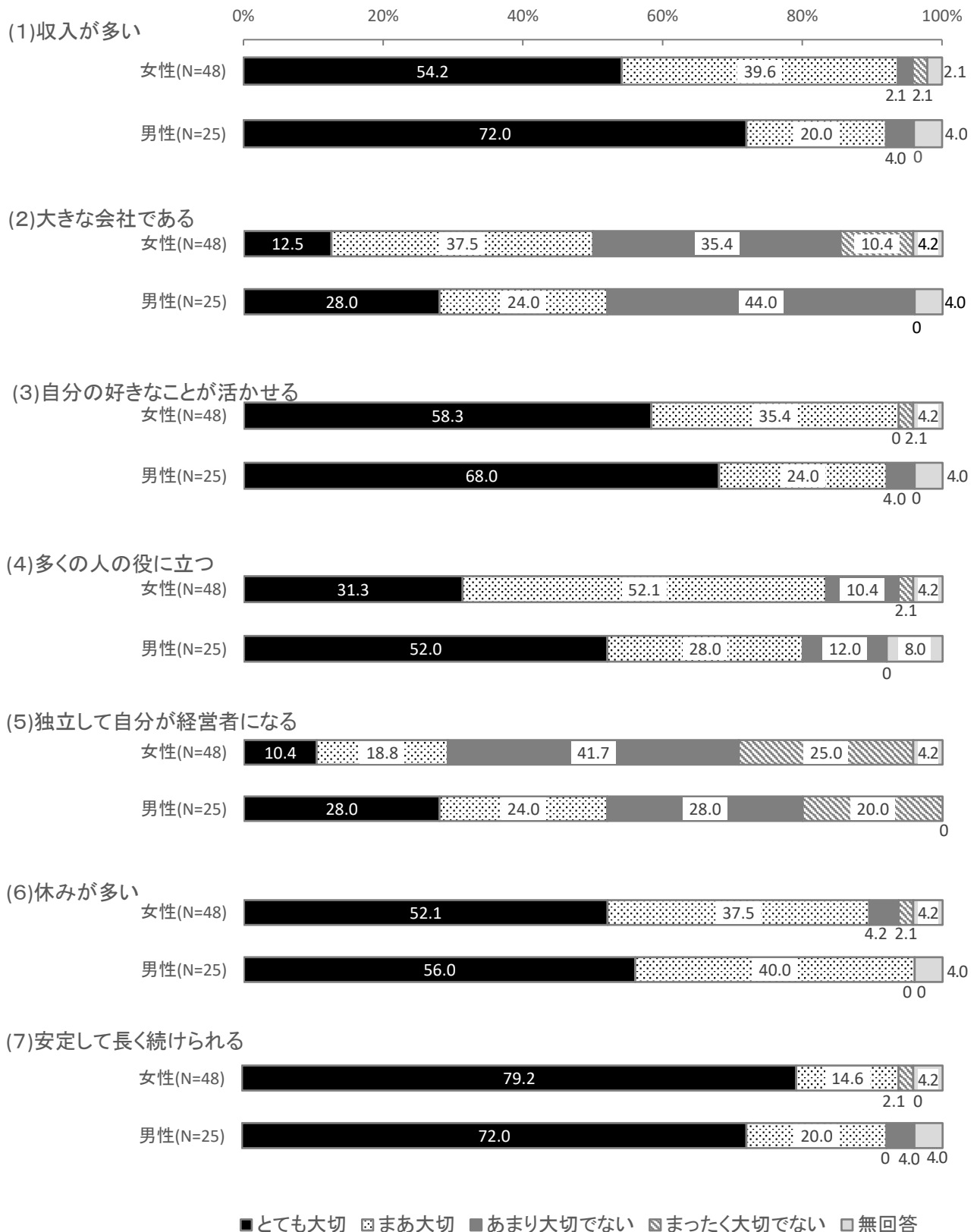
『大切にない』…「まったく大切にない」と「あまり大切にない」を合算

職業を選択する上で、『大切』と考えることについては、「(1) 収入が多い」、「(3) 自分の好きなことが活かせる」、「(7) 安定して長く続けられる」で90%を超えています。『大切にない』と考えることについては、「(5) 独立して自分が経営者になる」で50%を超えています。



男女別比較

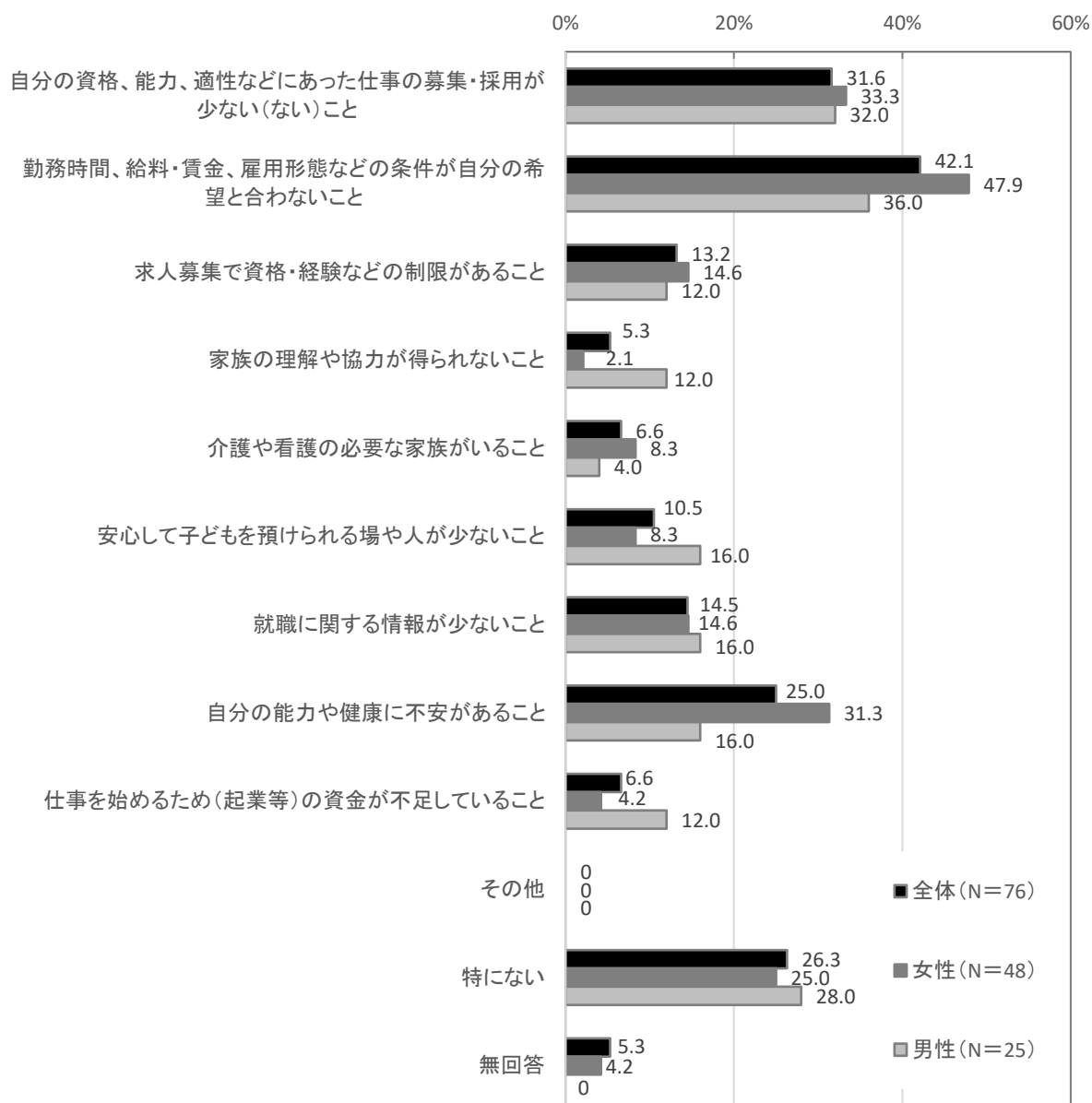
性別でみると、職業を選択する上で、『大切』と考える割合が最も高い項目は、女性は「(1) 収入が多い」「(7) 安定して長く続けられる」が最も高く、男性は「(6) 休みが多い」となっています。また、性別により20%以上の差異がある項目は、「(5) 独立して自分が経営者になる」で22.8%女性よりも男性が高くなっています。



問12 あなたは、希望する職業や働き方をする上で、何か不安がありますか。(複数回答)

希望の職業や働き方に関する不安は、「勤務時間、給料・賃金、雇用形態などの条件が自分の希望と合わないこと」が42.1%と最も高く、次いで「自分の資格、能力、適性などにあった仕事の募集・採用が少ない(ない)こと」が31.6%となっています。

性別でみると、女性が男性より10%以上高いのは「勤務時間、給料・賃金、雇用形態などの条件が自分の希望と合わないこと」、「自分の能力や健康に不安があること」、男性が女性より約10%高いのは「家族の理解や協力が得られないこと」となっています。

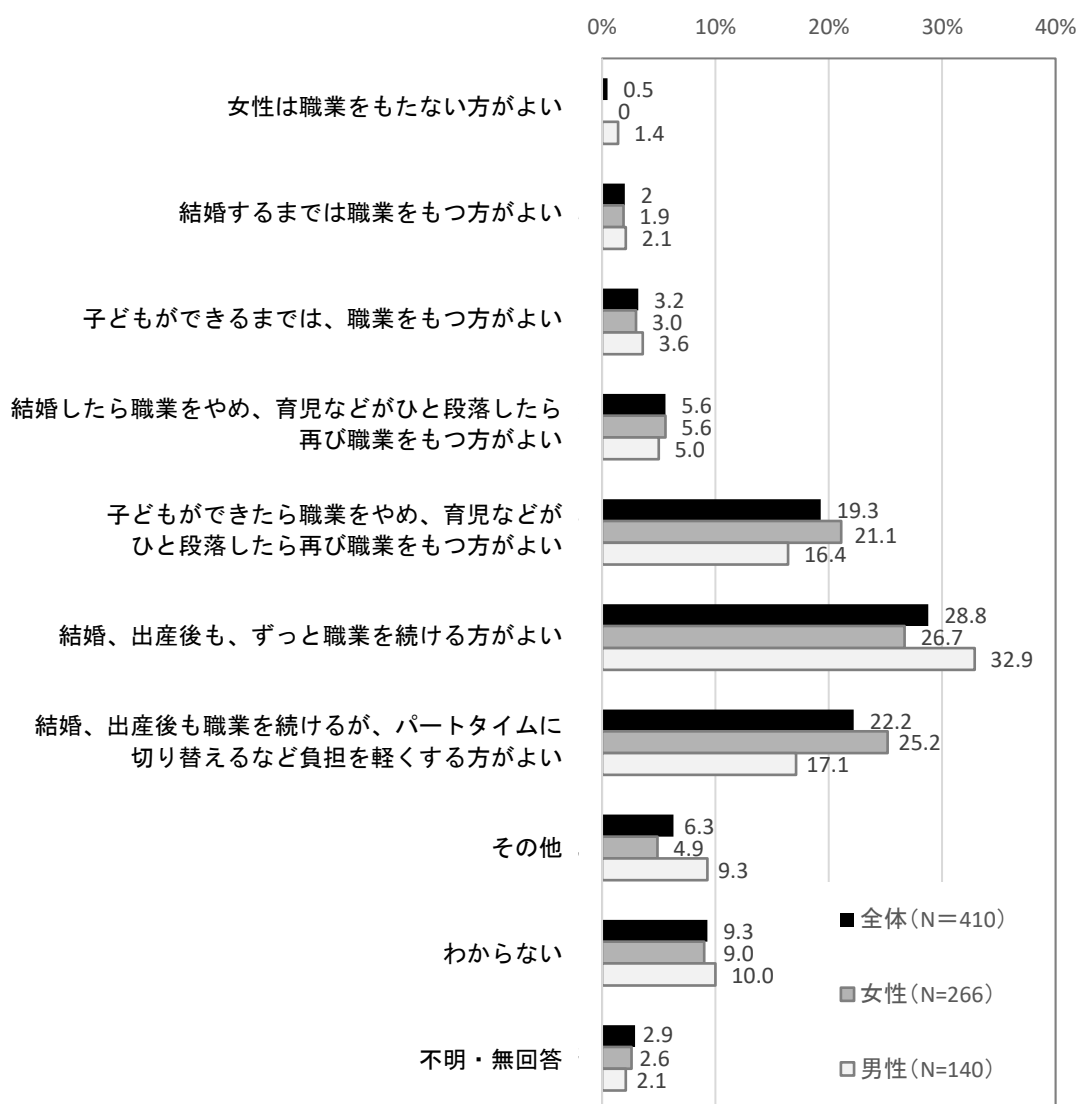


(4) 女性の社会参画について

問13 あなたは、女性の職業と生活設計について、どのように考えますか。(単数回答)

女性の職業と生活設計については、「結婚、出産後も、ずっと職業を続ける方がよい」が28.8%と最も高く、次いで「結婚、出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が22.2%となっています。

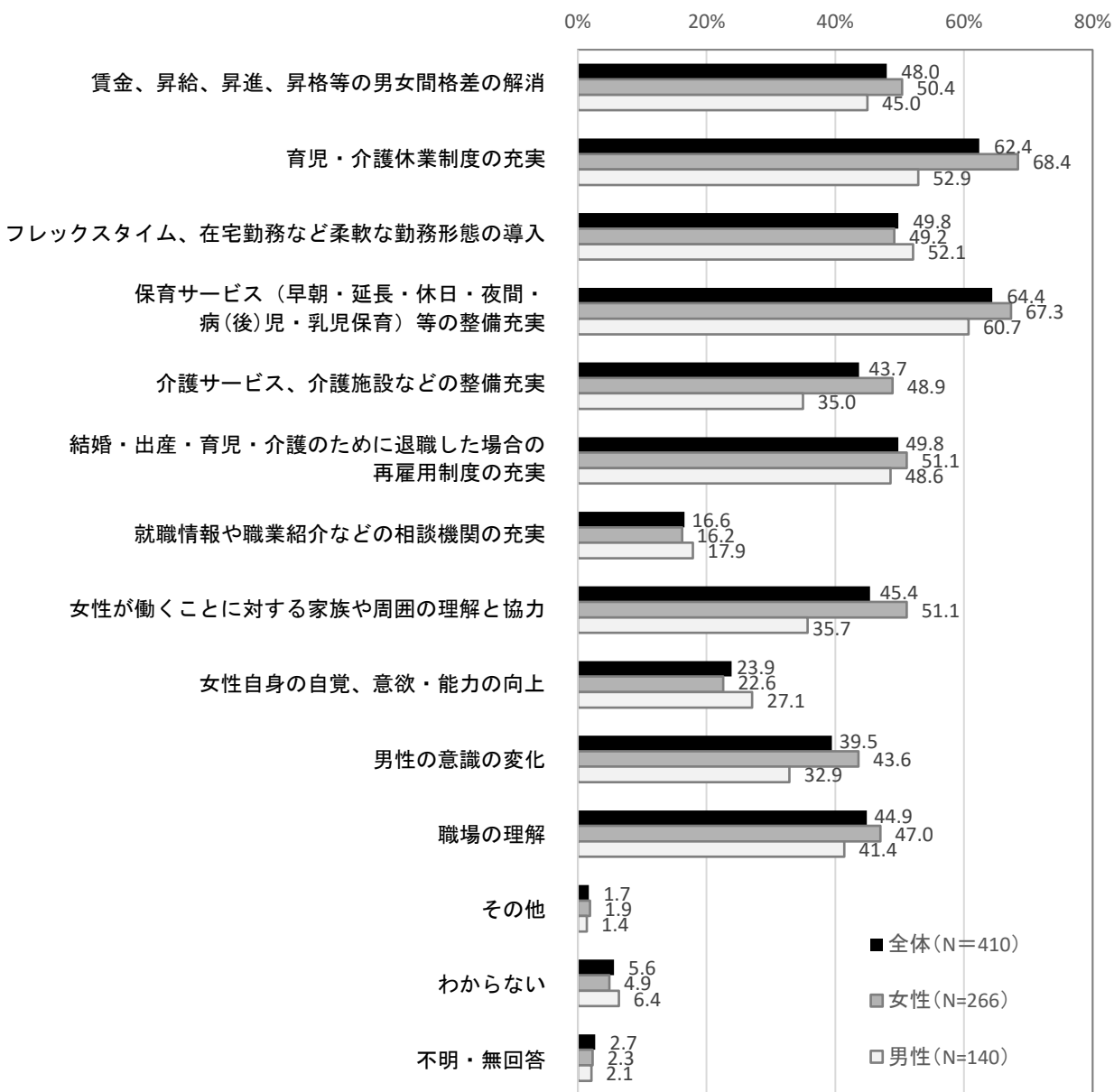
性別でみると、男女ともに「結婚、出産後も、ずっと職業を続ける方がよい」が最も高く、次いで「結婚、出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」となっています。



問14 あなたは、女性が働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

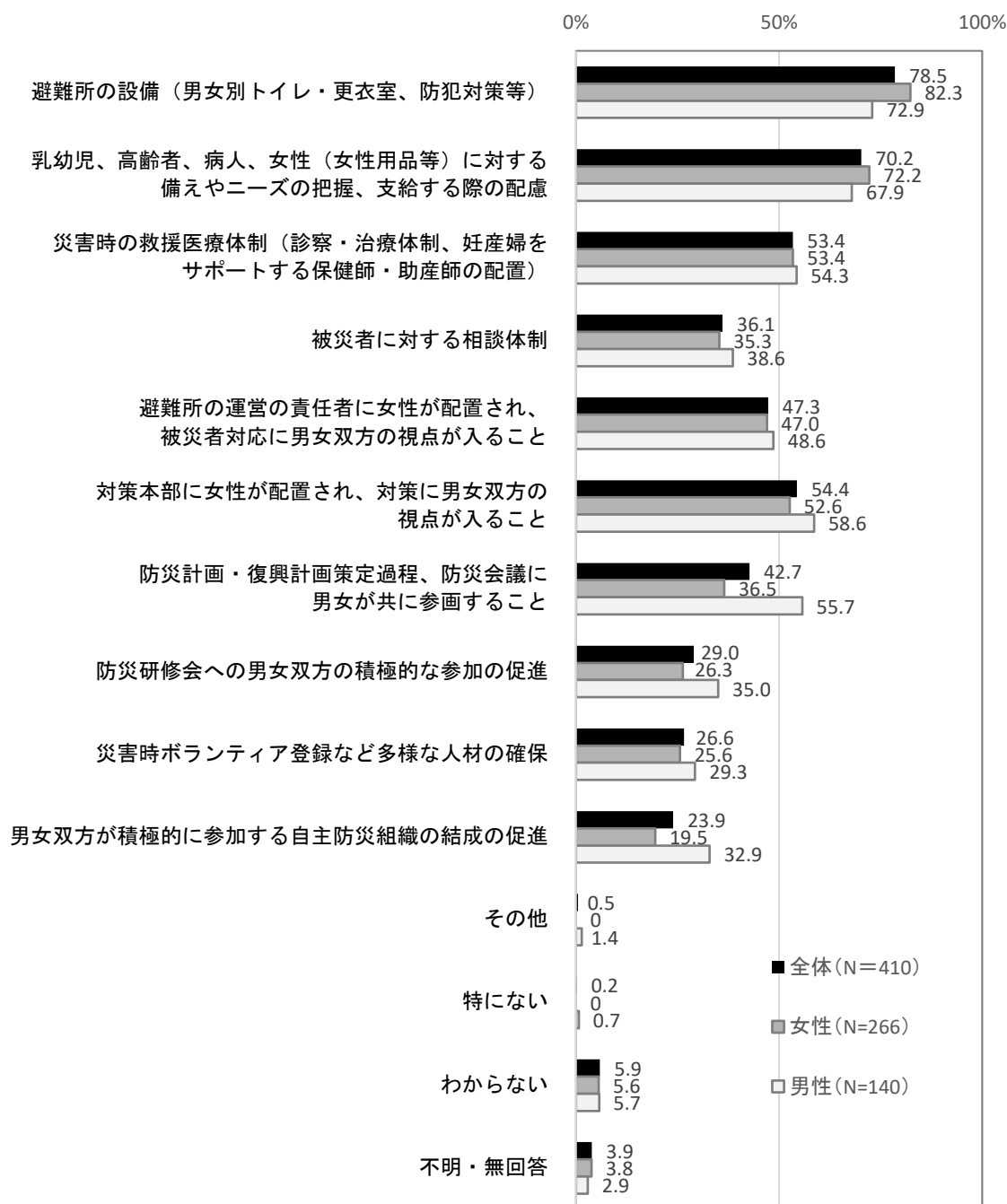
女性が働き続けるために必要なことについては、「保育サービス（早朝・延長・休日・夜間・病(後)児・乳児保育）等の整備充実」が64.4%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度の充実」が62.4%となっています。

性別で見ると、女性では「育児・介護休業制度の充実」が68.4%と最も高く、次いで「保育サービス（早朝・延長・休日・夜間・病(後)児・乳児保育）等の整備充実」が67.3%となっています。男性では、「保育サービス（早朝・延長・休日・夜間・病(後)児・乳児保育）等の整備充実」が60.7%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度の充実」が52.9%となっています。また、性別により「育児・介護休業制度の充実」では15.5%、「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」では15.4%女性の方が高くなっており差異があります。



問15 東日本大震災以降、防災、災害、復興の場において、男女の視点の違いに配慮した取り組みが必要と考えられるようになってきました。あなたは、防災活動に関して男女共同参画の視点を活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

防災活動に必要な取り組みは、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が78.5%と最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が70.2%となっています。性別で見ると、男性、女性で必要な取り組みの上位2項目は一致しますが、3項目目は女性は、「災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）」が高く、男性は「対策本部に女性が配置され、対策に男女双方の視点が入ること」が高く差異があります。

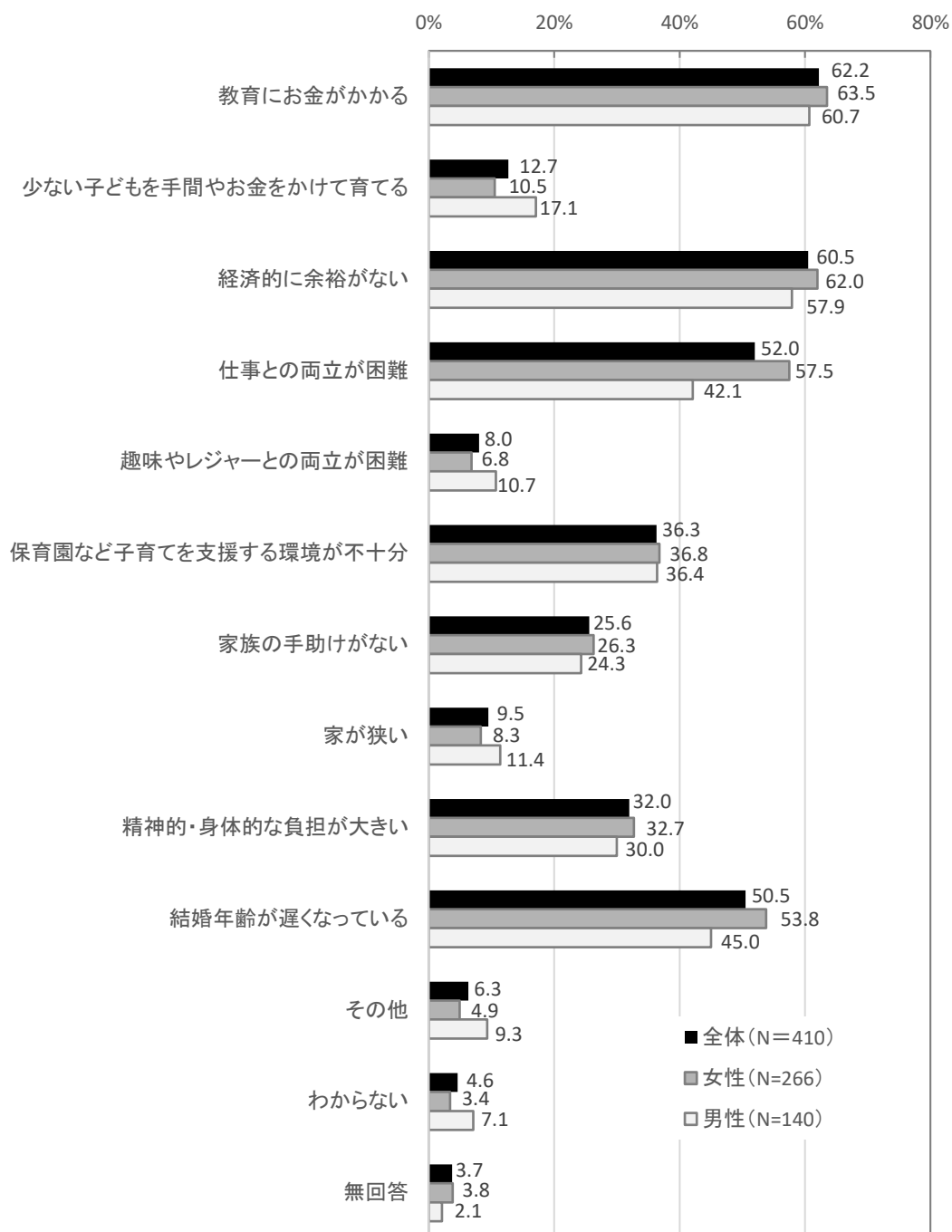


(5) 少子化について

問16 あなたは、子どもの数が少なくなる原因はどのようなことだと思いますか。(複数回答)

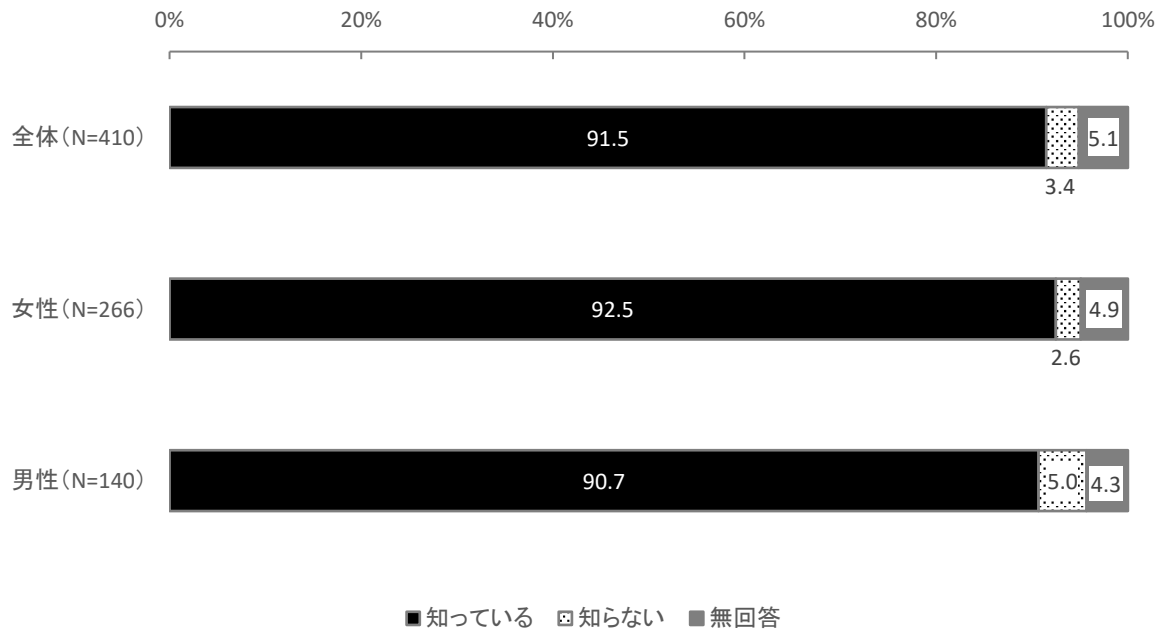
少子化の原因は、「教育にお金がかかる」が62.2%と最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が60.5%、「仕事との両立が困難」が52.0%となっています。

性別でみると、女性では「仕事との両立が困難」が男性より15.4%高くなっており、性別により差異があります。



問17 あなたは女性の妊娠について、年齢が高くなるにつれ、妊娠しにくくなったり、流産する可能性が高くなるとともに、母体への危険リスクが高まることを知っていますか。(単数回答)

高齢出産のリスクについては、「知っている」が91.5%、「知らない」が3.4%となっています。性別で見ると、男女とも「知っている」が90%を超えています。



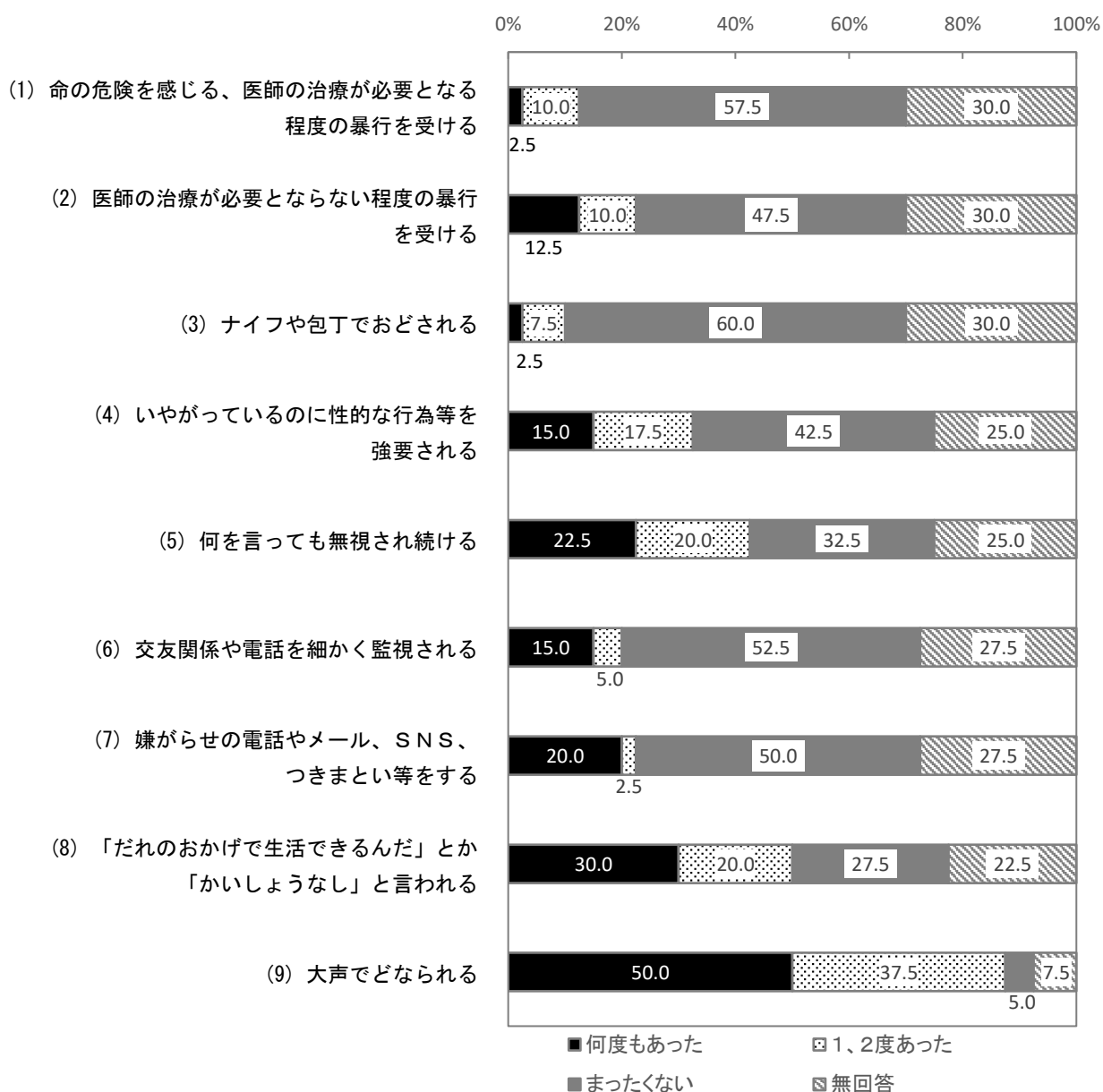
(6) 配偶者などからの暴力（DV）やセクハラについて

問18 あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、恋人などから、次のようなことをされたことがありますか。（単数回答）

DVの被害経験については、「ある」は9.8%、「ない」は86.3%です。

DVの被害経験が「ある」と答えた方の中で、されたことが最も多いのは「(9) 大声でどなられる」87.5%で、「(8) だれのおかげで生活できるんだ」は50%となっています。

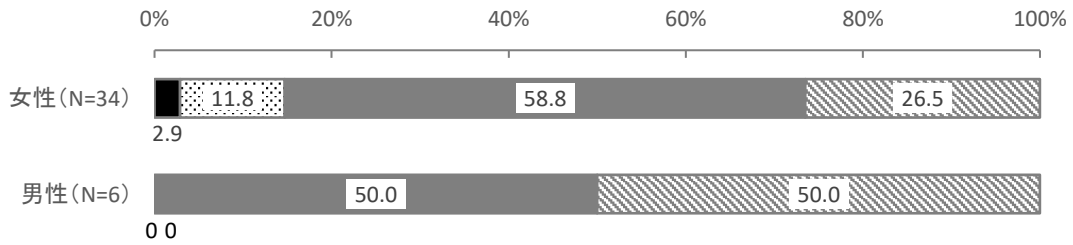
全体数での数値割合とすると、「(9) 大声でどなられる」は8.5%、「(8) だれのおかげで生活できるんだ」は4.9%となっています。その他の項目は「まったくない」が一番高くなっています。また、「(1) 命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける」という被害者が1.2%存在しています。



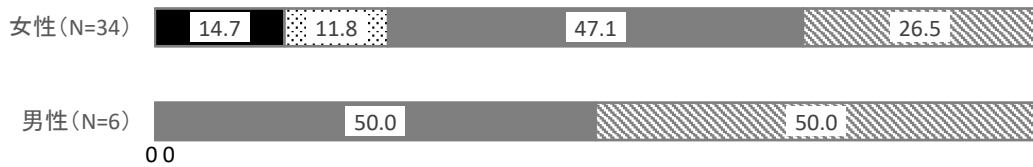
男女別比較

性別で見ると、すべて女性が男性の割合より高くなっており、「(5) 何を言っても無視され続ける」と「(9) 大声でどなられる」の項目のみ男性被害者が存在します。

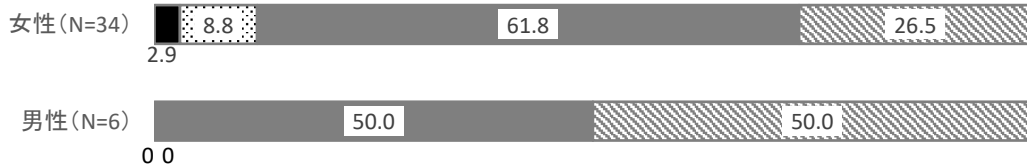
(1) 命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける



(2) 医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける



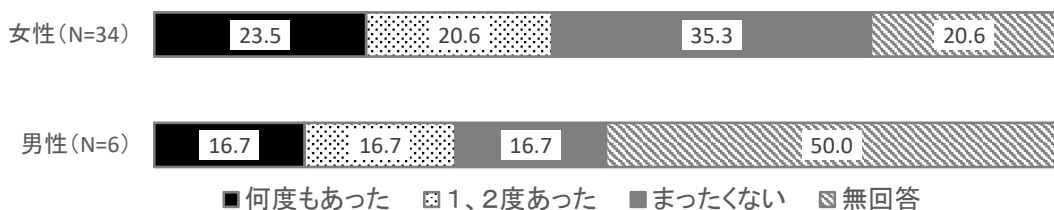
(3) ナイフや包丁でおどされる



(4) いやがっているのに性的な行為等を強要される

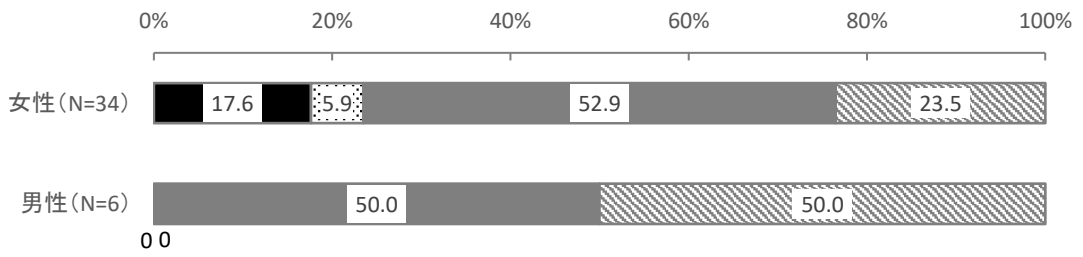


(5) 何を言っても無視され続ける

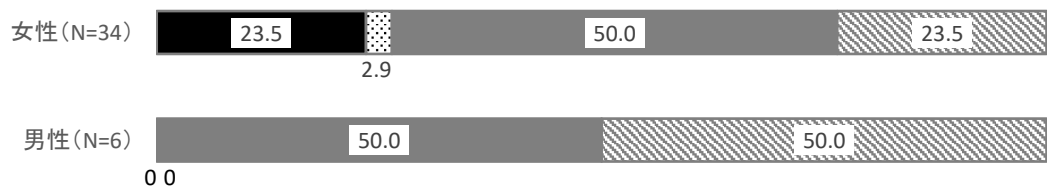


■ 何度もあった ▨ 1、2度あった ■ まったくない ▩ 無回答

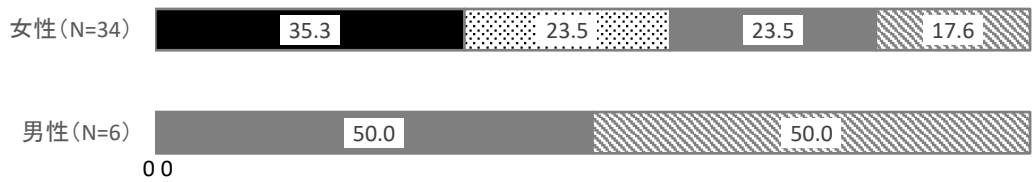
(6) 交友関係や電話を細かく監視されたり、電話の履歴等を無断で削除される



(7) 嫌がらせの電話やメール、SNS、つきまとい等ストーカー的なことをされる



(8) 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」等容姿や能力をけなされる



(9) 大声でどなられる

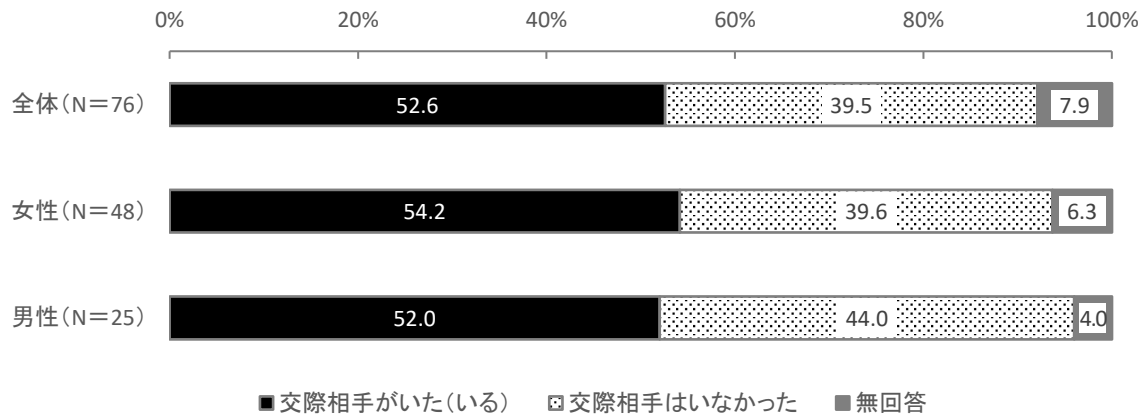


■ 何どもあった □ 1、2度あった ■ まったくない ▨ 無回答

問18-2 あなたには、10代からこれまでに交際相手（配偶者含む）がいましたか。（単数回答）

交際相手の存在については、「交際相手があった（いる）」が52.6%、「交際相手はいなかった」が39.5%となっています。

性別でみると、「交際相手があった（いる）」が女性では54.2%、男性では52.0%となっています。



【問 18-2 で「交際相手がいいた（いる）」と回答した方のみ】

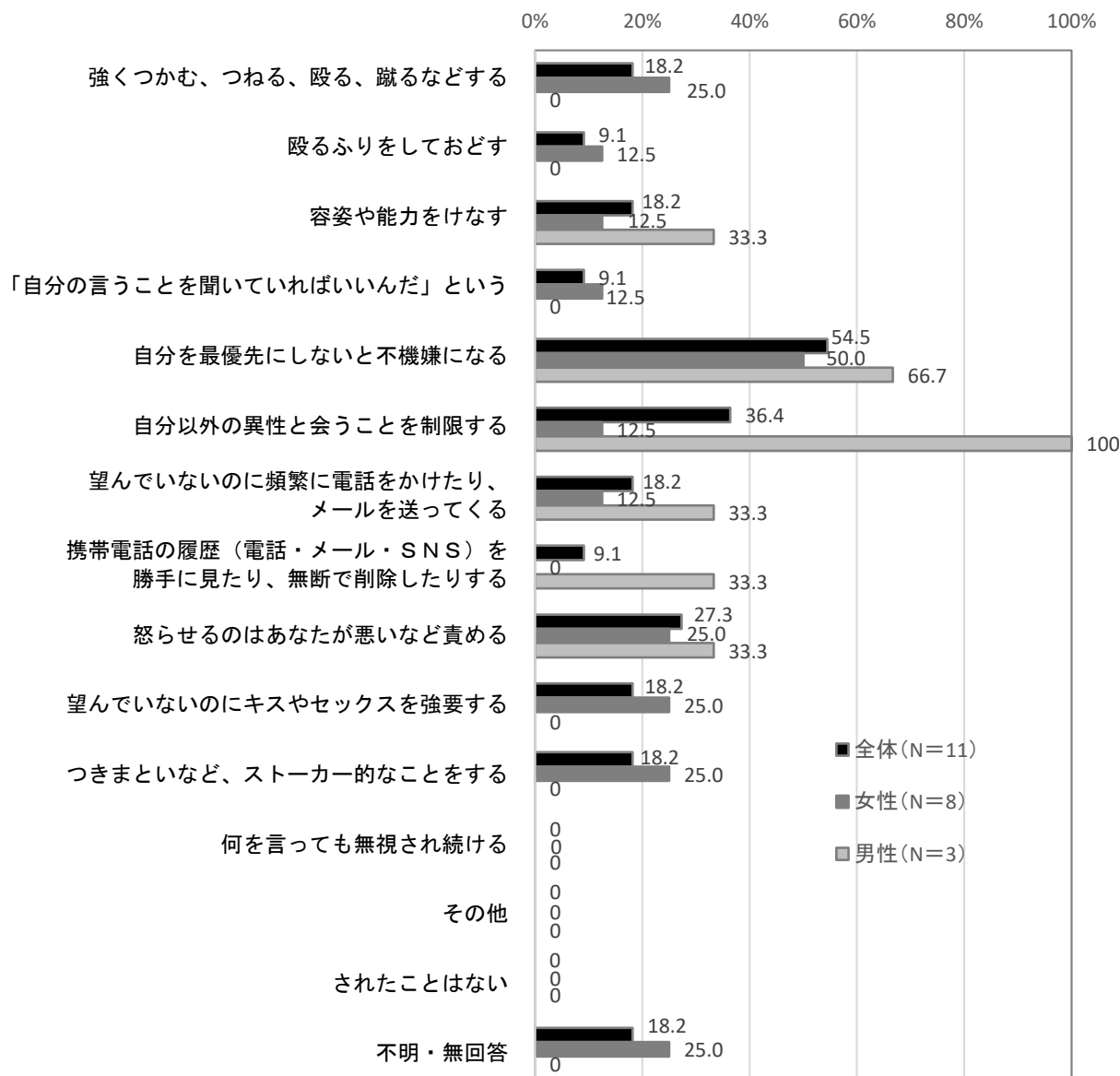
問 18-3 あなたは、10代からこれまでに交際相手から次のようなことをされたことがありますか。
(複数回答)

DV被害については、「されたことはない」が72.5%、「されたことがある」は27.5%となっています。

1 10代にあったこと

10代の被害経験で、最も多いのは「5 自分を最優先にしないと不機嫌になる」が54.5%と高く、次いで「6 自分以外の異性と会うことを制限する」が36.4%となっています。また、全くない被害経験は「12 何を言っても無視し続ける」「13 その他」となっています。

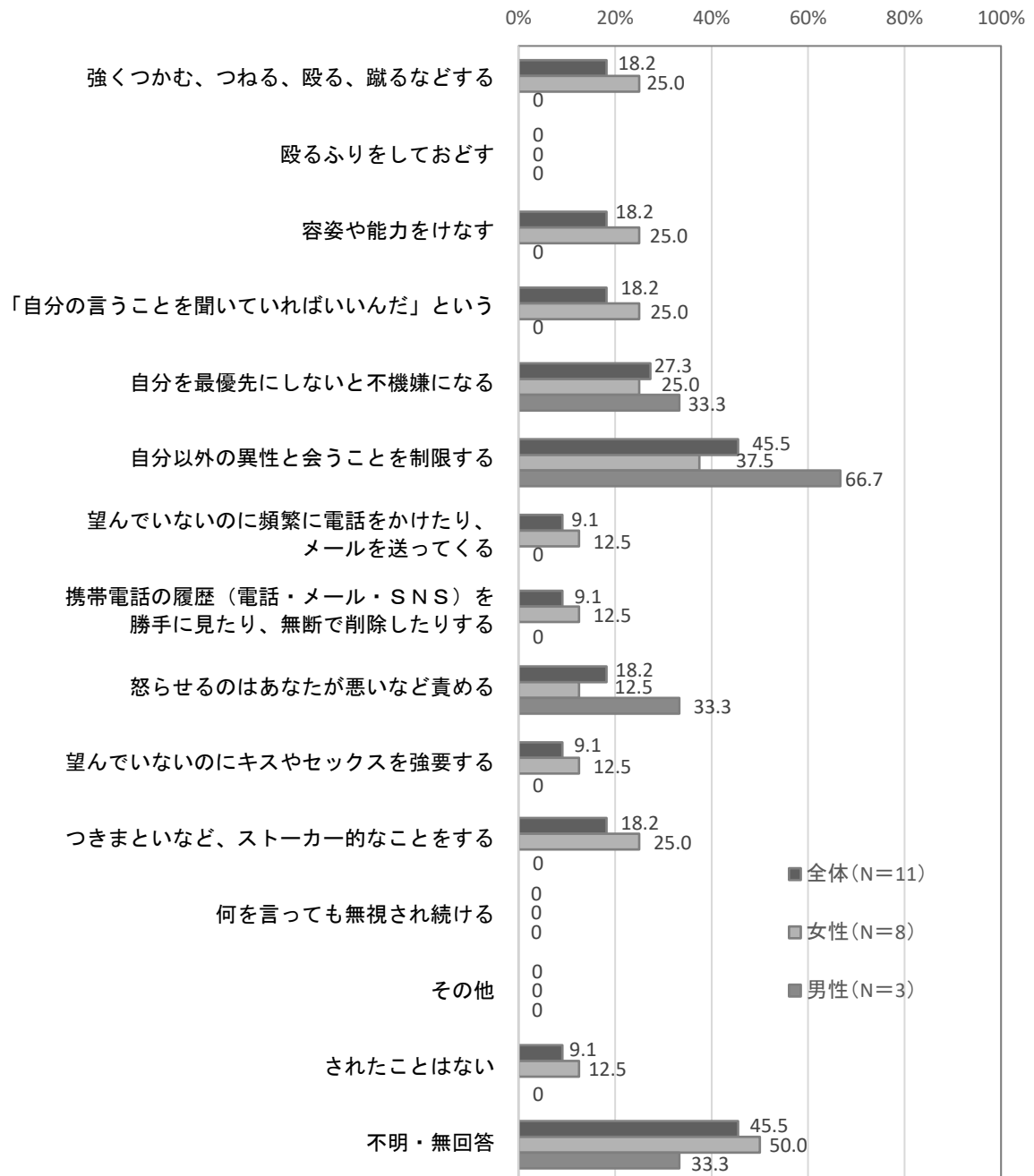
性別でみると、女性は、「8 携帯電話の履歴（電話・メール・LINE等）を勝手に見たり、無断で削除したりする」「12 何を言っても無視し続ける」以外のすべての項目において被害経験が報告されています。一方、男性では「6 自分以外の異性と会うことを制限する」では被害経験が全員から報告されています。



2 20代にあったこと

20代のDV被害経験については、「6 自分以外の異性と会うことを制限する」が45.5%と最も高く、次いで「5 自分を最優先にしないと不機嫌になる」が27.3%となっています。また、全くない被害経験は「2 殴るふりをしておどす」「12 何を言っても無視し続ける」「13 その他」となっています。

性別でみると、男性は、「5 自分を最優先にしないと不機嫌になる」「6 自分以外の異性と会うことを制限する」「9 怒らせるのはあなたが悪いなど責める」において被害経験が報告されています。

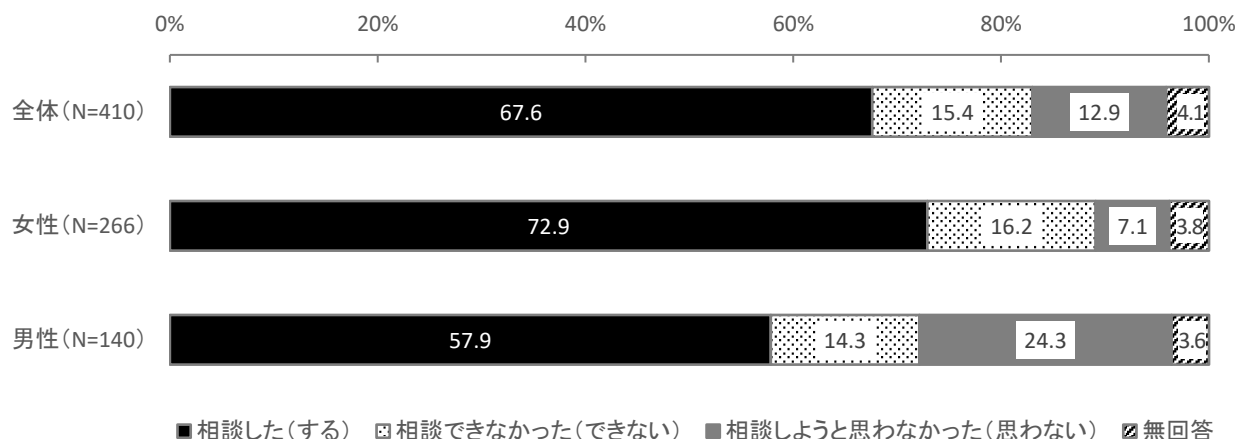


**問19 夫や妻、恋人などから、暴力等を受けた場合に誰かに打ち明けたり、相談しましたか。
暴力等を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。**

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

DVを受けた際に、「相談した(する)」が67.6%と最も高く、次いで「相談できなかった(できない)」が15.4%、「相談しようと思わなかった(思わない)」が12.9%となっています。

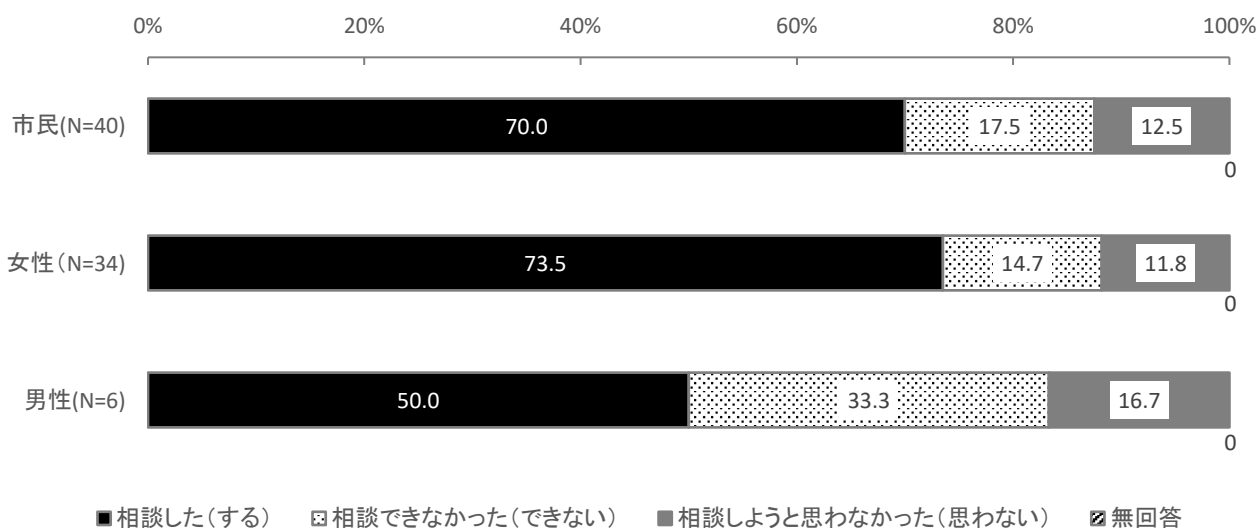
性別でみると、「相談した(する)」は女性が男性よりも15%高く、「相談しようと思わなかった(思わない)」は男性が女性よりも17.2%高くなっています。



問18でDVの経験についてあると回答した人のみ対象（DVを受けた想定を除く）

DVを受けた際に、実際「相談した」が70.0%と最も高く、次いで「相談できなかった」が17.5%、「相談しようと思わなかった」が12.5%、となっています。

性別でみると、「相談した」は女性が男性よりも23.5%高く、「相談できなかった」は、男性が女性よりも18.6%高く、「相談しようと思わなかった」は男性が女性よりも4.9%高くなっています。

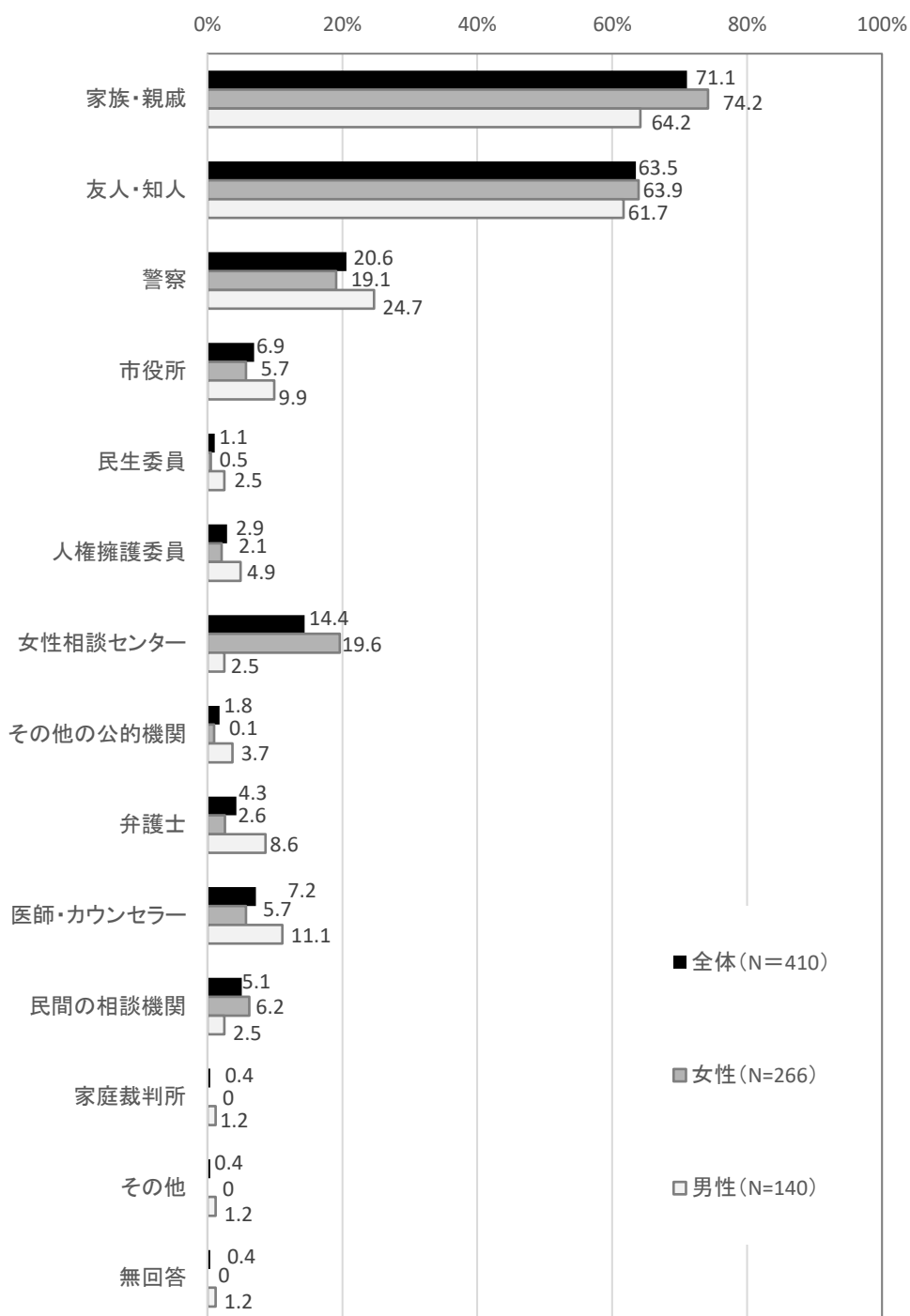


【問 19 で「相談した（する）」と回答した方のみ】

問 19-1 誰（どこ）に相談しましたか（しますか）。暴力等を受けたことがない人は受けた場合を想定して答えてください。（複数回答）

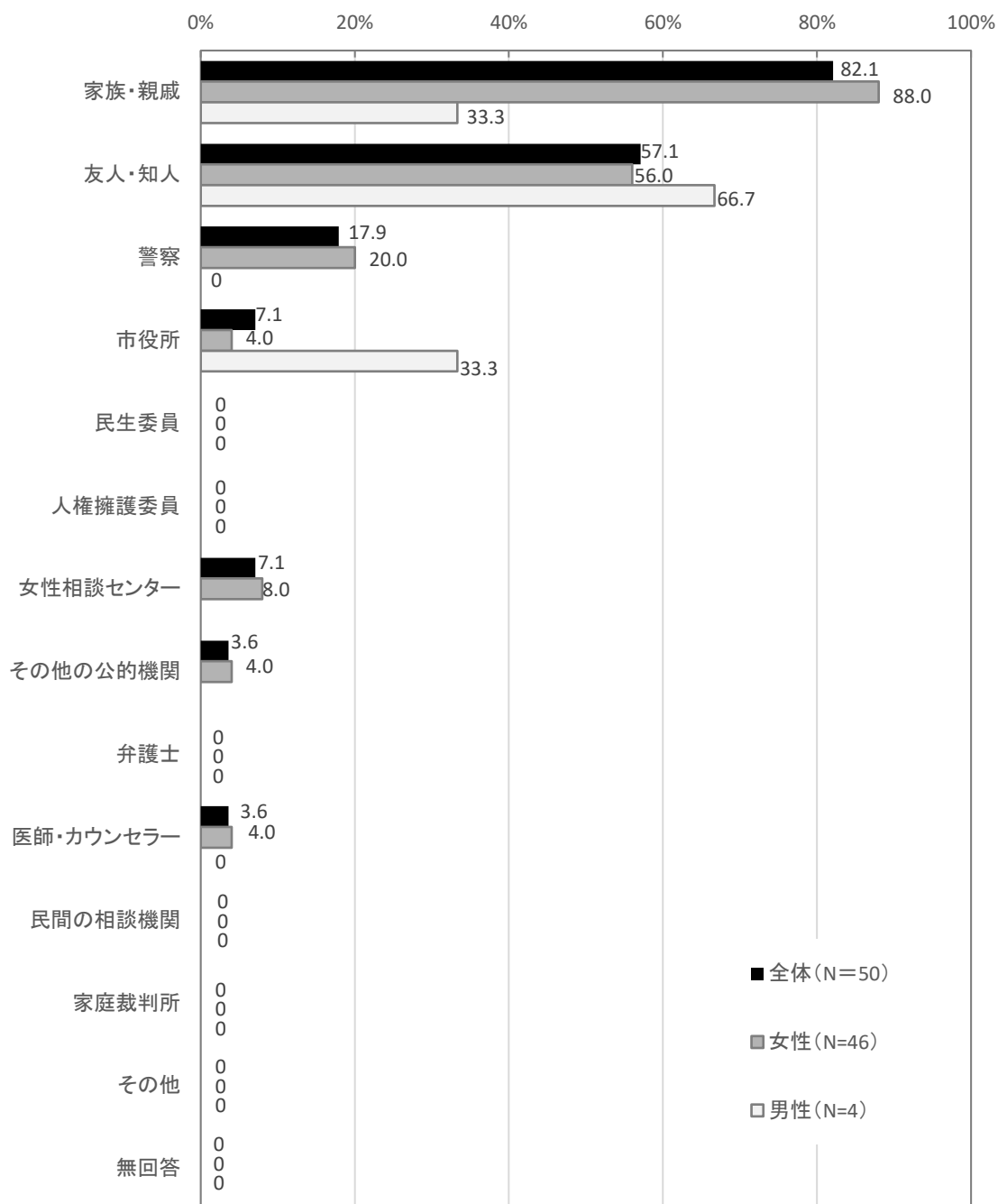
※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

相談先については、「家族・親戚」が71.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.5%となっています。性別で見ると、男女とも「家族・親戚」が最も高く、次いで「友人・知人」となっています。



問 19 でDVの経験についてあると回答した人のみ対象（DV経験を受けた想定を除く）

相談先については、「家族・親戚」が82.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が57.1%となっています。
性別でみると、女性は「家族・親戚」が88.0%と最も高いが、男性は「友人・知人」が66.7%で最も高くなっています。

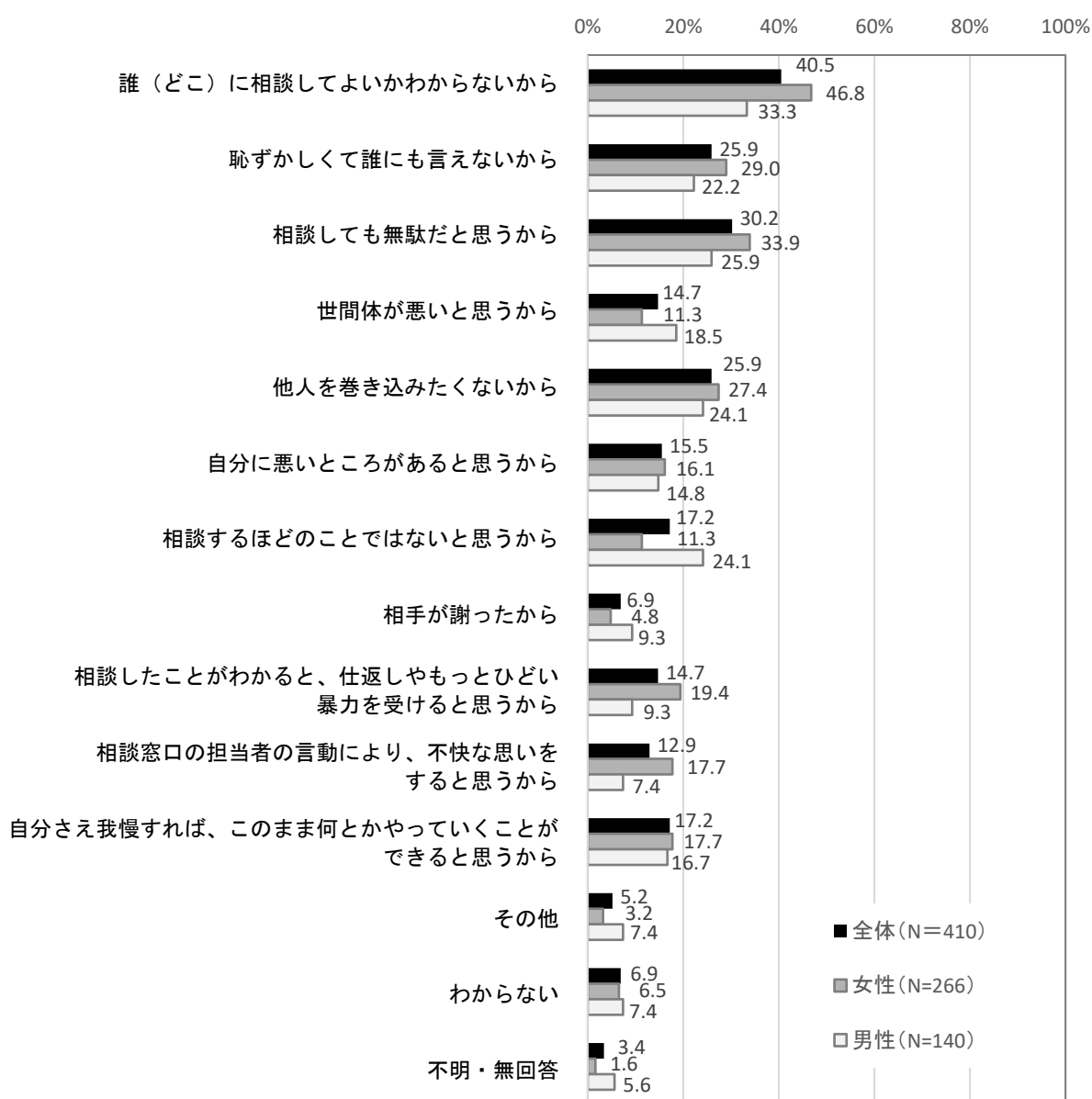


【問19で「相談できなかった（できない）」「相談しようと思わなかった（思わない）」と回答した方のみ】

問19-2 問19で相談できなかった（できない）・相談しようと思わなかった（思わない）のはなぜですか。（複数回答）

相談できなかった（相談しようと思わなかった）理由は、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」が40.5%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思うから」が30.2%となっています。

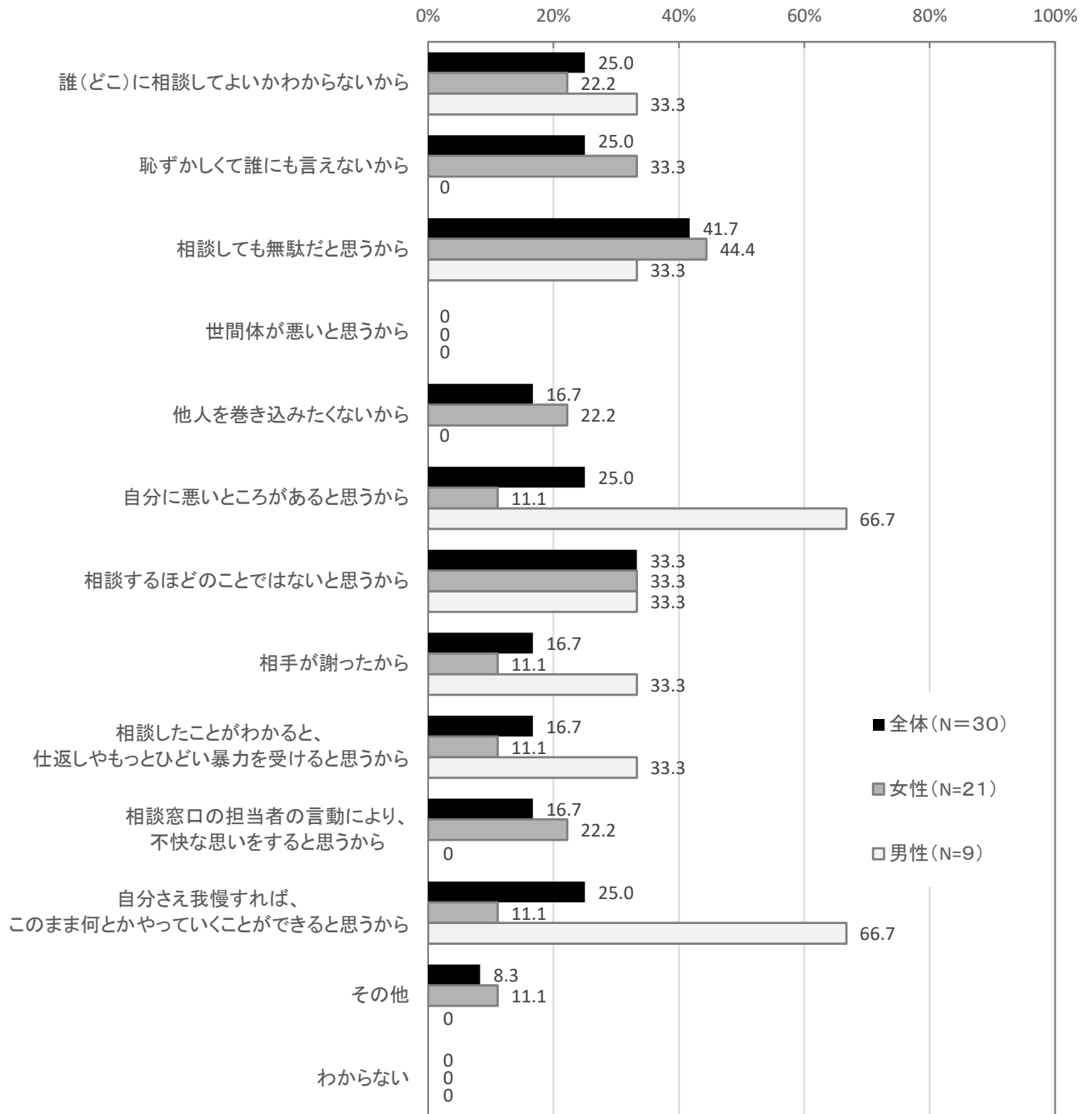
性別で見ると、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」に次いで、女性では「相談しても無駄だと思うから」が33.9%、「恥ずかしくて誰にも言えないから」が29.0%と高く、男性では「相談しても無駄だと思うから」が25.9%、「相談窓口の担当者の言動により、不快な思いををすると思うから」、「世間体が悪いと思うから」が24.1%と高くなっています。また、「相談するほどのことではないと思うから」は女性で11.3%、男性で24.1%と12.8%の差異があります。



問 18 で DV の経験についてあると回答した人のみ対象（DV 経験を受けた想定を除く）

相談できなかった理由は、「相談しても無駄だと思うから」が 41.7%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思うから」が 33.3%となっています。

性別でみると、男性は「自分に悪いところがあると思うから」が 66.7%で最も高く、女性は「相談しても無駄だと思うから」が 44.4%と最も高くなっています。

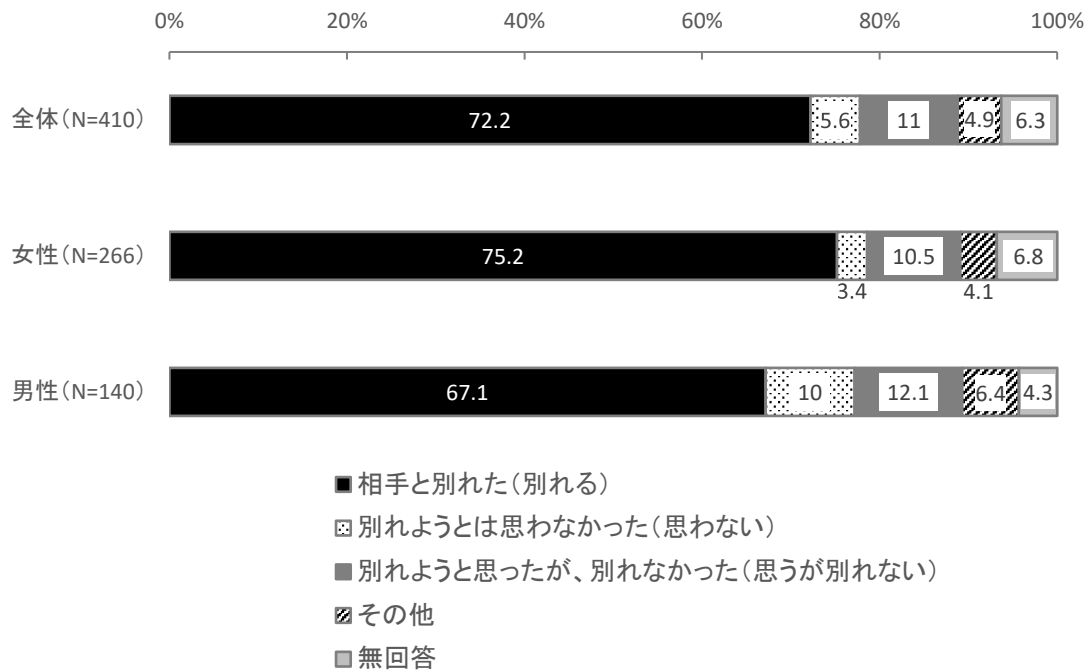


問20 あなたは、交際相手に問18-1のような暴力行為等を受けたとき、どうしましたか。(単数回答) そのような行為を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

DVを受けた際に、「相手と別れた(別れる)」が72.2%と最も高く、次いで「別れようと思ったが、別れなかった(思うが別れない)」が11.0%となっています。

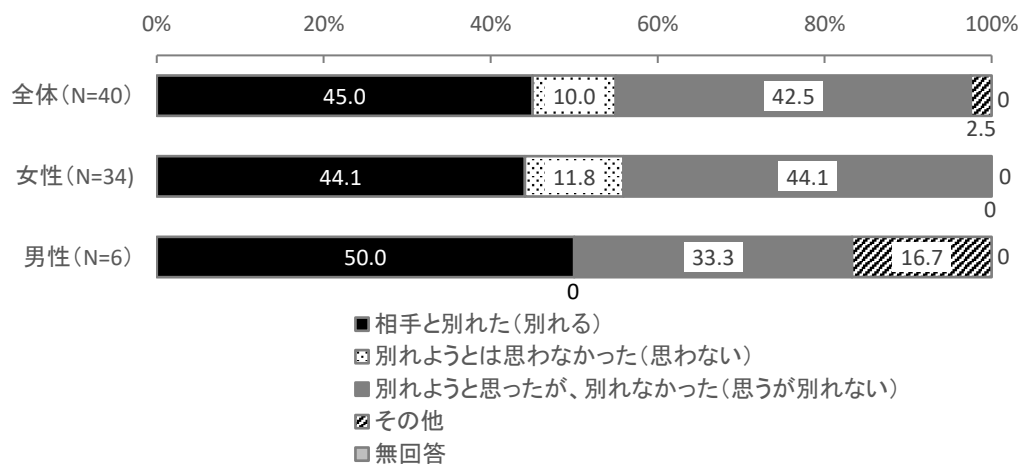
性別でみると、女性は男性より「相手と別れた(別れる)」が8.1%高く、男性は女性より「別れようとは思わなかった(思わない)」が6.6%高くなっています。



問18でDVの経験についてあると回答した人のみ対象(DV経験を受けた想定を除く)

DVを受けた際に、「相手と別れた」が45.0%と最も高く、次いで「別れようと思ったが、別れなかった」が42.5%となっていますが、差は小さくなっています。

性別でみると、女性は「相手と別れた」と「別れようと思ったが、別れなかった」が44.1%で最も高くなっています。「別れようとは思わなかった」が女性は11.8%ですが、男性の回答はありませんでした。



【問 20 で「別れようと思ったが、別れなかった（思うが別れない）」と回答した方のみ】

問 20-1 あなたが、相手と別れなかった（別れない）最も大きな理由は何ですか。（単数回答）
そのような行為を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。

相手と別れなかった（別れない）理由は、「夫婦、恋人同士なのだから、イヤなこともある程度しかたがないと思った」が 14 件で最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思った」が 10 件となっています。

単位：件

	普段はとてやさしいから 信じたいと思った	恋人同士なのだから、イヤ なこともある程度しかた がないと思った	自分にも悪いところがあ ると思った	相手も気の毒なところが あり、救えるのは私だけだ と思った	別れることに相手が同意 しない	怖くて逃げだせない	相手が謝ったから	その他
全体(N=45)	4	14	10	2	3	2	1	9
女性(N=28)	2	9	3	1	3	1	1	8
男性(N=17)	2	5	7	1	0	1	0	1

問 18 で DV の経験についてあると回答した人のみ対象（DV 経験を受けた想定を除く）

相手と別れなかった理由は、「夫婦、恋人同士なのだから、イヤなこともある程度しかたがないと思った」が 6 件で最も多くなっています。

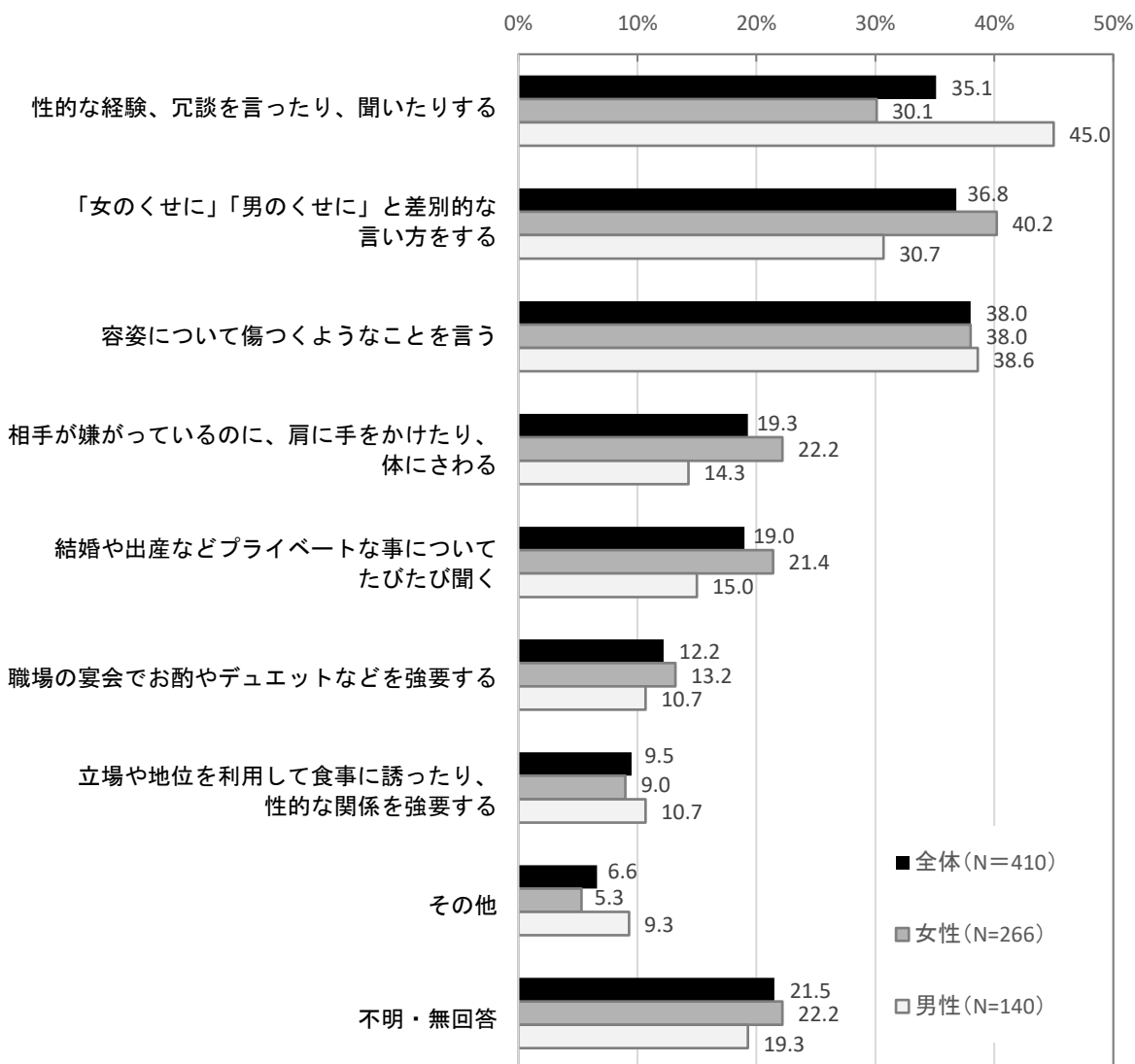
単位：件

	普段はとてやさしいから 信じたいと思った	夫婦、恋人同士なのだか ら、イヤなこともある程度 しかたがないと思った	自分にも悪いところがあ ると思った	相手も気の毒なところが あり、救えるのは私だけだ と思った	別れることに相手が同意 しない	怖くて逃げだせない	相手が謝ったから	その他
全体(N=5)	1	6	3	0	3	0	1	3
女性(N=4)	1	5	2	0	3	0	1	3
男性(N=1)	0	1	1	0	0	0	0	0

問 2 1 あなたは、次のような、セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を身近で見たり聞いたり、あるいは自分自身が受けたことや、したことがありますか。（複数回答）

見聞きしたり、被害にあったセクシュアル・ハラスメントの内容については、「容姿について傷つくようなことを言う」が 38.0%と最も高く、次いで「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする」が 36.8%、「性的な経験、冗談を言ったり、聞いたりする」が 35.1%となっています。

性別による差異は、「性的な経験、冗談を言ったり、聞いたりする」で男性の方が女性より 14.9%高く、「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする」で女性の方が男性より 9.5%高くなっています。



(7) 男女共同参画社会について

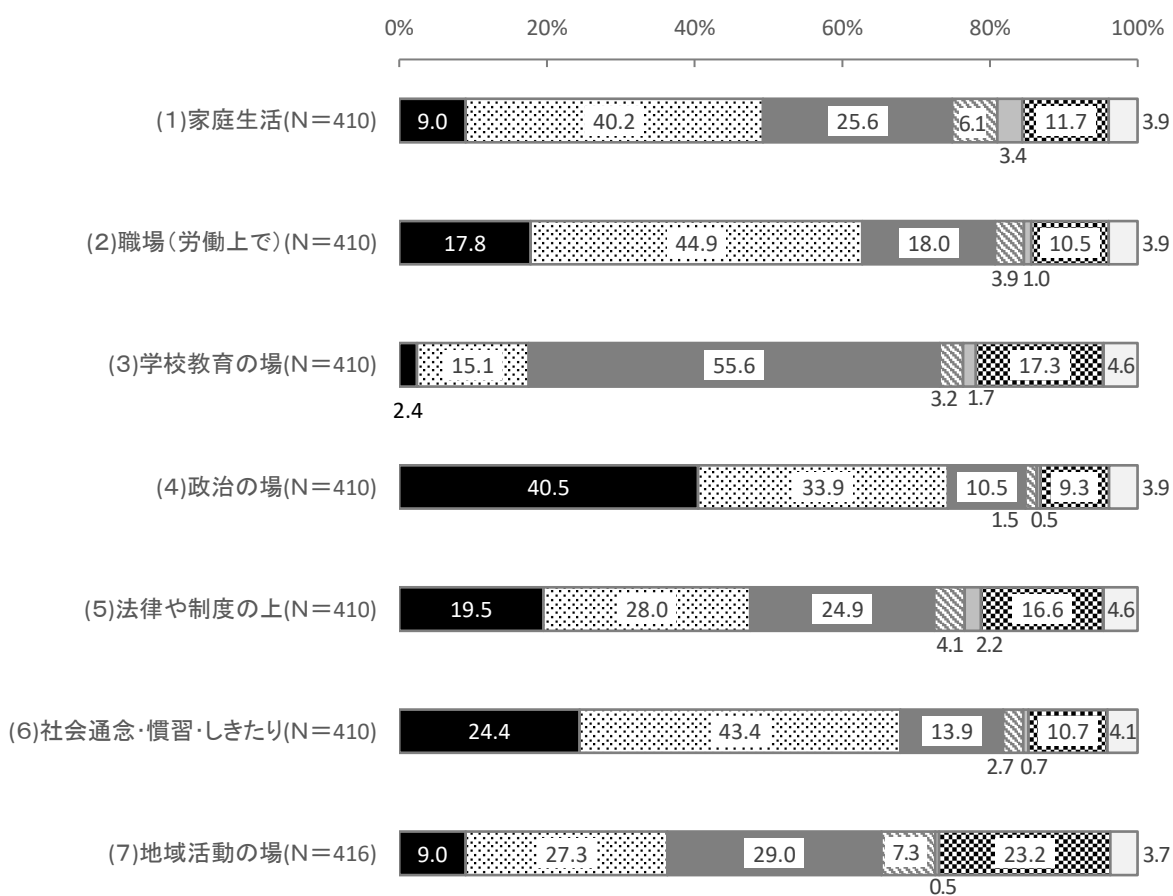
問22 あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問22の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

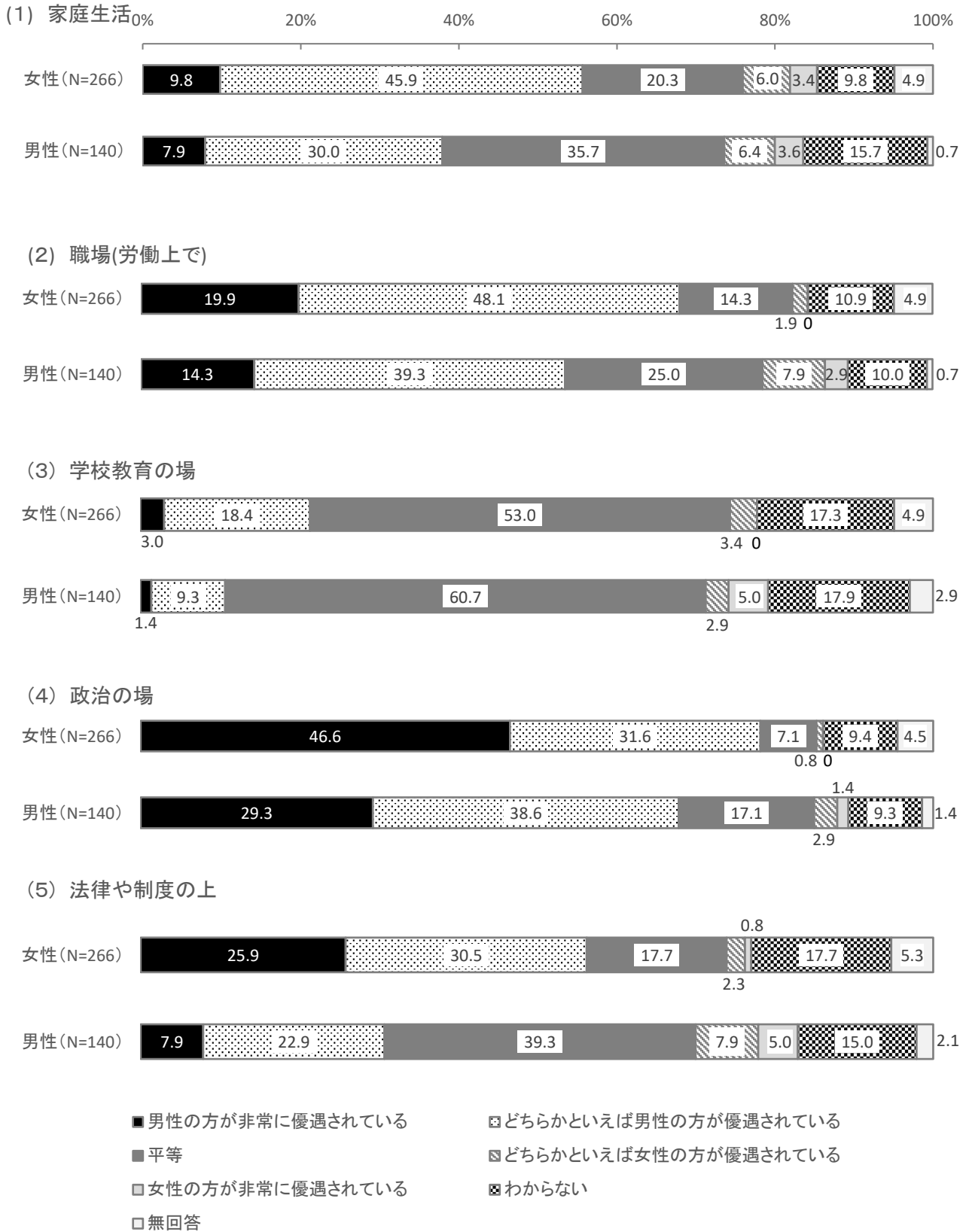
男女の地位の平等については、「(3) 学校教育の場」を除くすべての項目で『男性優遇』が最も高くなっています。特に「(4) 政治の場」で74.4%、「(6) 社会通念・慣習・しきたり」で67.8%、「(2) 職場(労働上で)」で62.7%と『男性優遇』が高くなっています。



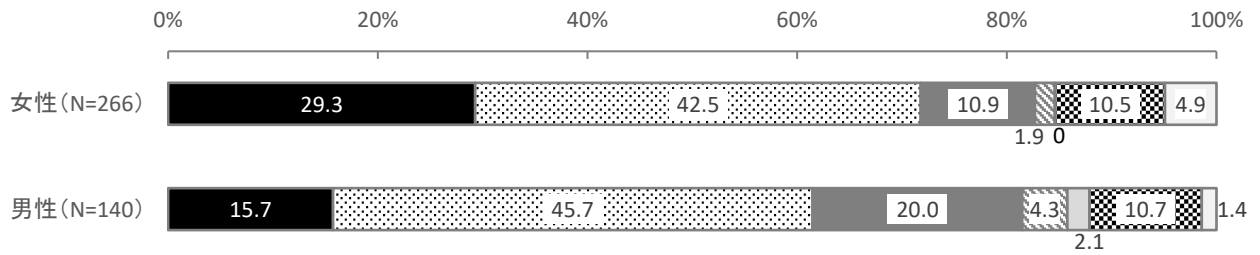
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ わからない
- 無回答

男女別比較

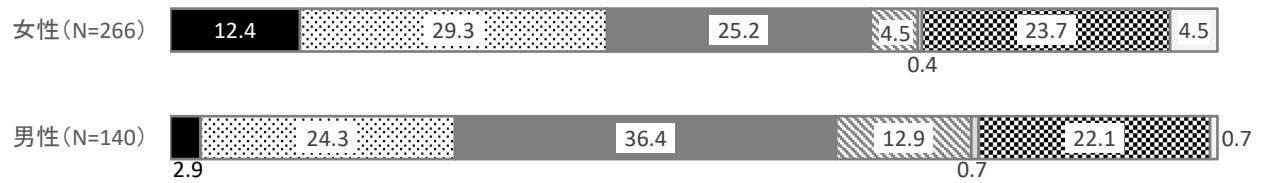
性別で見ると、すべての項目で女性は男性よりも『男性優遇』の割合が高くなっています。一方、すべての項目で男性は女性よりも「平等』『女性優遇』の割合が高くなっています。



(6) 社会通念・慣習・しきたり



(7) 地域活動の場



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ わからない
- 無回答

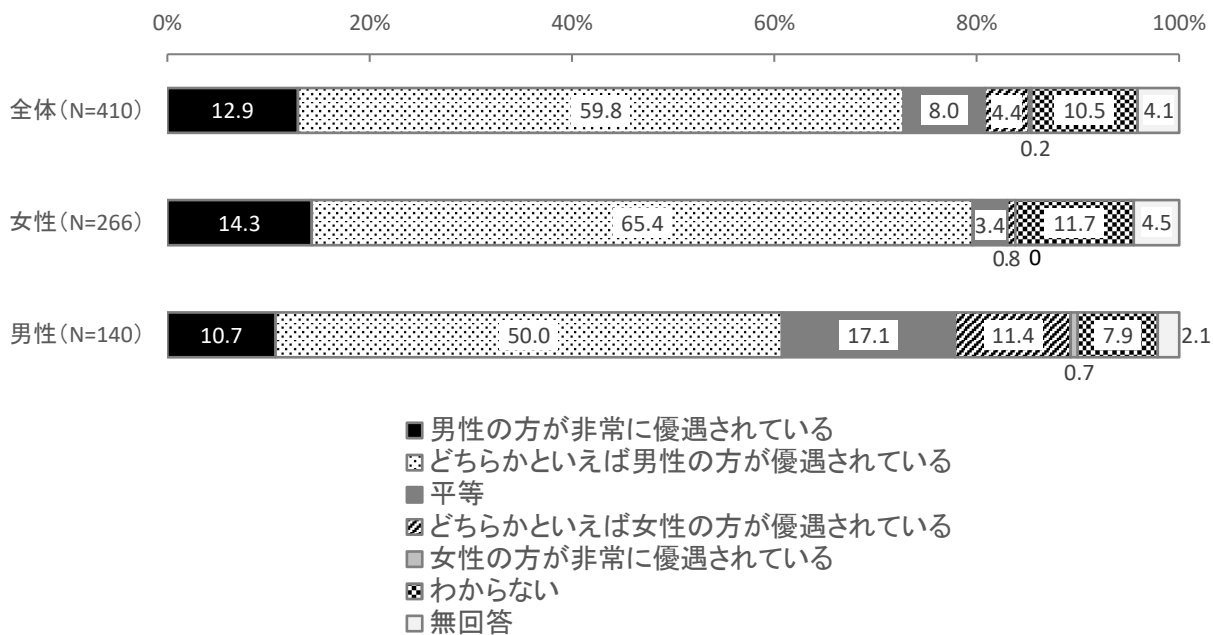
問 2 2-1 あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 22-1 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算
 『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

『男性優遇』が 72.7%と最も高くなっています。

女性は男性よりも『男性優遇』の割合が 19.0%高くなっています。また、男性は女性よりも「平等」の割合が 13.7%高く、『女性優遇』の割合が 11.3%高くなっています。

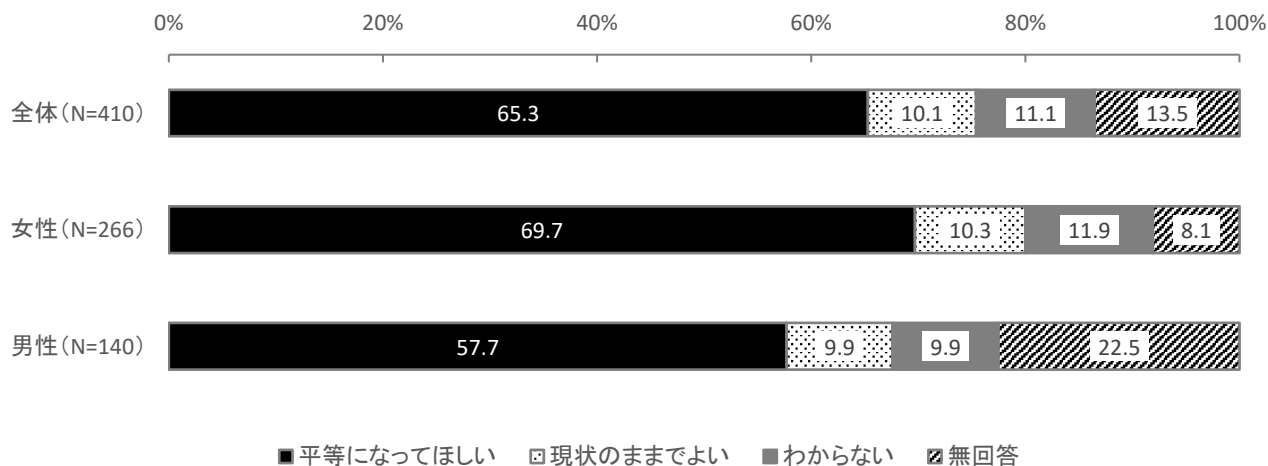


【問 22-1 の項目 社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

問 2 2-2 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか。(単数回答)

男女の地位については、「平等になってほしい」が 65.3%と最も高く、次いで「わからない」が 11.1%、「現状のままでよい」が 10.1%となっています。

性別で見ると、男女ともに「平等になってほしい」が最も高く、女性は男性よりも 12%高くなっています。



問 2 3 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。(単数回答)

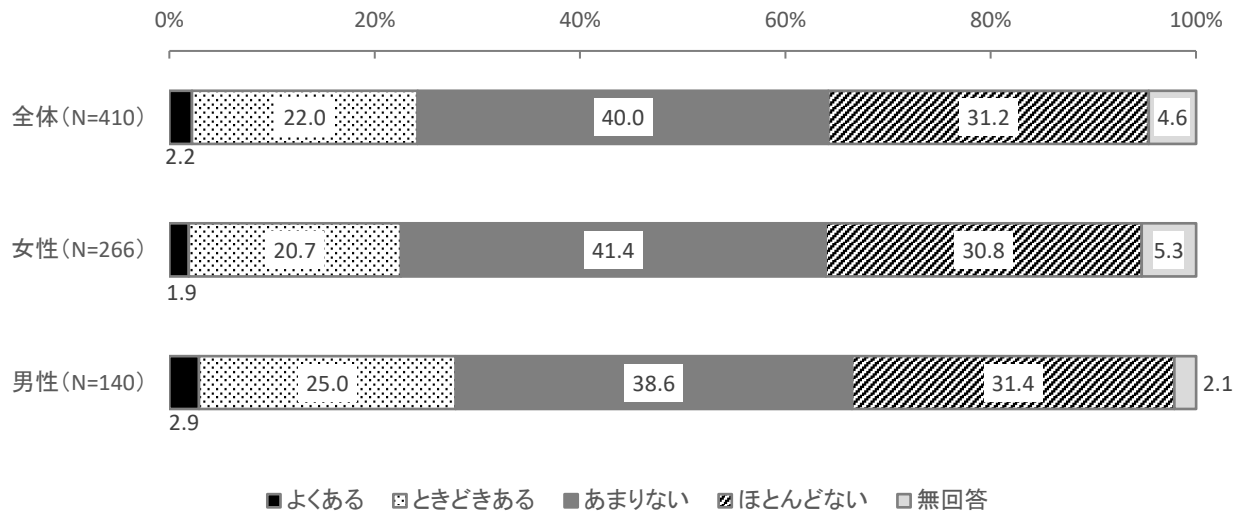
問 23 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『ある』…「よくある」と「ときどきある」を合算

『ない』…「ほとんどない」と「あまりない」を合算

情報を得る機会については、『ある』が 24.2%、『ない』が 71.2%となっています。

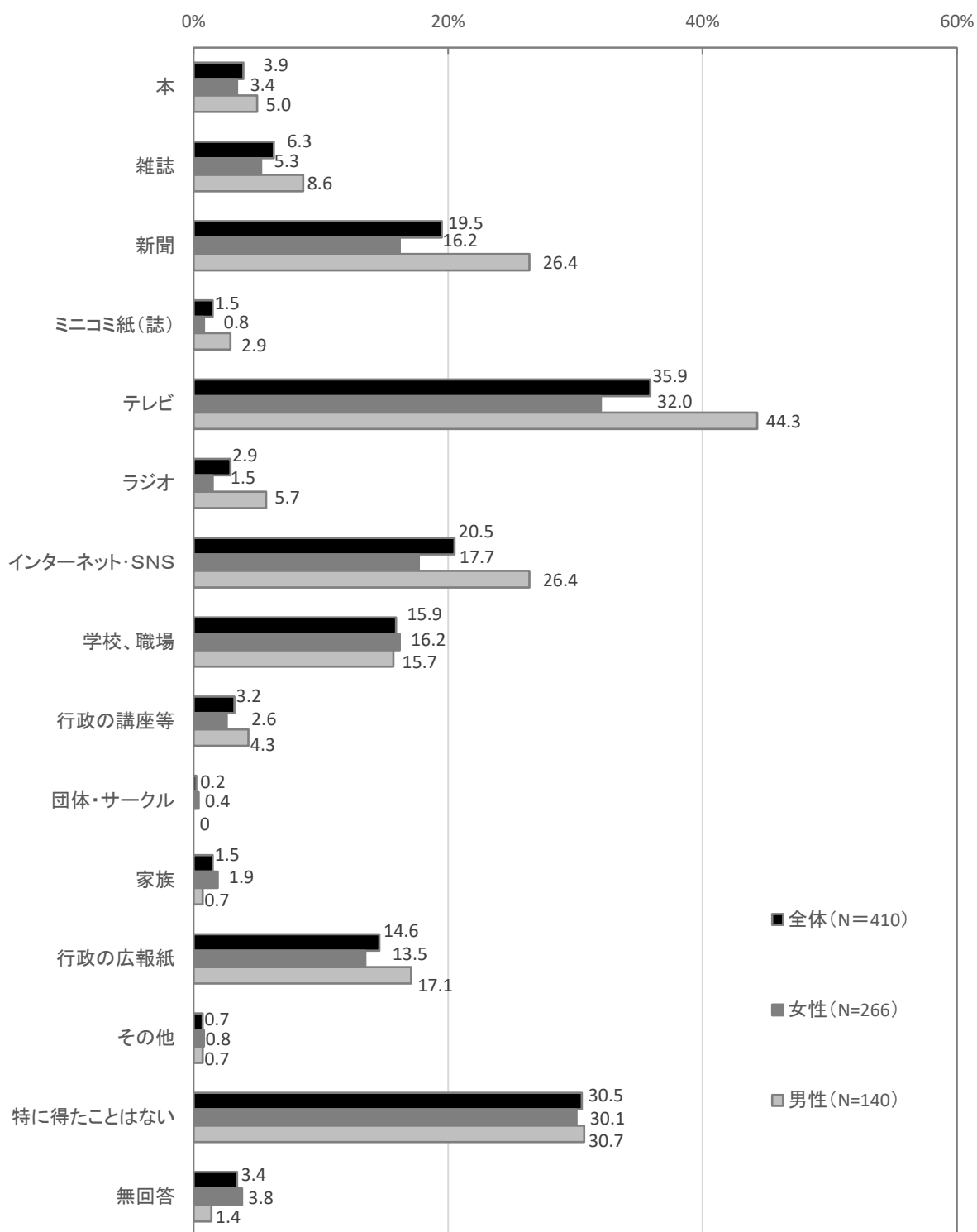
性別で見ると、女性では『ある』が 22.6%、『ない』が 72.2%、男性では『ある』が 27.9%、『ない』が 70.0%となっています。



問24 男女共同参画社会についての情報は何かから得ましたか。(複数回答)

情報源については、「テレビ」が35.9%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が20.5%、「新聞」が19.5%となっています。また、情報を「特に得たことはない」が30.5%となっています。

性別でみると、「団体、サークル」、「家族」以外の項目で、女性より男性の割合が高く、差異が10%以上あるものは「新聞」、「テレビ」となっています。



問25 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

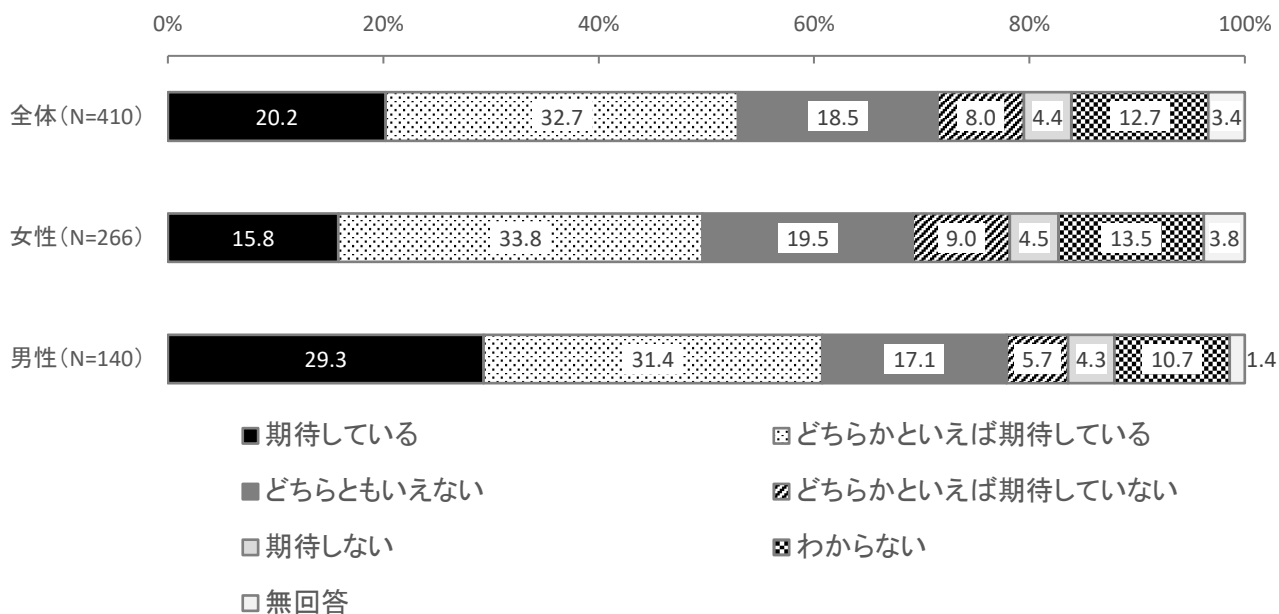
問25の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

『期待していない』…「期待しない」と「どちらかといえば期待していない」を合算

男女共同参画社会の実現については、『期待している』が52.9%、「どちらともいえない」が18.5%、『期待していない』が12.4%となっています。

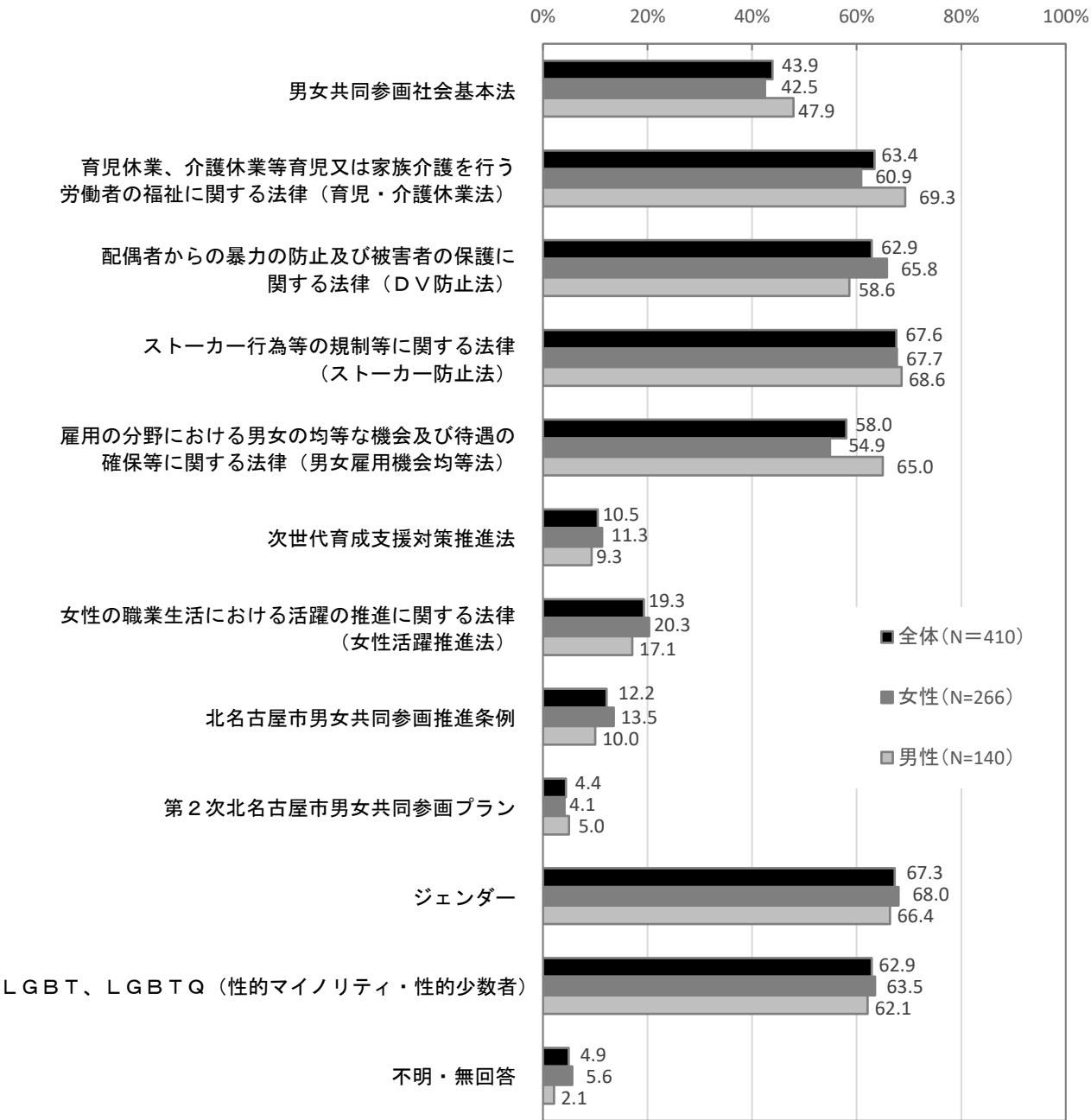
性別でみると、男性では女性より『期待している』が高く、女性では男性より『期待していない』が高くなっています。



問 2 6 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

見聞きしたことがある言葉は、「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」が 67.6%と最も高く、次いで「ジェンダー」が 67.3%となっています。また、「北名古屋市男女共同参画推進条例」は 12.2%、「北名古屋市男女共同参画プラン」は 4.4%となっています。

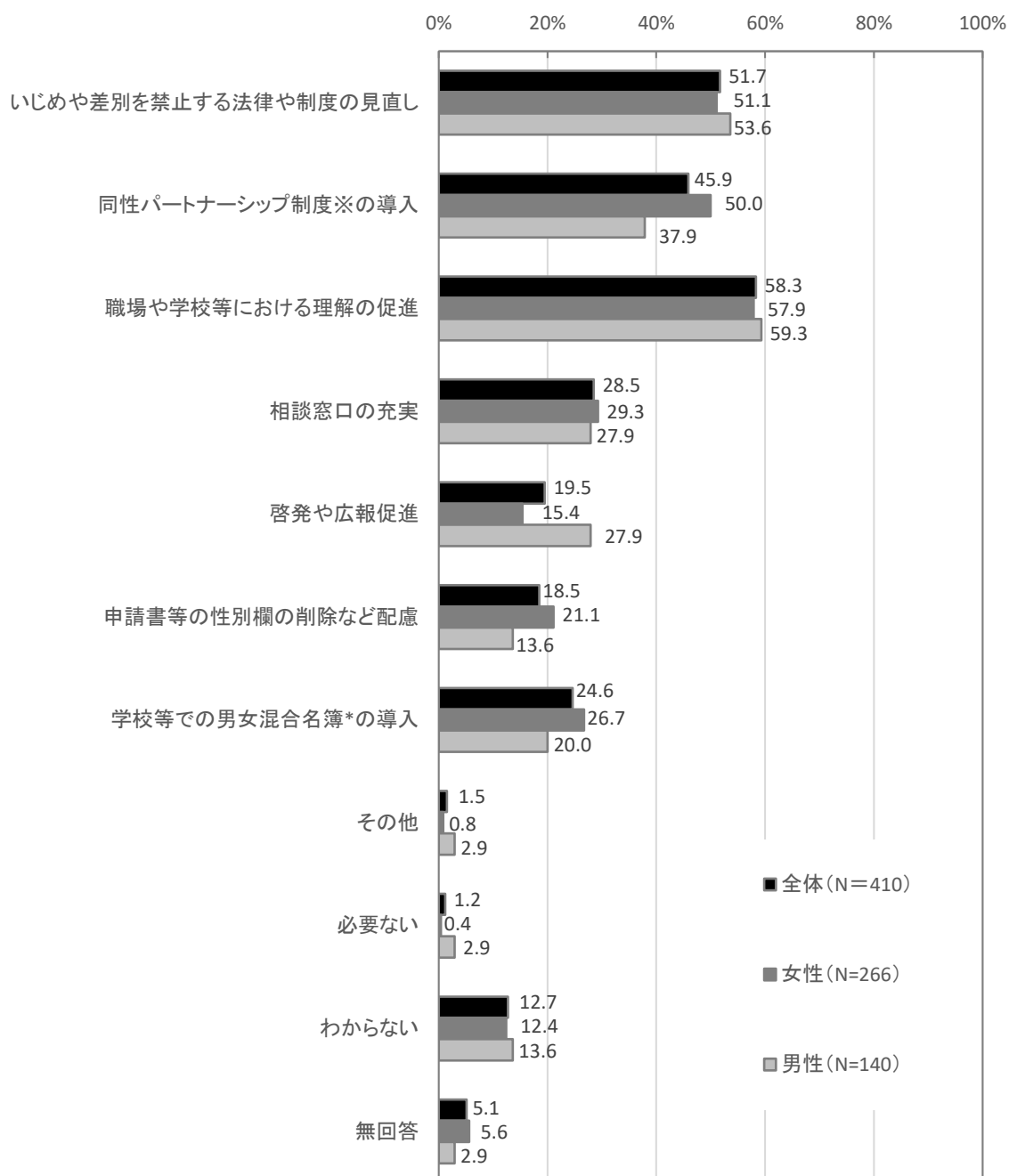
性別でみると、男女の差異が 10%以上あるのは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」で、男性の方が女性より高くなっています。



問27 あなたは、性的少数者（セクシャルマイノリティ）に対する理解の促進や支援にはどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

必要なこととして「職場や学校等における理解の促進」が58.3%と高く、次いで「いじめや差別を禁止する法律や制度の見直し」51.7%となっています。その次に「同性パートナーシップ制度※の導入」が45.9%となっています。

性別でみると、男女の差異については「同性パートナーシップ制度※の導入」は女性が男性より12.1%高く、「啓発や広報促進」は男性が女性より12.5%と高くなっています。

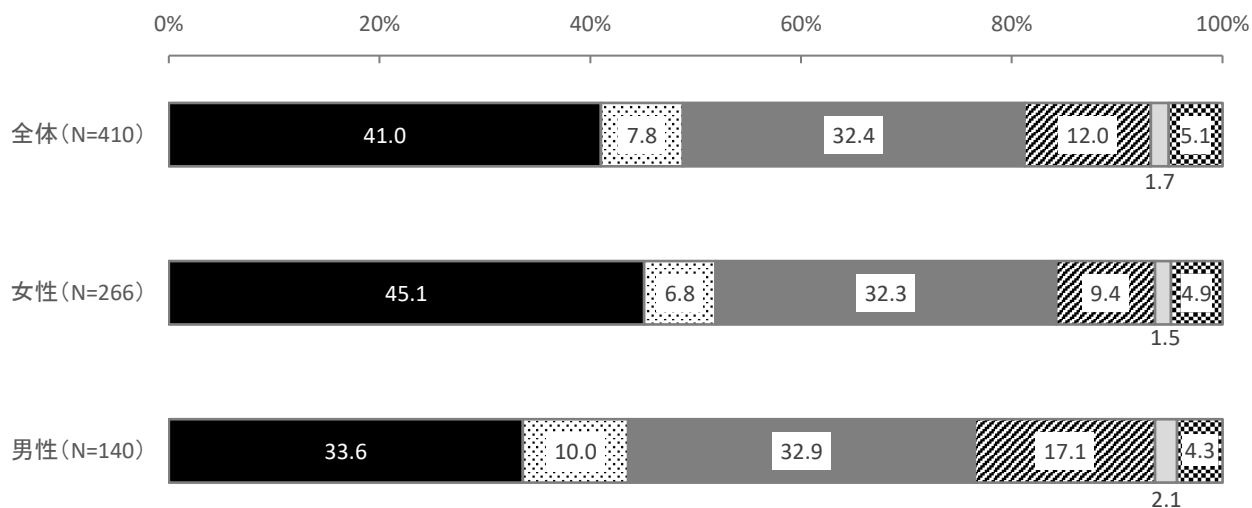


※同性パートナーシップ制度：各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明書を発行する制度
 *男女混合名簿：自動や生徒を性別に関係なく、生年月日や五十音順などの順序に基づいて並べた名簿

問 2 8 あなたは、多様性の尊重等の観点から行われる学校の制服の見直しについてどう思いますか。(単数回答)

学校の制服については「見直した方がよい」が41.0%で最も高く、次いで「どちらでもいい」が32.4%、「わからない」が12.0%となっています。

男女の差異について、「見直してほしい」が女性は45.1%、男性は33.6%となっており、女性の方が10%以上高くなっています



■見直した方がよい ▨見直す必要はない ■どちらでもいい ▩わからない □その他 ▩無回答

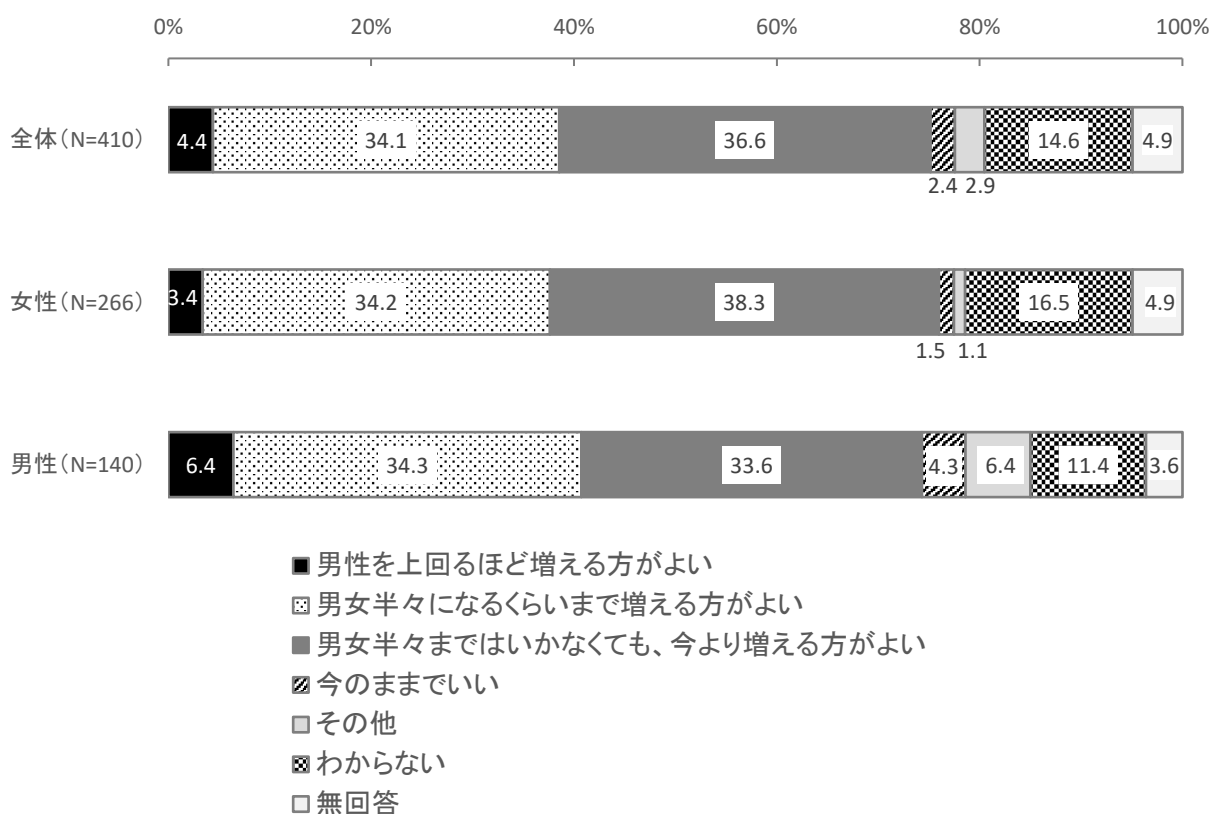
その他の意見

- ・ 関東の学校に習いブレザーの着用男女とも美しくかっこよく
- ・ 制服は必要ない。体型が変わるとお金がかかる。私服でいい。
- ・ 制服自体必要ない/男がスカートはいてもいいなら真の多様性になる

(8) 北名古屋市の男女共同参画の取り組みについて

問29 あなたは、審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについてどう思いますか。(単数回答)

政策・方針決定の場への女性参画については、「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が36.6%と最も高く、次いで「男女半々になるくらいまで増える方がよい」が34.1%となっております。

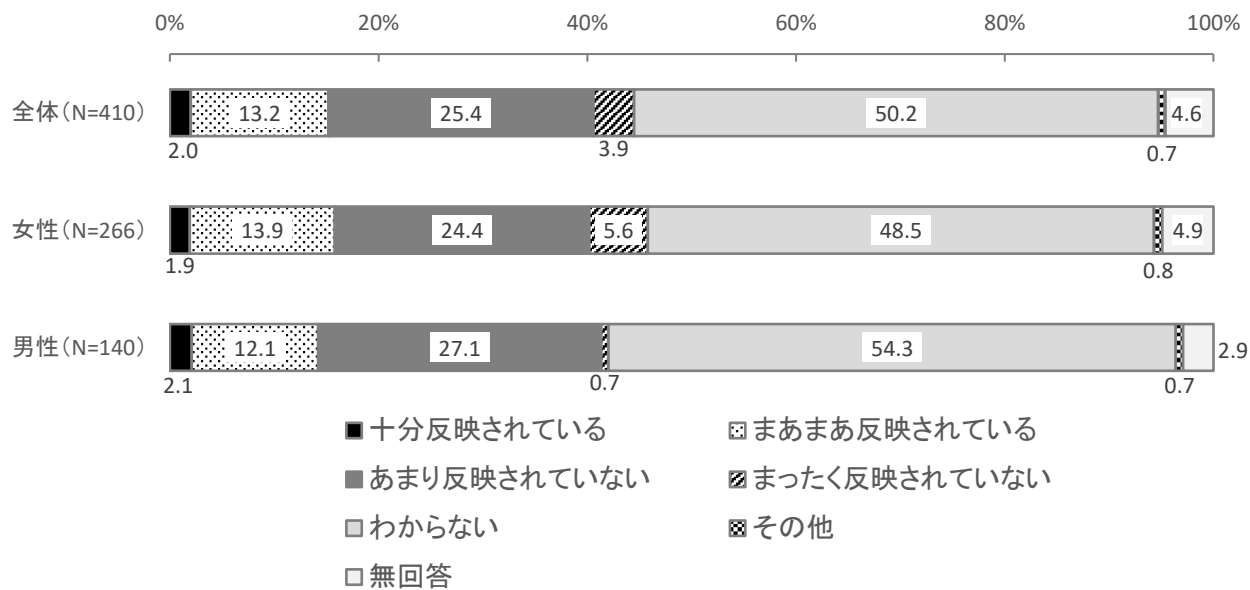


問30 あなたは、市の政策に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
(単数回答)

問23の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

- 『反映されている』…「十分反映されている」と「まあまあ反映されている」を合算
- 『反映されていない』…「まったく反映されていない」と「あまり反映されていない」を合算

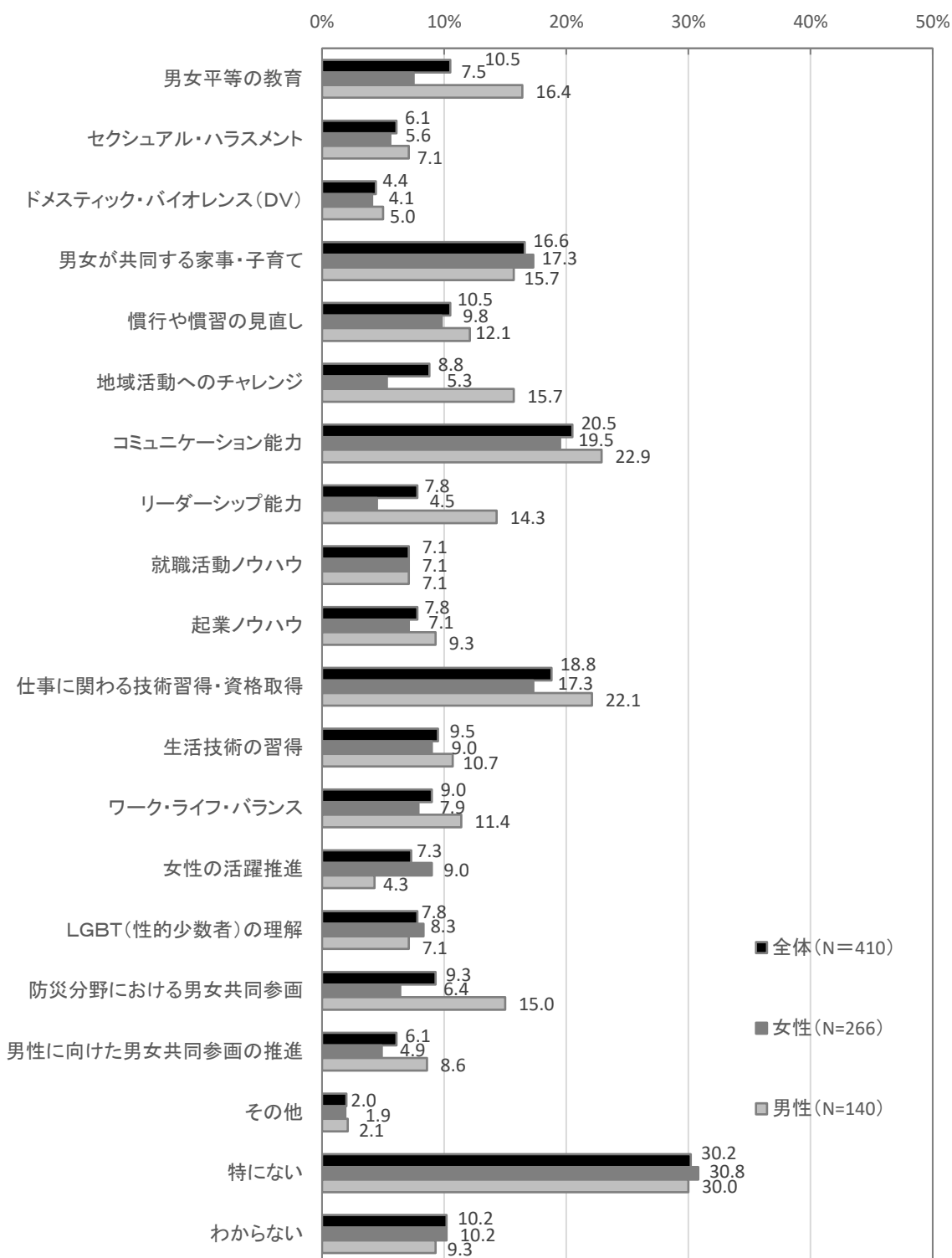
政策に対する女性の意見や考え方の反映については、「わからない」が最も高く 50.2%となっており、『反映されていない』が29.3%、『反映されている』が15.2%となっています。



問31 今後、あなたはどのようなテーマの講座・講演会等があれば参加したいですか。
(複数回答)

参加したい講座・講演会等のテーマについては、「特にない」を除き、「コミュニケーション能力」が20.5%と最も高く、次いで「仕事に関わる技術習得・資格取得」が18.8%、「男女が共同する家事・子育て」が16.6%となっています。

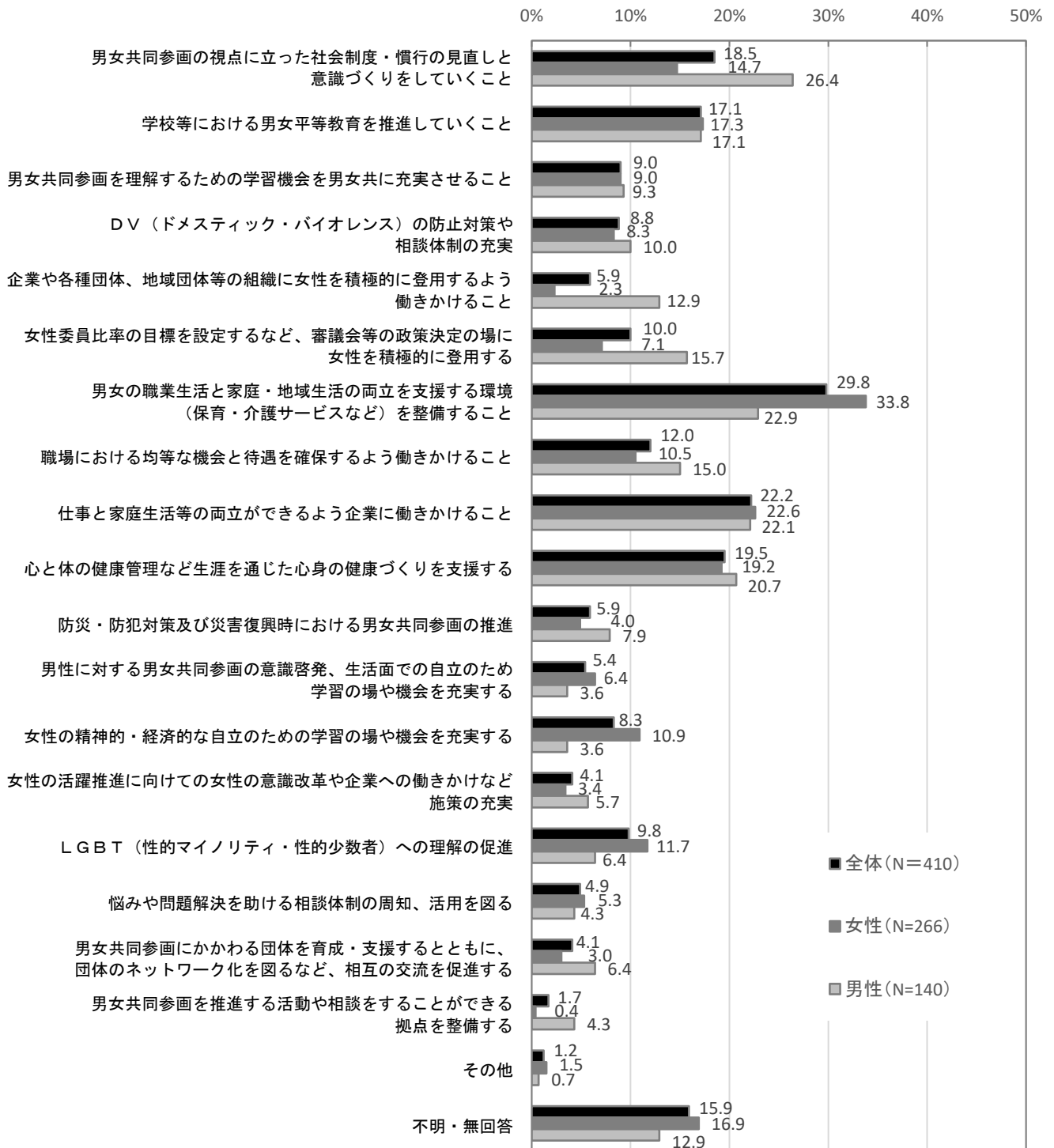
性別による差異が大きいものは「地域活動へのチャレンジ」で男性の方が女性より10%以上高くなっています。



問32 あなたは、今後、北名古屋市が男女共同参画のまちづくりとして重点的に取り組むべきことは何だと思えますか。(複数回答)

市が重点的に取り組むべきことは、「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立を支援する環境（保育・介護サービスなど）を整備すること」が29.8%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活等の両立ができるよう企業に働きかけること」が22.2%となっています。

性別で見ると、男性は「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しと意識づくりをしていくこと」が26.4%と最も高く、女性では14.7%で5番目となっており、性別による性差がみられます。

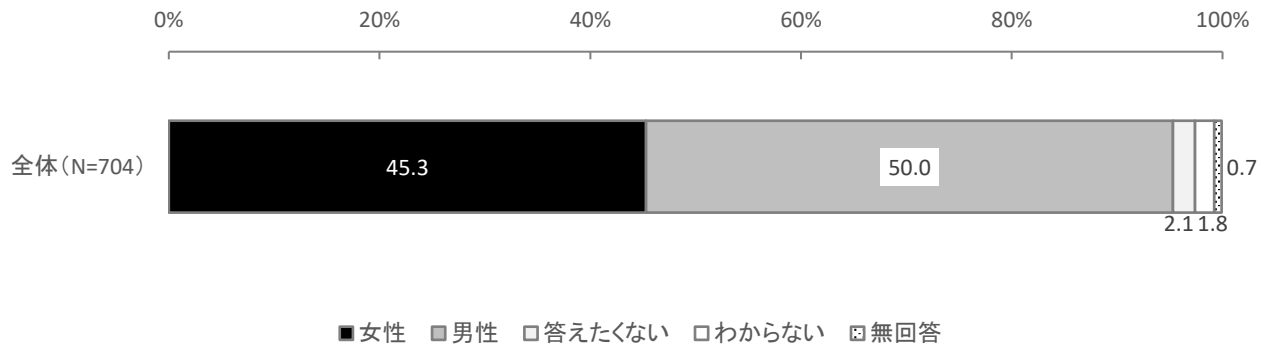


3 中学生調査結果

回答者の属性

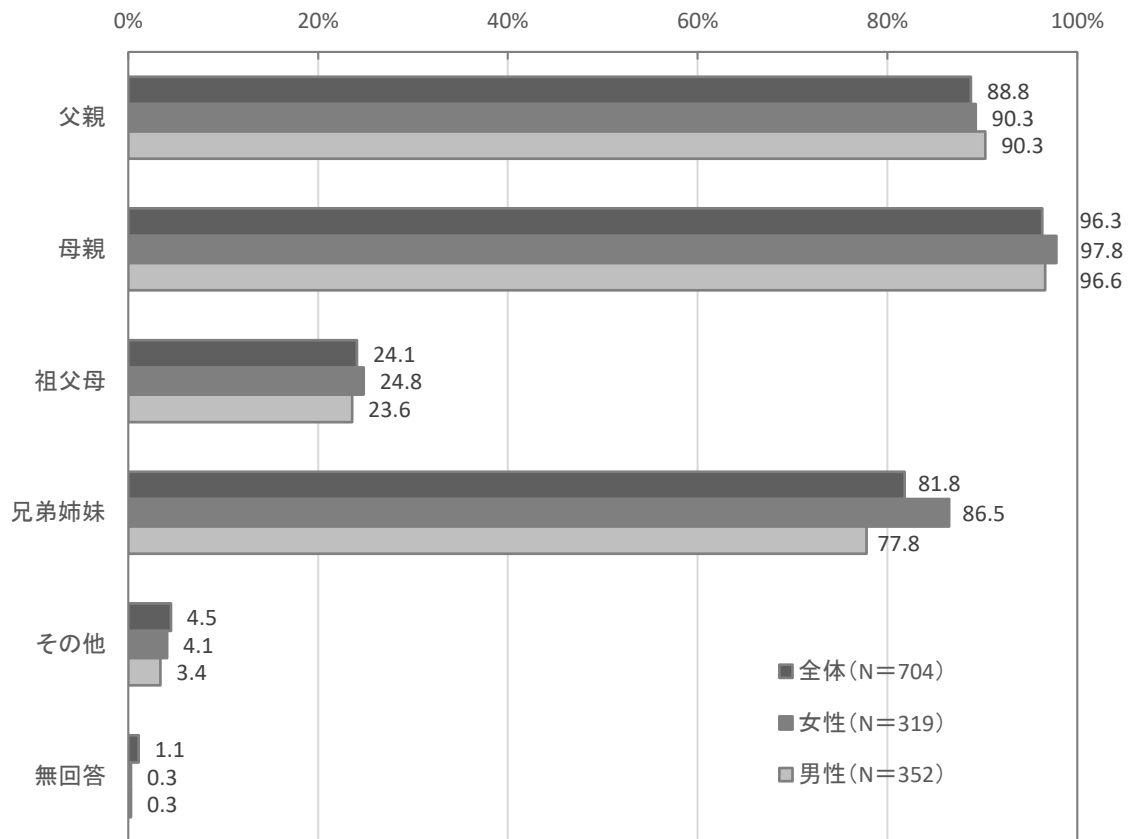
問A 性別（単数回答）

回答者の性別は、「女性」が45.3%、「男性」が50.0%、「答えたくない」2.1%、「わからない」1.8%「無回答」0.7%となっています。



問B あなたと一緒に暮らしている家族は誰ですか。（複数回答）

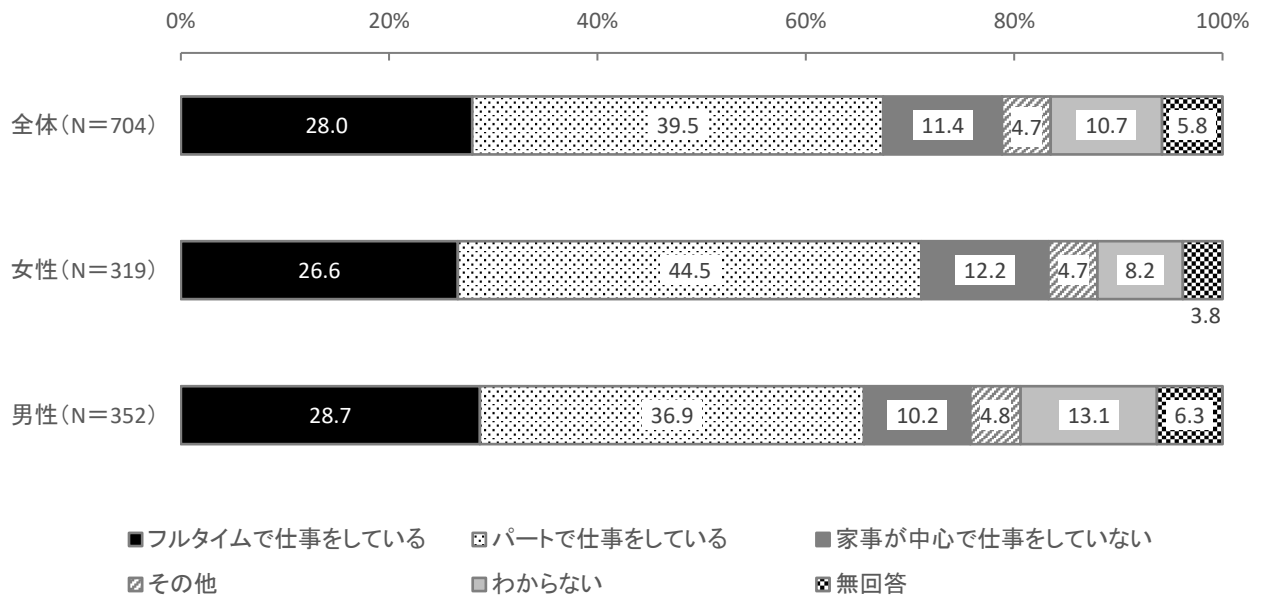
回答者の家族構成員は、「母親」の割合が96.3%と最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」となっています。



【問Bで、「母親」と回答した方のみ】

問C あなたのお母さんは仕事をしていますか。(単数回答)

回答者の母親の就業について、「パートで仕事をしている」が39.5%と最も高くなっています。次いで「フルタイムで仕事をしている」が28.0%となっています。



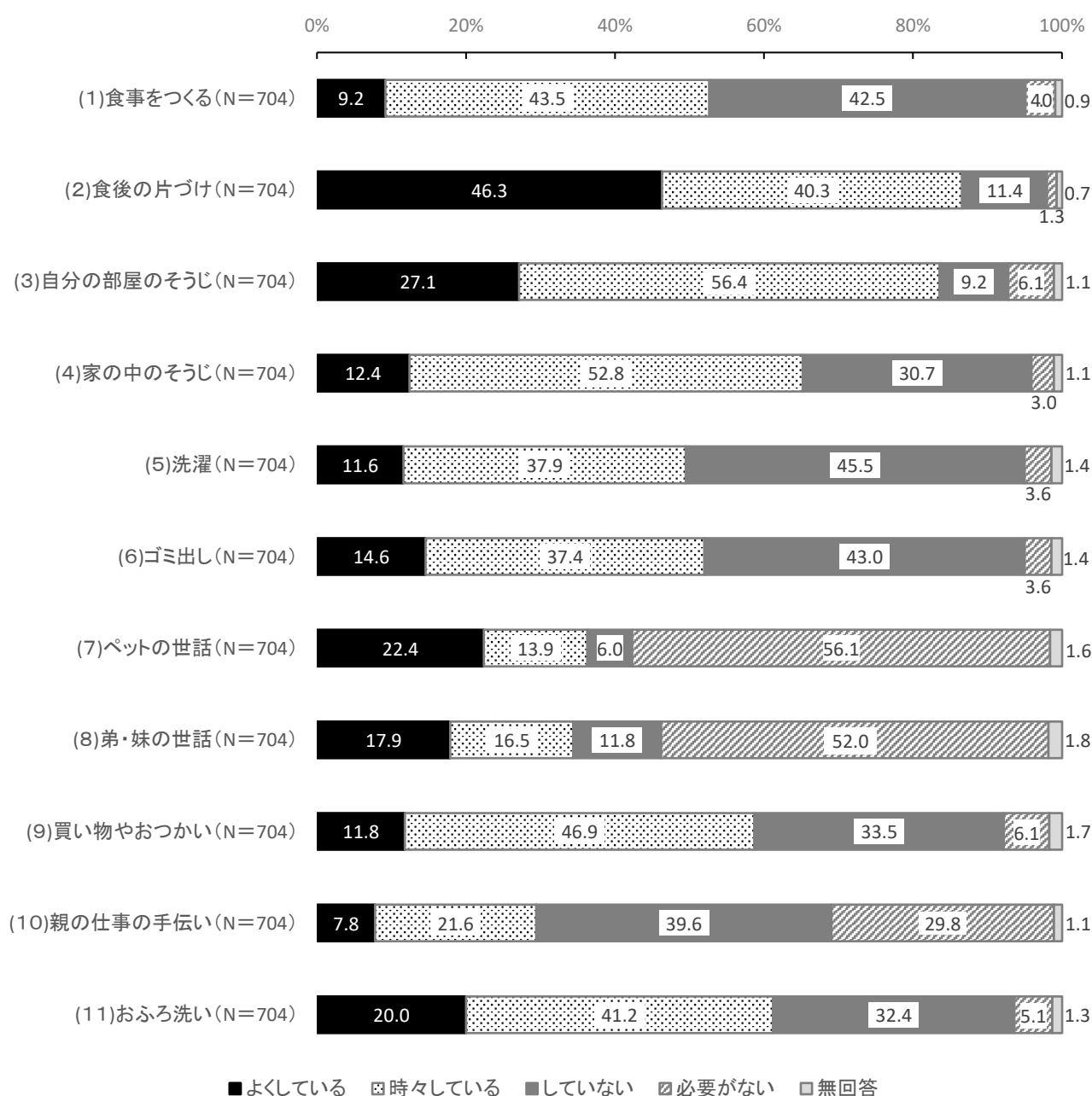
(1) 家庭や学校でのあなたの生活について

問1 あなたは、家の中でお手伝いをどれくらいしていますか。(単数回答)

問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

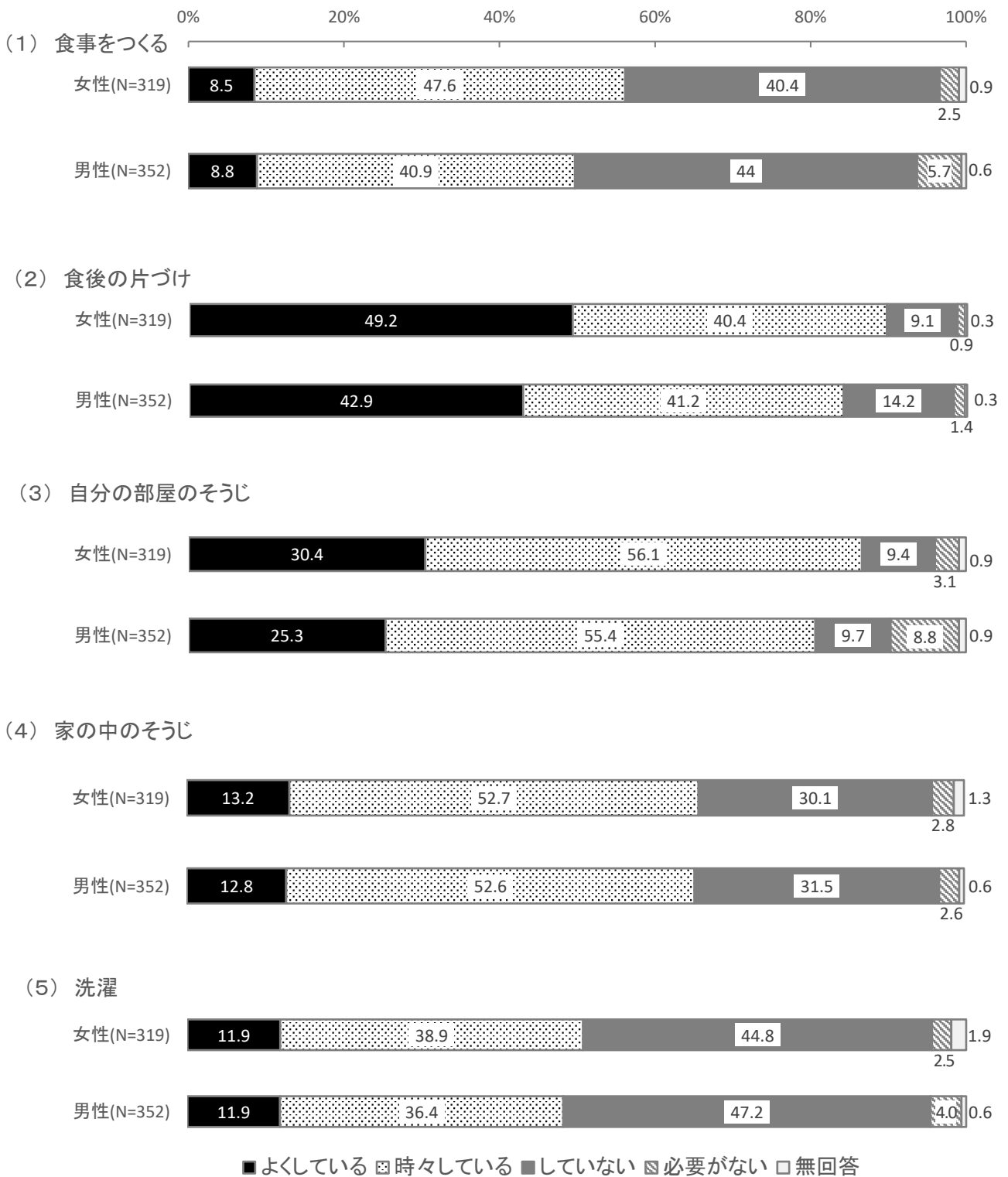
『している』…「よくしている」と「時々している」を合算

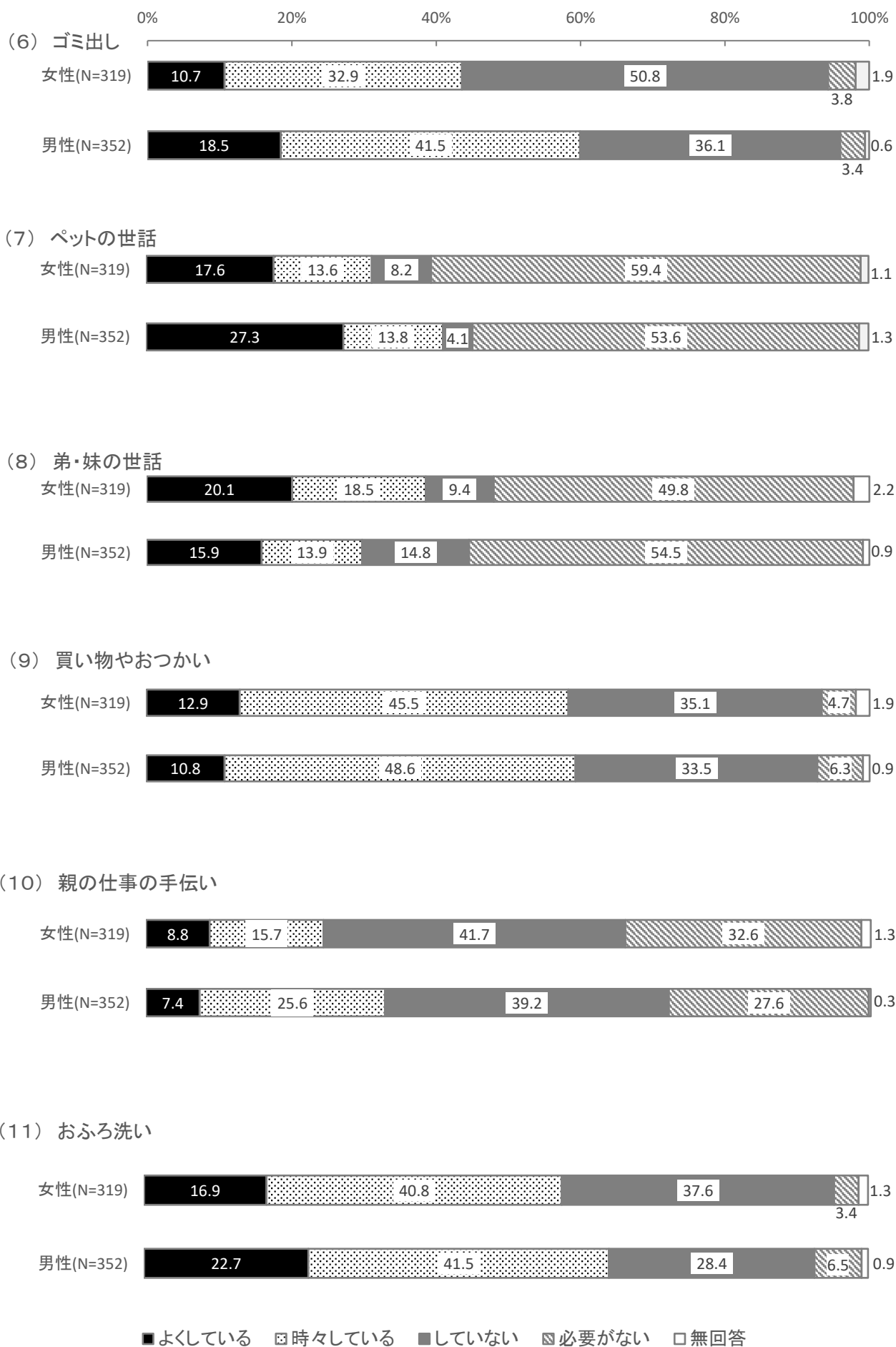
お手伝いの現状について、『している』の割合が最も高い項目は「(2) 食後の片づけ」で86.6%、次いで「(3) 自分の部屋のそうじ」で83.5%となっています。「よくしている」の割合が最も高い項目は「(2) 食後の片づけ」で46.3%となっています。また、「していない」の割合が最も高い項目は「(5) 洗濯」で45.5%となっています。



男女別比較

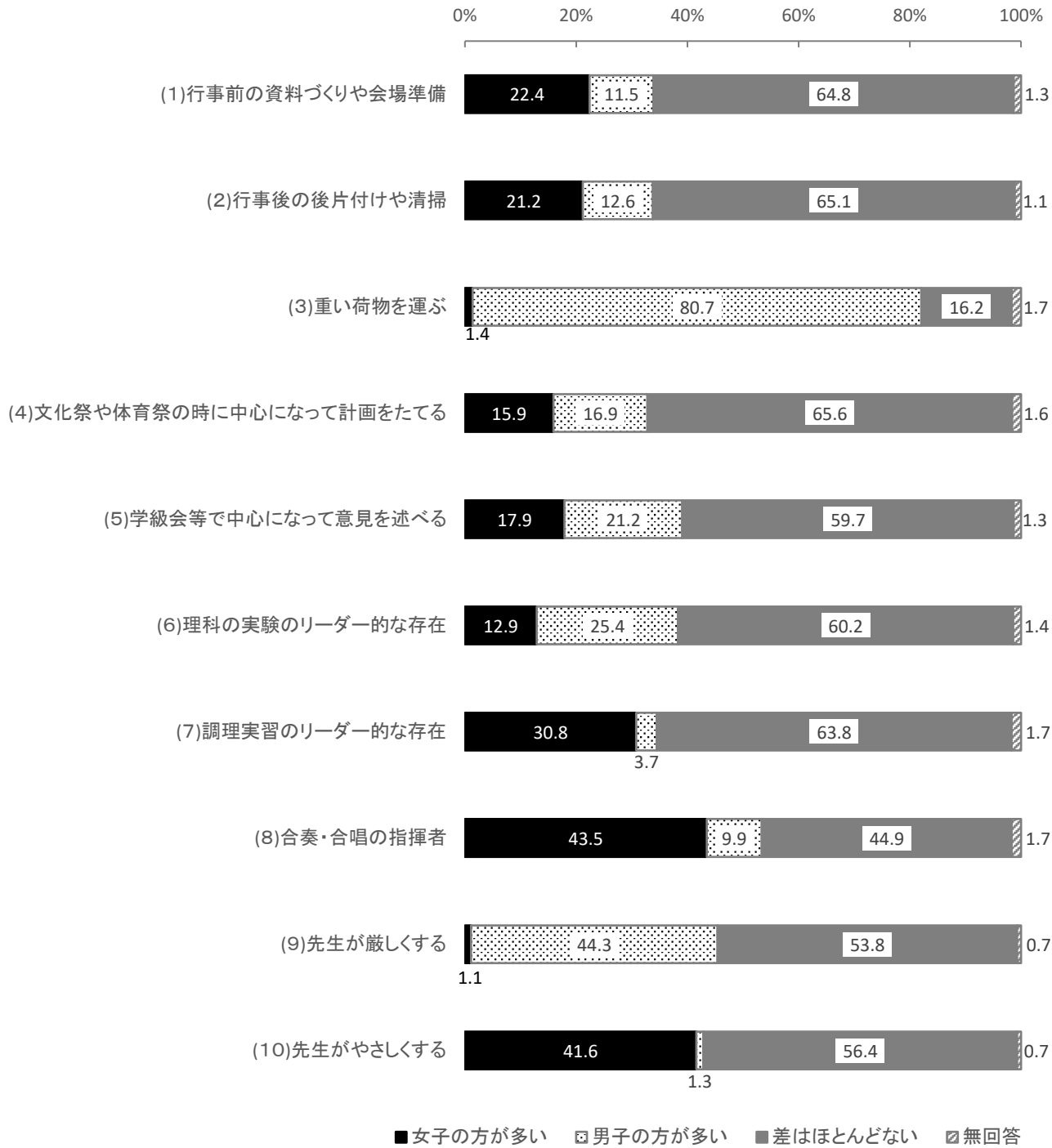
性別による『している』の割合の差異が大きいものは「(6) ゴミ出し」で、男性の方が女性より 16.4% 以上高くなっています。





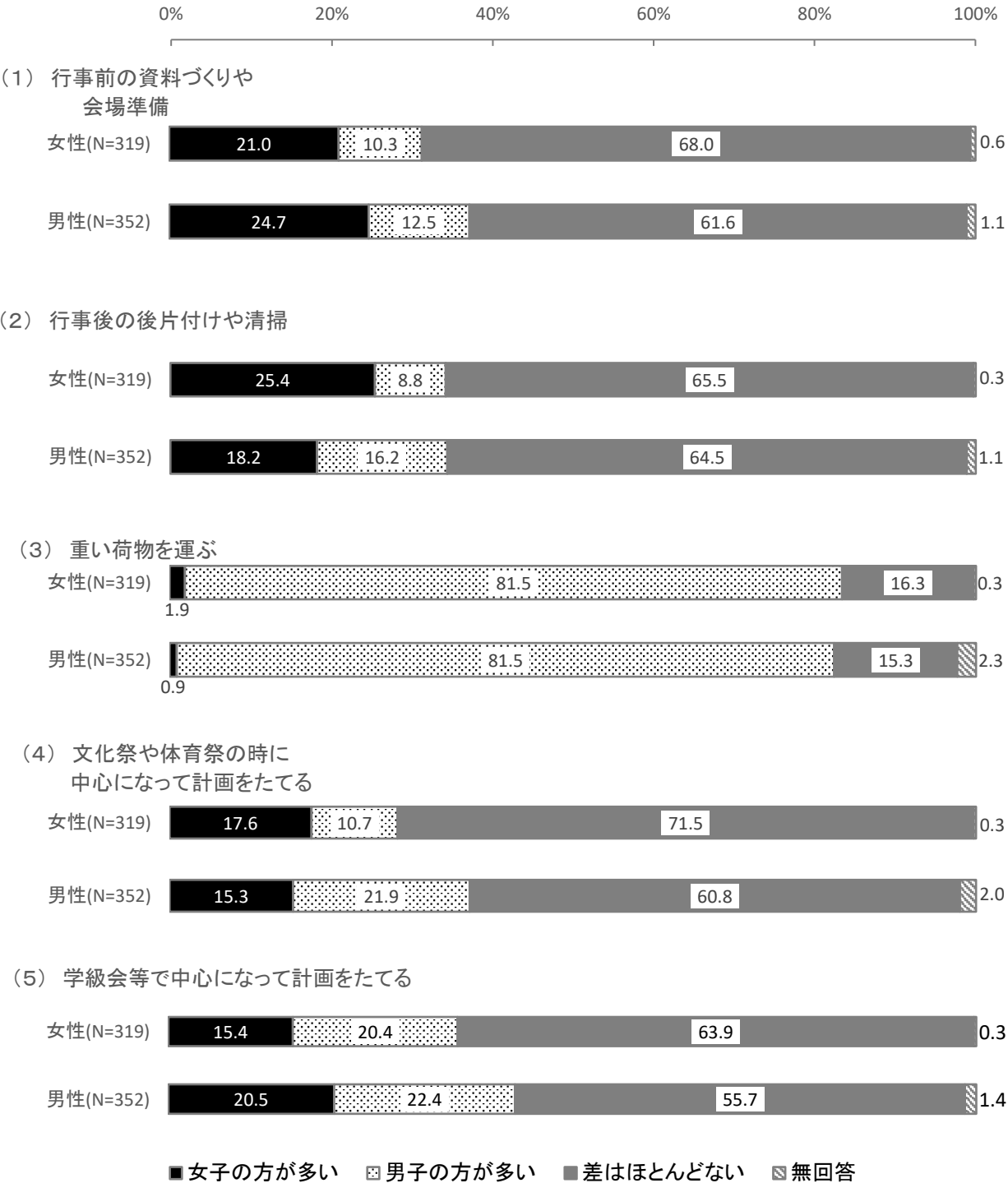
問2 あなたのクラスでまたは学校で、次のような時は女子と男子のどちらが多いとあなたは感じていますか。(単数回答)

各項目での男女の分担等に対する意識ついて、「女子の方が多い」の割合が最も高い項目は「(8) 合奏・合唱の指揮者」で43.5%となっています。次いで「(10) 先生がやさしくする」で41.6%となっています。一方で、「男子の方が多い」の割合が最も高い項目は「(3) 重い荷物を運ぶ」で80.7%、次いで「(9) 先生が厳しくする」で44.3%となっています。



男女別比較

性別による差異が 10%以上あるものは、「(4) 文化祭や体育祭の時に中心になって計画をたてる」、
「(6) 理科の実験のリーダー的な存在」の項目で「男子の方が多い」が男子の方が高く「差はほとんど
ない」で女子の方が高くなっており、「(10) 先生がやさしくする」の項目で「女子の方が多い」が男子
の方が高く「差はほとんどない」で女子の方が高くなっています。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

(6) 理科の実験のリーダー的な存在



(7) 調理実習のリーダー的な存在



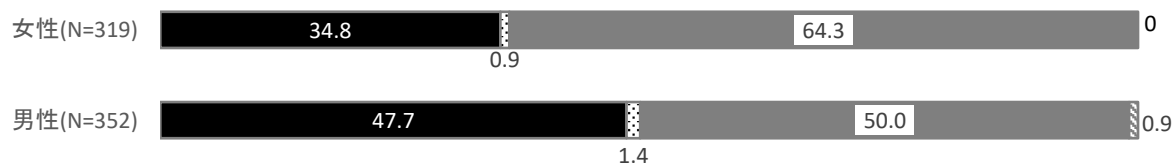
(8) 合奏・合唱の指揮者



(9) 先生が厳しくする



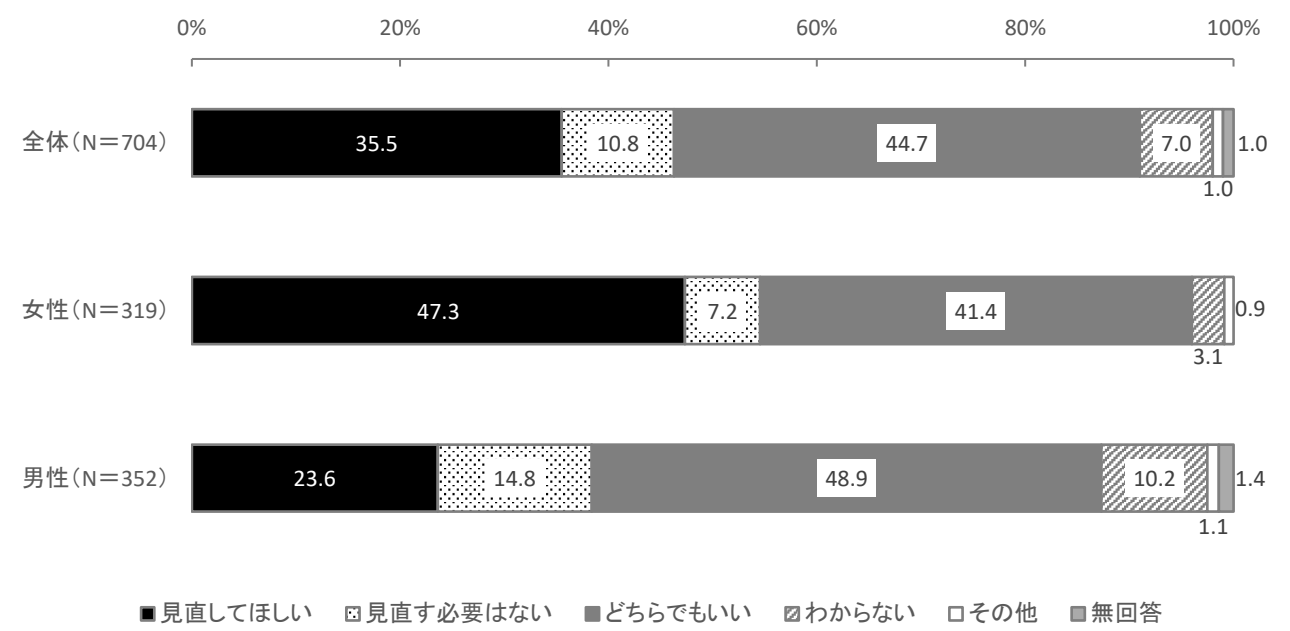
(10) 先生がやさしくする



■ 女子の方が多い □ 男子の方が多い ■ 差はほとんどない ▨ 無回答

問3 あなたは、学校の制服（学生服、セーラー服）をブレザー等に見直すことについてどう思いますか。（単数回答）

学校の制服については「どちらでもいい」が44.7%で最も高く、次いで「見直してほしい」が35.5%、「見直す必要はない」が10.8%となっています。
性別でみると、女性は「見直してほしい」が47.3%で最も高く、男性は「どちらでもいい」が48.9%で最も高くなっています。



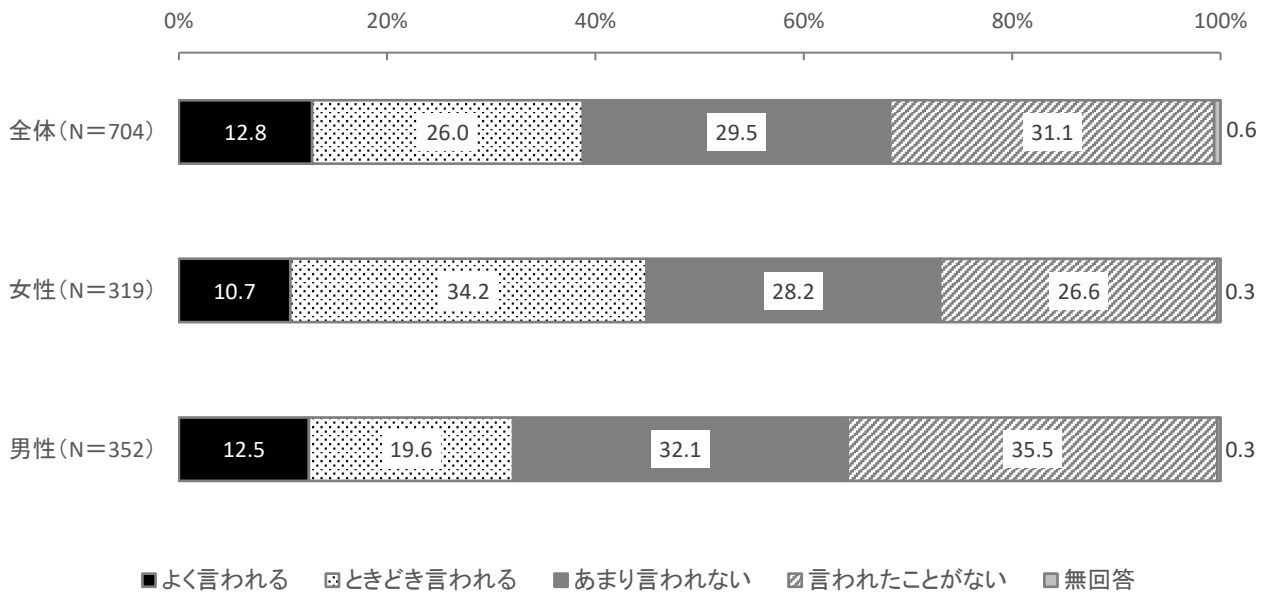
その他の意見

- ・制服がいらぬ私服で良い/たくさんの種類を作って、選ばせてほしい。今の学生服は、高いので、たくさんの種類を作るお金は、あるんじゃないんですか。
- ・体操服、ジャージにしてほしい
- ・私服
- ・学校のジャージ
- ・制服は少しダサイ。男女共同にするためにブレザーの方がいいと思う。それか制服を女子でもズボンありなど選択できるようにする。

問4 あなたは、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

各項目で性別によって行動を縛られる発言を受けた経験について、全体では「言われたことがない」の割合が31.1%と最も高くなっています。

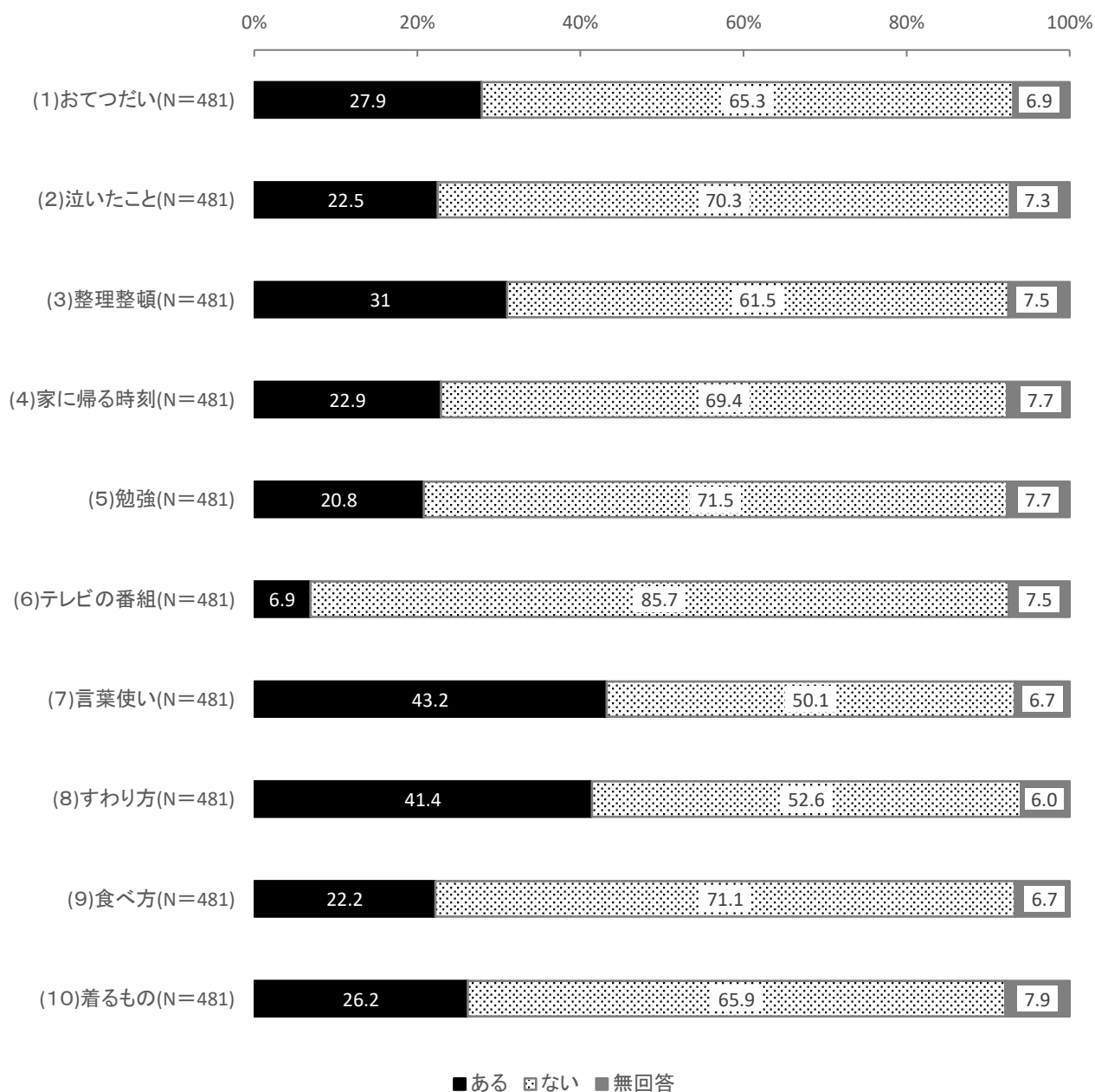
性別で見ると、女子は「ときどき言われる」の割合が34.2%と最も高くなっており、男子は「言われたことがない」の割合が35.5%と最も高くなっています。「ときどき言われる」については、女子の方が男子より14.6%高くなっています。



【問4で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」と回答した方のみ】

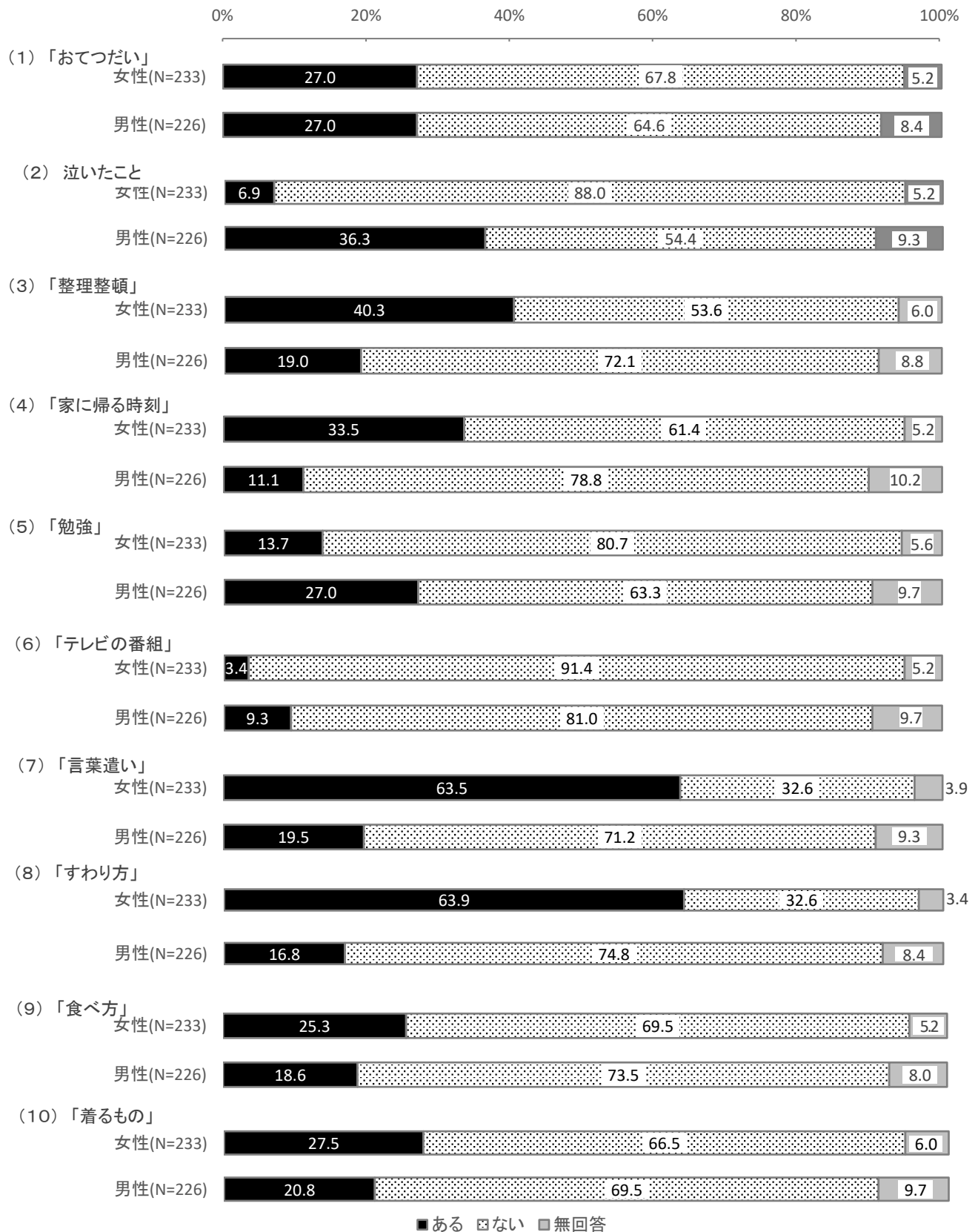
問5 次のことで、「女だから〇〇しなさい」や「男だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた経験について、「ある」の割合が最も高い項目は「(7) 言葉使い」で43.2%、次いで「(8) すわり方」で41.4%となっています。「ない」の割合が最も高い項目は「(6) テレビの番組」で85.7%となっています。



男女別比較

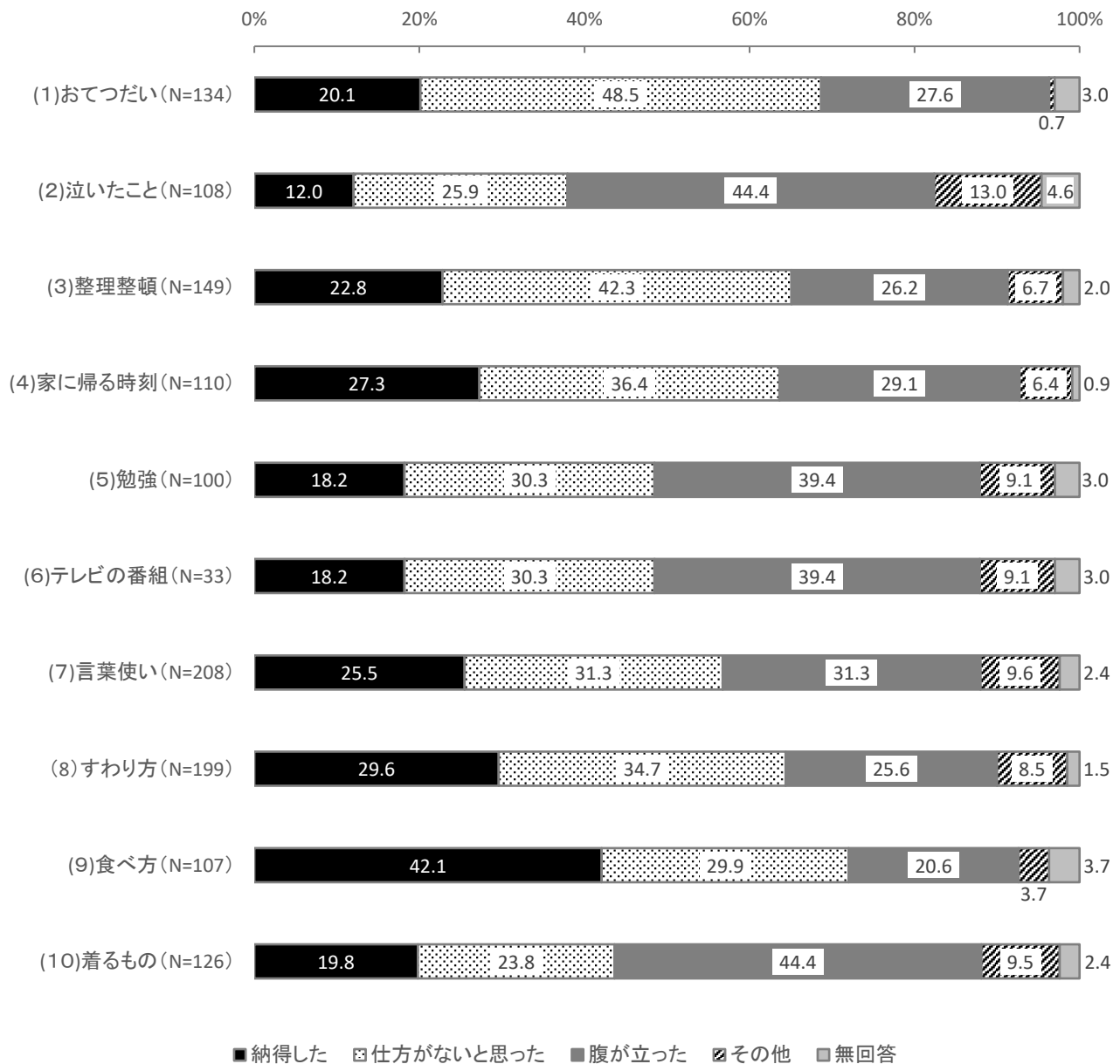
性別でみると、男女で行動を縛られる発言を受けた経験について、女性では「ある」の割合が最も高い項目は「(8) すわり方」で63.9%、次いで「(7) 言葉遣い」で63.5%となっています。男性では「ある」の割合が最も高い項目は「(2) 泣いたこと」で36.3%、次いで「(1) おてつだい」「(5) 勉強」で27.0%となっています。



【問5で「ある」と回答した方のみ】

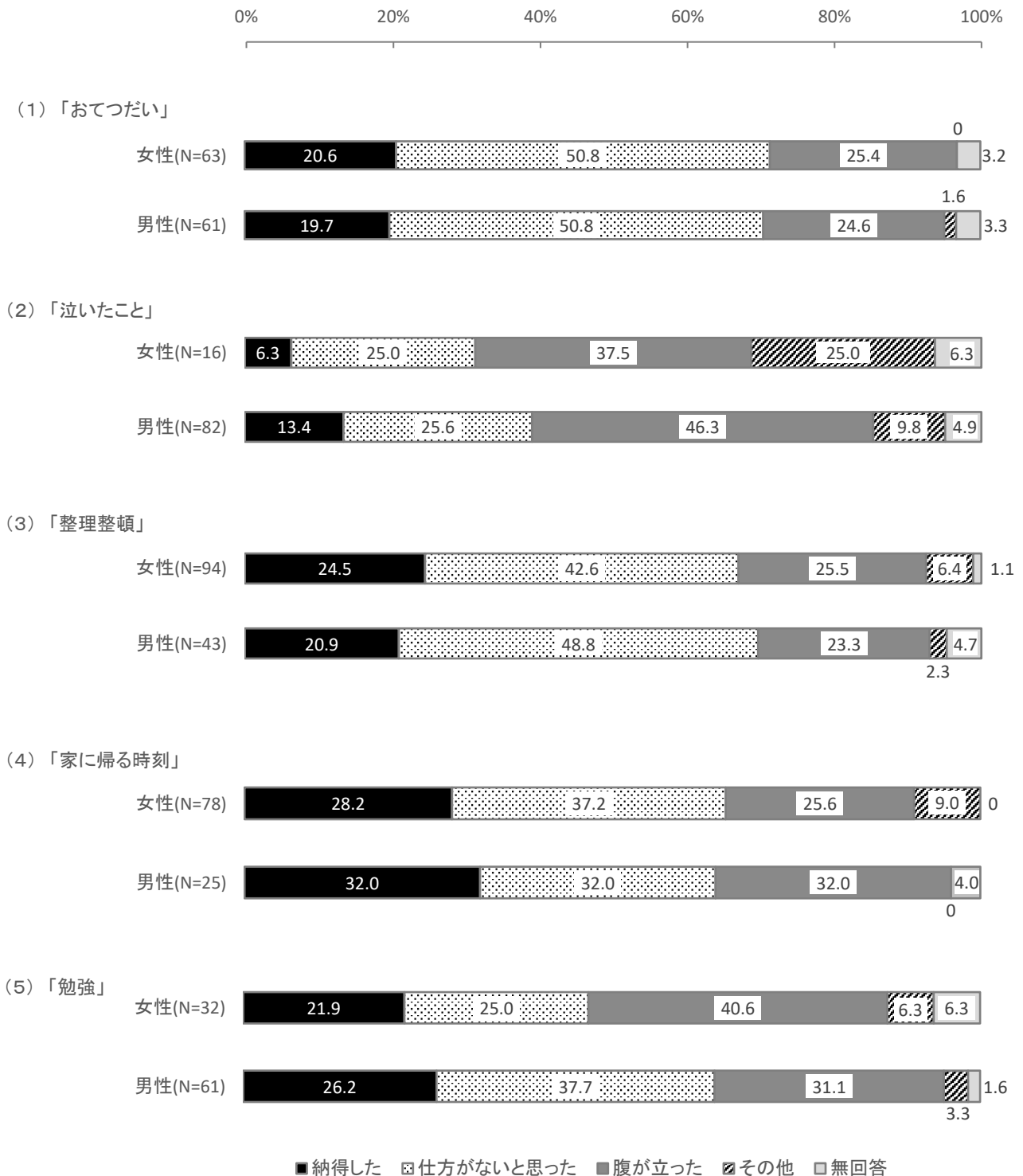
問5 次のことで、「女だから○○○しなさい」や「男だから○○○しなさい」と言われた時の気持ち（単数回答）

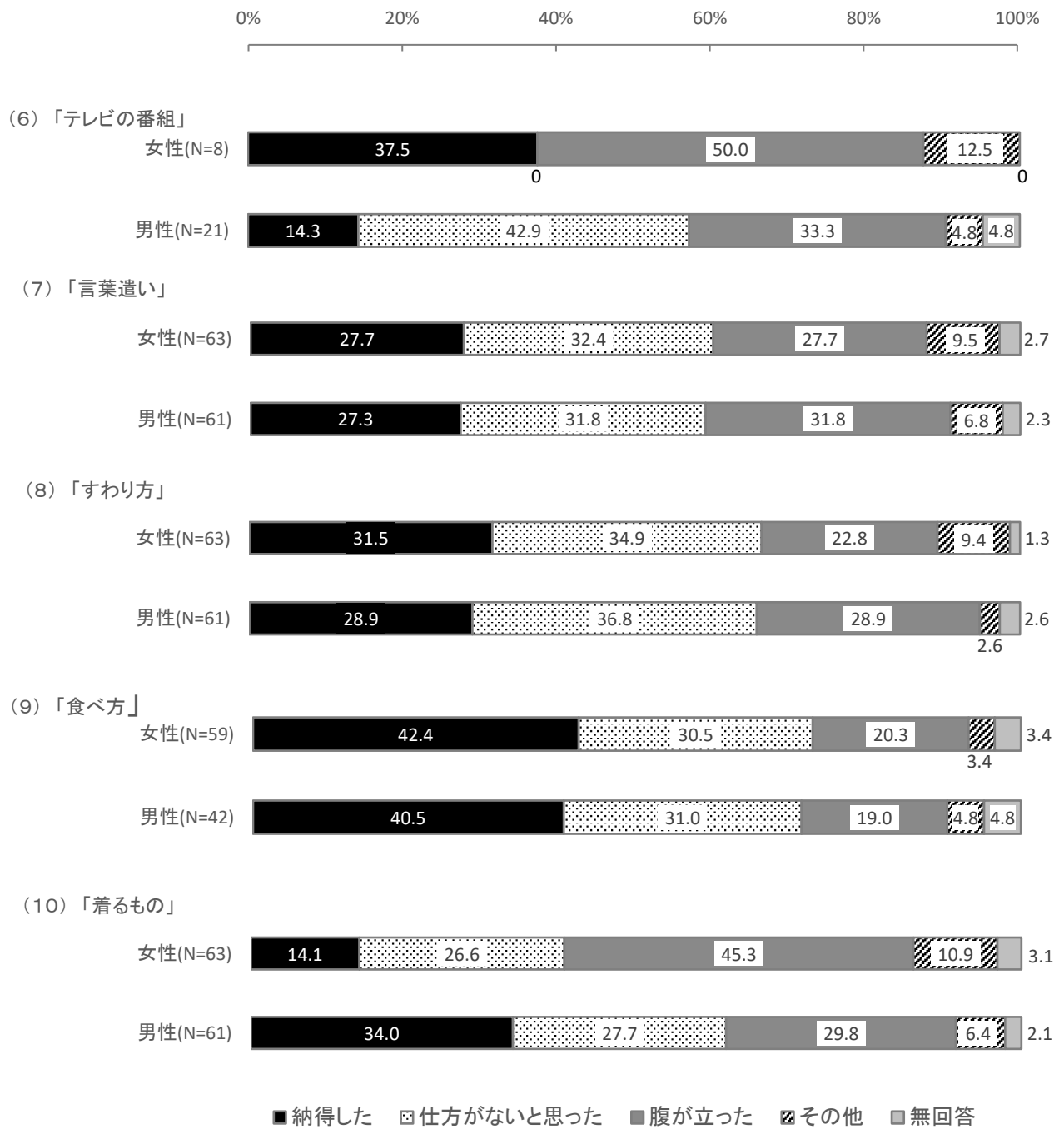
性別により行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、「納得した」の割合が最も高い項目は「(9)食べ方」で42.1%となっており、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1)おてつだい」で48.5%となっており、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(2)泣いたこと」「(10)着るもの」で44.4%となっています。



男女別比較

性別でみると、性別によって行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、女性では「納得した」の割合が最も高い項目は「(9) 食べ方」で42.4%、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1) おてつだい」で50.8%、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(6) テレビの番組」で50.0%となっています。男性では、「納得した」の割合が最も高い項目は「(9) 食べ方」で40.5%、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1) おてつだい」で50.8%、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(2) 泣いたこと」で46.3%となっています。

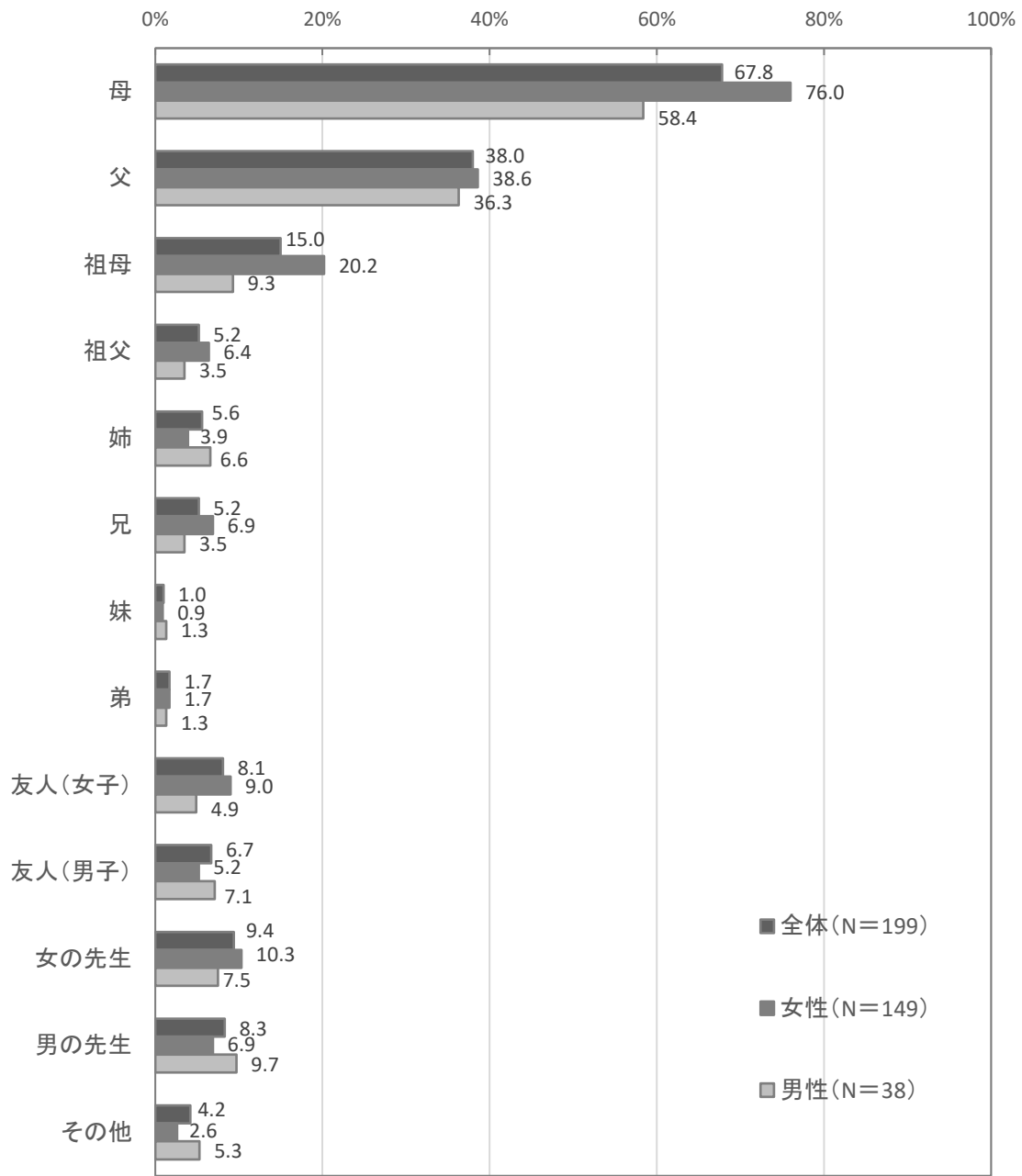




【問5で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」と回答した方のみ】

問6 だれから言われることが多いですか。(複数回答)

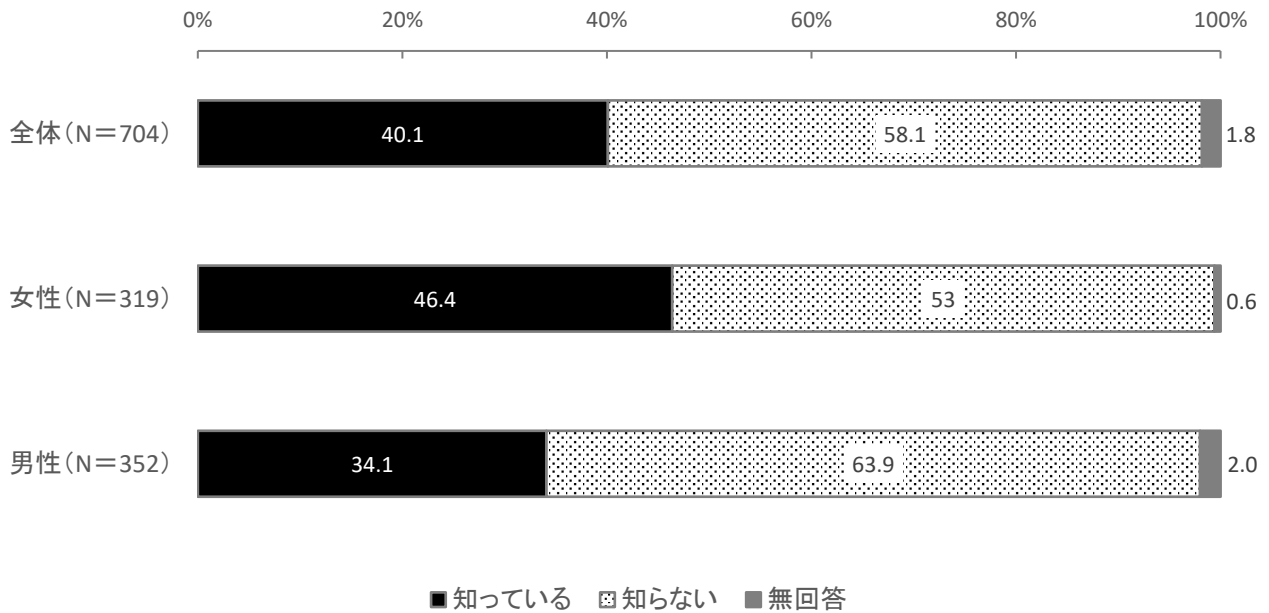
性別によって行動を縛る発言については、「母」から言われる割合が67.8%と最も高く、女子は76.0%、男子は58.4%となっています。次いで「父」から言われる割合は38.0%で、女子は38.6%、男子は36.3%となっています。女子では「母」から言われる割合が男子よりも17.6%高くなっています。



問7 あなたは、妊娠・出産に最も適した年齢は、20代、遅くとも35歳頃といわれているのを知っていますか。(単数回答)

妊娠・出産の適齢期は全体では「知っている」の割合が40.1%、「知らない」の割合が58.1%となっています。

性別で見ると、男子は女子に比べ「知らない」の割合が10.9%高くなっています。

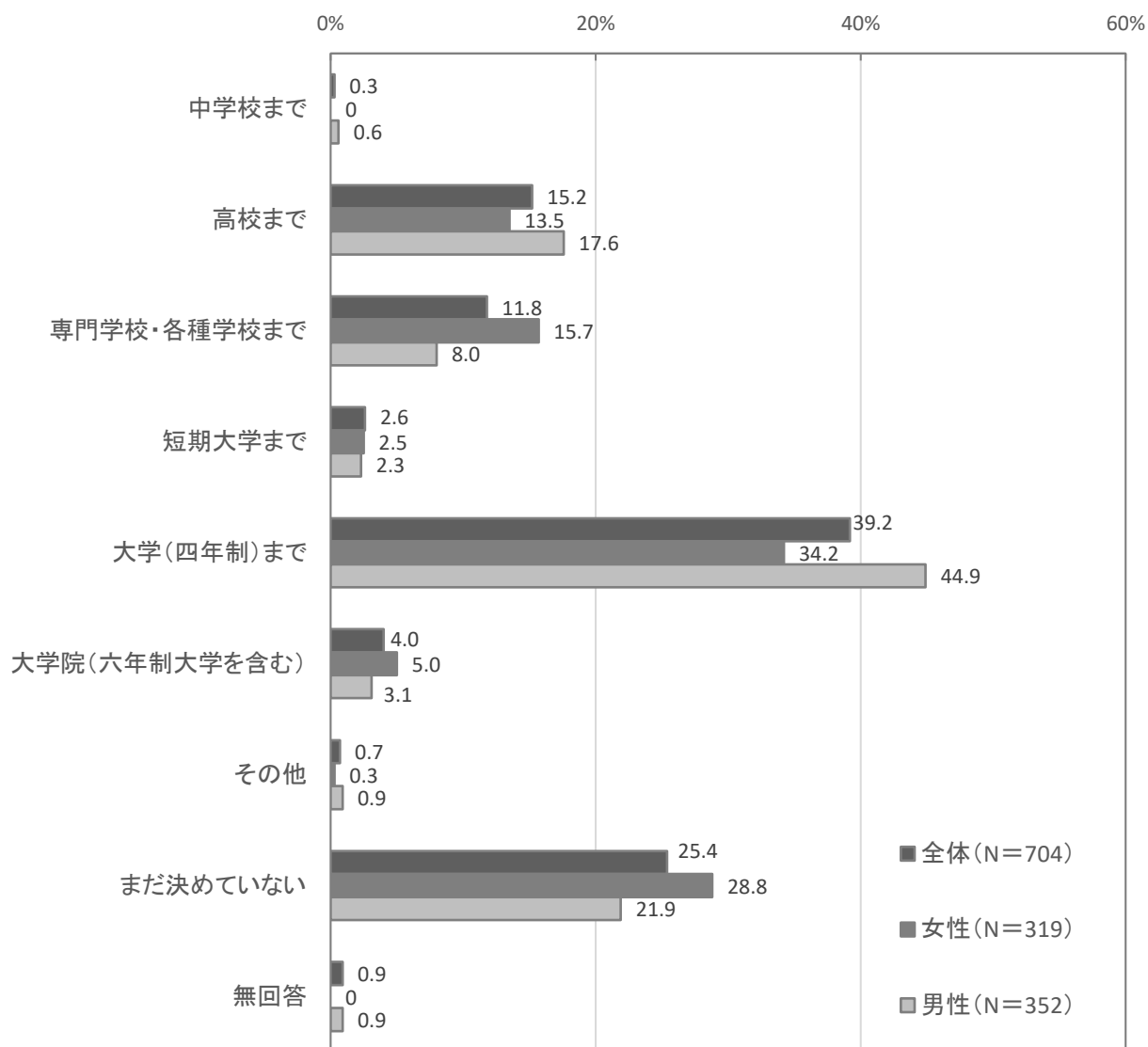


(2) 将来の進路について

問8 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。(単数回答)

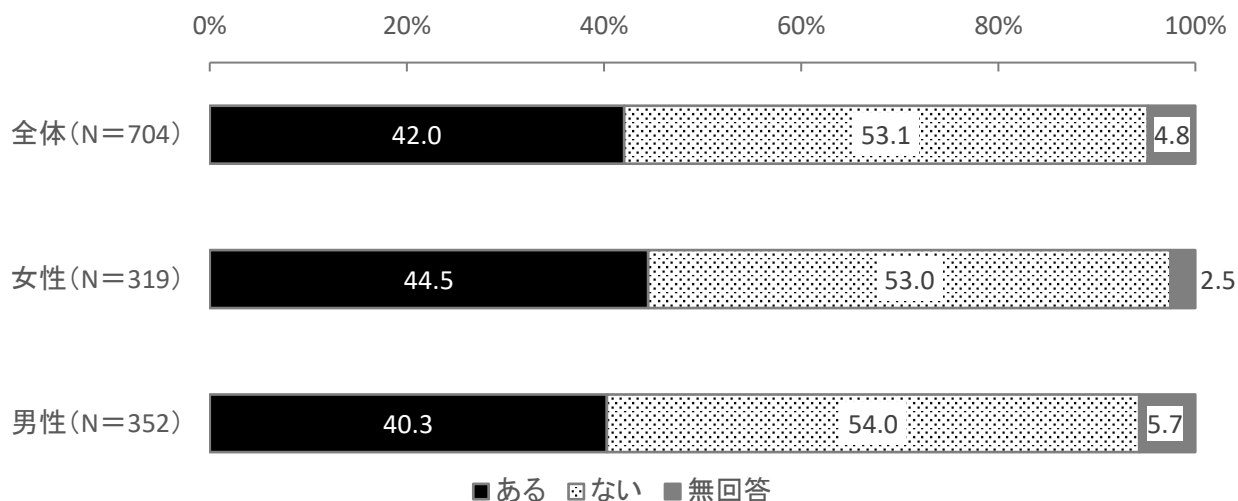
学歴について、全体では「大学(四年制)まで」が39.2%と最も高く、次いで「まだ決めていない」が25.4%となっています。

性別で見ると、「大学(四年制)まで」では女子が34.2%、男子が44.9%と10.7%の差異があります。



問9 あなたには、将来なりたい職業はありますか（単数回答）

なりたい職業について、全体では「ない」の割合が53.1%となっています。
性別で見ると、女子は「ある」の割合が44.5%と、男性の40.3%よりも高くなっています。



女子	人数	%	男子	人数	%
教師	11	9.7%	スポーツ関係・選手	18	14.6%
動物関係 (飼育員・ペットショップ・獣医師)	8	7.1%	教師	8	6.5%
漫画家・イラスト・キャラクターデザイナー	7	6.2%	ゲーム関係 (クリエイター・ゲーム)	9	7.3%
医療関係 (医師・整体師・技師)	6	5.3%	鉄道関係	6	4.9%
服飾関係 (服屋・スタイリスト・デザイナー)	5	4.4%	動物関係 (飼育員・ペットショップ)	6	4.9%
スポーツ関係	5	4.4%	エンジニア	5	4.1%
音楽関係 (歌手・アイドル・歌関係)	5	4.4%	料理人	4	3.3%
俳優・声優	5	4.4%	建築関係 (設計士・建築士・大工)	3	2.4%
看護師・助産師	4	3.5%	公務員	3	2.4%
美容関係 (美容師・ネイル・コスメ会社)	3	2.7%	学者	3	2.4%
アニメーター・アニメ関係	3	2.7%	クリエイター・開発者	3	2.4%
福祉関係 (介護福祉士・義足装具士)	3	2.7%	漫画家・原作・キャラクターデザイナー	3	2.4%
トリマー	2	1.8%	司法関係 (弁護士・司法書士)	3	2.4%
美術関係	2	1.8%	飲食店経営	2	1.6%
料理人	2	1.8%	警察官	2	1.6%
研究者	2	1.8%	医療関係 (医師)	2	1.6%
保育士	2	1.8%	プログラマー	2	1.6%
英語関係	2	1.8%	YouTuber	2	1.6%
飲食店	2	1.8%	正社員、サラリーマン	2	1.6%
ウェディングプランナー	2	1.8%	バス運転手	1	0.8%
パソコン関係	2	1.8%	パン職人	1	0.8%
雑誌編集者	2	1.8%	パティシエ	1	0.8%
児童指導員・児童館の先生	2	1.8%	車関係	1	0.8%

女子	人数 %		男子	人数 %	
ダンサー	1	0.9%	モータージャーナリスト	1	0.8%
ボートレーサー	1	0.9%	保育士	1	0.8%
パティシエ	1	0.9%	航空自衛官	1	0.8%
客室乗務員	1	0.9%	消防士	1	0.8%
正社員	1	0.9%	VR 開発	1	0.8%
花屋	1	0.9%	漁師関係者	1	0.8%
YouTuber	1	0.9%	美容関係 (美容師)	1	0.8%
バスガイド	1	0.9%	郵便配達員	1	0.8%
アナウンサー	1	0.9%	小売業	1	0.8%
小説家	1	0.9%	介護士	1	0.8%
薬剤師	1	0.9%	猟師	1	0.8%
ニート	1	0.9%	声優	1	0.8%
カメラマン	1	0.9%	ビートボックス	1	0.8%
警察官	1	0.9%	ラッパー	1	0.8%
エンタメ関係	1	0.9%	ギタリスト	1	0.8%
司法関係	1	0.9%	VOCALOID Producer	1	0.8%
カーギル本社配属	1	0.9%	映画監督	1	0.8%
スターバックスの店員	1	0.9%	客室乗務員	1	0.8%
サンリオ株式会社	1	0.9%	ディスパッチャー (空港関係)	1	0.8%
文房具に関係する仕事	1	0.9%	文部科学省大臣	1	0.8%
子供関係に関わる仕事	1	0.9%	国立大学教授	1	0.8%
人に関わる仕事	1	0.9%	学芸員	1	0.8%
自営業で物作りの仕事	1	0.9%	起業して社長	1	0.8%
キャンプギアなどの販売	1	0.9%	釣りに関係する事	1	0.8%
商品、食品を開発する仕事	1	0.9%	子供達と触れ合える職業	1	0.8%
アイドルに会える職業	1	0.9%	本に関わる仕事	1	0.8%
			英語や他国の言語関係	1	0.8%
			お金を稼ぎやすい仕事	1	0.8%
			家でゆったりそんなに長くない仕事	1	0.8%
			マック	1	0.8%
			お店	1	0.8%
			父の仕事	1	0.8%
			趣味に関係する事	1	0.8%
回答者数	123		回答者数	113	

その他(わからない、答えたくない、無回答)	人数 %		その他(わからない、答えたくない、無回答)	人数 %	
教師	3	23.1%	福祉系	1	7.7%
野球選手	2	15.4%	音楽制作・歌手等マルチクリエイター	1	7.7%
エンジニア	1	7.7%	検察官	1	7.7%
美容師	1	7.7%	作曲家や小説家	1	7.7%
音楽療法士	1	7.7%	声優	1	7.7%
			回答者数	13	

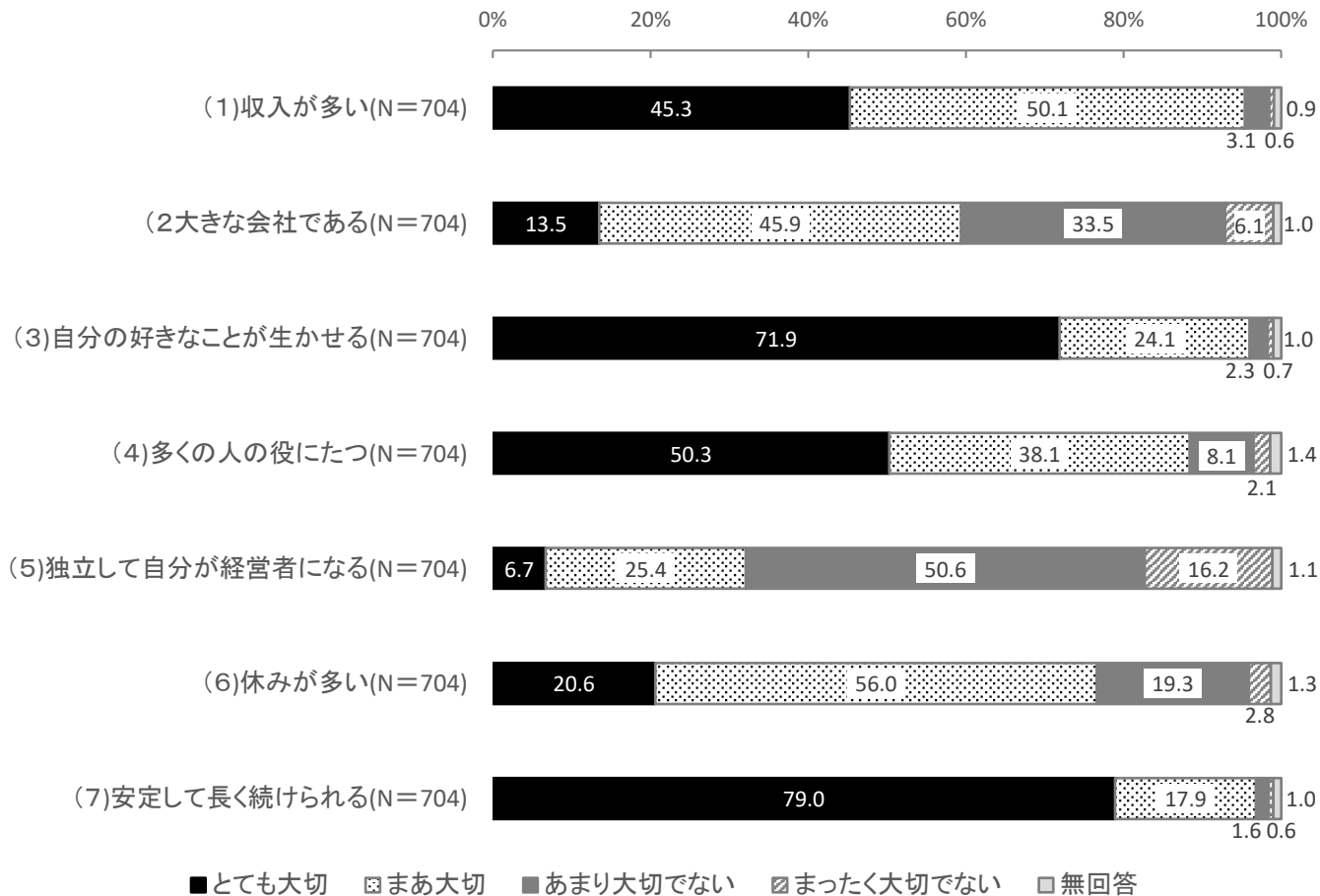
問10 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(単数回答)

問10の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

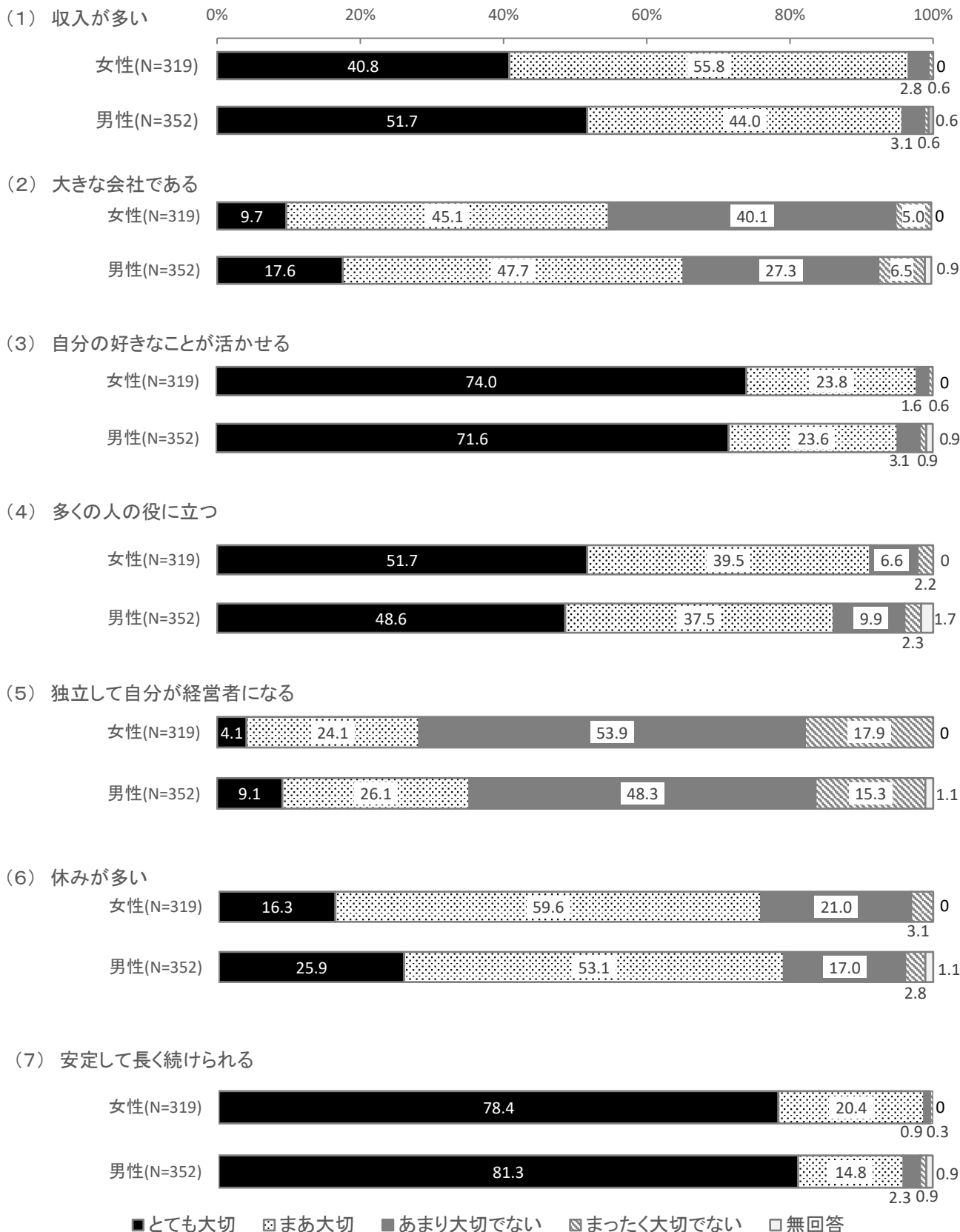
『大切にない』…「まったく大切にない」と「あまり大切にない」を合算

職業を選択する上で『大切』と考える割合が最も高い項目は「(7) 安定して長く続けられる」で96.9%、次いで「(3) 自分の好きなことが生かせる」で96.0%となっています。『大切にない』と考える割合が最も高い項目は「(5) 独立して自分が経営者になる」で66.8%となっています。



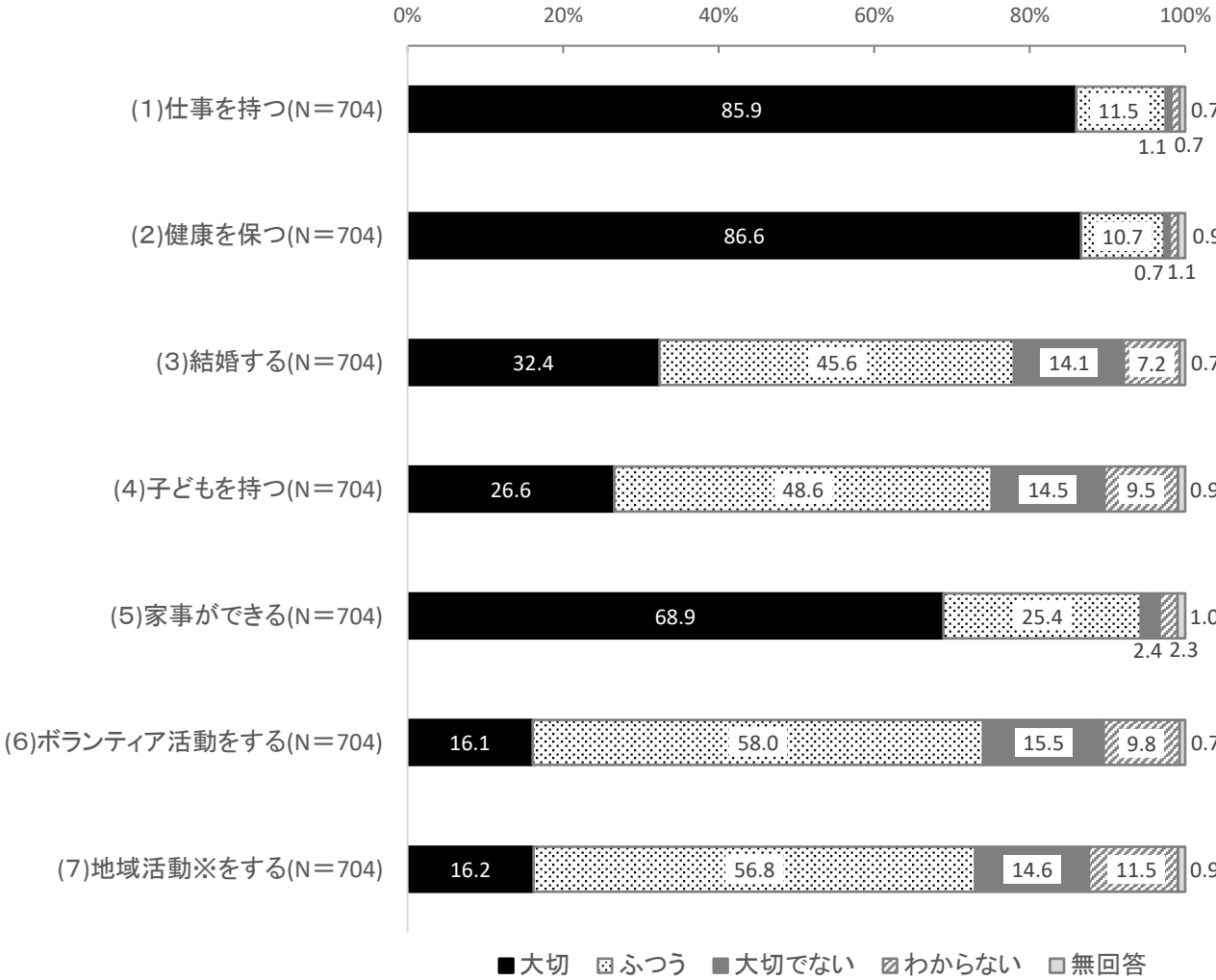
男女別比較

性別でみると、職業を選択する上で、男女ともに『大切』と考える割合が最も高い項目は「(7) 安定して長く続けられる」となっています。また、『大切』と考える項目として、「(2) 大きな会社である」が女子で54.8%、男子で65.3%と10.5%の差異があります。



**問 1 1 将来、あなたが希望する生活をするために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。
(単数回答)**

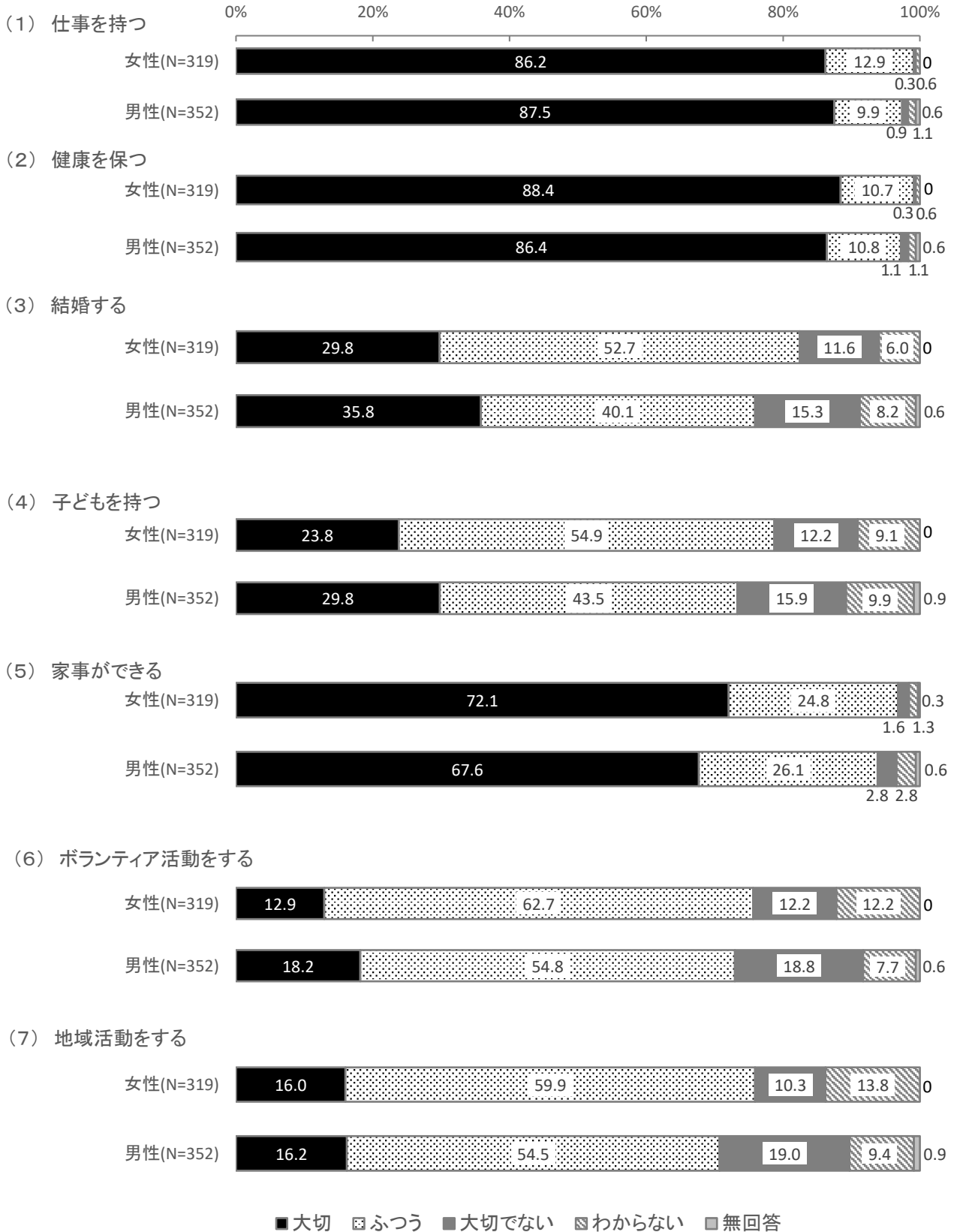
希望する生活をするために、「大切」と考える割合が最も高い項目は「(2) 健康を保つ」で 86.6%、次いで「(1) 仕事を持つ」で 85.9%、「(5) 家事ができる」で 68.9%となっています。「大切でない」と考える割合が最も高い項目は「(6) ボランティア活動をする」で 15.5%となっています。



※地域活動：自治会、町内会など地域で、住民が行う祭りや防犯・防災活動などの地域をよくするための活動

男女別比較

性別でみると、希望する生活をするために「大切」と考える割合が最も高い項目は、男子は「(1) 仕事を持つ」で87.5%、女子は「(2) 健康を保つ」で88.4%となっています。また、「大切」と考える割合の差異について最も大きいのは「(3) 結婚する」、「(4) 子どもを持つ」で共に6%の差異があり女子より男子の割合が高くなっています。

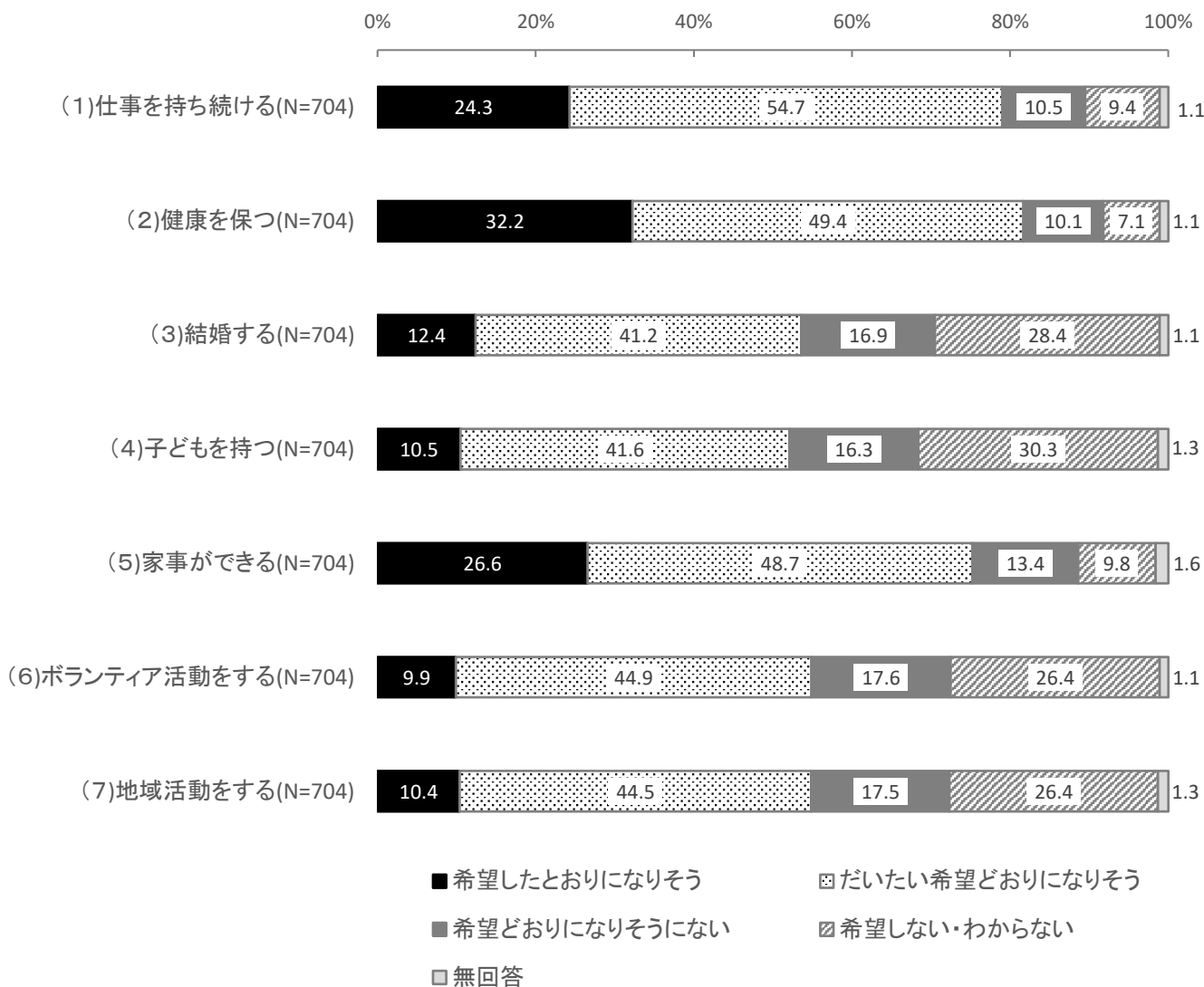


問 1 2 将来、次のことはあなたの希望どおりになりそうですか。(単数回答)

問 1 2 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

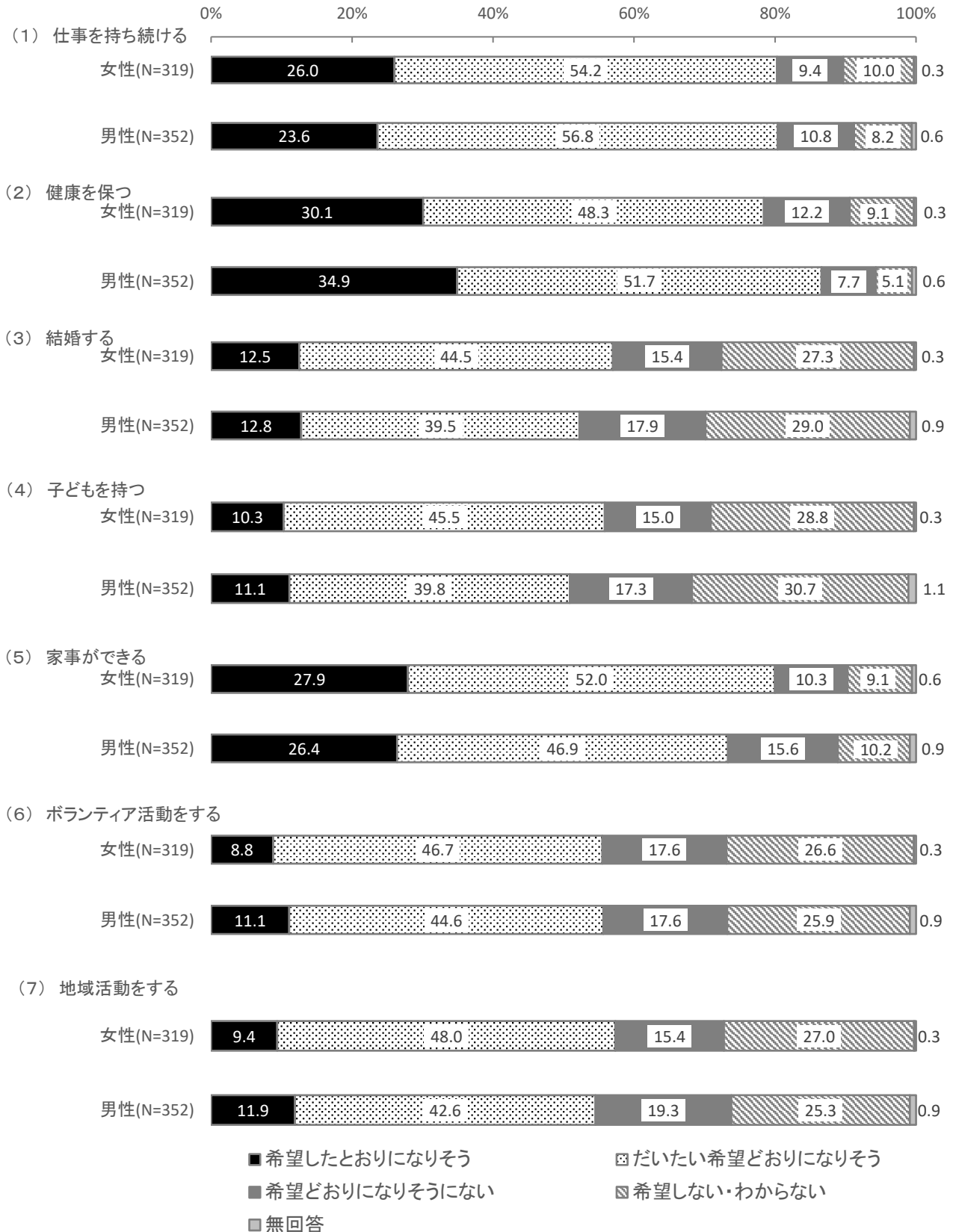
『希望どおり』…「希望したとおりになりそう」と「だいたい希望どおりになりそう」を合算

将来、『希望どおり』と見込む割合が最も高い項目は「(2) 健康を保つ」で 81.6%、次いで「(1) 仕事を
持ち続けること」で 79.0%となっています。「希望どおりになりそうにない」と見込む割合が最も高い項目
は「(6) ボランティア活動をする」で 17.6%となっています。また、「希望しない・わからない」の割合は、
「(4) 子どもを持つ」で 30.3%、次いで「(3) 結婚する」で 28.4%となっています。



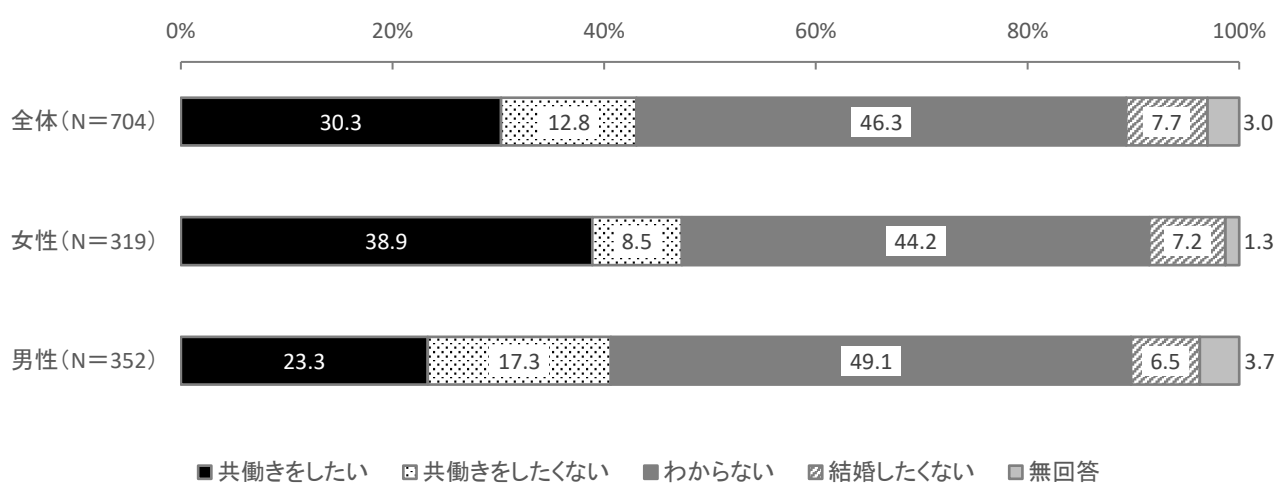
男女別比較

性別でみると、各項目で将来、希望どおりになりそうかについて、女子で『希望どおり』の割合が最も高い項目は「(1) 仕事を続けること」が80.2%となっており、男子で『希望どおり』の割合が最も高い項目は「(2) 健康を保つ」が86.6%となっています。



問 1 3 あなたは、将来、結婚したら共働きをするつもりですか。(単数回答)

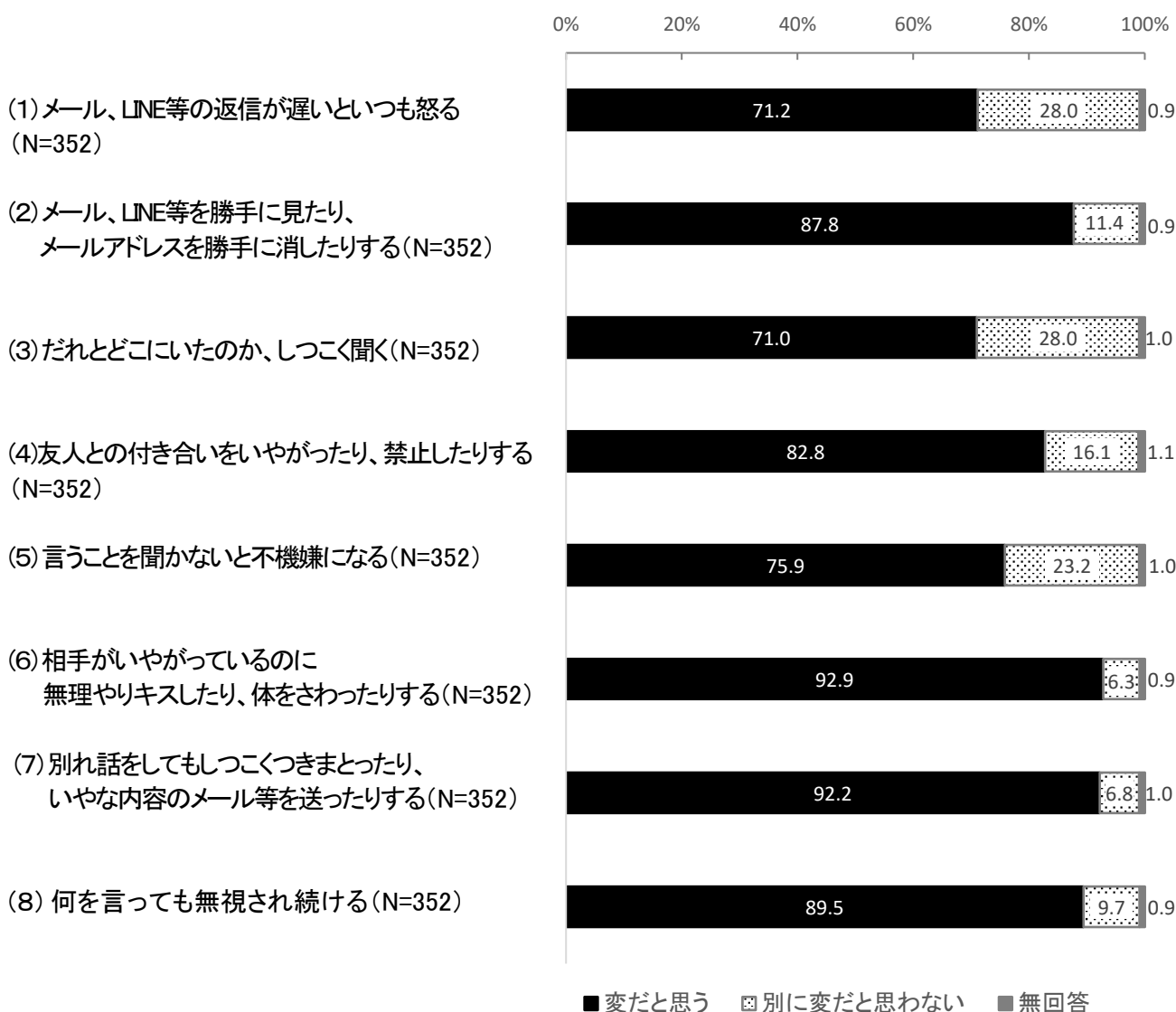
共働きの意思について、全体では「わからない」の割合が46.3%と最も高くなっています。性別で見ると、女子では「共働きをしたい」の割合が38.9%であるのに対し、男性では23.3%となっています。また、「結婚したくない」の割合が女性では7.2%、男性では6.5%となっています。



(3) 男女交際について

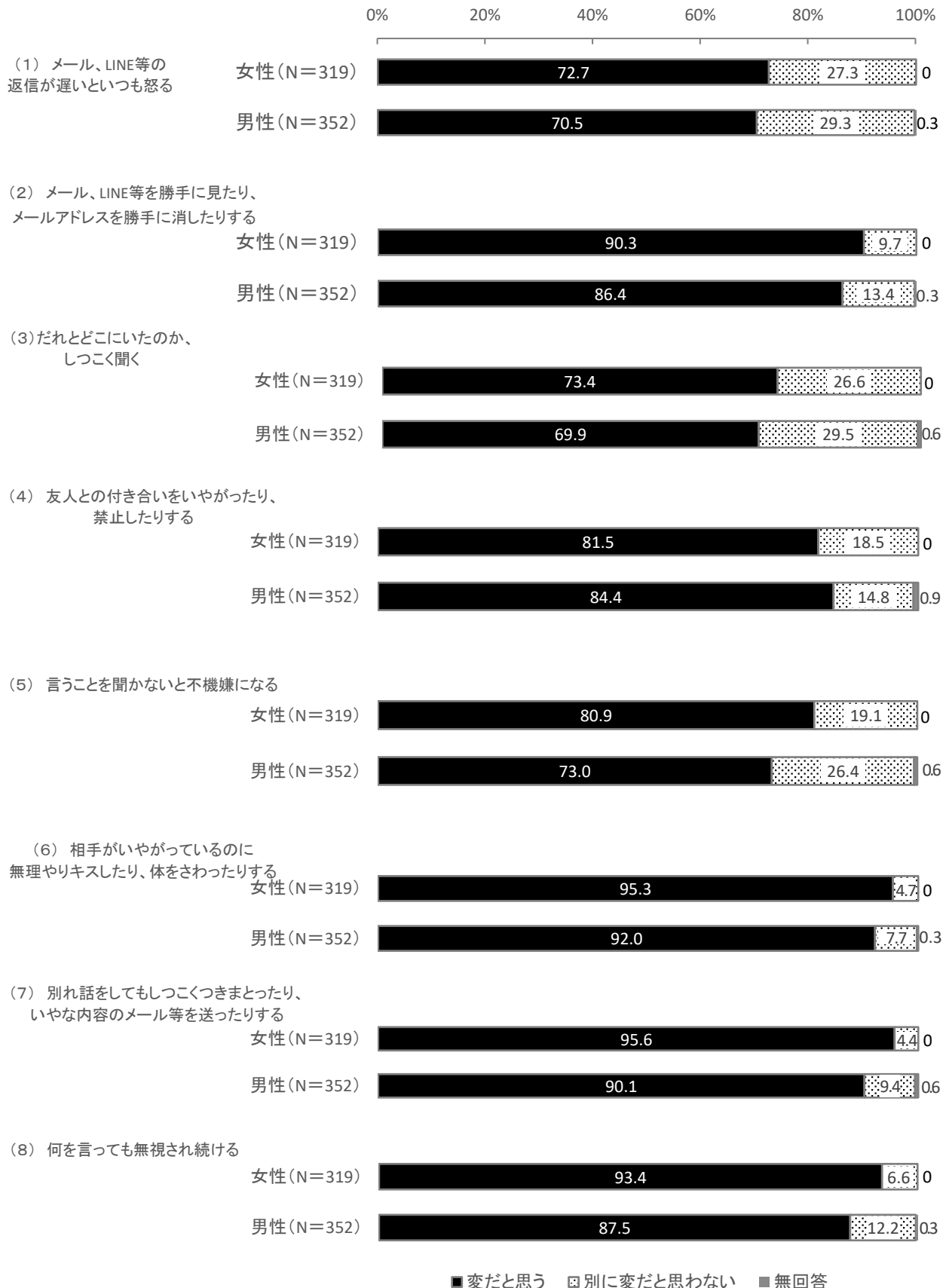
問14 あなたは、男女交際について次の(1)～(8)のような関係をどのように思いますか。
(単数回答)

男女交際における関係性について、全項目で「変だと思う」が70%を超えています。「変だと思う」の割合が最も高い項目は「(6) 相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする」で92.9%、次いで「(7) 別れ話をしてもしつこくつきまとったり、いやな内容のメール等を送ったりする」で92.2%となっています。一方で「別に变だと思わない」の割合が最も高い項目は「(1) メール、SNS等の返信が遅いといつも怒る」、「(3) だれとどこにいたのか、しつこく聞く」で共に28.0%となっています。



男女別比較

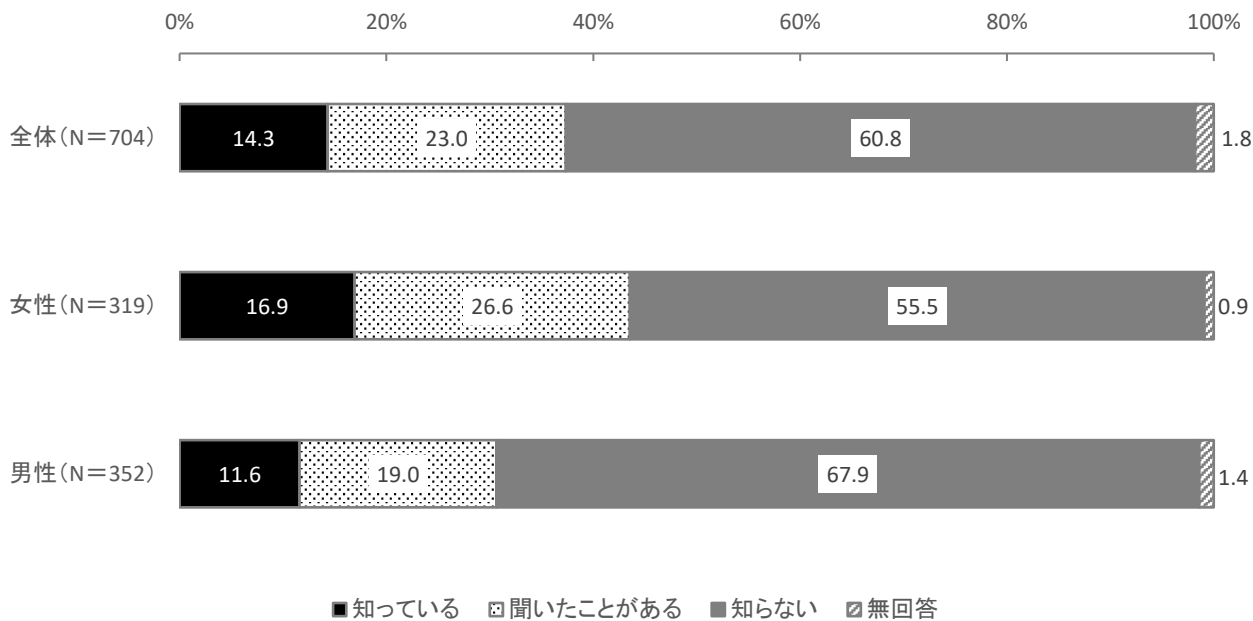
性別でみると、男女交際における関係性について、性別により「変だと思う」が5%以上の差異があるものは「(5)言うことを聞かないと不機嫌になる」のみで、「変だと思う」が女性で80.9%、男性で73.0%となっています。



問15 あなたは「デートDV」という言葉を知っていますか。(単数回答)

「デートDV」という言葉の認知度について、全体では「知っている」が、14.3%、「聞いたことがある」が23.0%、「知らない」が60.8%となっています。

性別で見ると、女子は男子に比べ「知っている」が5.3%、「聞いたことがある」が7.6%高くなっています。

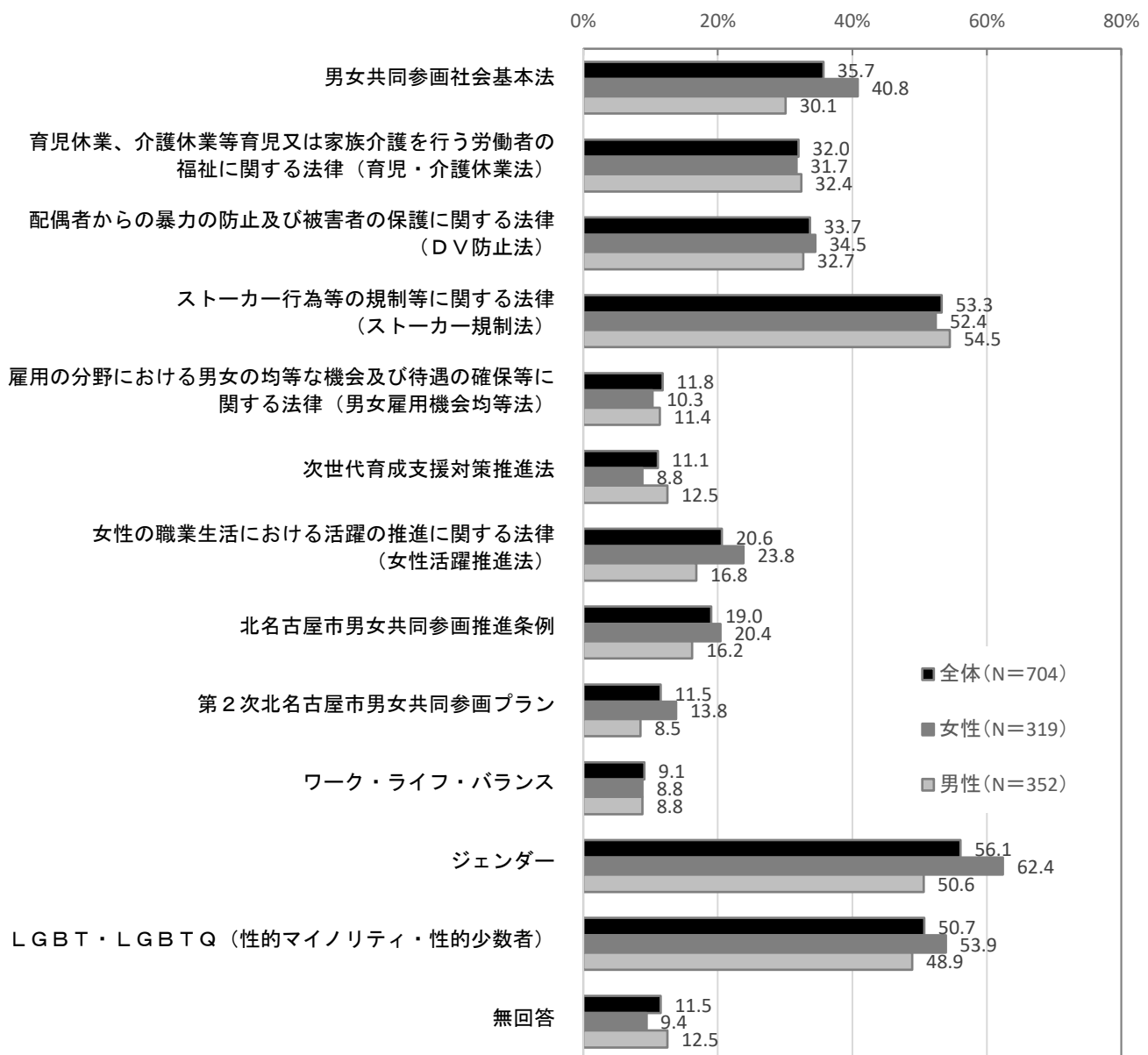


(4) 男女共同参画について

問16 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに、「ジェンダー」が最も高く、次いで「ストーカー行為等の規制等に関する法律（DV防止法）」、となっています。

性別で見ると、「男女共同参画社会基本法」「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」「北名古屋市男女共同参画推進条例」「第2次北名古屋市男女共同参画プラン」「ジェンダー」「LGBT・LGBTQ（性的マイノリティ・性的少数者）」で男子よりも女子の割合が高くなっています。



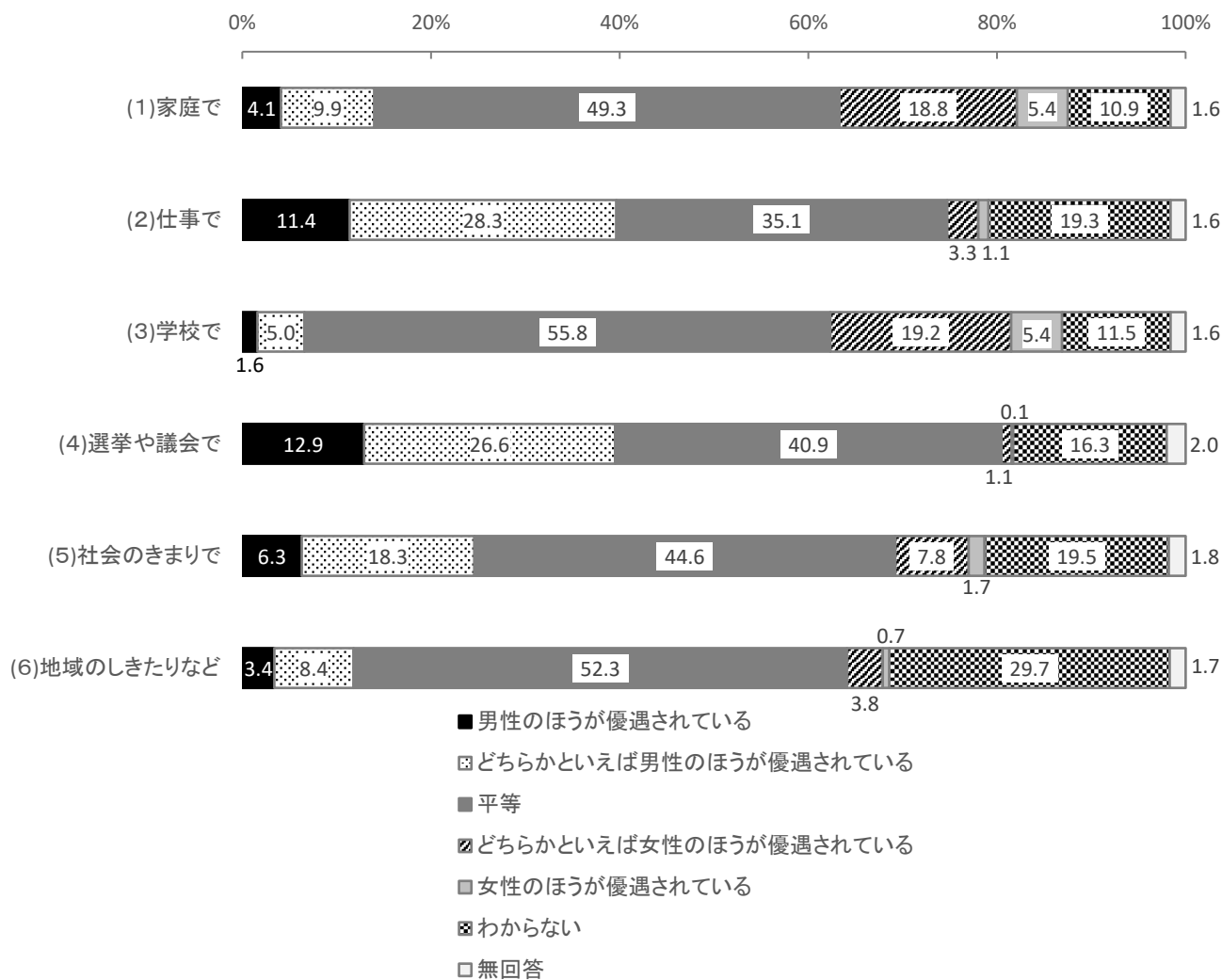
問 17 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 17 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『女性優遇』…「女性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」を合算

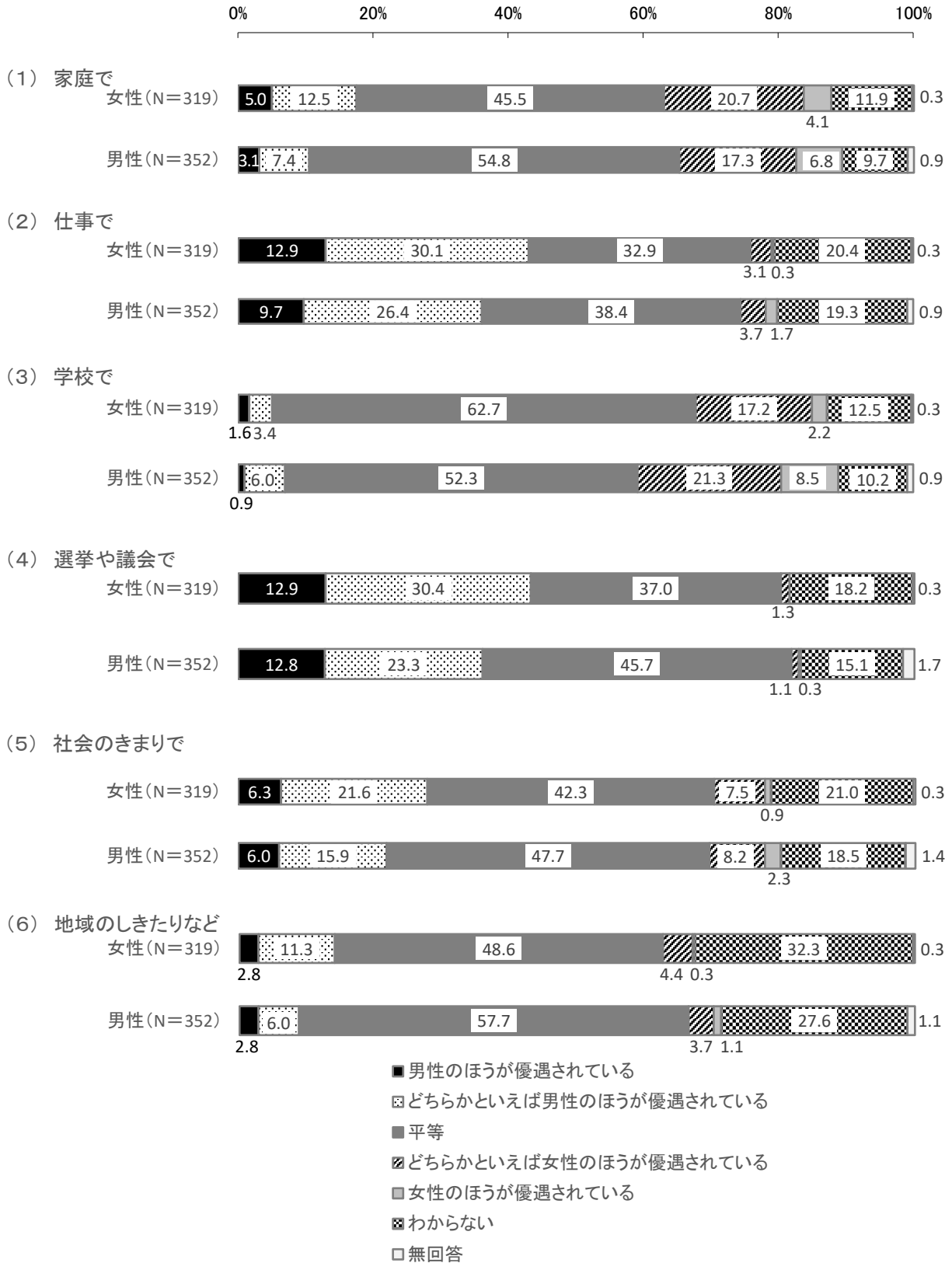
『男性優遇』…「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合算

男女の地位の平等について、すべての項目で「平等」の割合が最も高くなっています。「(1) 家庭で」、「(3) 学校で」を除いた項目で『男性優遇』は『女性優遇』に比べ高い割合となっています。



男女別比較

性別でみると、「(3) 学校で」を除くすべての項目で女性は男性よりも『男性優遇』とする割合が高くなっています。「(1) 家庭で」を除くすべての項目で男性は女性よりも『女性優遇』とする割合が高くなっています。「(3)学校で」を除くすべての項目で男性は女性よりも「平等」とする割合が最も高くなっています。『女性優遇』とする割合が最も高い項目は女性では「(1) 家庭で」が24.8%となっており、男性では「(3) 学校で」が29.8%となっています。



問18 「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方があります。あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

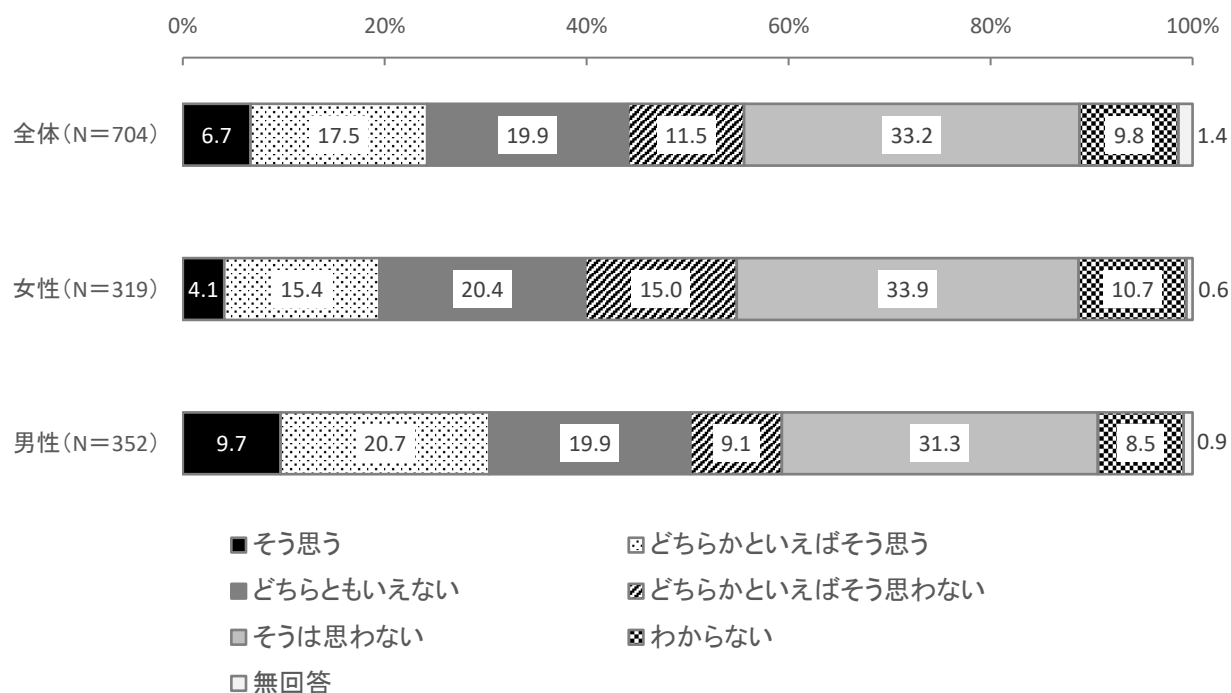
問18の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方について、全体では『賛成』が24.2%、『反対』が44.7%となっています。

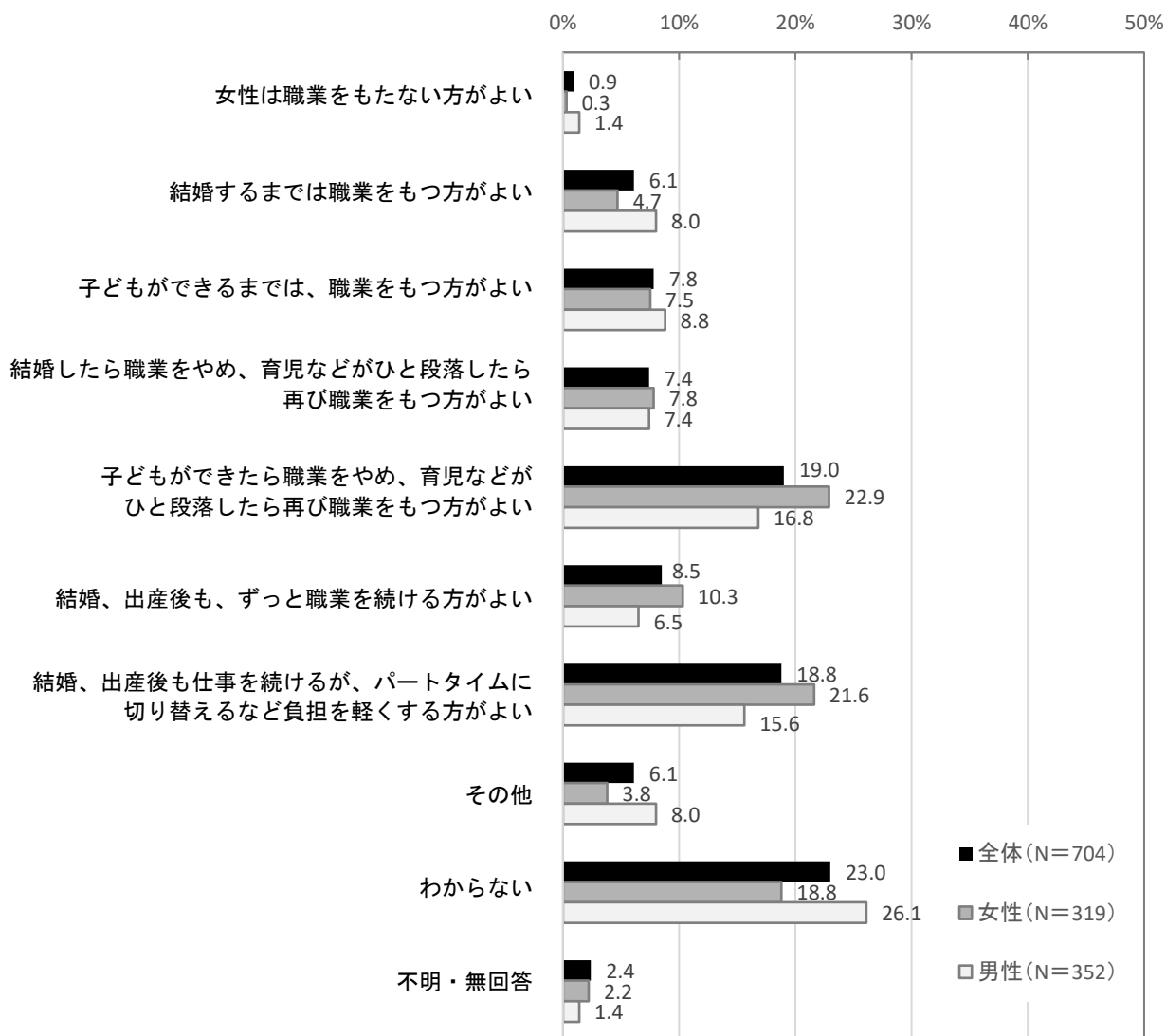
性別で見ると、女性は『賛成』の割合が19.5%であるのに対し、男性は『賛成』の割合が30.4%となっています。



問19 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように考えますか。(単数回答)

女性が仕事を持つことに対する考えについて、全体では「わからない」を除いて「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」の割合が19.0%で最も高くなっています。

性別で見ると、女性男性とも「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」が最も高く、次いで「結婚、出産後も仕事を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」となっています。

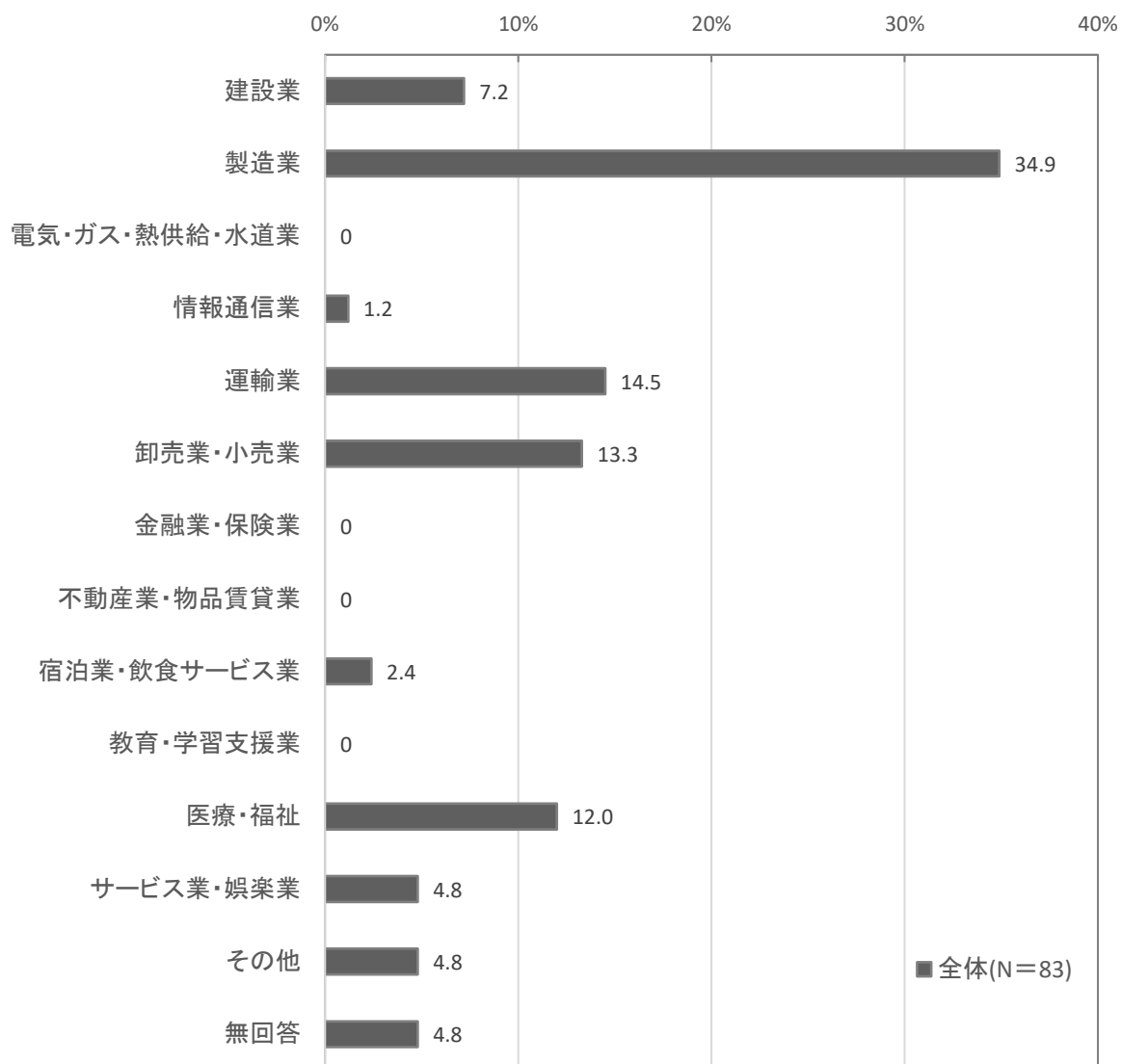


4 事業所調査結果

(1) 事業所の概要について

問1 貴事業所の主な業種は何ですか。(単数回答)

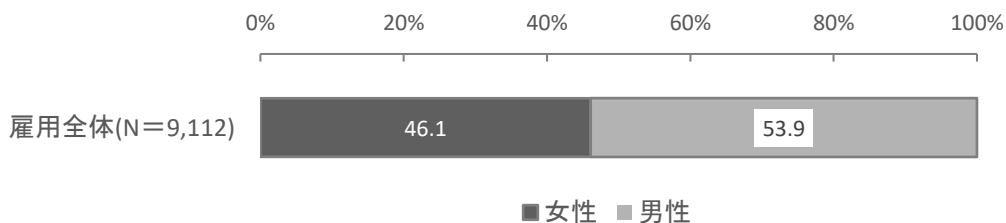
業種は、「製造業」が34.9%、「運輸業」が14.5%、「卸売業・小売業」が13.3%となっています。



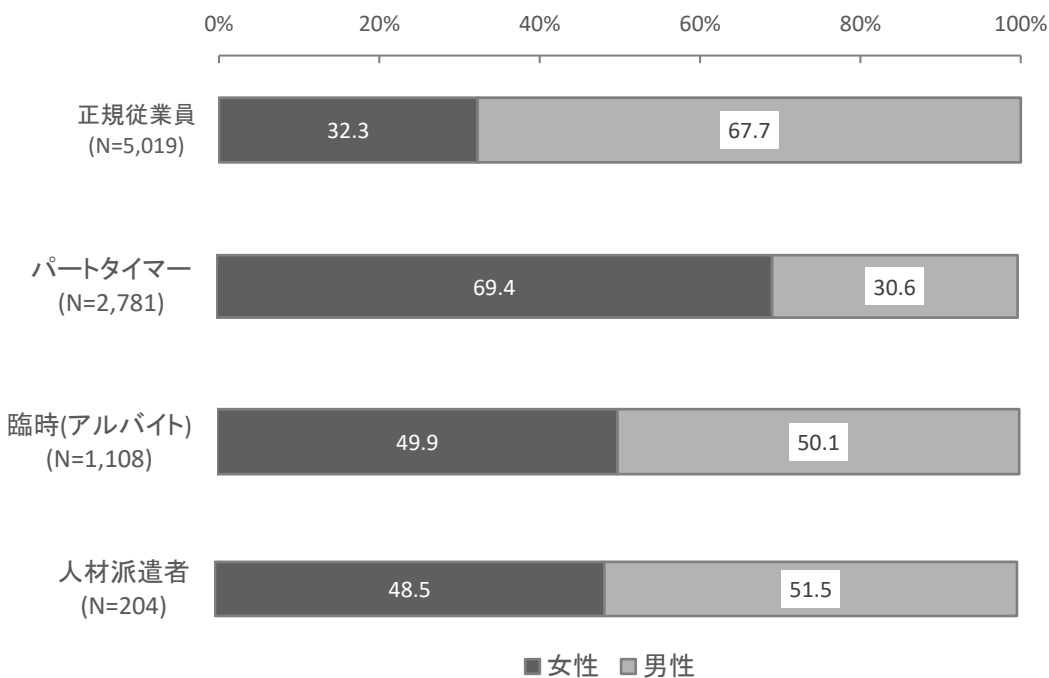
問 2 (1) 貴事業所の雇用状況 (数量回答)

雇用全体のうち、女性が46.1%、男性が53.9%となっています。

就業区分について、「正規従業員」では男性が67.7%で女性の32.3%より高く、「パートタイマー」では女性が69.4%で男性の30.6%より高くなっています。



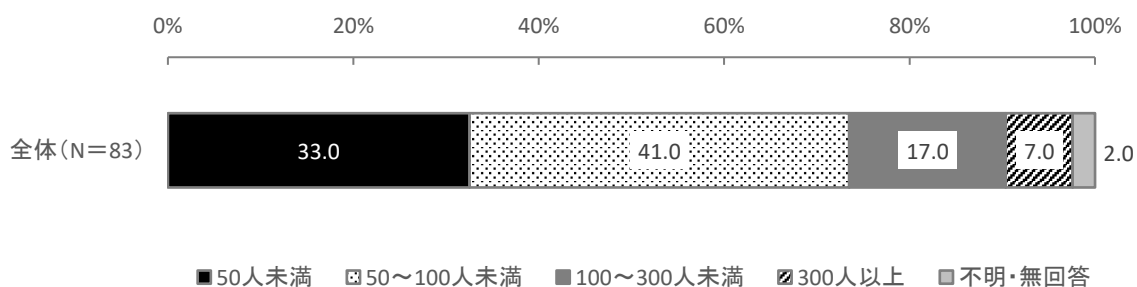
【区分】



※「不明・無回答」を除き、全事業所の従業員を合算して集計

問 2 (2) 貴事業所の雇用規模 (数量回答)

雇用規模は、「50～100人未満」が41.0%と最も高く、次いで「50人未満」が33.0%、「100～300人未満」が17.0%、「300人以上」が7.0%となっています。

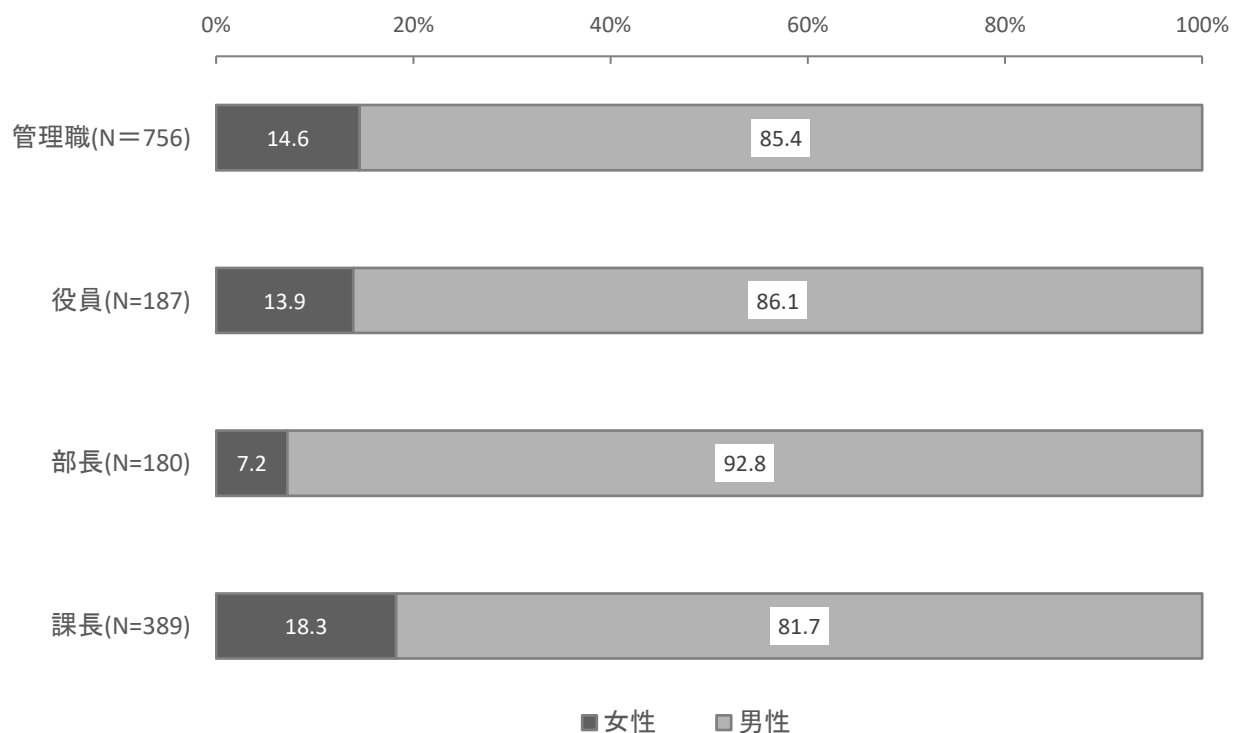


(2) 従業員の就労状態について

問3 貴事業所の管理職（数量回答）

管理職は、女性が14.6%、男性が85.4%となっています。

「役員」で86.1%、「部長」で92.8%、「課長」で81.7%といずれも男性の割合が高くなっています。

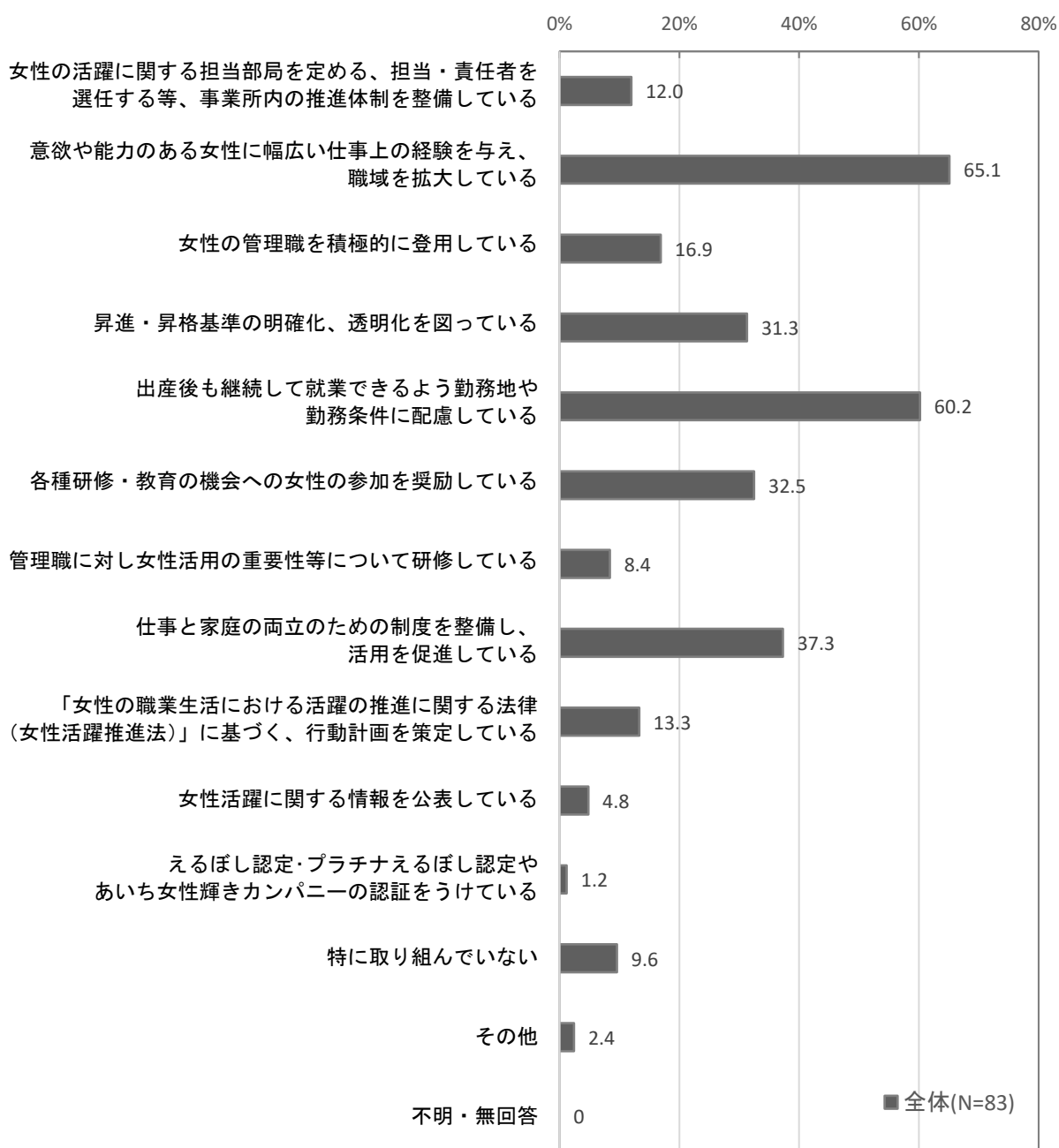


※「不明・無回答」を除き、全事業所の管理職を合算して集計

(3) 女性の雇用管理の状況等について

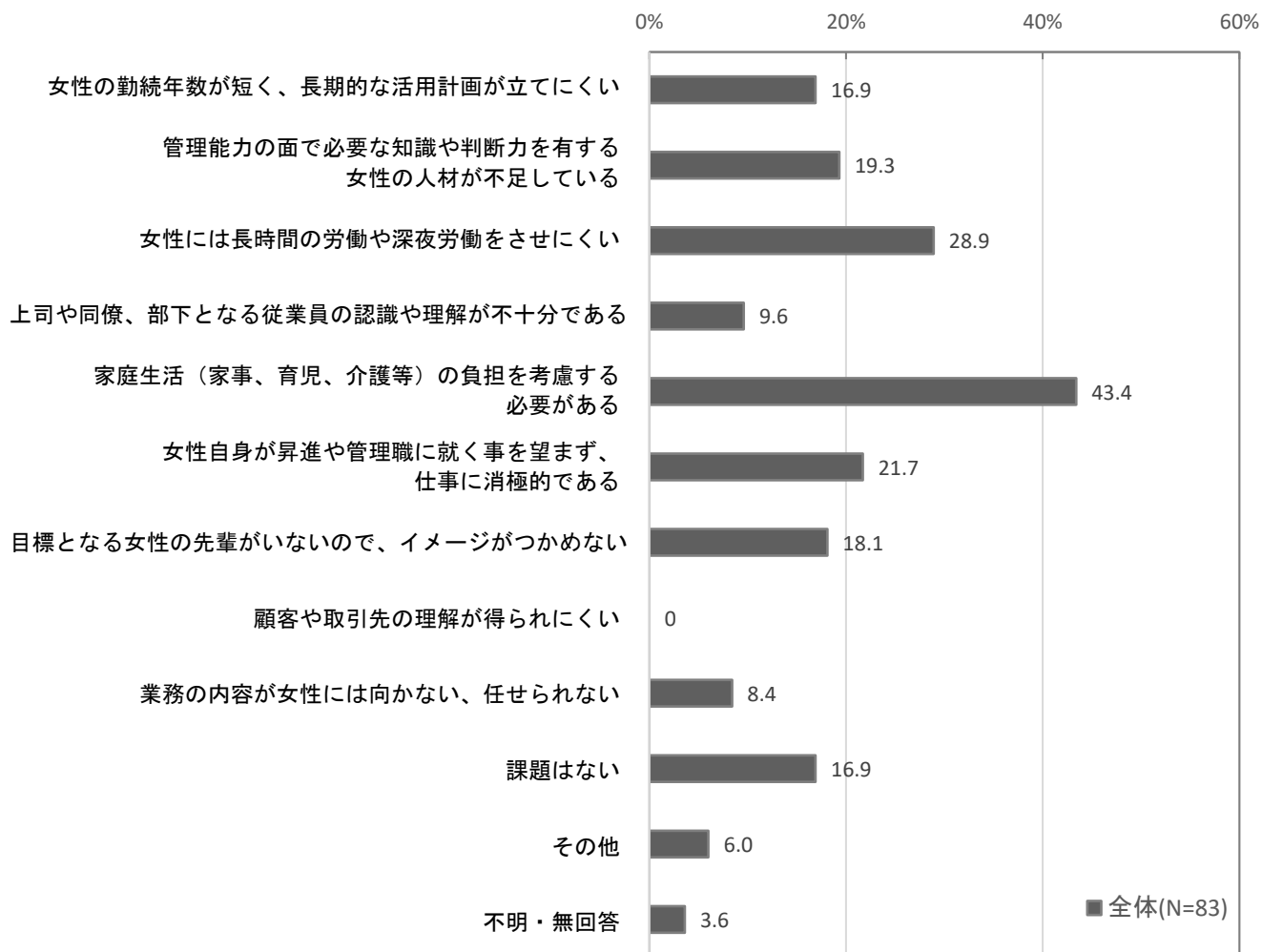
問4 貴事業所では、女性を活用するためにどのようなことに取り組んでいますか。(複数回答)

女性活用で取り組んでいることは、「意欲や能力のある女性に幅広い仕事上の経験を与え、職域を拡大している」が65.1%と最も高く、次いで「出産後も継続して就業できるよう勤務地や勤務条件に配慮している」が60.2%、「仕事と家庭の両立のための制度を整備し、活用を促進している」が37.3%となっています。



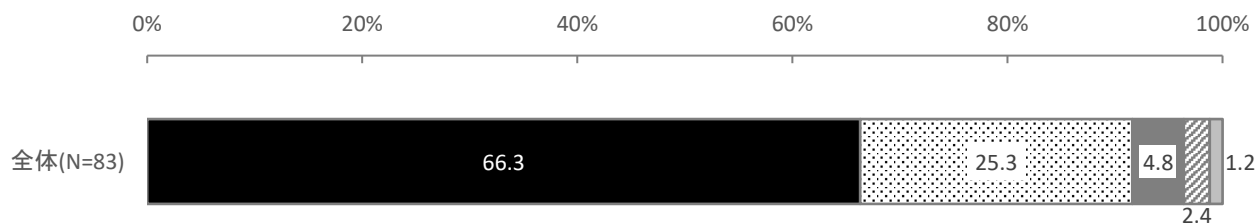
問5 貴事業所では女性の管理職への登用や人材活用に当たってどのような課題がありますか。
(複数回答)

女性管理職の登用や人材活用での課題は、「家庭生活（家事、育児、介護等）の負担を考慮する必要がある」が43.4%と最も高く、次いで「女性には長時間の労働や深夜労働をさせにくい」が28.9%、「女性自身が昇進や管理職に就く事を望まず、仕事に消極的である」が21.7%となっています。



問6 貴事業所ではこれから女性を管理職へ登用することについて、どのようにお考えですか。
(単数回答)

今後の女性管理職登用の考えは、「本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい」が66.3%と最も高く、次いで「女性に適したと思われる職種や業務については管理職へ登用したい」が25.3%となっています。



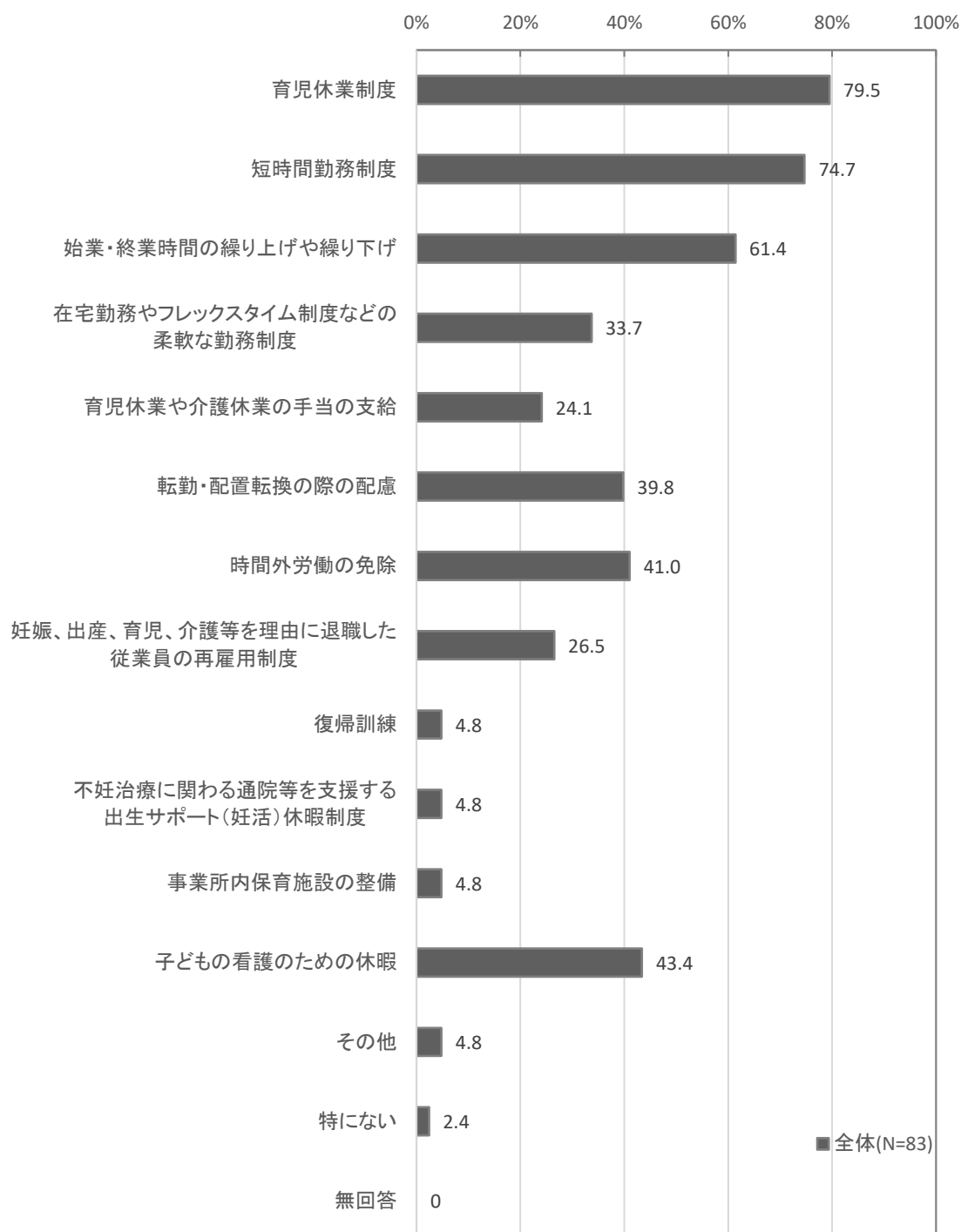
- 本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい
- ▨ 女性に適したと思われる職種や業務については管理職へ登用したい
- 女性を管理職に登用する予定はない
- ▨ その他
- 無回答

(4) 「仕事」と「育児や介護」の両立支援について

問7 仕事と育児や介護の両立を支援するために取り組んでいることがありますか。(複数回答)

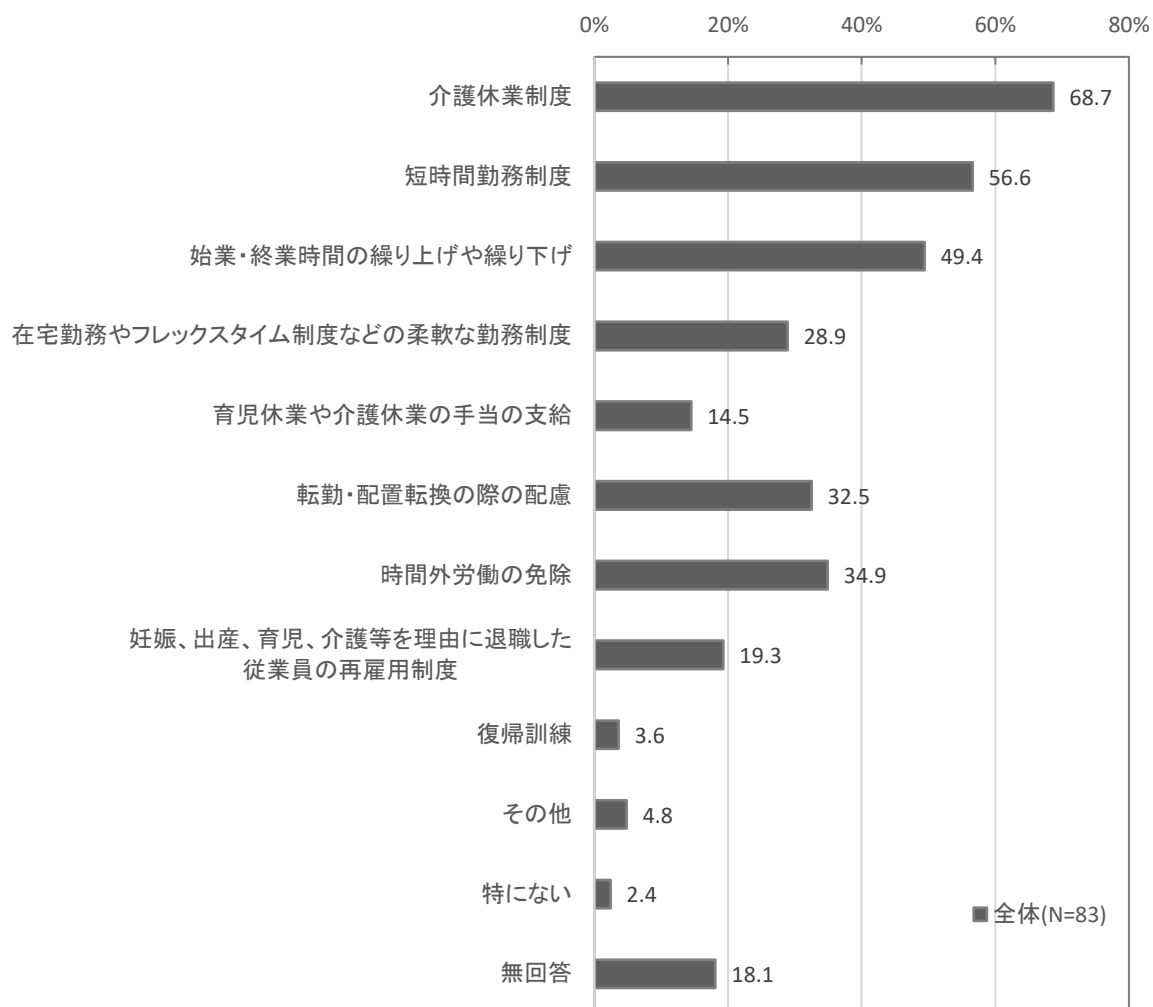
(1) 仕事と育児の両立支援

仕事と育児の両立支援のために取り組んでいることは、「育児休業」制度が79.5%と高く、次いで「短時間勤務制度」が74.7%、「始業・終業時間の繰り上げや繰り下げ」が61.4%となっています。



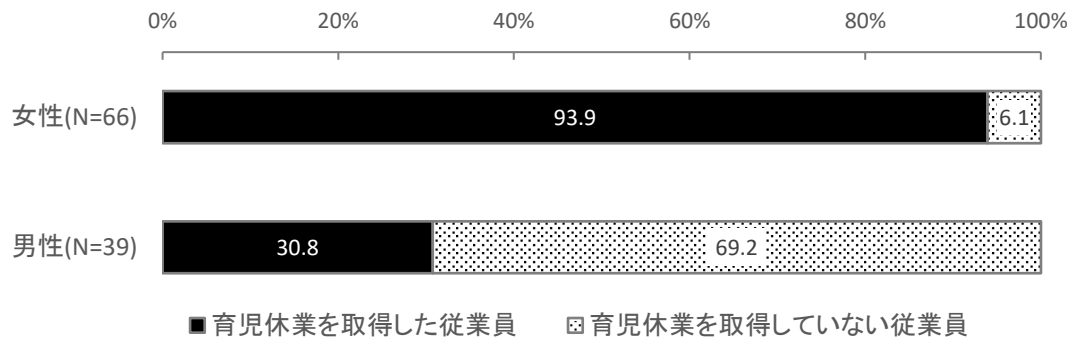
(2) 仕事と介護の両立支援

仕事と介護の両立支援のために取り組んでいることは、「介護休業」が68.7%と高く、次いで「短時間勤務制度」が56.6%、「始業・終業時間の繰り上げや繰り下げ」が49.4%となっています。



問8 育児休業の取得状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日までの期間）について、男女別にお答えください。（数量回答）

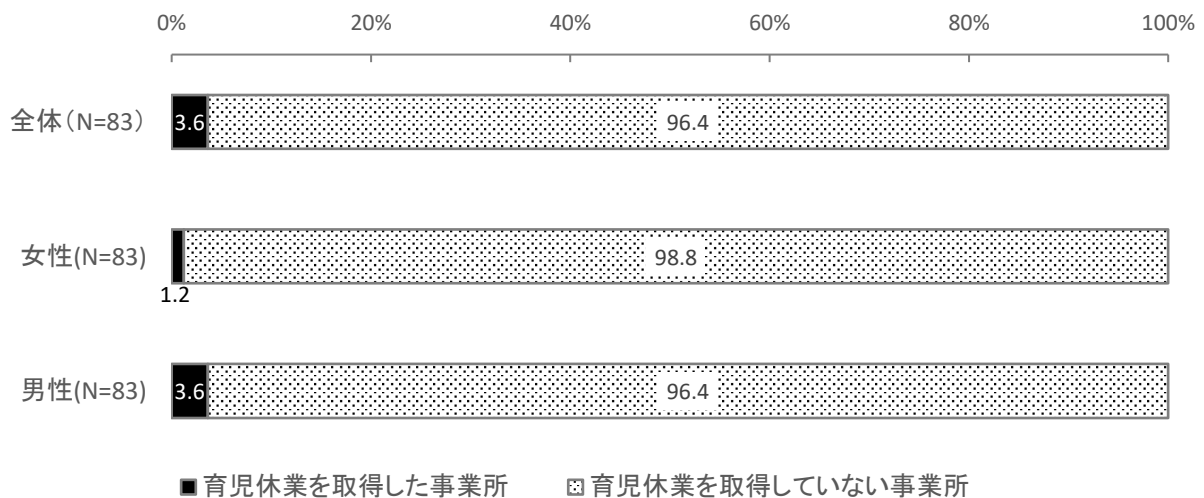
育児休業の取得状況は、女性では出産した66人で取得した人は62人の93.9%、男性では配偶者が出産した39人で取得した人は12人の30.8%となっています。



※N数は、すべての企業の出産した女性従業員と、配偶者が出産した男性従業員の合算

問9 介護休業の取得状況（令和3年4月1日から令和4年3月31日までの期間）について、男女別にお答えください。（数量回答）

介護休業の取得状況は、男性5人、女性1人の取得となっており、取得した事業所数は3で、3.6%です。



※N数は、回答企業全数。女性、男性それぞれに介護休業の取得人数の割合を掲載している。

(5) ワーク・ライフ・バランスについて

問10 貴事業所ではワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み(例：有給休暇の時間単位の取得、フレックス制度、ノー残業デー等)を行っていますか。(単数回答)

ワーク・ライフ・バランスについて、「取り組んでいる」が56.6%と最も高く、次いで「今後、取り組みたいと考えている」が24.1%、「ワーク・ライフ・バランスについて知らない」が8.4%となっています。

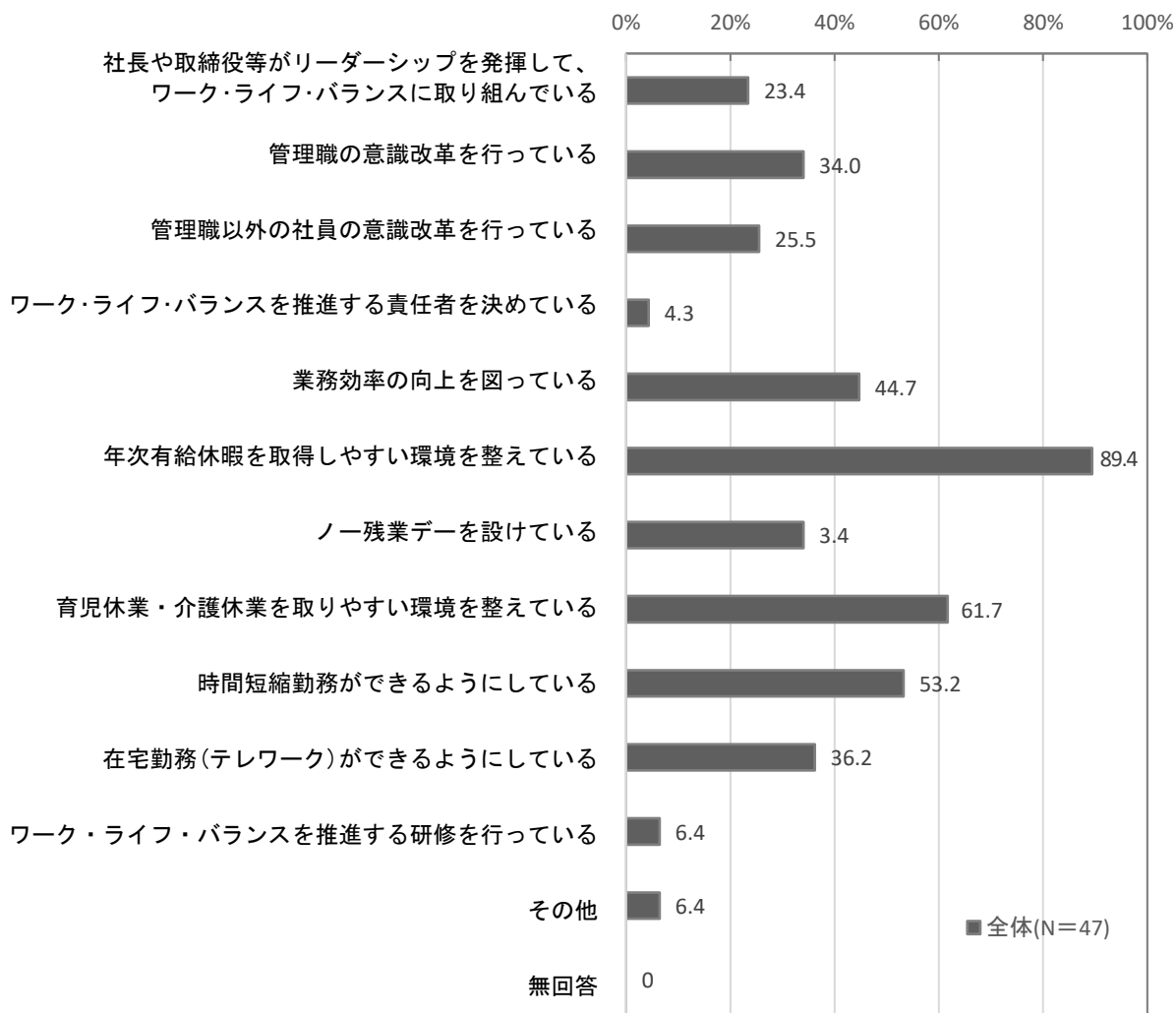


- 取り組んでいる
- ▣ 今後、取り組みたいと考えている
- 取り組むつもりはない
- ▣ ワーク・ライフ・バランスについて知らない
- 無回答

【問 10 で「取り組んでいる」と回答した方のみ】

問 10-1 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてどのような取り組みを行っていますか。(複数回答)

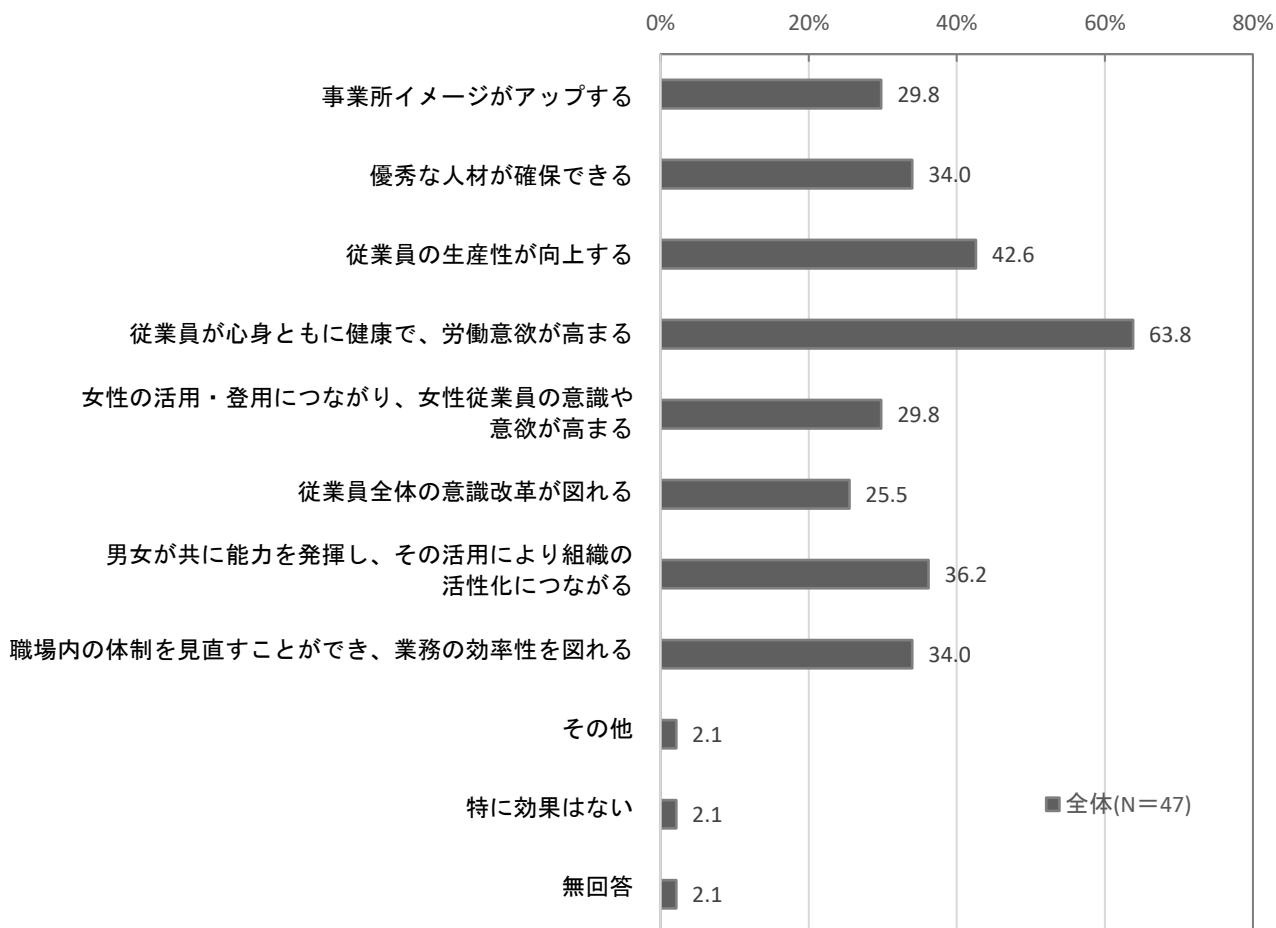
ワーク・ライフ・バランス実現に向けた取り組みは、「年次有給休暇を取得しやすい環境を整えている」が 89.4%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を取りやすい環境を整えている」が 61.7%、「時間短縮勤務ができるようにしている」が 53.2%となっています。



【問10で「取り組んでいる」と回答した方のみ】

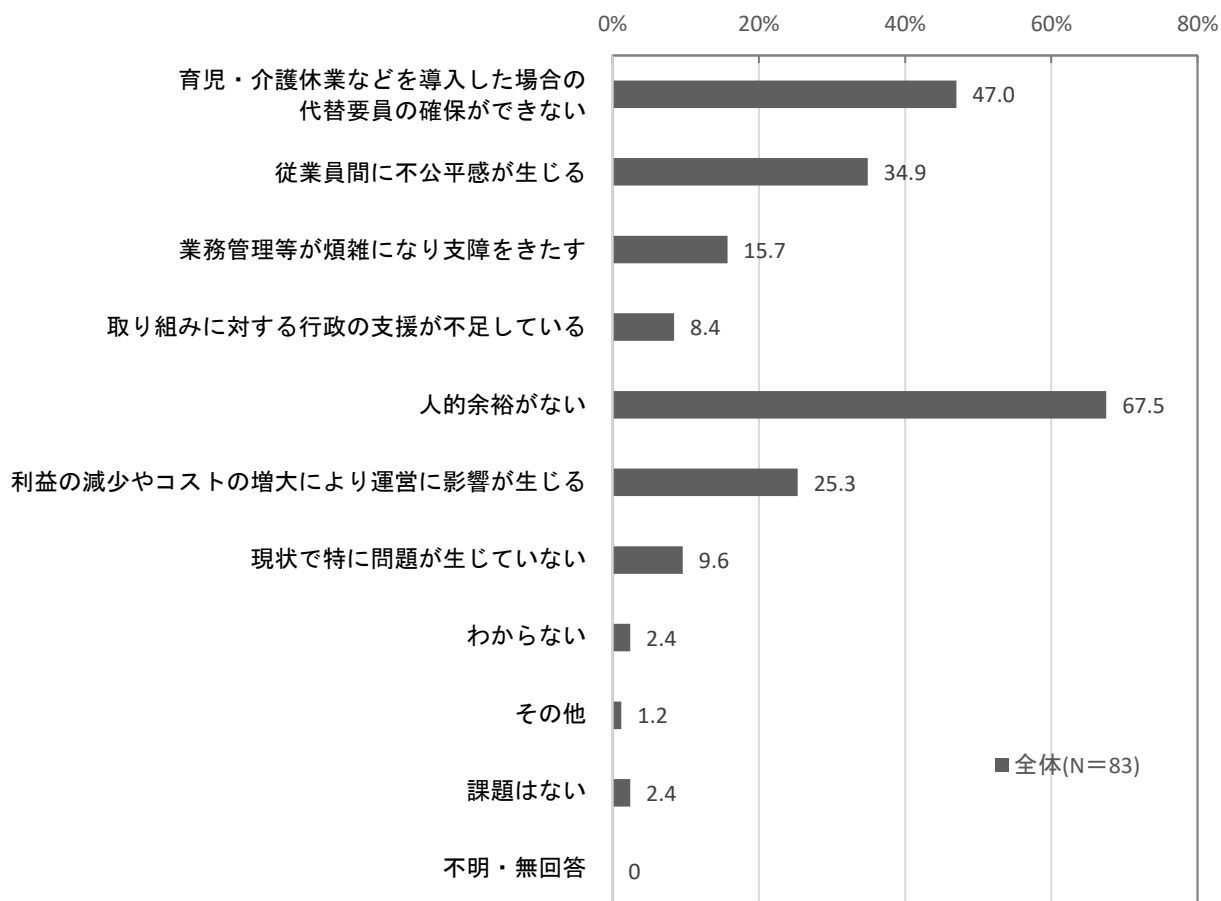
問10-2 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むことで、どのような効果がありますか。(複数回答)

ワーク・ライフ・バランス推進の効果は、「従業員が心身ともに健康で、労働意欲が高まる」が63.8%と最も高く、次いで「従業員の生産性が向上する」が42.6%、「男女が共に能力を発揮し、その活用により組織の活性化につながる」が36.2%となっています。



問10-3 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような課題がありますか。(複数回答)

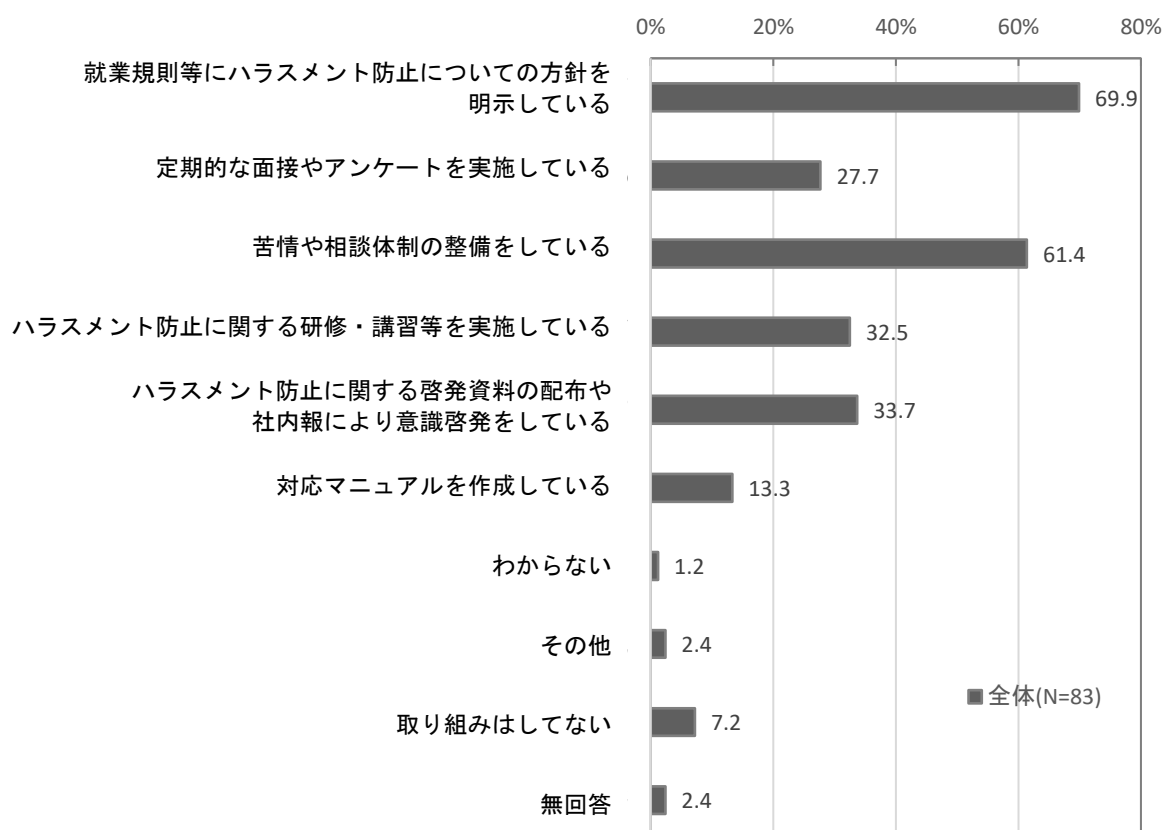
ワーク・ライフ・バランス推進の課題は、「人的余裕がない」が67.5%と最も高く、次いで「育児・介護休業などを導入した場合の代替要員の確保ができない」が47.0%、「従業員間に不公平感が生じる」が34.9%、「従業員間に不公平感が生じる」が34.9%となっています。



(6) ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）を防止する取り組みについて

問11 ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）防止のために、どのような取り組みをしていますか。
（複数回答）

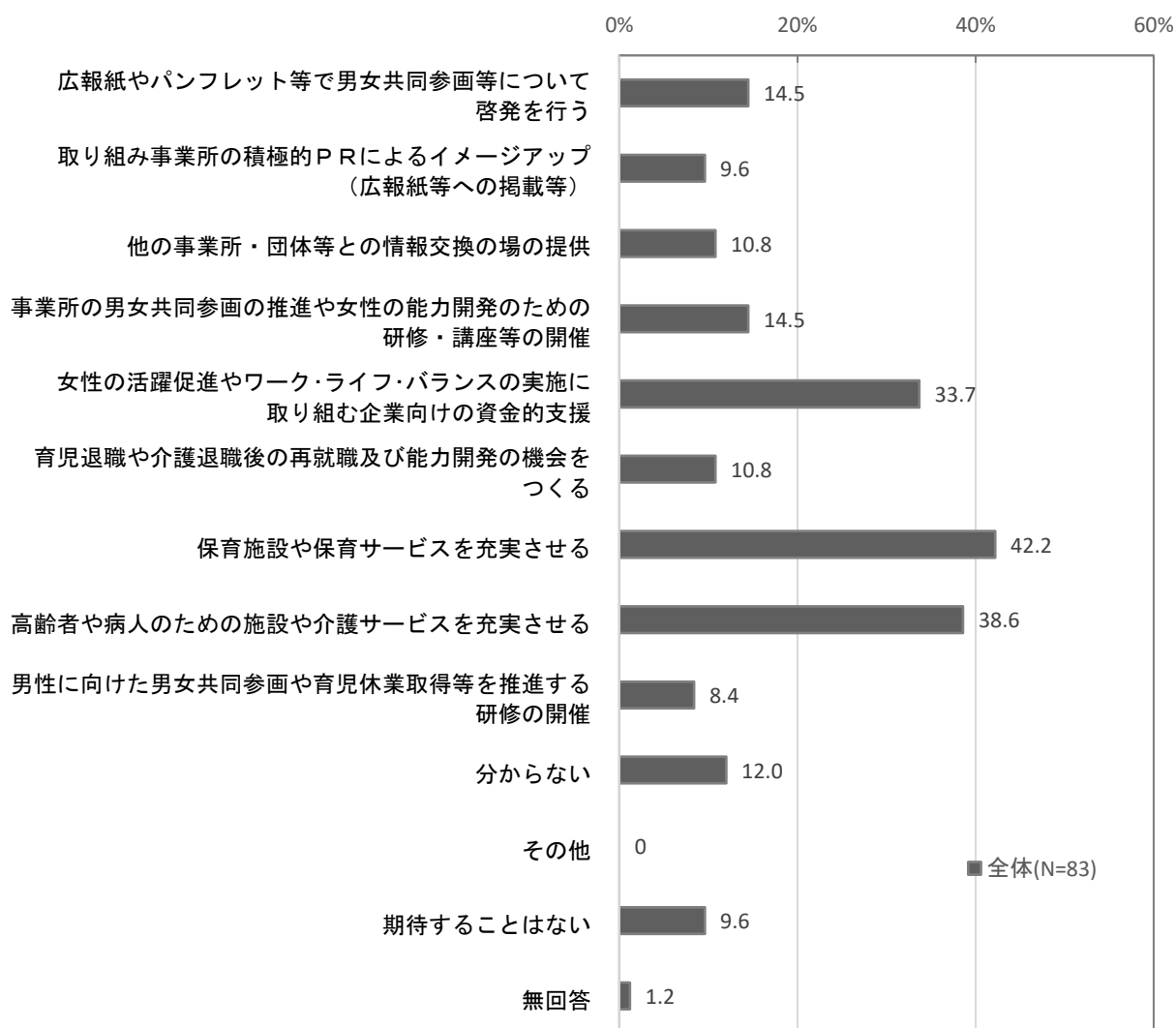
ハラスメント防止のための取り組みは、「就業規則等にハラスメント防止についての方針を明示している」が69.9%と最も高く、次いで「苦情や相談体制の整備をしている」が61.4%となっています。一方で、「取り組みはしていない」が7.2%となっています。



(7) 男女共同参画を推進する上で市に期待することについて

問12 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスを推進する上で、市に期待することは何ですか。
(複数回答)

市に期待することは、「保育施設や保育サービスを充実させる」が42.2%と最も高く、次いで「高齢者や病人のための施設や介護サービスを充実させる」が38.6%、「女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスの実施に取り組む企業向けの資金的支援」が33.7%となっています。



5 国・愛知県との比較

(1) 国・愛知県との比較

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

- ・内閣府 令和元年9月実施「男女共同参画社会に関する世論調査」
- ・愛知県 平成29年度実施「第2回県政世論調査」
令和4年度実施「県政世論調査」(社会全体の平等感のみ)

問22 あなたは、家庭生活中で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

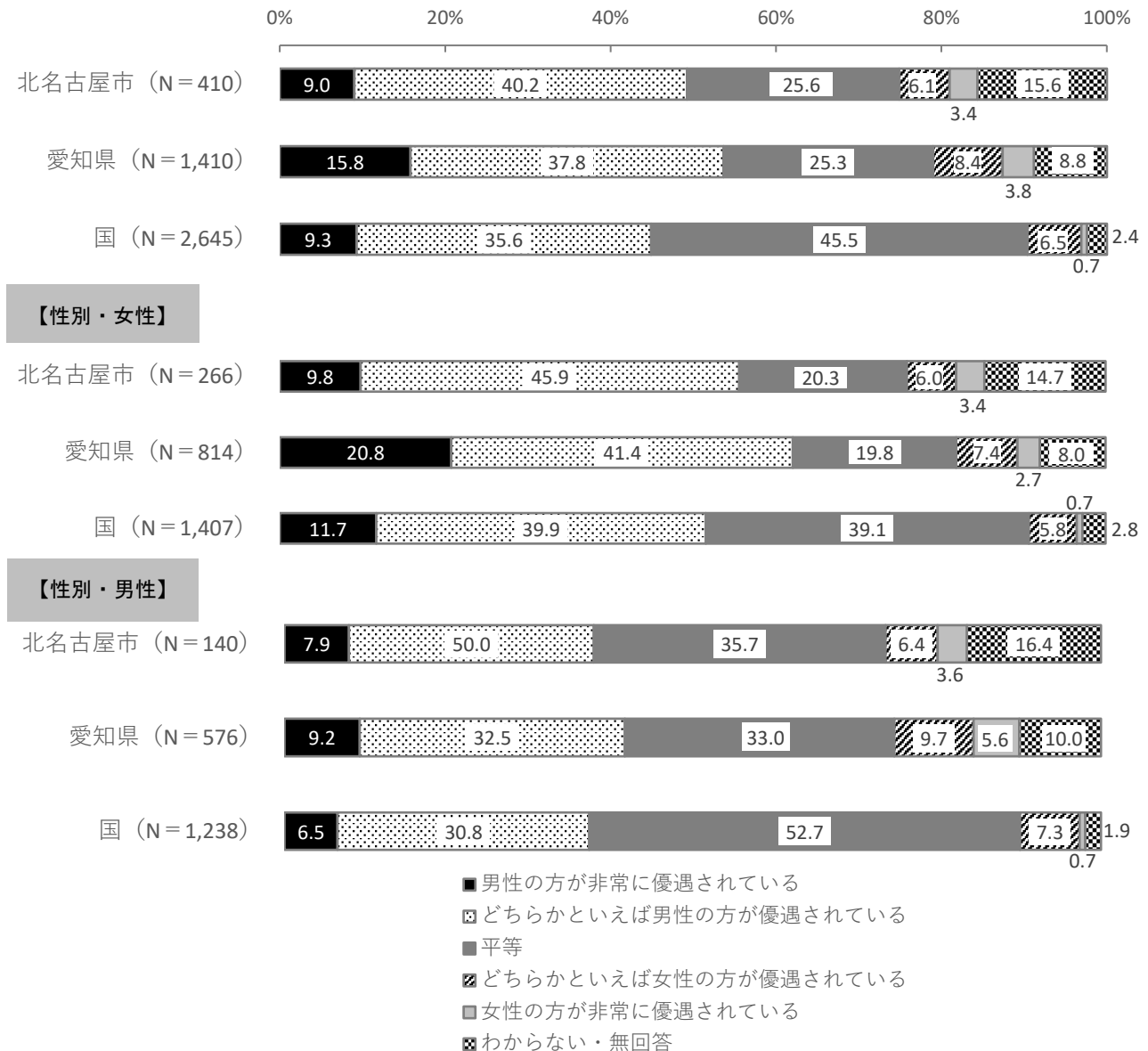
問22の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

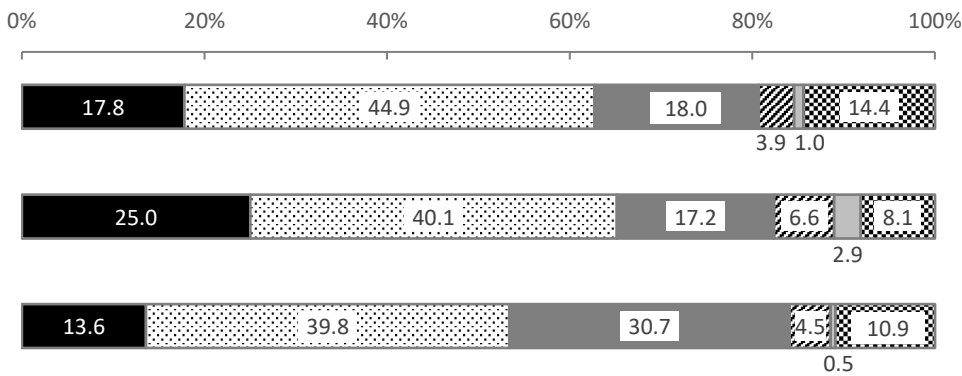
※比較にあたって、北名古屋市と愛知県の「わからない」と「無回答」を合算して表記しています。(以下、同じ)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも、国より『男性優遇』の割合が高く、「男女平等である」の割合が低くなっています。男女とも愛知県よりもやや『男性優遇』の割合が低くなっています。

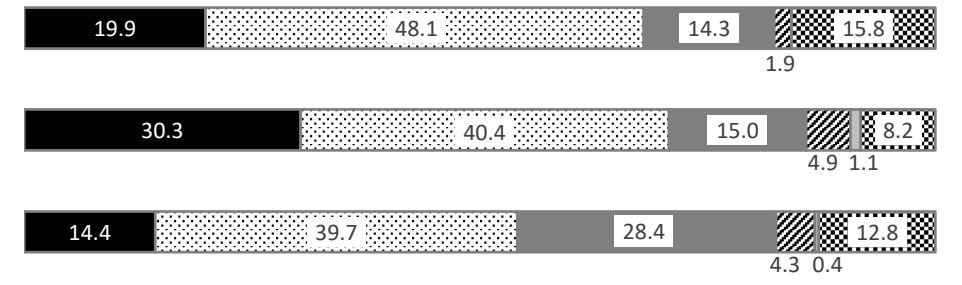


問22 あなたは、職場（労働上で）で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）

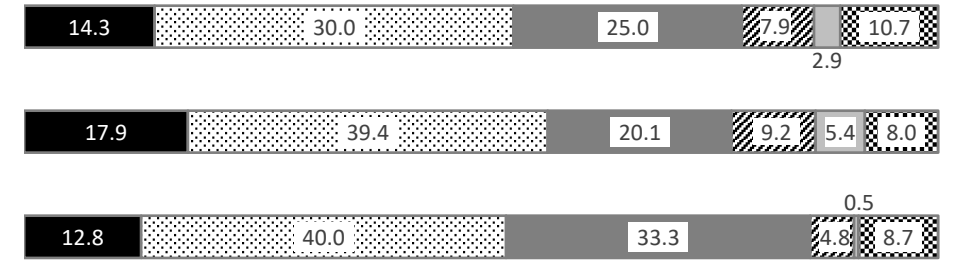
北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国より『男性優遇』の割合が高く、「男女平等である」の割合が低くなっています。



【性別・女性】



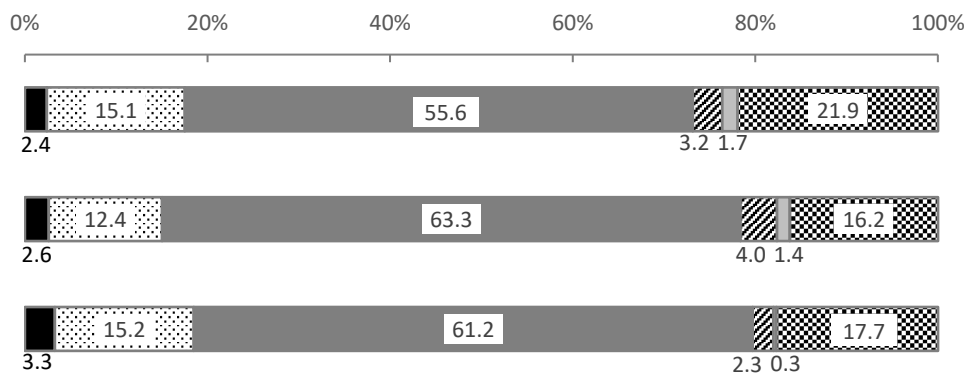
【性別・男性】



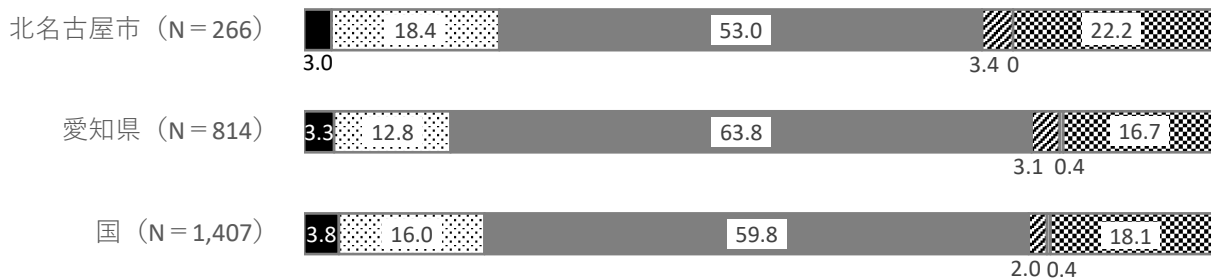
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ わからない・無回答

問22 あなたは、学校教育の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

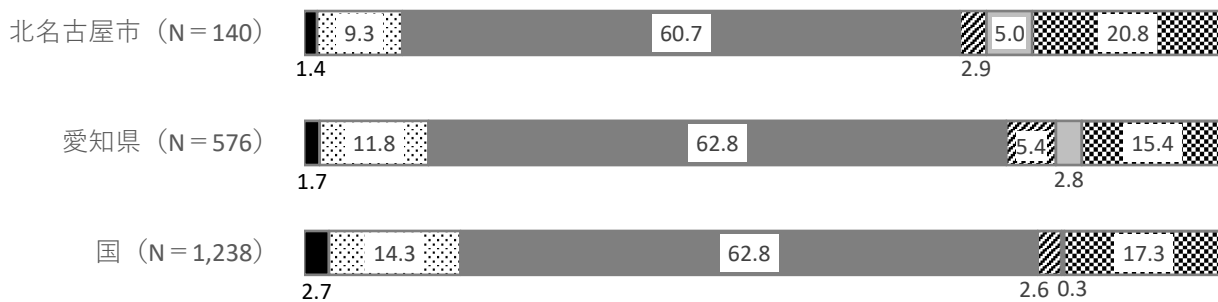
北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国、愛知県より「男女平等である」の割合が低くなっています。



【性別・女性】



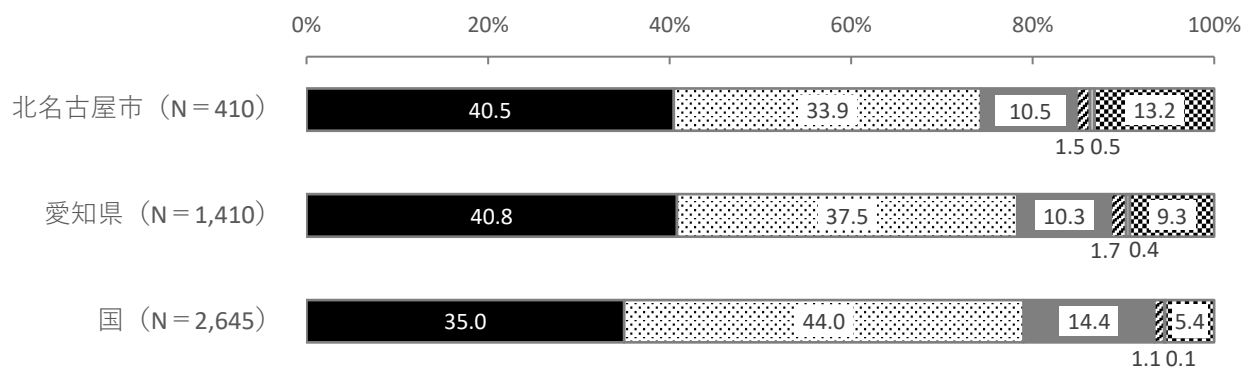
【性別・男性】



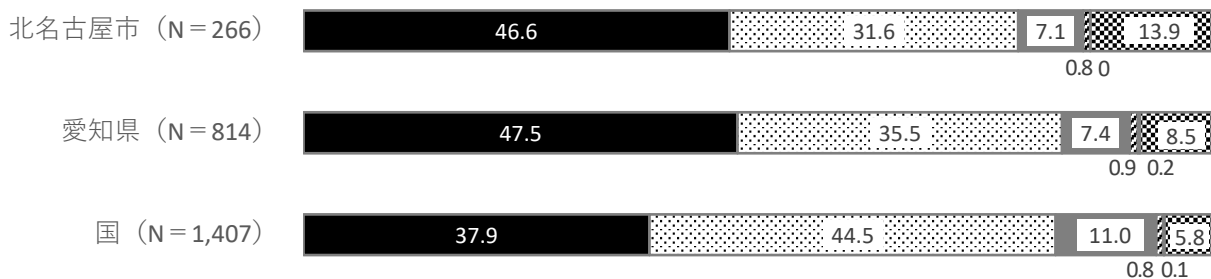
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▤ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ⊠ わからない・無回答

問22 あなたは、政治の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも、国、愛知県より『男性優遇』の割合が低く、国よりも「男女平等である」の割合が低くなっています。



【性別・女性】



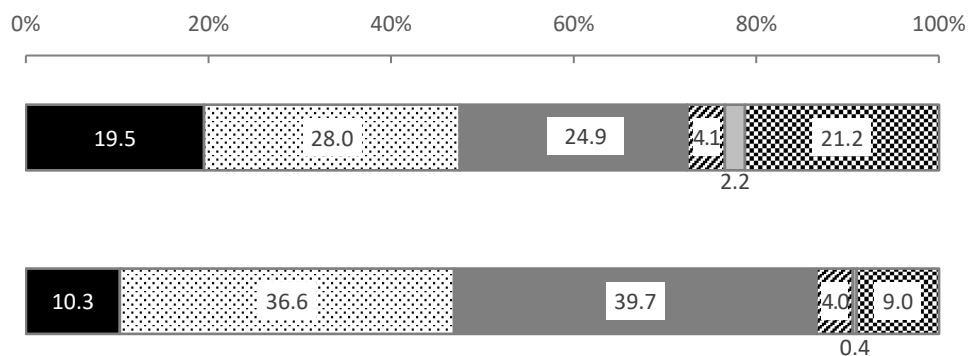
【性別・男性】



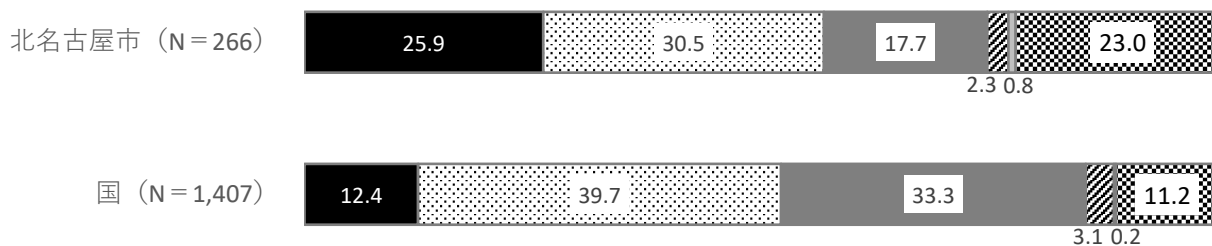
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ わからない・無回答

問22 あなたは、法律や制度の上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(北名古屋市、国だけの調査項目)(単数回答)

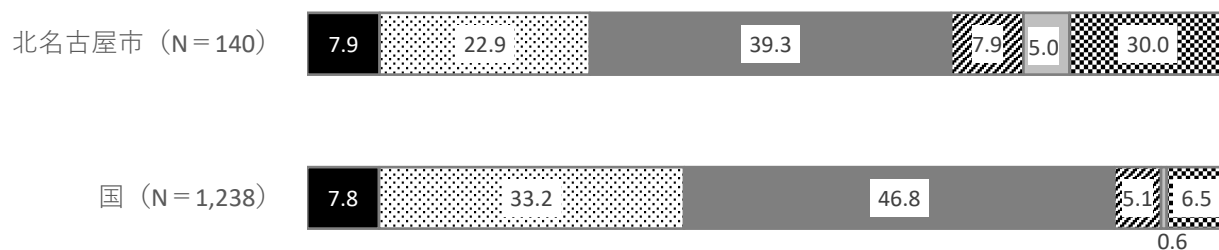
北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国よりも「男女平等である」の割合が低くなっています。



【性別・女性】



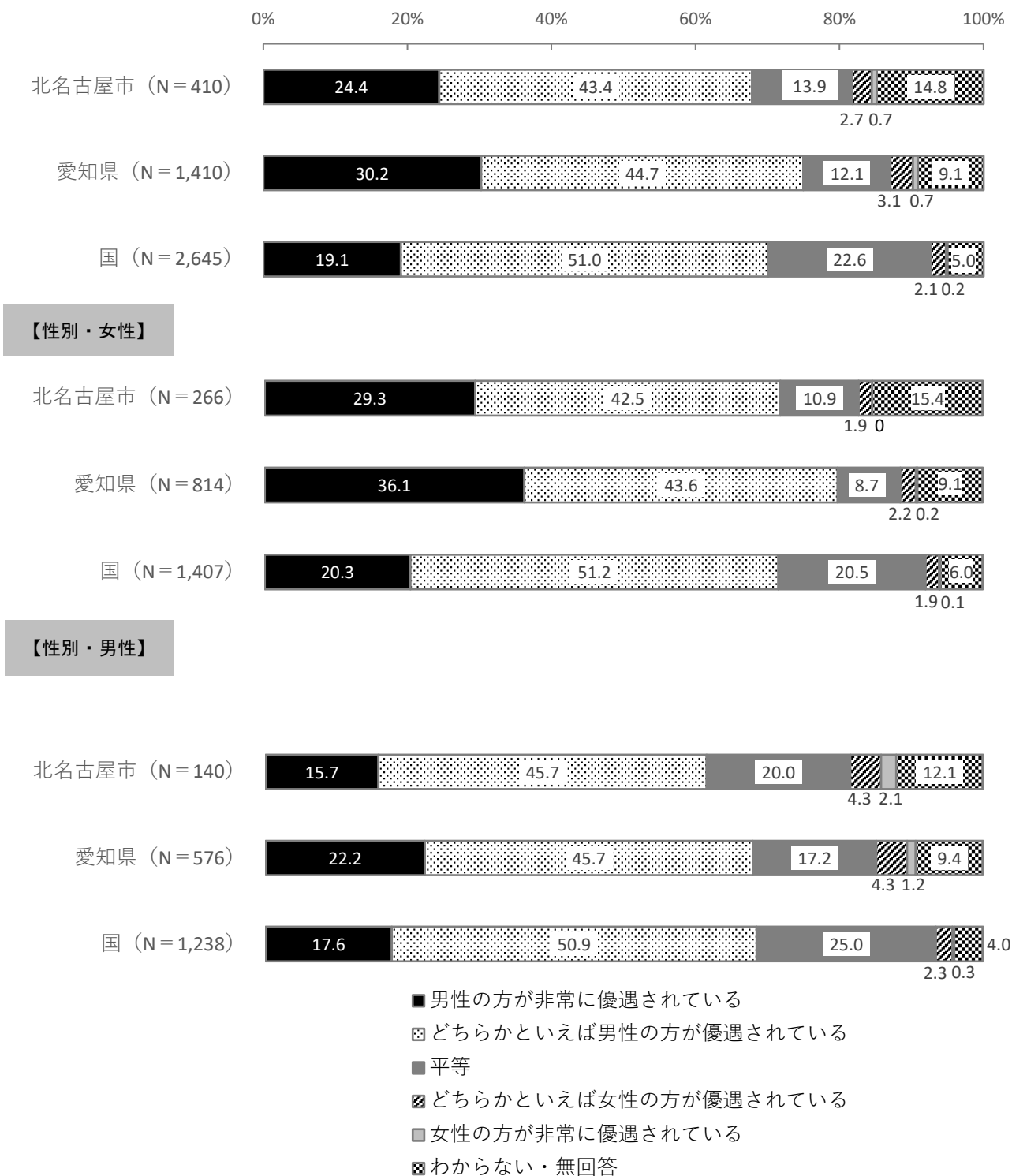
【性別・男性】



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ わからない・無回答

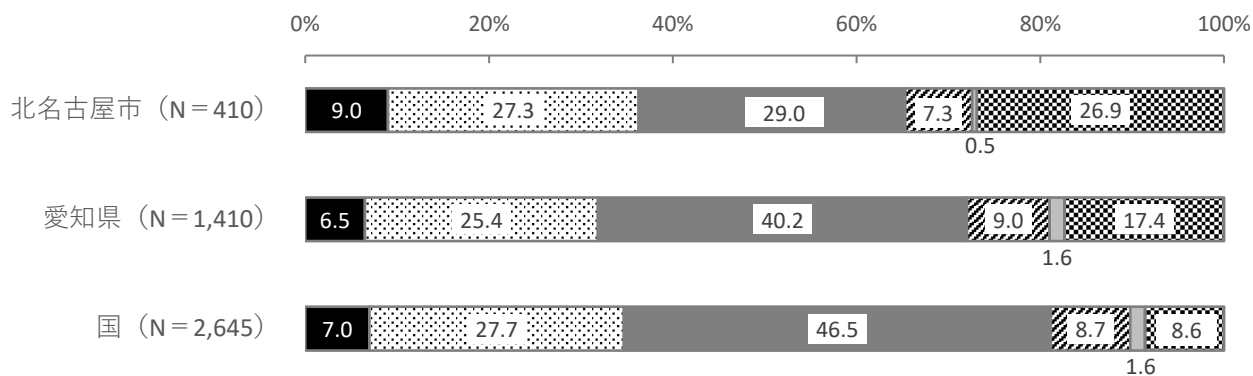
**問22 あなたは、社会通念・慣習・しきたりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)**

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれにおいても、国より「平等」の割合が低く、愛知県より「平等」の割合が高くなっています。

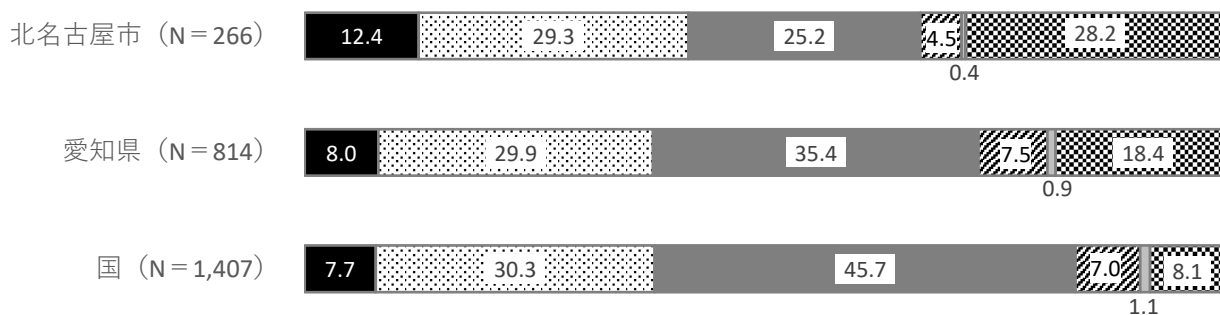


問22 あなたは、地域活動の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

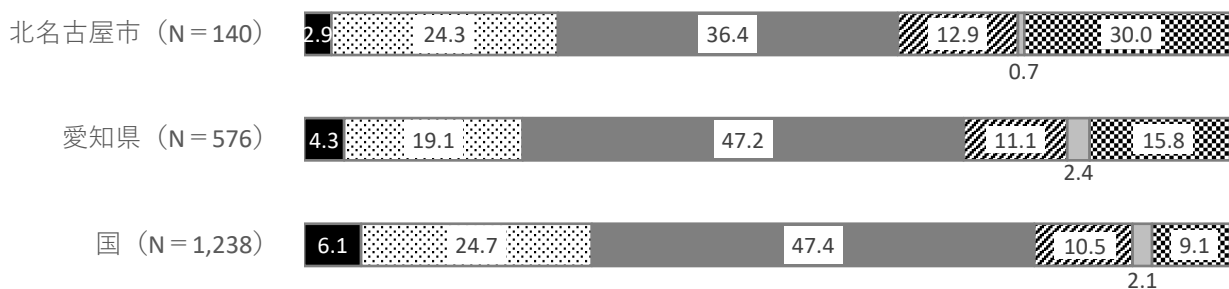
北名古屋市では、全体、女性、男性いずれにおいても、国、愛知県より「男女平等である」の割合は低くなっています。また、全体、女性、国の男性以外において、国、愛知県より『男性優遇』の割合が高く、『女性優遇』の割合は低くなっています。



【性別・女性】



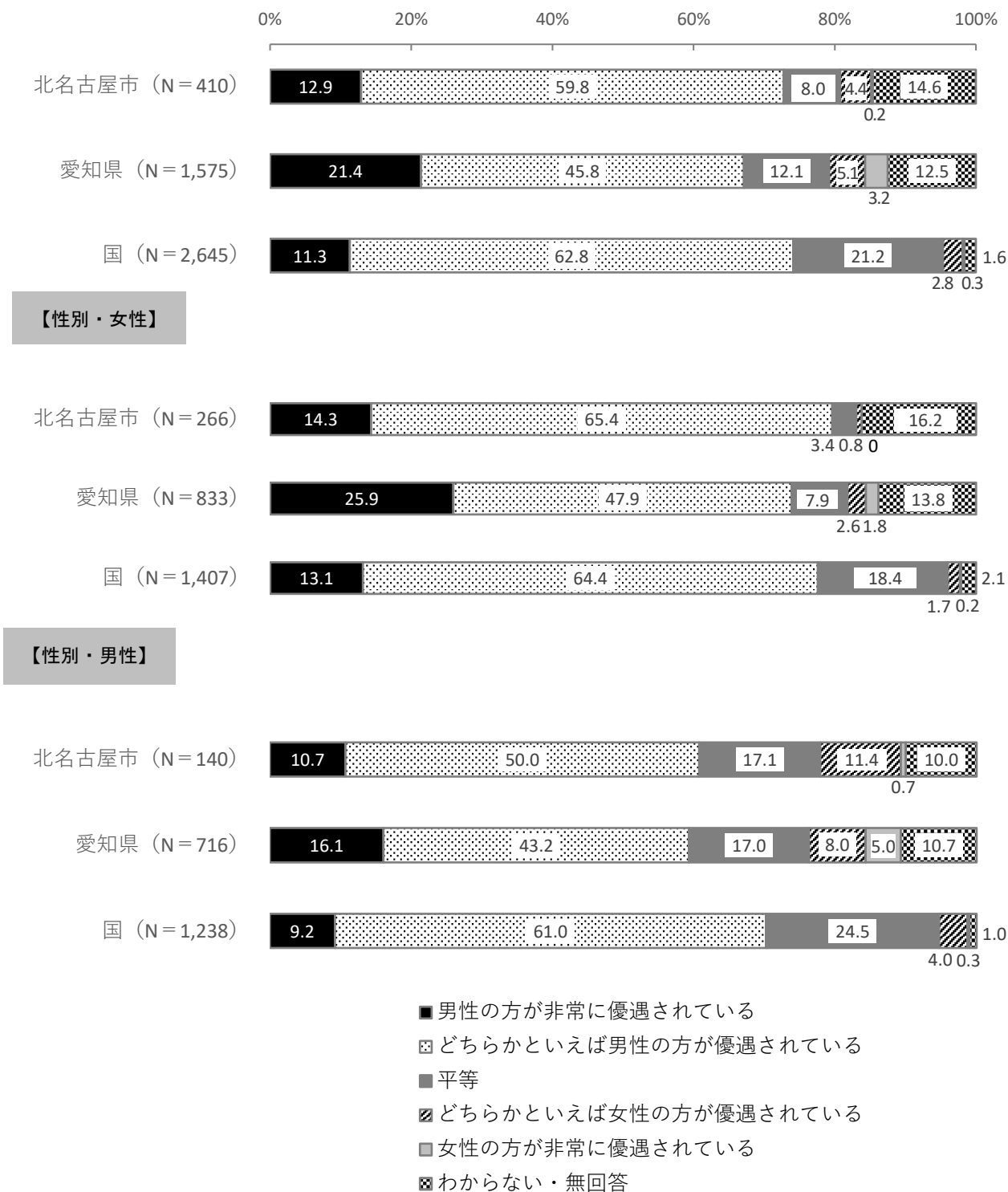
【性別・男性】



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▣ わからない・無回答

問 22 あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

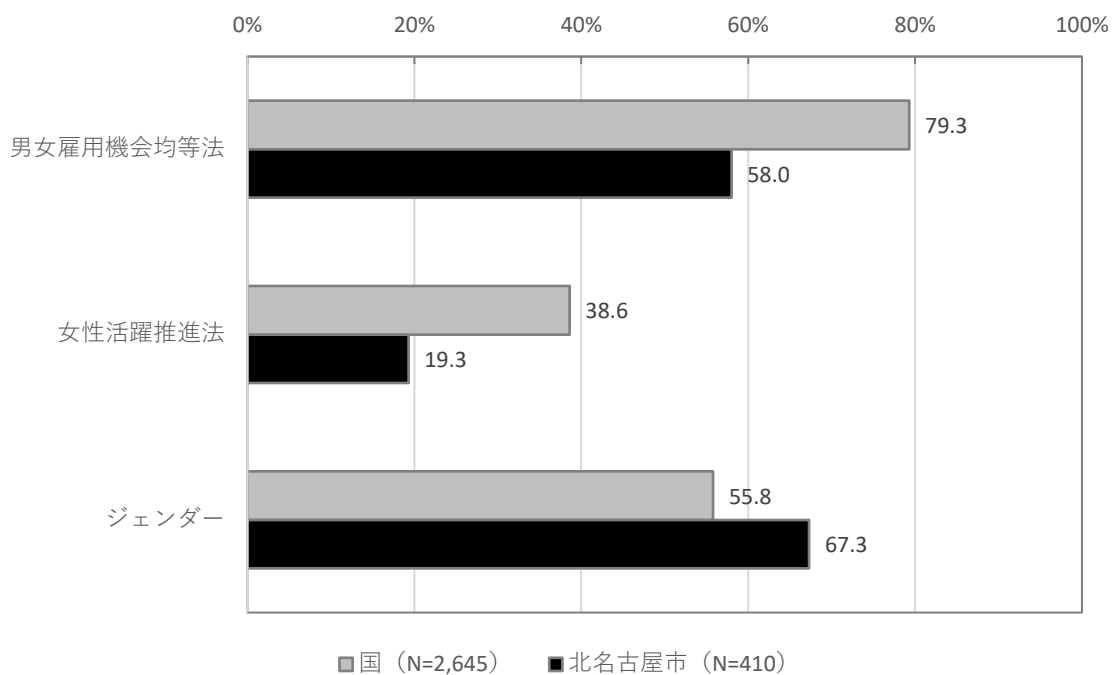
北名古屋市では、全体、女性において、国、愛知県より『平等』の割合が低くなっていますが、男性は、愛知県より少し高い割合となっています。



問26 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。

(北名古屋市、国のみ調査項目)(複数回答)

北名古屋市では、3項目のうちジェンダー以外の2項目は国よりも認知度が低くなっています。



(2) 経年比較

1 市民調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

- ・北名古屋市 平成 28 年度実施「北名古屋市男女共同参画『市民』アンケート」

■調査の回収状況

対象調査	全体	女性	男性	無回答
北名古屋市男女共同参画 アンケート	603	359	234	10

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

問3の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

男女の役割分担の考え方について、平成 28 年度調査に比べて『賛成』[18.0% (前回 36.8%)]が低くなり、『反対』[54.2% (前回 36.6%)]が高くなっています。

女性男性とも平成 28 年度調査に比べて『賛成』[女性 17.7%、男性 19.3% (前回女性 31.7%、男性 44.5%)]が低くなり、『反対』[女性 55.3%、男性 51.4% (前回女性 40.4%、男性 31.2%)]が高くなっています。

特に男性は前回調査では、『賛成』が『反対』を上回っていましたが、今回調査では、女性同様『反対』が上回っています。

問4(1) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、現実の生き方はどれでしょうか。(単数回答)

問4(1)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

現実の生き方について、女性では平成 28 年度調査に比べて『仕事優先』[42.8% (前回 40.1%)]と『両立』[15.3% (前回 13.9%)]は高くなり、『家庭・地域優先』[27.4% (前回 32.6%)]が低くなっています。男性では平成 28 年度調査に比べて『仕事優先』[72.1% (前回 78.6%)]は低くなり、『両立』[13.9% (前回 7.7%)]と『家庭・地域優先』[4.1% (前回 3.9%)]が高くなっています。

問4(2) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、望ましい生き方はどれでしょうか。(単数回答)

問4(2)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

「両立」…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

望ましい生き方について、平成28年度調査に比べて『仕事優先』[12.5% (前回 18.7%)]と「両立」[42.4% (前回 45.4%)]は低くなり、『家庭・地域優先』[26.9% (前回 24.2%)]は高くなっています。

問18 あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、恋人などから、次のようなことをされたことがありますか。(単数回答)

DVの被害経験について「ある」9.8%、「ない」86.3%となっています。

今回調査では、被害経験ありの中で被害内容を聞いて集計したため、誤差も考えられますが全体数の数値割合に換算した中で、平成28年度調査に比べて、被害経験全ての項目で低くなっています。

最も高い項目は「大声でどなられる」[8.5% (前回 25.8%)]と変わらず、「「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる」[4.9% (前回 13.1%)]が3番目から今回は2番目に高くなっています。

問19 夫や妻、恋人などから、暴力を受けた場合に誰かに打ち明けたり、相談しましたか。暴力を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。(単数回答)

暴力を受けた時の相談状況について、平成28年度調査に比べて「相談した(する)」[67.6% (前回 56.2%)]が高くなっています。

【問19で「相談した(する)」と回答した方のみ】

問19-1 誰(どこ)に相談しますか(しましたか)。(複数回答)

誰(どこ)に相談するかについて、女性では平成28年度調査に比べて「友人・知人」[63.9% (前回 61.8%)]、「民間の相談機関」[6.2% (前回 5.5%)]が高くなっています。男性では「友人・知人」[61.7% (前回 55.1%)]、「市役所」[9.9% (前回 5.9%)]、「人権擁護委員」[4.9% (前回 4.2%)]、「医師・カウンセラー」[11.1% (前回 5.9%)]が高くなっています。

問 2 2 あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 22 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合算

「家庭生活の場」における男女の地位については、平成 28 年度調査に比べて男女とも「平等」[女性 20.3%男性 35.7% (前回女性 21.2%男性 39.3%)]が低くなっており、女性は『男性優遇』[55.7% (前回 54.9%)]が高く、男性は『男性優遇』[37.9% (前回 38.9%)]が低くなっています。

また、「政治の場」「法律や制度の上」において、女性は平成 28 年度調査に比べて「平等」[政治 7.1%法律や制度 17.7% (前回政治 8.9%法律や制度 24.8%)]が低くなっており、『男性優遇』[政治 78.2%法律や制度 56.4% (前回政治 72.2%法律や制度 48.2%)]が高くなっています。

その他「職場(労働上で)」「学校教育の場」「社会通念・慣習・しきたり」「地域活動の場」では「平等」[職場 18.0%学校教育 55.6%社会通念 13.9%地域活動 29.0% (前回職場 10.6%学校教育 55.1%社会通念 9.6%地域活動 25.5%)]が高くなっています。

問 2 2-1 あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 22 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合算

社会全般における男女の地位については、平成 28 年度調査に比べて『男性優遇』[72.7% (前回 66.2%)]が高くなっています。

【問 22-1 社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

問 2 2-2 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか。(単数回答)

社会全般で男女の地位が平等になることについては、平成 28 年度調査に比べて女性は「平等になってほしい」[59.7% (前回 59.2%)]が高くなっており、男性は「無回答」[22.9% (前回 7.9%)]が高くなっています。

問 2 3 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。(単数回答)

問 23 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『ある』…「よくある」と「ときどきある」を合算

男女共同参画に関する情報を得る機会の有無については、平成 28 年度調査に比べて『ある』[24.2% (前回 20.4%)]が高くなっています。

問 2 4 男女共同参画社会についての情報は何かから得ましたか。(複数回答)

男女共同参画社会の情報源については、平成 28 年度調査に比べて、「インターネット・SNS」[20.5% (前回 9.5%)]、「学校・職場」[15.9% (前回 3.2%)]が特に高くなっています。

問 2 5 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

問 20 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

『期待していない』…「期待しない」と「どちらかといえば期待していない」を合算

男女共同参画社会の実現に対する期待感については平成 28 年度調査に比べて『期待している』[52.9% (前回 50%)]が高くなっています。

問 2 6 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、平成 28 年度調査に比べて「ジェンダー」[67.3% (前回 25.2%)]「LGBT、LGBTQ (性的マイノリティ・性的少数者)」[62.9% (前回 25.9%)]が特に高くなっています。

問 3 0 あなたは、市の政策に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。(単数回答)

問 30 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『反映されている』…「十分反映されている」と「まあまあ反映されている」を合算

政策に対する女性の意見や考え方の反映状況について、平成 28 年度調査に比べて『反映されている』[15.2% (前回 18.2%)]で低くなっています。

問 3 1 今後、あなたはどのようなテーマの講座・講演会等があれば参加したいですか。(複数回答)

参加したい講座・講演会のテーマについては平成 28 年度調査同様「特にない」[30.2% (前回 36.8%)]が最も高くなっています。

2 中学生調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

・北名古屋市 平成 28 年度実施「北名古屋市男女の人権尊重・社会参画中学生アンケート」

■調査の回収状況

対象調査	全体	女性	男性	答えたくない	わからない	無回答
北名古屋市男女の人権尊重・ 社会参画中学生アンケート	704	319	352	15	13	5

問1 あなたは、家の中でお手伝いをどれくらいしていますか。(単数回答)

問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『している』…「よくしている」と「時々している」を合算

家の中でお手伝いの頻度については、平成 28 年度調査に比べて「(7)ペットの世話」を『している』[36.3% (前回 36.7%)]が低くなっています。その他は高くなっています。

問4 あなたは、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた経験については、女子では平成 28 年度調査に比べて「よく言われる」[10.7% (前回 16.7%)]、「ときどき言われる」[34.2% (前回 34.5%)]が低くなっています。

【問4で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われぬ」と回答した方のみ】

問5 次のことで「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた経験について、平成 28 年度調査に比べて男女ともに「(9)着るもの」[26.2% (前回 21.1%)]で「ある」が高くなり、男子は「(6)テレビの番組」[9.3% (前回 8.6%)]で「ある」が高くなっています。

【問5「ある」と回答した方のみ】

問5 次のことで、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われた時の気持ち(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、平成 28 年度調査に比べて「(6)テレビの番組」[26.2% (前回 21.1%)]、「(8)すわり方」[29.6% (前回 28.4%)]は「納得した」が高くなっています。「(7)言葉遣い」については女性で「納得した」[27.7% (前回 24.8%)]が高く、男性[27.3% (前回 47.8%)]で低くなっています。

【問5で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われぬ」と回答した方のみ】

問6 だれから言われることが多いですか。(複数回答)

性別により行動を縛られる発言については、男女とも平成28年度調査に比べて「兄」から言われる割合[5.2% (前回3.6%)]が高くなり、女子は「父」から言われる割合[38.6% (前回30.8%)]と高く、男子は「姉」から言われる割合[6.6% (前回3.2%)]が高くなっています。

問9 あなたには、将来なりたい職業はありますか(単数回答)

なりたい職業について、男女ともに平成28年度調査に比べて「ある」[42.0% (前回57.3%)]が低くなっています。

問12 あなたは、将来、結婚したら共働きをするつもりですか(単数回答)

共働きの意思について、男女ともに平成28年度調査に比べて「共働きをしたい」[30.3% (前回21.1%)]で高くなっています。

問15 あなたは、「デートDV」という言葉を知っていますか(単数回答)

「デートDV」という言葉の認知度について、男女ともに平成28年度調査に比べて「知っている」[14.3% (前回6.3%)]、「聞いたことがある」[23.0% (前回15.9%)]で高くなっています。

問16 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに平成28年度調査に比べて「男女共同参画社会基本法」[35.7% (前回13.7%)]、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」[33.7% (前回25.8%)]「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」[20.6% (前回17.5%)]、「男女共同参画推進条例」[19.0% (前回6.8%)]「第2次北名古屋市男女共同参画プラン」[11.5% (前回9.3%)]「ジェンダー」[56.1% (前回5.5%)]「LGBT・LGBTQ(性的マイノリティ・性的少数者)」[50.7% (前回11.8%)]は高くなっています。

問17 あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

「家庭」「仕事」「学校」「選挙や議会」「社会のきまり」「地域のしきたり」すべての項目で平成28年度調査に比べて「平等」が高くなっています。

問18 「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方があります。あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

問18の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方については、男女とも平成28年度調査に比べて『賛成』[24.2% (前回51.2%)]が低くなっており、『反対』[44.7% (前回20.3%)]が高くなっています。

3 事業所調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

- ・北名古屋市 平成 28 年度実施「北名古屋市男女共同参画『事業所』アンケート」

■調査の回収状況

対象調査	全体
北名古屋市男女共同参画『事業所』アンケート	83

問3 貴事業所の管理職（数量回答）

女性の管理職について、平成 28 年度調査と比べて、「役員」[13.9%（前回 20.8%）]は低く、「部長」[7.2%（前回 6.4%）]「課長」[18.3%（前回 16.3%）]は高くなっています。

問4 貴事業所では、女性を活用するためにどのようなことに取り組んでいますか。（複数回答）

女性活用の取り組みについて、平成 28 年度調査と比べて、「特に取り組んでいない」[9.6%（前回 21.8%）]は低くなっており、また、「女性の活躍に関する担当部署を定める、担当・責任者を選任する等、事業所内の推進体制を整備している」以外の取り組みは高くなっています。

問6 貴事業所では、これから女性を管理職へ登用することについて、どのようにお考えですか。（単数回答）

女性管理職登用について、平成 28 年度調査と比べて「女性を管理職に登用する予定はない」[4.8%（前回 17.1%）]は低くなっています。

問7 仕事と育児や介護の両立を支援するために取り組んでいることがありますか。（複数回答）

育児や介護の両立支援の取り組みについて、平成 28 年度調査と比較して、すべての取り組みで高くなっています。

問10 貴事業所ではワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを行っていますか。（単数回答）

ワーク・ライフ・バランスへの取り組みについて、平成 28 年度調査と比較して、「取り組んでいる」[56.6%（前回 35.5%）]が高くなっています。

【問10で「取り組んでいる」と回答した方のみ】

問10-1 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてどのような取り組みを行っていますか。（複数回答）

ワーク・ライフ・バランスへの取り組みは、平成 28 年度調査と比較して、「在宅勤務（テレワーク）ができるようにしている」[36.2%（前回 2.7%）]が特に増加率が高くなっています。

問11 ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）防止のために、どのような取り組みをしていますか。（複数回答）

ハラスメント防止のための取り組みは、平成28年度調査と比較して、「対応マニュアルを作成している」[13.3%（前回15.6%）]のみ低くなっています。

6 自由回答

(1) 市民調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
もう少し女性の参加を推進したい。	(男性、50～59 歳、正社員・正職員)
活動はされていると思うが活動内容が見えにくい。もう少し見える化できると良いと思う。	(男性、50～59 歳、正社員・正職員)
一人一人が意識を持って行動する事が大事だと思う	(女性、30～39 歳、パートタイム)
個人的には「男女〇〇…」という表現がある時点で性別に差がある、作っていると考えます。あえて差を挙げるなら子供が産めるか産めないか程度。男性が出産できたらSFチックだが面白い。妊娠出産(回復)時以外は性差なく個人・個性による向き不向きが(適性が)優先され、性別は結果論的なものになれば良いと考えます。	(男性、40～49 歳、正社員・正職員)
男女平等であることは非常に望ましいことだが、身近に感じることで女性管理職を目指したい女性社員が非常に少なく、一部の管理職を目指したい女性社員が苦勞してルールを変更した事に対して、男性社員以上に迷惑と思っている女性社員が大半で、先ずはこのような女性の意識が変わっていかないと難しいと思う。また、このような考え方の女性を会議等に参加させると本当の男女平等の社会に近づいて行くと思う。	(男性、50～59 歳、正社員・正職員)
現在少子化の中では、北名古屋市の未来はないと考えます。少子化を防ぐために男女共同参画を推進しなければなりません。具体的には行政・立法でも男女比をほぼ50%と目標値を決め、実現して欲しい。(自治会長・市議会議員、市職員等)	(男性、70～79 歳、農業、漁業・水産養殖業者)
消費税や地方税を上げて出産と育児に手当を！今までも書きましたが、男女平等以前に全ての問題は議会や企業のトップ、役職に女性が就けばすべて解決。DV関連の判決では裁判長が男だと無罪、女性だと有罪。アメリカの最高裁判事(女性)が言った”男女平等の社会にするには判事を9人中何人女性にすれば良いか”の問いに”9人！”と即答これが真実だと思う 全ての人から産まれたことをしっかり教育して議員についてクォーターでなく3/4ぐらい女性になるように数値目標を上げてほしい。がんばれ太田新市長！	(男性、50～59 歳、アルバイト)
難しい課題だと思いますが、今よりもくらしやすく国の見本になれるような市になると期待してます。	(女性、30～39 歳、正社員・正職員)
問32はどの選択肢も必要と思われた。ささいなことでも、取り組みやすいものからどんどん実行し、改善しながら続けていくことで、根深い意識がいつのまにかすこしずつ変化している、というものだと思う。文化を変えようとしているのだから、最初は大変だと思う。	(女性、40～49 歳、パートタイム)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
<p>“平等”を目指すという観点は、賛成するが、それを目指すあまり、女尊男卑になってしまうことが懸念される。真の平等というものは、たぶん限りなく理想であって、現実的に考えると、どちらかに傾くと思う。そのため、事実に被害が出た場合を除き、現状より意図的に策を構じる必要があるとは思えない。また、女性にしかできないこと、男性にしかできないことが、身体的に存在する限り、その時点で生物的に役割が決められるため、社会的な不平等があるとすれば、その根元が生物的な役割だと考える。“平等”という概念がどの程度かは不明だが、そういう観点では、本当に同等と扱うことは不可能ではないかと思うし、先に述べたように、無理に何らかの挺入れすれば、必ず女尊男卑という風潮になるのではという恐れがある。とにかく“やりすぎ注意”と言いたい。</p> <p style="text-align: right;">(男性、40～49歳、正社員・正職員)</p>
<p>女性の方が長命の為か高齢者では女性の声が大きく男は小さくなってきている感有。 一般社会や会社、政治に於いても感情的に発言したり自己中心的な言葉を言う人間は女性が多く大極的な見方が出来ない様に思う。男女平等の主旨は男、女とも男がやった方が良く女がやった方が良く事があり、すべてを同様にやれという事は、かえって不都合を生じさせる事になる</p> <p style="text-align: right;">(男性、70～79歳、その他の無職)</p>
<p>男女平等、男女共同参画において取り組むさまざまな課題の根元は社会全体の意識改革なしでは済まない事だと思います。北名古屋市が目指す、全ての課題が円滑にすすみますよう期待しています。</p> <p style="text-align: right;">(女性、50～59歳、正社員・正職員)</p>
<p>みんなと同じでないと不安になる社会ではなく、安心してお互いの違いを認め合える地域づくりを目指してほしい。</p> <p style="text-align: right;">(男性、50～59歳、その他の無職)</p>
<p>男女共同参画社会基本法、北名古屋市男女共同参画推進条例、第2次北名古屋市男女共同参画プラン今回初めて知りました。まったく知る機会がありませんでした。新しい市長を迎え、北名古屋市が良い方向へかわる事を希望しています。家事育児に加えて仕事までしている女性は多いです。やってある事があたり前という男性ばかりです。もっと助け合う心が自然と育ち、男女共に家事育児をやってあたり前の社会になると出生率も上がると思います。</p> <p style="text-align: right;">(女性、60～69歳、学生)</p>
<p>20代、30代など若い人材中心で活動できる体制を作っていただきたいです。新しい時代、世代の価値観を持っている人でなければ改革はできないと思います。また、市として男女共同参画による新しい特産物やビジネスなどに力を入れてもらい、魅力ある活気づいた町づくりになれば有難いです。フリーランスの支援や事業マッチング、民営化などをすることで経済的な余裕が作れる機会、支援が多数あると、北名古屋市で頑張りたいとなります。現在、家の購入を考えていますが、補助金や不動産情報など力を入れてもらえると家庭生活も安心が生まれ、活動する余裕も出ると思います。男女は夫婦関係が良くなれば自然と良くなると思いますので夫婦の活躍支援の制度を経済的に、また機会を多数作ってもらえること期待しています。</p> <p style="text-align: right;">(男性、40～49歳、商業・工業・サービス業などの経営者)</p>
<p>現状のシステムも古いですが男女「公平」にある程度できるようになっていると思います。その良さを活かしつつ、互いに生きやすい世の中になってくれると良いと思っています。</p> <p style="text-align: right;">(男性、30～39歳、正社員・正職員)</p>

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について

もともと男性の性質、特質と女性の特質は違います。「男女共同参画」と言われるとかえって女性にとっては負担が大きくなると思います。仕事はあくまでも経済活動ですから、女性は出産、子育ては、仕事以上に大切なこと。くらべる事は出来ません。肩ひじを張らず、女性にしても仕事に向いている人向いてない人、生き方はさまざまあります。女性でも能力を生かして活躍出来る人は、その道がふさがれないようにする事は大切ですが、あまり「男女共同参画」などと声高に言われるとかえって負担をかんじます。男女ともに家庭を大切に、次の日本をになう子供を大切に育てることが、一番大事ではないでしょうか。

(女性、70～79歳、商業・工業・サービス業などの経営者)

女性の能力はとても高いと感じ、女性が活躍できる社会になっていくと、おもしろい世界になっていくとおもいます。古い考え方(男尊女卑)、(亭主関白)が少しずつでもいいので変わっていくといいとおもいます。

(男性、40～49歳、正社員・正職員)

家事、育児、家庭生活を男女で分担する考え方を教育の場で広めることが大切。しかし男女は身体的にも全く同じではないので、身体のちがい、脳の違い、などをきちんと学ぶ場が必要だと思う。そして、その上で、協力する。男女のくくりではなく、各々の人間の得意、不得意もあるので、コミュニケーションのやり方、意見の違いがあっても対話を続けていくこと、それから、対話する機会を幼い時から公教育の場などでもっと経験できるようにになるとよいかと思います。家族や人との関わり方の答えはひとつではないと思うので、状況によって変わることや隣の人と違うことをもっておそれずに、話したり、行動できる社会になると生きづらさもへるのではないのでしょうか。

(女性、60～69歳、専業主婦・専業主夫)

性的少数者への理解推進

性的少数者に関して啓発広報促進をすると理解を深める人がいる反面、差別偏見を強める人が増える可能性も否めない。そういった差別偏見を助長することになってほしくない為、啓発広報促進に関しては何より慎重に行ってほしい。

(男性、20～29歳、学生)

家庭・学校・地域における男女平等教育

中学のジャージを男女で色分けするのはやめてほしい。

(女性、40～49歳、派遣・契約社員)

特に中学校において、不必要な男女別の校則や制服、髪型の規則等すぐに改めるべきです。数年前から学校には意見していましたが、まったく変わらず戦時中の軍隊のようで、同じでない者を悪と教え、同質化する事を良しとしていては個人の尊重やまして男女平等など叶わないと思います。未来を担う子供たちがこのような教育を受けるような市町村の先行きが不安ですし、ここで教育を受けさせ育てていきたいという希望が持てません。(すでに3人の子供がいますが、もっと自由に生きられる教育を受けさせたいです)

(女性、30～39歳、パートタイム)

義務教育中の子供が男女平等やLGBTQについてステレオタイプを持たないように教育すべき

(女性、20～29歳、アルバイト)

就業機会の確保の促進と就業環境の改善	
男女の関係なく、働く人にとって暮らしやすい環境を考えてほしい。	(女性、50～59歳、内職・在宅就業)
女性の社会活躍の少なさを女性差別と言うものの専業主婦を希望する女性の多さを考えると純粋に働きたくない女性が多いだけに無関係の人間が騒いでるようにしか見えない。 優秀な女性が差別で困るという話は聞いたことがなく就職失敗した人が能力不足を認めず差別のせいだ！などと責任転嫁しているだけに思える。とはいえ、女性は寿退社するんだから進学も就職は雑でよいみたいな悪い文化は是正すべき	(男性、20～29歳、商業・工業・サービス業などの経営者)
どこの企業であっても男性が育休が取る事を当たり前の風習にしてほしい。女性が子どもができて就職出来て産休に入り、その後も続ける…という雇用形態があれば働きやすいと思う。妊婦さんが嫌厭される環境がある。別の話にはなるが、まだまだパワハラ(大声で怒鳴る、言い方が酷い、問題を解決する事に繋がらない話になる等)が残っているので相談する場所や解決出来る場所を設けてほしい。パワハラを受けた本人が立ち会うのは難しいと思うので、それ以外で第三者が話をしっかり聞いてくれる場があれば仕事も続けやすく環境も改善されると思う。	(男性、30～39歳、正社員・正職員)
特に不平等と感じることはないが、夫の職場の環境次第(職種)で、妻が働けるかどうかが決まってくると思う。	(女性、40～49歳、アルバイト)
子育てをしても女性も働ける環境を作してほしい。	(女性、20～29歳、パートタイム)

アンケートについて	
そもそも選択肢がズレているなど感じる質問が多かったです。例えば問7は、取りづらい云々の前に取ろうと思っている男性が少ないことが問題なのではないかと思いました。問8もワークライフバランスは男女関係のない問題なのに、選択肢に男性・女性という言葉が出てくることに違和感を覚えました。問13も選択させる意味がわからず、問16はなぜ全員が子どもを望んでいる前提で質問されているのか不思議です。	(女性、20～29歳、学生)
このアンケートの意義がよく分からない。もっと別の金(税金)の使い方を考えてほしい。男女平等について市会議員の方たちの考えを聞きたい。	(男性、40～49歳、正社員・正職員)
アンケートにて意見を募る場合は回答用紙で番号に○を付ける一枚のシートの方が集計もし易いのではないかと思います。用紙の同封忘れでしたらすみません。	(女性、50～59歳、派遣・契約職員)
アンケートをする意味がわからない。このアンケート結果で今後、何か変わるのでしょうか？過去の実績とかあるのでしょうか？少なくとも私自身は何も変化を感じたことはございません。格差は大いに実感しております。	(女性、50～59歳、パートタイム)

子育て環境の見直し	
<p>男性がサポートすることはできますが、子どもを産み、育てるのはやはり女性の存在なしにはできません。だからこそ、出産後、女性が再び社会に出て働きやすい環境を整備してもらいたいです。特に、保育園やこども園に入園する際の加点制度を見直し、兄弟が同じ施設に優先的に入れるようにしてほしいです。行事や迎への負担が生まれるだけでなく、コロナ禍で感染リスクも増えて手一杯です。どうかこの現状を理解してください。</p>	(女性、30～39歳、正社員・正職員)
<p>子育てにおいて、我が家は発達が遅い子がいますがフルタイムで働けるような環境ではない。正直他の市よりかなり遅れているし、子供が発達が遅く働けなくて悩んでいる人も多いので制度の改革を求めます。保育園で発達遅延がある子を受け入れない制度はおかしいので、そこから改革してほしい。母子通園の療育メインは時代に合っていない。</p>	(女性、30～39歳、パートタイム)
<p>大都市名古屋市に隣接していて、何の特徴もない印象を持たれている市と思っている。何か一つでも思い切った先進的な取り組みを推進して、大々的に発信。それを魅力とを感じる人を増やすことで市の活性化、特徴となる。その取り組みとして推進するならば三星。やる以上は関連する自治体ランキング例えば「共働き子育てしやすい街ランキング」で全国1位（少なくとも愛知県で）を目指す。</p>	(男性、50～59歳、正社員・正職員)
<p>子育て支援など、もっと充実すると良いと思います。</p>	(女性、40～49歳、専業主婦・専業主夫)
<p>1000人の対象に入れたこと感謝します。男女平等や男女共同参画に関係があるか分かりませんが、妊娠、出産の際の手当があると良いと思います。出産育児一時金ではなく、祝い金があると嬉しいです。私は愛知県が出身地ではないので愛知県で出産はしないのですが、出産祝い金があったらこの地で出産すると思います。そういう制度があるとここで出産したい子育てしたいと思います。少子化問題も少しずつ無くなると思います。</p>	(女性、20～29歳、派遣・契約社員)
男女共同参画に関する政策	
<p>1. 議会等において、男女差の無い様にする、1. 保育等の場所の提供、1. 高齢者の生活等の支援・参加行事等の推進、1. 相談窓口等、身近に設置などを行う</p>	(男性、70～79歳、正社員・正職員)
<p>議会に女性と男女問わず若手を増やしたい。</p>	(男性、30～39歳、正社員・正職員)
その他	
<p>父は自動車免許返納。老夫婦が日常（買い物、病院等）生活が不便。北バスは利用しにくく、駅、スーパー等老人が気軽に利用できる様になると北名古屋市の経済も潤い、コミュニティーもできる様になると思います。一番貯金のある世代が行動できない田舎特有の不便さ。都会的なものばかり求めず、「令和の商店街」を整備し、若い方も働く場があり老人もコミュニケーションが取れる「北名古屋らしさ」を考えたほうが良いのではないのでしょうか。</p>	(女性、50～59歳、その他の無職)

その他
<p>賃貸物件の多い場所に住んでいます。マナーの悪い方が多い。昔からお住まいの高齢者が自分の気に入らないことには嫌味をよく言う。都会でも田舎でもなく住みやすい町だとは思いますが長く住むには疲れると感じています。(地元が田舎の地域の方同士は仲の良い町だったので…)冷たい人が多いと感じています。ゴミマナー×車のマナー×あいさつもしないなど住んでみても実際に愛知県のイメージがあまり良くありません。(一部の地域だとは思いますが一人一人がもっと住みやすい町にしたいと思う気持ちが高まれば良いのになと思います。これは市がどうという訳ではなく個々の問題だと思うので仕方ないですが…。一戸建ての賃貸物件が増えるるととても嬉しいです。駐車場の契約をされていない?方が多くあちらこちらに無断で止められている車が邪魔です。スーパーや、飲食店などは多くその点は生活に便利だと思います。※自転車マナーの見直し!!をお願いいたします。</p>
<p>(女性、30～39歳、内職・在宅就業)</p>
<p>自分の子供がマイノリティーだと分かたら今までの考えはひっくり返ると思う。この質問には誘導と思えるものが多々。不快。マイノリティーと言っておきながら男の家庭での役割は?とか女性が働き続けるにはとか…結局男と女で分けている。これは頭で考えても分からないと思う。ジェンダーだと差別しているものだとも思う。男女平等、男女共同…人間平等、人間共同なのでは? 補足: 年配の方にこの話をしても通じない。先輩方にはその年代の価値観があるから。それも否定してはいけない。そのうち世代交代するからそれまでは無理だと思う。</p>
<p>(女性、50～59歳、その他)</p>
<p>普段から市内の情報を収集しているわけではないので、どのような活動を行っているかもわからないし、知ろうともしていなかったので、このアンケートに回答していいのか迷いましたが、未来の子どもたちが過ごしやすい環境づくりの役に立てば良いなと思います。ありがとうございました。</p>
<p>(女性、20～29歳、正社員・正職員)</p>
<p>男女平等のことではないが、西春駅行くまでにおいてあるいくつかの灰皿スタンドを撤去してほしい。朝の時間帯に学生が多く歩いているのにタバコを吸っている人がいる。歩きタバコの人もいるからやめてほしい。喫煙所をつくったりしてほしい。本当に迷惑です。</p>
<p>(男性、30～39歳、正社員・正職員)</p>
<p>北名古屋市には特にありません。「男女共同参画」、やれる人がやれば良いと思います。国には大学迄無料の教育が出来れば、少子化に少しは歯止めが掛かると思います。</p>
<p>(女性、60～69歳、その他の無職)</p>
<p>徴収は強制的なのに支払いは【自己申請】これでは制度を知らない人達が「平等ではない!」全ての人が何が一番重点を於いているかは【お金】【離婚】したときに女性「こんな制度があります」など支援や援助の【案内】があれば【DV】など我慢せずに事件に発展しなかったり、その分野の専門家を設置し【啓発活動】をしてほしい!【離婚手続】【母子家庭手続き】などの手続を取るときにすぐ案内できる制度を作って欲しい!</p>
<p>(女性、50～59歳、正社員・正職員)</p>
<p>以前にPTAの代表として、地域と協働の会議に参加していましたが、その年だけであったり、コロナで流れたり…話し合いが中途半端でもそのまま。市のパフォーマンスだけの気がしてならない。市の運動施設も市民に開放する、という話であったが、効率的な話は全くない。</p>
<p>(男性、40～49歳、正社員・正職員)</p>

(2) 中学生調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
男女平等を謳わなければいけないのならばその願いは永遠に叶わない	(男子)
あまり平等じゃないと思った。	(女子)
男女平等は大切であると思う	(女子)
昔は男性の方が偉くて女性の方が劣っていると言う考えが多くて今もまだ残っているかもしれない。けど、女性の方が筋肉がつきにくいとか、か弱いとか思うのはどうかと思う。男性と女性は平等であるべきだと思うし、男性だけでなく女性の意見も取り入れて欲しい。	(女子)
男女平等について、賛成します！	(女子)
服装が男女で違うこと 男子と遊んだら変な目で見られること。	(女子)
男女で仲良いだけで、悪口言われるのは、やっぱおかしいと思う。男女平等の世界なんて、こんなことから直していかないと男女平等なんて無理だと思う。	(女子)
昔は女性が嫌な思いをすることがあったのは知っているが今は女性だからといってやらなくていいとかひいきされることがあるとおもう	(男子)
学校では、授業でみんな平等に進んでいるから男女平等になっていることで、男女平等は大切である。私の思っていることで男女共同参画は、男女問わず何事にも男女で共同し合う事だと私は思っていて男女共同参画でみんなで協力し合う事だと思うので男女平等や男女共同参画はどちらも学校や家、地域でも大切だと思いました。	(女子)
やっぱり男女は平等	(男子)
男女平等は今までとは違う生活になると思う	(男子)
男女差別はよくないなと思った。	(女子)
制服を変えた方がいいと思う。	(女子)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
男女問わず平等な社会になることを願います	(女子)
男女平等という理念をどれだけ掲げようが、それについての具体的な対策が出てこないことには何も始まらない 理想を語るのは簡単だけど実際そうになっていないのが現実。男女が平等になるために互いのことをもっと尊重し、そして共存していく上でもっと男女の仲をよくして互いに認め合う方向を推進していくべきだと考える 男女共同参画よりもっと先にできることがあるのではないか	(男子)
女の人は男が優遇されてるって言って男の人は女が優遇されてると言っていて正直よくわからない	(男子)
男女問わず公平に生きていくべきだと思った。	(男子)
男女問わず最良をされておらず、全員平等に過ごせている。	(女子)
これから、男子、女子差別のない社会になってほしい。皆平等。	(答えたくない)
男女平等でいることはいいときも悪い時もある。	(男子)
男性を雑な理由で仕事などを押し付けるのはやめてほしい。	(男子)
僕はこの地域では、男女問わず色々な職業に就いているしこの地域の人たちは権利なども男女平等にあるのでこれからもこのような政策を進めていってもっとみんなが平等にそして認め合い助け合う精神を大切にしてもらいたいです。	(男子)
未だに学校や家では浸透していないと思う。	(答えたくない)
しっかりととそう言うのが制限されていていいと思いました。	(男子)
あまり男女平等な社会がつくられてない、浸透しきってないと思う	(女子)
普段そんなの気にして生活なんてしていない。	(女子)
男女どちらにも差別とかがない	(男子)
性別で差別を受けるのは、個人的にはよくないと思う。	(男子)
学校や家、地域の中で男女平等に接されていると感じます。	(女子)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
段々と世の中が男女平等になってきたと思う。	(女子)
女性がよわいのはわかるけど平等にしてほしい	(男子)
これからも男女平等を続けてほしい。	(男子)
男女平等の動きが見られてきたと思う	(男子)
基本的に表面上では女子を優先するということもあるが、結局は男子が優先されていることがほとんどなので、平等では決してないと思う。	(女子)
昔はどちらかというとなりの方が優遇されて、女性は少し下に見られていたので、これからは平等がいいと思った。	(男子)
正直、男女を完全に平等にするのは難しいと思うが、自分がやりたいことをやりたいようにしたら良いと思う。性の差別や偏見を無くしたい。	(女子)
表面上では男女平等を謳っているが社会には男女差別が溢れていると感じた。	(男子)
SDGs とかでジェンダー平等とか叫んでるけど結局、そんなの変わったとしても何十年も先だと思われ、変わる日が来るとは個人的には思っていない。だが変わってほしいとは思っている	(男子)
男性だから、女性だからということが最近はあまり聞かなくなり 4~5 年前よりは少し平等になったと思いました。	(男子)
たしかに、男の人が仕事をして女の人が育児や家事をするとありますが、それは、ひどい差別ではないか？と思いました。男性が家事をしたい女性が仕事をしたいという方もいるかも知れないからおかしいと思います。	(男子)
良い取り組みだと思う。	(男子)
学校や家・地域の中で、まだ「男女平等」になっていないなと感じました。そもそも「男女平等」の実現はかなり難しいと思います。	(女子)
男女平等男女平等という割に「女性限定配布！！」や「男性限定配布！！」があつてずっと言ってるだけであんま実行できてないのかなと思う。(着替え等は別として)	(男子)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について

男女共同参画で具体的になにをしているか、どんな功績を上げたかわからない。

(男子)

「女子だから」「男子だから」ではなくて、「誰々らしくて」という言葉が飛び交う世の中にしたいです。現に私も一人称を僕って言いたいんですけど、「女子だから」という言葉で片付けられて、スカートよりズボンのほうが好きなのに「女子だから」スカート履きなよって言われたこともあって、やっぱりその人らしさを大切にしていきたいのがこれからの世の常だと思っています。だから心と体の性別が違っても変な目で見ないでほしい。

(答えたくない)

女性に対する差別などをおこなっている人たちはそういうのはやめてほしいと思う。女性はあれをしなきゃ、これをしなきゃ、など昔の固定概念に囚われている男性も考えを改めた方がいいと思う。別に自分は男性が女装したり、女性が男装しても、別に良いと思う。

(男性)

最近どんどん男女平等が進んでいて、とてもいいことだと思う。しかし、女性に関してのことばかり言われて、「男だから～」「男なのに～」のような男性についてらしくあれと説くのも男女平等に近づくための一歩であると思う。

(男子)

やっぱり女性の方が優遇されている気がする

(男子)

男女平等について、「男と女の人数を平等にする」と言う法律が出来上がっていますが、やめるべきです。もしそれによって男性の有能な人間を逃してしまえば、とてつもなく勿体無いからです。「男女の人数をそろえる」は間違っています。「男女関係なく有能な人材を雇用する」と、方針を変えるべきです。

(男子)

なにかと男子の方が優遇されてるケースがまだ多いと思う。

(男子)

お互いの気持ちなどによりけり。

(男子)

男女問わず平等なのは良いことだと思う。だけど、(男だからこうしなさい)とか、(女の子なんだから、こうしていなさい)とか、性別とゆう概念に対して、押し付けはよくないと思う。人生一度きりだからこそ、自分の好きなように生きていたら良いと僕は、思います。ぶっちゃけいって、人生というものは楽しく生きていたら良いと思う。押し付けばっかの人生よりも楽しく生きた方が、自分的には、10対0で、楽しく生きた方がいいと思う。だから、(男なんだからこうしなさい)とか、(女の子なんだからこうしていなさい)とか言っている人に対して、そうゆうのはやめた方がいいと思います。これが僕の意見です。

(男子)

男女平等について自分はあまり知らなかったと感じた。

(男子)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
男女差別がいまだにあると思う。■先生はとても男女平等にやっていると思う。でも、世の中ではまだまだ男女平等ではないと思う。	(男子)
無理矢理男子とだからとか言わずにしっかりと人の意見を認めることも大切だと思う。	(男子)
「平等」って言ったってやっぱり男女で身体の作りとかは違うわけだから、「全てが平等」になることはないと思いました。	(女子)
別に男子より、女子が優遇されようがされまいがあまり気にはしないが、男子も女子も両方自由に生きられればいいと思う。	(男子)
男女であることを決めつけるのはよくないと思う。	(女子)
<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等世界というのは望まれています、これからもずっと「完全に」男女平等にはならないと思います。 ・でも、男女平等になって女が女を好きになるのはいいのではないかなと思います。男女平等が難しくても、一人一人の人権が尊重されて、みんなが住みやすい世界になればいいなと思います。 	(女子)
男子だからこうとか女子だからこうとかは違うと思います。差別はよくないとぼくは思っているので、この男女平等や男女共同参画はいいと思いました。	(男子)
男だから、女だから、で物事を決めることがまだ多いので男女平等という割にはあまり平等ではないかなと思いました	(男子)
意外と平等ではない場合が多いと思いました。	(男子)
「男女平等」はよく聞く言葉ではあるが、どんな場所や状況でも必ずしも守られているわけではないのかなと考えました。	(女子)
力仕事は男、家事や育児裁縫は女っていうのは不平等だと思う。別に男が可愛いぬいぐるみを作ったりしていたっていいじゃないか。女だけが育児するなんてだれが決めたんだ？と思う時がある。仕事を分担してこなしていく方が効率が良さそうなのにとたまに思う。	(女子)
男女平等にできないものはできないで普通のことだと思う。家で1番偉いのは父だし、男と女での差があるのは当たり前のことだと思う。逆に男女平等男女平等っていつているのをきくほうが差があって当たり前でしょと思いつながら聞いている。	(女子)

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
「男女」平等や、LGBT についての理解がある人は増えてきているが、Q について知っている人が少ないように思う。	(わからない)
男女で比べると女性の方が優位に立っていると思った。 もっと平等にするべきだと思った。	(男子)
男女の平等がもっと積極的に行われたら良いと思う。	(女子)
男は〇〇をしろーとか、女は〇〇じゃないとーとか、そうゆうのやめた方がいいと思う。 男女関係なく苦手も得意もあるからしょうがないと思う	(男子)
いつまでたっても女の方が優遇される。	(男子)
まだ完璧に男女平等にはなっていないと思う。けれど、ここ数年で男女平等になるように変わってきたと思う。	(女子)
もっと男女差別をなくした方がいい	(わからない)
もっと男女差別を無くそう	(男子)
変なところで不平等だし女子はって言ったほうがいいんじゃないのって思うときに言わなかったりするイメージ。女子と男子を別にしすぎて男子が可哀想な時がある	(女子)
もっと男女差別がなくなればいい。	(女子)

家庭における男女平等	
家の中で何をすることも父親の許可がいるのはおかしいと思う。 テレビを見る時や、お菓子を食べると時もいつも「パパは大黒柱だから従おうね」と母は言う。姉も納得したかのように従う。男性がリーダーという家族の中の固定概念を壊したい、男性が中心だなんておかしいと思う。 母はすぐに怒る、何かがあるたびに物を投げたり怒鳴ったり。すぐにキレるしささあなことでも怒るから怖い	(答えたくない)
お父さんは「男なのに泣くな」と言う時がある	(男子)

性的少数者	
性的少数者と呼ばれる人々の認知度が低いと思います。LGBTQのQの存在を知らない人もいます。もっと学校でしっかりと教えるべきです。	(答えたくない)
性別を男女だけだと思わないでほしい。	(わからない)
私はXジェンダーです。でもお母さんが女の子だから料理ぐらい作れるようにならないとダメでしょとか言ってくることがある。その度に自分はXジェンダーだから女の子らしくとか言わないで！それくらいできる！って言いたいけれどお母さんに言っても聞いてくれないと思って言えてないです。なので誰かに言えるような場所が欲しいです	(わからない)
LGBTも性別も理解されてほしいと思います。少しでも性別関係で悩む人が減ってほしいです。女だから、男だからー！でなく、貴方は貴方だからと認められる社会になってほしいです。同性同士の付き合いや結婚も、はやく認められてほしいです。	(女子)
政治における男女平等	
政治は女性が少ない	(女子)
学校内での男女平等	
学校は男女平等ではなくて女子が優しくされている	(男子)
体力テストの点数の格差が激しい？	(男子)
大人はよく「男女差別をなくす」と言っているが、学校の制服などは男子はズボン、女子はスカートと決まっているのはおかしいと思う。全校生徒の中で性について悩んでいる人もいるかもしれないから男子はズボン、女子はスカートというのを変えてほしいと思う。	(女子)
学校の制服など男女を分けなくてほしいです。	(答えたくない)
学校のテストで男女平均が出てしまう	(男子)
男女平等と言われている中で今決められている校則や服装は合っていないと思う。制服だと強制的にその性別の服装を選んできなければいけない。校則だと見た目でも女子は特にないが、男子で耳にかかっているのはいけない。プールの水着は見られてはいけないところが隠されているだけであって、やはり過度の露出など見直してみるとたくさん問題点があるので、各学校、市などで一度改正してほしいと思った。	(女子)

学校内での男女平等	
学校は男女平等だと思います。	(女子)
男女平等と言っているのに、学校で男子はズボン、女子はスカートという決まりがおかしいと思います。	(女子)
男女というと、男の方が先なので、男が優遇されている感じがする。体育は、いつも男子が前に並ぶ。	(女子)
最近学校で体操服で過ごす人が増えたこと	(女子)
男性の先生が女子生徒に触れるのはダメで、女性の先生が男子生徒に触れるのはあり。って言う考えは間違っているのではないかと思います。だって、男子生徒がその女性の先生に好意を持っていたり、もしくは逆だった場合、さらには両思いであった場合には不純異性交遊が成立するのではないのでしょうか。だって男性の先生の場合だったら恋愛感情もなく触ってしまっただけで不純異性交遊が成立してしまうとするのならば、それは男女差別に値してしまうのではないかと思います。	(女子)
制服など	(女子)
出席番号混合は普通に面倒くさいと思いました	(男子)
出席番号は混合になったけど移動の時とか男子女子で分かれた列で移動するので混合で移動してもいいと思う	(男子)
たまに、学校で自分たちが嫌なことを男子がやれと先生が言い、女子はそういう仕事はやらない時があるので、そこはジェンダー問題があるので、直してほしいと思う。	(男子)
学校でもたまに平等なのかと思うことが今思い返してみれば、少しはあるなと思いました。その人の好きにさせたいので家族や友達に「女の子、男の子だから」と縛らないようにしたいです。	(女子)
男子も女子も楽しい生活になって欲しいです。	(男子)
男の先生って女好きやんだから女が優先されて男が厳しくあれマジで意味わからん差別ダメって言うてる奴が一番やってるやんそうゆう奴がゴミ教師って呼ばれて俺らは気持ちよくなるだけだからええわ	(男子)
制服のスカートがものすごく嫌。	(女子)

学校内での男女平等	
私の学校のジャージの色が男女で違う色です。	(女子)
男の先生で男女平等を守れていない人がある	(女子)
その他	
男女共同参画のイラストなどを描くものを北名古屋市から配られて、小学校の時それに参加しました。小学生のときは今と比べて、あまり詳しく知らなかったので、より知識がついた今、男女共同参画のことをもう一度描きたいと思っています。小学生しか参加できないらしいので中学生も参加できるようにしたほうが、男女平等について考える良い機会になると思います。	(女子)
分からないところ	(男子)
明治時代は男の人の方が優遇されてたことに、疑問を感じた。	(答えたくない)
お父さんが、中心であるということがあります。その理由は、お母さんから聞いた話なんですけど、お母さんが半年前からお尻の横ら辺が痛いと言っていて「どうしたの？」って聞いたらお父さんに蹴られてそれからずっと痛いついて聞いてパパがずっと寝てて、お母さんが妹を寝かせていたら、ちょっかいをかけてきたので、すこしけったらちょっと痛かったのか知りませんが、蹴られてそれからお尻の横が痛いと言っていました	(女子)
男子は赤ちゃんが安定するまで休業をとる	(女子)

(3) 事業所調査

行政への要望	
県や市などの取り組みを紹介するなどしてどのように実現したかなどのPRも必要と思う。	(製造業)
行政の仕事を請け負っているため、行政側でもっと柔軟に対応してもらわないと弊社としての取り組みが推進できない事が多すぎます。行政側が「委託しているのだからこちらの要求を何でも飲んで」という立場でいると、相談も提案も出来ません。	(サービス業)
市内企業の好事例を紹介していただきたい	(運輸業)

男女共同参画・女性活躍に関する課題	
社長の意識改革がないとなかなか取り組む事が不可能	(運輸業)
福祉の業界では女性の活躍が必須であり、既に活躍している。 課題は給与面が他の業種と比較し低い為、ワークライフのバランスをとる余裕もないと感じます。 このような女性の活躍についてのアンケートを行う事事態が残念な気持ちです。	(医療・福祉業)

その他	
意見・感想等はありませんが、弊社は新聞印刷関連の業務が主で、全国に8工場があります。今回のアンケートは事業所(名古屋工場)として回答しました。本社機能は東京にあり、全国で従業員631人、うち女性45人です。名古屋工場には女性が3名で、本社の取り組みを含めてアンケートにお答えしました。宜しくお願い致します。	(製造業)
男女関係なく得意な分野で勤務いただいております、有給も取得しやすい環境な為、とくにはございません。ただ上記にもあります通り、女性の能力開発のための講座等は少し興味があります。	(製造業)

7 考察

1 家庭生活・地域活動への参画について

市民調査における望ましい家事分担の在り方については、家事、子育て、家計管理、介護、地域活動を「男女協力して行う」とする割合は75.9%(前回68.1%)で、すべての項目で増加しています。一方、実際の家庭内の役割分担について「すべて女性が担当」または「主に女性が担当、男性は手伝う程度」の割合は、「食事のしたく」が79.5%(前回87.4%)、「洗濯」が75.4%(前回83.2%)、「そうじ」が70.4%(前回79.1%)と減少しており、改善傾向はみられるものの依然として家庭的な負担が女性に偏っていることがわかります。

市民調査では、男女がともに家庭生活や地域活動に積極的に参画していくために必要なこととして、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も高く63.4%(前回66.2%)となっています。

市民調査では、男性の育児休業の取得に対する意識について、「積極的に取得した方がよい」または「どちらかといえば取得した方がよい」とする割合が84.4%(前回70.6%)と増加しています。また、事業所調査では、過去1年間に配偶者が出産した男性従業員の育児休業取得率は30.8%(前回6.0%)と増加しているものの、市民調査の結果と比べるとまだ十分に取得できていないことがわかります。

市民調査において、男性が育児・介護休業を取得しにくい理由は、「職場に取りやすい雰囲気がないから」が70.0%(前回70.0%)と最も高く、次いで「取ると仕事上、周囲に迷惑がかかるから」で60.0%(前回66.8%)となっています。

【課題】

家事、育児、地域活動等の役割分担については、男女が協力して行う方がよいという認識があるものの、実際の負担は女性に多くかかっています。また、育児休業取得率は改善はしているものの、男性が希望しても職場の雰囲気などから育児休業等を取得することが依然難しい現状であるため、前回同様、職場への働きかけなどを引き続き強化していく必要があります。

2 女性の活躍と職場における男女共同参画について

女性の職業と生活設計についての考えは、前回の調査では、「子どもができたなら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」が最も高くなっていましたが、今回の市民調査では「結婚出産後もずっと職業を続ける方がよい」が28.8%と最も高く、次いで「結婚出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が22.2%で、結婚出産後も職業を続ける意識が高くなっています。一方、中学生調査では、「子どもができたなら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」の割合が19.0%で、前回同様最も高くなっています。

市民調査において、前回調査では、女性が働き続けるために必要なことは、「育児・介護休業制度の充実」が最も高く、次いで「保育サービス等の整備充実」となっていますが、今回の調査では、「保育サービス等の整備充実」が64.4%で最も高く次いで「育児・介護休業制度の充実」が62.4%と順位は入れ替わっているものの、上位2つは同じ項目です。特に男女間で認識の差が大きい項目は、前回同様「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」で、女性が男性より15.4ポイント（前回15.8ポイント）高く、加えて今回は、「育児・介護休業制度の充実」についても女性が男性より15.5ポイント高くなっています。

事業所調査で、過去1年間に出産した女性従業員の育児休業取得状況をたずねたところ、取得率は93.9%（前回93.6%）と微増で、ほとんどの女性が取得している状況です。

事業所調査では、女性の管理職登用について、「本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい」が66.3%（前回54.0%）で増加しています。

事業所調査では、女性の管理職登用に当たっての課題として、「家庭生活の負担を考慮する必要がある」の割合が43.4%（前回49.3%）で、前回同様最も高くなっています。

【課題】

市民意識調査から、結婚出産後も職業を続ける意識が高くなってきており、育児休業などの制度が整っており、活用する女性は多いものの、その後の子育てや家事等の負担が、女性の職場における活躍に影響を与えています。女性の管理職登用など、職場における女性の活躍を考える際には、前回同様、子育て支援施策の充実だけでなく、周囲の理解促進と男性の家庭参画も同時に進めていく必要があります。

3 男女の地位の平等感について

男女の地位の平等に対する期待について、「平等になってほしい」の割合が、市民調査では65.3%（前回61.4%）と増加しており、期待の高まりがみられます。

男女の地位の平等感については、男女別にみると、女性は意識調査で設定した全ての項目において『女性優遇』よりも『男性優遇』と感じる割合が高くなっています。一方で、男性は全ての項目において女性よりも「平等」『女性優遇』と感じる割合が高くなっています。女性が感じているほど男性は『男性優遇』とは感じておらず、意識に男女差がみられます。

場面ごとにみると『男性優遇』と感じる割合が、市民調査では「政治の場」で74.4%（前回69.0%）、「社会通念・慣習・しきたり」で67.8%（前回71.6%）、「職場（労働上で）」62.7%（68.8%）となっており、前回の調査から順位の変動はありますが、上位3つは同じ項目です。

場面ごとにみると『男性優遇』と感じる割合が、中学生調査では「仕事」で39.7%（前回44.9%）で最も高く、次いで「選挙や議会」が39.5%（前回37.8%）、「社会のきまり」が24.6%（前回23.5%）となっており、前回の調査から順位の変動はありますが上位3つは同じ項目で、「政治の場」、「社会通念・慣習・しきたり」「職場（労働上で）」で男性の優遇感が高くなる傾向があります。

一方で、前回調査と比較して『男性優遇』が低下した項目は、市民調査では男女ともに「職場（労働上で）」であり、女性は 68.0%（前回 72.7%）、男性は 53.6%（前回 64.1%）となっています。

前回調査より『男性優遇』が低下した項目もありますが、未だ半数以上が『男性優遇』と感じている場面が残っています。

また、社会全般で男女の地位は平等になっているかについて、『男性優遇』72.7%（前回 66.2%）で増加しています。

【課題】

2016 年度調査と比較し、男女平等への期待感が高まっていますが、実際には『男性優遇』と感じられる場面が多く残っており、社会全般でも『男性優遇』の割合が増加しています。また、地位の感じ方に男女差が依然として見られ、男性が感じているほど女性の平等感が高まっていません。

特に、全世代で『男性優遇』の割合が高い「社会通念・慣習・しきたり」、「政治の場」、「職場（労働上で）」において、前回同様、格差の是正が求められます。

※『女性優遇』:「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた割合
『男性優遇』:「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合

4 男女共同参画に関する政策や用語の認知度について

男女共同参画社会の実現について、市民調査では 52.9%（前回 50.0%）が『期待している』という意向を示しており、男女共同参画の実現に対する期待感は若干高まっています。

政策や用語の認知度は、市民調査で高い傾向にあり、中学生調査で低い傾向にあります。市に関係する「第2次北名古屋市男女共同参画プラン」「北名古屋市男女共同参画推進条例」は中学生調査で高くなっています。また、今回の調査で「ジェンダー」「LGBT・LGBTQ」の認知度について、市民・中学生調査とも 40%以上高くなっており、新聞やニュースなどで取り上げられることの多い言葉の認知度が高くなっています。

【課題】

男女共同参画社会の実現について、期待が大きく、推進が求められていると言えます。市に関係する用語の認知度は、中学生調査で高くなっており、周知効果もあることから、小学校での男女共同参画リーフレットの配布等、引き続き若い世代に向けた啓発を行う必要があります。また、「ジェンダー」や「LGBT・LGBTQ」などメディアで取り上げられることの多い用語の認知度は高まっていますが、その他の男女共同参画に関する政策や用語について、引き続き認知度を向上させることで、男女共同参画社会の実現への期待と動機づけをさらに高める必要があります。

5 DV・デートDV について

市民調査では、DVの被害経験について「ある」は9.8%となっています。DVの被害体験が「ある」と答えた方の中で、最も多いのは「大声でどなられる」が87.5%で、次いで「だれのおかげで生活できるんだとかかいしょうなしと言われる」が50.0%となっています。一方、「命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける」という被害も12.5%となっています。いずれの割合も女性が男性を上回っています。

中学生調査では、男女交際において、「メール、SNS等の返信が遅いといつも怒る」、「だれとどこにいたのか、しつこく聞く」、「言うことを聞かないと不機嫌になる」などの関係性を「別に変だと思わない」と考える割合が2割を超えています。また、デートDVという言葉の認知度については、「知っている」が14.3%（前回6.3%）と増えています。また、デートDVという言葉の認知度は、女子は男子に比べ高くなっています。

市民調査では、女性よりも男性の被害割合が高いDVは、10代での「自分以外の異性と会うことを制限する」となっています。また、DVを受けた場合または受けたと想定した場合の相談の有無について、「相談できなかった（できない）」、「相談しようと思わなかった（思わない）」の割合は女性が23.3%、男性が38.6%と男性の方が高くなっています。

男性がDV被害を「相談できなかった（できない）」、「相談しようと思わなかった（思わない）」理由として、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」が33.3%、「相談しても無駄だと思うから」25.9%、「他人を巻き込みたくないから」「相談するほどのことではないと思うから」が24.1%と高くなっています。

市民調査では、DVを受けた場合または受けたと想定した場合の相談の有無について「相談した（する）」は67.6%、実際にDVを受けた場合の相談の有無については「相談した」が70.0%と高くなっており、実際に被害を受けた場合には想定よりも、「相談する」という選択をしています。

【課題】

DV被害は、全体的に女性でその割合が高くなっています。一方で、DVの男性被害者は、女性よりも「相談できなかった（できない）」、「相談しようと思わなかった（思わない）」というケースが多く、また、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」という理由が高いことから、身近な相談先の周知や男性に向けた啓発が求められます。

また、どのようなことがDVにあたるかという認識が前回よりわずかに増えていますが、依然として薄い面もみられるため、特にデートDVの被害者、加害者となりうる若い世代への啓発が必要です。

6 セクシュアル・ハラスメントについて

市民調査では、セクシュアル・ハラスメントを見聞きしたり、自分自身が受けた経験がある割合は、74.6%（前回 66.3%）に上ります。その内容は、「容姿について傷つくようなことを言う」が38.0%で最も高く、次いで「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする」が36.8%となっています。

事業所調査では、ハラスメント防止対策として行っている取り組みとして、「就業規則等にハラスメント防止についての方針を明示している」が69.9%で最も高く、次いで「苦情や相談体制の整備をしている」が61.4%となっています。また、「取り組みはしていない」が7.2%（前回 29.9%）となっており、取り組みをしていない事業所は、かなり少なくなっています。

【課題】

「ハラスメント防止の取り組みはしていない」という事業所は少なくなっていますが、セクシュアル・ハラスメントを見聞きしたり、自分自身が受けた経験があるの割合は7割以上と、前回から増加している現状があるため、引き続き正しい知識の啓発やハラスメントを許さない環境づくり等により、ハラスメント防止に努めていくことが重要です。

北名古屋市男女共同参画意識調査報告書

令和5年3月発行

発行 北名古屋市 総務部 総務課

〒481-8531

北名古屋市西之保清水田 15 番地

TEL : 0568 (22) 1111

FAX : 0568 (25) 1800